

袋井市
高齢者の生活と意識に関する調査
調査結果報告書

令和5年3月

袋 井 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象と回収結果	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
	(問1) 回答者属性	2
	(問2) からだを動かすことについて	11
	(問3) 食べることについて	23
	(問4) 毎日の生活について	29
	(問5) 地域での活動について	54
	(問6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について	68
	(問7) 健康について	70
	(問8) 介護保険サービスなどについて	80
	(問9) 認知症にかかる相談窓口について	97
	(問10) その他について	98
2	生活機能評価等に関する分析	106
(1)	機能別リスク該当者割合の分析	106
①	運動器機能	107
②	閉じこもり	109
③	転倒	111
④	認知機能	113
⑤	うつ	115
(2)	日常生活	117
①	手段的自立度 (IADL)	117
3	在宅介護実態調査	120
(1)	調査対象者ご本人について	120
(2)	主な介護者の方について	137
III	今後に向けての課題	144
1	家族構成とライフスタイルの課題	144
2	高齢者の生きがいづくりの課題	145
3	介護保険サービスの課題	146
4	情報提供の課題	147

5	生活機能評価からみる課題	147
IV	自由意見	148
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	148
1	福祉全般（抜粋）	149
2	介護保険制度（抜粋）	149
3	生活環境（抜粋）	151
4	公共交通機関、外出支援（抜粋）	151
5	経済的状況（抜粋）	152
6	広報、相談窓口（抜粋）	152
7	健康づくり、予防（抜粋）	153
8	自立自助 生きがい、楽しみ（抜粋）	154
9	地域活動（抜粋）	155
10	医療（抜粋）	155
11	施設サービス、介護保険サービス（抜粋）	156
12	介護サービス（介護保険によるものを除く）（抜粋）	158
13	介護者が抱える問題（老々介護等）（抜粋）	158
14	今後の不安（抜粋）	159
15	アンケートについて（抜粋）	160
16	行政について（抜粋）	161
17	その他（抜粋）	161
2	在宅介護実態調査	164
1	介護保険制度（抜粋）	165
2	生活環境（抜粋）	165
3	公共交通機関、外出支援（抜粋）	165
4	経済的状況（抜粋）	166
5	広報、相談窓口（抜粋）	166
6	健康づくり、予防（抜粋）	166
7	就労、自立自助（抜粋）	167
8	医療（抜粋）	167
9	施設サービス、介護保険サービス（抜粋）	167
10	介護サービス（介護保険によるものを除く）（抜粋）	168
11	介護者が抱える問題（老々介護等）（抜粋）	169
12	今後の不安（抜粋）	170
13	アンケートについて（抜粋）	171
14	行政について（抜粋）	171
15	その他（抜粋）	171
V	調査票	172

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6年度を初年度とする「第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）」の策定にあたり、健康や日頃の生活状態、介護保険サービスの利用状況や意向等を把握し、計画策定のための基礎資料とします、

2 調査対象と回収結果

調査名	調査対象	配布数	回答者数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市内在住の要介護認定を受けていない 65歳以上の高齢者 (一般高齢者、事業対象者、要支援認定者)	2,800通	1,808通	64.6%
在宅介護実態調査	市内在住で在宅生活の要介護認定者	800通	455通	56.9%

※事業対象者：日常生活、運動、栄養などから評価される基本チェックリストにより生活機能の低下がみられ、要支援状態となるおそれがある高齢者。介護予防・生活支援サービス事業の対象者。

※要支援認定者：日常生活上の基本的動作については、ほぼ自分で行うことが可能であるが、掃除などの複雑な動作、あるいは、運動機能の衰えにより、部分的な支援を要する状態の方。

※要介護認定者：入浴や排せつ、食事などの基本的動作についても、自分で行うことが困難であり、何らかの介護を要する状態、もしくは、支援を必要とする状態にある方。

3 調査期間

令和4年12月9日から令和4年12月26日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを で網かけをしています。（その他、無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

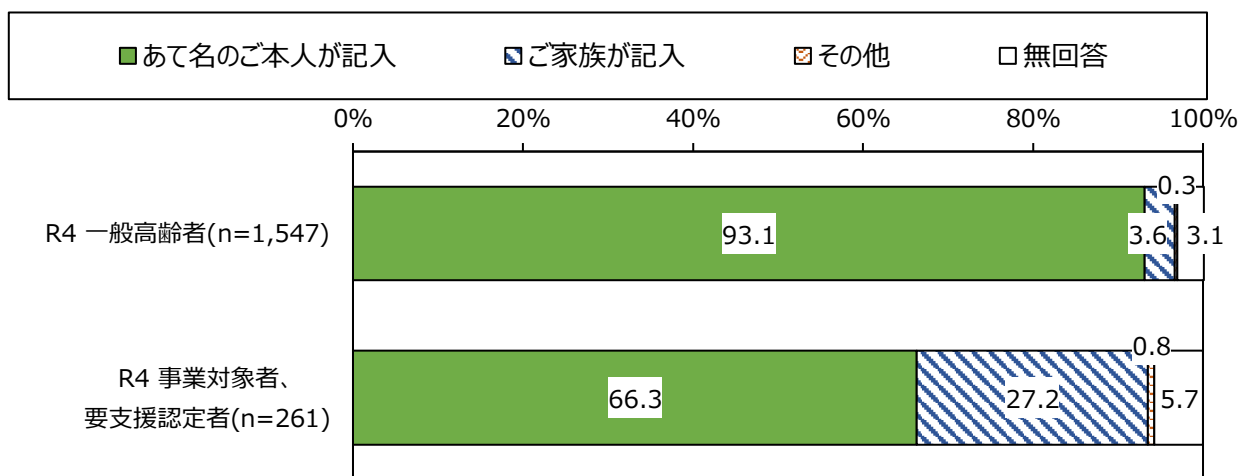
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(問1) 回答者属性

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「あて名のご本人が記入」が93.1%、「ご家族が記入」が3.6%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」が66.3%、「ご家族が記入」が27.2%となっています。

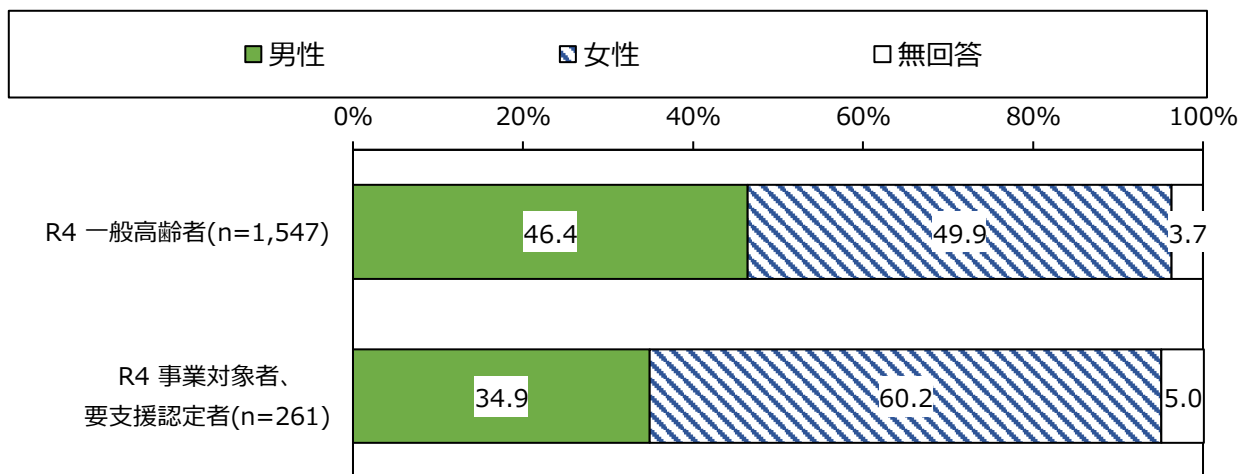


(2) ご本人の性別・年齢について教えてください。(〇はひとつ)

①性別

一般高齢者では、「男性」が46.4%、「女性」が49.9%となっています。

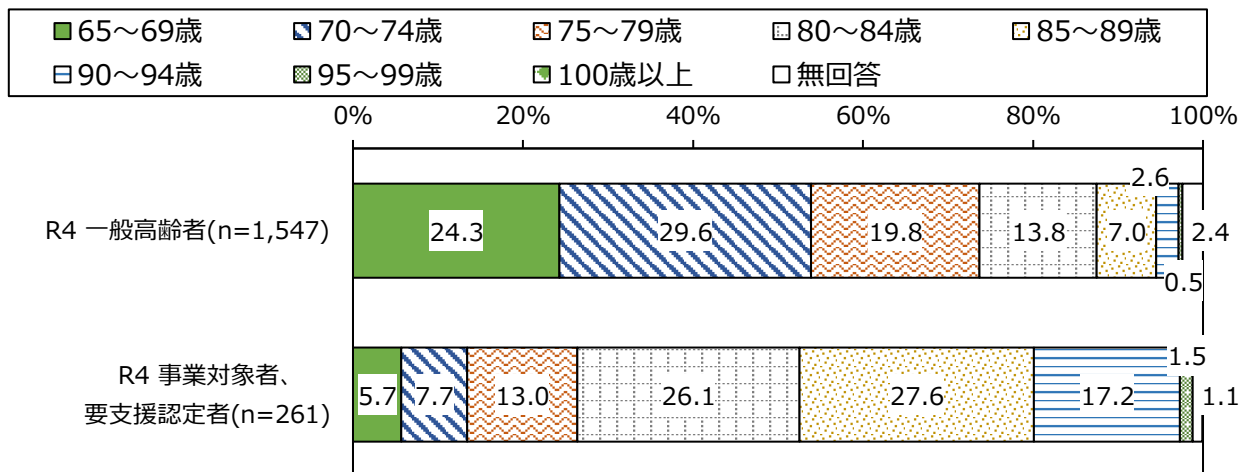
事業対象者、要支援認定者では、「男性」が34.9%、「女性」が60.2%となっています。



②年齢

一般高齢者では、「70歳～74歳」が29.6%と最も高く、次いで「65歳～69歳」が24.3%、「75歳～79歳」が19.8%となっています。

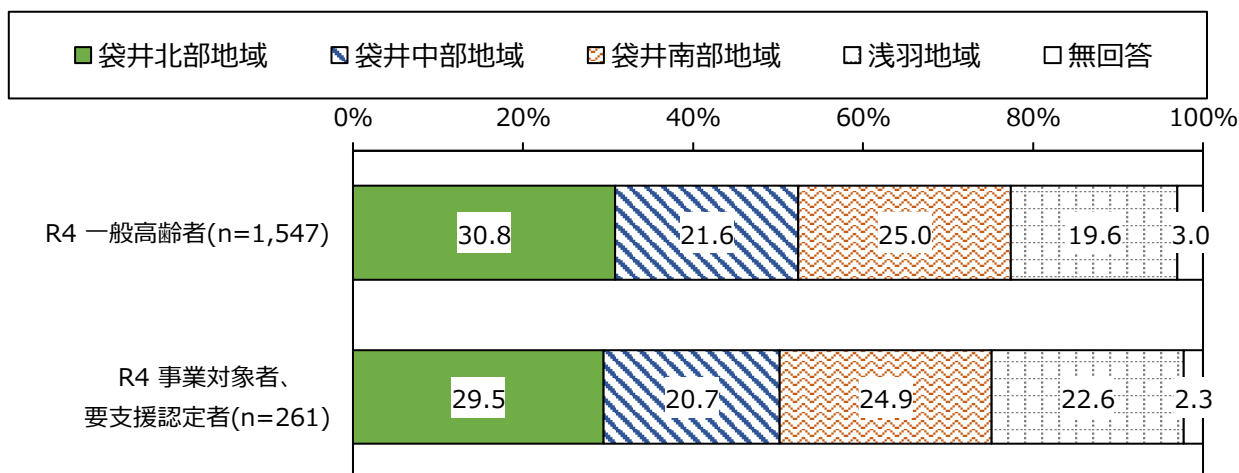
事業対象者、要支援認定者では、「85歳～89歳」が27.6%と最も高く、次いで「80歳～84歳」が26.1%、「90歳～94歳」が17.2%となっています。



(3) ご本人のお住まいはどの地域ですか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「袋井北部地域」が30.8%と最も高く、次いで「袋井南部地域」が25.0%、「袋井中部地域」が21.6%、「浅羽地域」が19.6%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「袋井北部地域」が29.5%と最も高く、次いで「袋井南部地域」が24.9%、「浅羽地域」が22.6%、「袋井中部地域」が20.7%となっています。

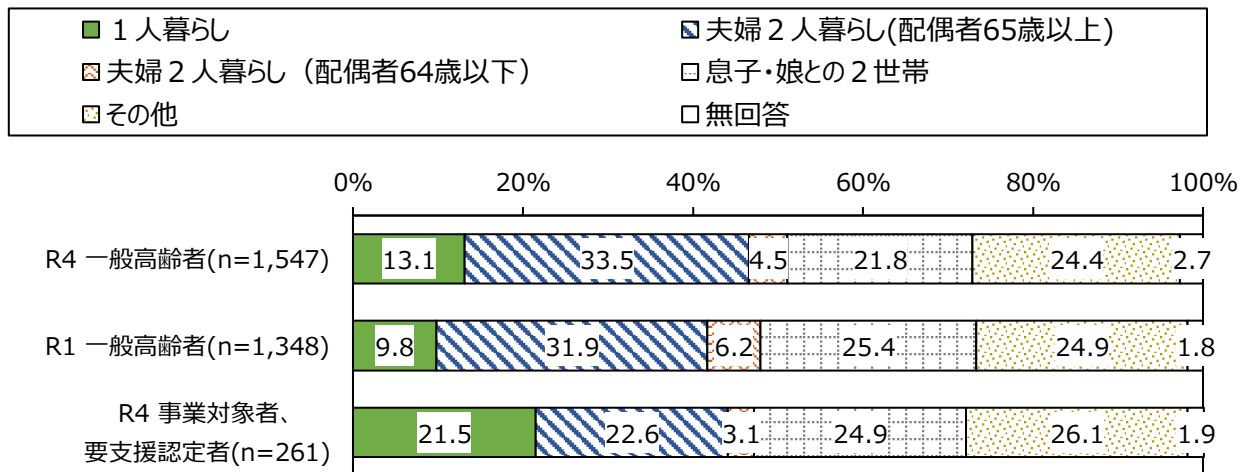


(4) 家族構成を教えてください。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.5%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が21.8%、「1人暮らし」が13.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「息子・娘との2世帯」が24.9%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が22.6%、「1人暮らし」が21.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「1人暮らし」、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「1人暮らし」が高くなっています。

年齢別でみると、65歳～84歳では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が、85～94歳では「息子・娘との2世帯」が、95歳～99歳では「1人暮らし」と「息子・娘との2世帯」が、それぞれ高くなっています。

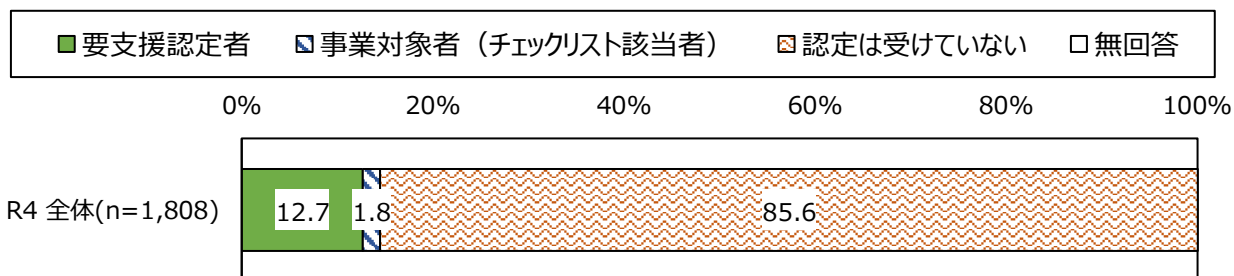
居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「息子・娘との2世帯」が高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		1,808	14.3	32.0	4.3	22.3	24.6	2.6
性別	男性	809	12.7	36.8	6.7	21.8	21.3	0.7
	女性	929	15.9	29.0	2.2	23.4	28.1	1.5
年齢別	65歳～69歳	391	13.0	31.5	10.7	18.4	26.3	0.0
	70歳～74歳	478	12.3	40.4	3.1	20.7	23.0	0.4
	75歳～79歳	340	14.7	37.6	2.4	24.7	19.1	1.5
	80歳～84歳	281	13.9	28.1	3.6	26.0	27.4	1.1
	85歳～89歳	181	18.8	20.4	1.1	27.1	27.6	5.0
	90歳～94歳	85	23.5	12.9	0.0	24.7	36.5	2.4
	95歳～99歳	12	25.0	8.3	0.0	25.0	41.7	0.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	15.2	32.5	5.6	20.2	26.4	0.2
	袋井中部地域	388	15.7	32.5	3.4	23.2	23.7	1.5
	袋井南部地域	451	12.2	32.2	4.2	25.3	24.8	1.3
	浅羽地域	362	14.6	32.6	3.6	22.9	24.9	1.4

(5) 現在の要支援認定の状況(要支援度)についてお教えてください。(○はひとつ)

全体では「要支援認定者」が12.7%、「事業対象者(チェックリスト該当者)」が1.8%、「認定は受けていない」が85.6%となっています。

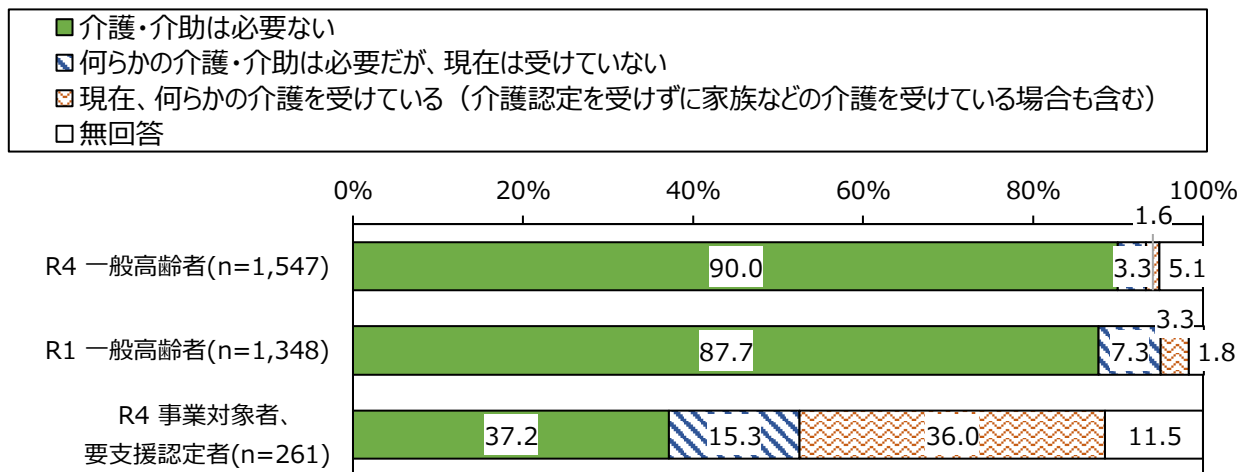


(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」が90.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「介護・介助は必要ない」が37.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が15.3%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が36.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」が増加しています。



(6) で「1. 介護・介助は必要ない」以外を回答された方にお伺いします。

(6) -① 介護、介助が必要になった主な原因はなんですか。(○はいくつでも)

一般高齢者では、「高齢による衰弱」が15.8%と最も高く、次いで「視覚・聴覚障害」が13.2%、「骨折・転倒」が11.8%、「関節の病気（リウマチ等）」が9.2%、「心臓病」と「糖尿病」がともに7.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「骨折・転倒」が27.6%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が17.9%、「糖尿病」が15.7%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が11.2%、「心臓病」と「関節の病気（リウマチ等）」と「視覚・聴覚障害」がいずれも9.0%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
R4 一般高齢者	76	5.3	7.9	5.3	5.3	9.2	3.9	2.6	7.9	1.3	13.2	11.8	3.9	15.8	14.5	0.0	32.9
R4 事業対象者、 要支援認定者	134	11.2	9.0	5.2	3.7	9.0	8.2	2.2	15.7	0.0	9.0	27.6	6.7	17.9	20.1	1.5	12.7

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「糖尿病」が高くなっています。また、女性で「骨折・転倒」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳以上で「高齢による衰弱」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「関節の病気（リウマチ等）」が高くなっています。

要介護度別にみると、他に比べ、要支援認定者で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		210	9.0	8.6	5.2	4.3	9.0	6.7	2.4	12.9	0.5	10.5	21.9	5.7	17.1	18.1	1.0	20.0
性別	男性	84	10.7	10.7	7.1	8.3	8.3	4.8	2.4	17.9	0.0	11.9	11.9	8.3	16.7	16.7	1.2	17.9
	女性	118	8.5	6.8	3.4	1.7	10.2	8.5	2.5	9.3	0.8	9.3	29.7	4.2	16.9	19.5	0.8	20.3
年齢別	65歳～69歳	14	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1	0.0	14.3
	70歳～74歳	25	20.0	8.0	8.0	4.0	12.0	12.0	8.0	20.0	4.0	16.0	4.0	4.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	75歳～79歳	29	13.8	6.9	0.0	3.4	6.9	13.8	3.4	24.1	0.0	0.0	27.6	6.9	6.9	27.6	0.0	13.8
	80歳～84歳	55	7.3	5.5	3.6	5.5	7.3	3.6	3.6	5.5	0.0	9.1	34.5	5.5	9.1	21.8	3.6	18.2
	85歳～89歳	50	8.0	12.0	6.0	2.0	12.0	4.0	0.0	14.0	0.0	12.0	16.0	2.0	14.0	24.0	0.0	26.0
	90歳～94歳	29	3.4	6.9	10.3	6.9	10.3	10.3	0.0	10.3	0.0	10.3	24.1	6.9	55.2	0.0	0.0	24.1
	95歳～99歳	8	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	12.5
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	67	10.4	9.0	9.0	6.0	9.0	6.0	1.5	16.4	0.0	14.9	22.4	7.5	19.4	17.9	1.5	16.4
	袋井中部地域	45	8.9	11.1	2.2	2.2	8.9	8.9	2.2	13.3	0.0	8.9	20.0	4.4	15.6	20.0	0.0	24.4
	袋井南部地域	48	8.3	8.3	2.1	4.2	16.7	8.3	2.1	12.5	2.1	12.5	18.8	4.2	18.8	10.4	0.0	18.8
	浅羽地域	47	8.5	6.4	6.4	4.3	2.1	4.3	4.3	6.4	0.0	4.3	23.4	6.4	14.9	25.5	2.1	21.3
要介護度別	一般高齢者	76	5.3	7.9	5.3	5.3	9.2	3.9	2.6	7.9	1.3	13.2	11.8	3.9	15.8	14.5	0.0	32.9
	事業対象者	11	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	27.3	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0	27.3
	要支援認定者	123	12.2	8.9	5.7	4.1	8.1	6.5	2.4	17.1	0.0	7.3	27.6	6.5	17.9	21.1	1.6	11.4

(6) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答された方にお伺いします。

(6) -② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「息子」が36.0%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が28.0%、「娘」が20.0%、「子の配偶者」12.0%、「孫」が8.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「娘」が33.0%と最も高く、次いで「息子」が29.8%、「配偶者(夫・妻)」が23.4%、「子の配偶者」が16.0%、「孫」が4.3%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
R4 一般高齢者	25	28.0	36.0	20.0	12.0	8.0	0.0	24.0	0.0
R4 事業対象者、 要支援認定者	94	23.4	29.8	33.0	16.0	4.3	2.1	24.5	6.4

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「配偶者」が高くなっています。また、女性で「息子」、「娘」、「子の配偶者」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、70歳～79歳で「配偶者（夫・妻）」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「子の配偶者」が高くなっています。

要介護度別にみると、一般高齢者と事業対象者で「息子」が、要支援認定者で「娘」が、それぞれ高くなっています。

単位：％

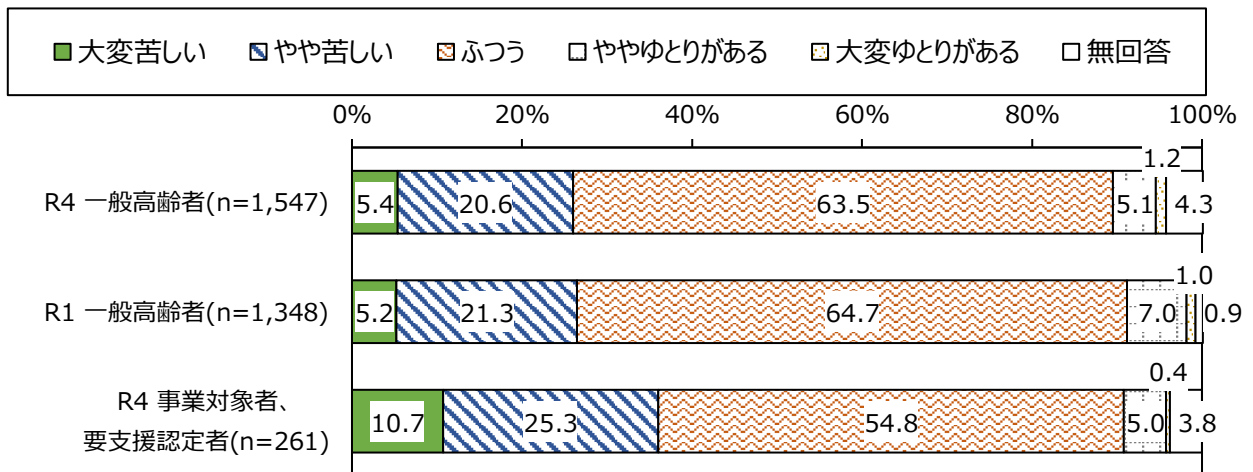
区分		回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	無回答
全体		119	24.4	31.1	30.3	15.1	5.0	1.7	24.4	5.0
性別	男性	39	33.3	20.5	17.9	5.1	5.1	2.6	35.9	7.7
	女性	76	19.7	38.2	34.2	21.1	5.3	1.3	19.7	3.9
年齢別	65歳～69歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0
	70歳～74歳	13	46.2	38.5	7.7	0.0	7.7	0.0	30.8	0.0
	75歳～79歳	17	52.9	29.4	47.1	11.8	5.9	5.9	23.5	0.0
	80歳～84歳	30	33.3	16.7	30.0	10.0	3.3	0.0	20.0	10.0
	85歳～89歳	29	10.3	34.5	31.0	24.1	10.3	0.0	27.6	6.9
	90歳～94歳	21	4.8	42.9	42.9	23.8	0.0	0.0	14.3	0.0
	95歳～99歳	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地区別	袋井北部地域	35	28.6	31.4	25.7	17.1	8.6	0.0	28.6	5.7
	袋井中部地域	28	25.0	25.0	35.7	7.1	3.6	0.0	14.3	7.1
	袋井南部地域	27	18.5	37.0	25.9	22.2	3.7	0.0	18.5	7.4
	浅羽地域	28	21.4	32.1	32.1	14.3	3.6	3.6	35.7	0.0
要介護度別	一般高齢者	25	28.0	36.0	20.0	12.0	8.0	0.0	24.0	0.0
	事業対象者	9	0.0	55.6	33.3	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0
	要支援認定者	85	25.9	27.1	32.9	15.3	4.7	2.4	23.5	7.1

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”が26.0%、「ふつう」が63.5%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”が6.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“苦しい”が36.0%、「ふつう」が54.8%、“ゆとりがある”が5.4%となっています。

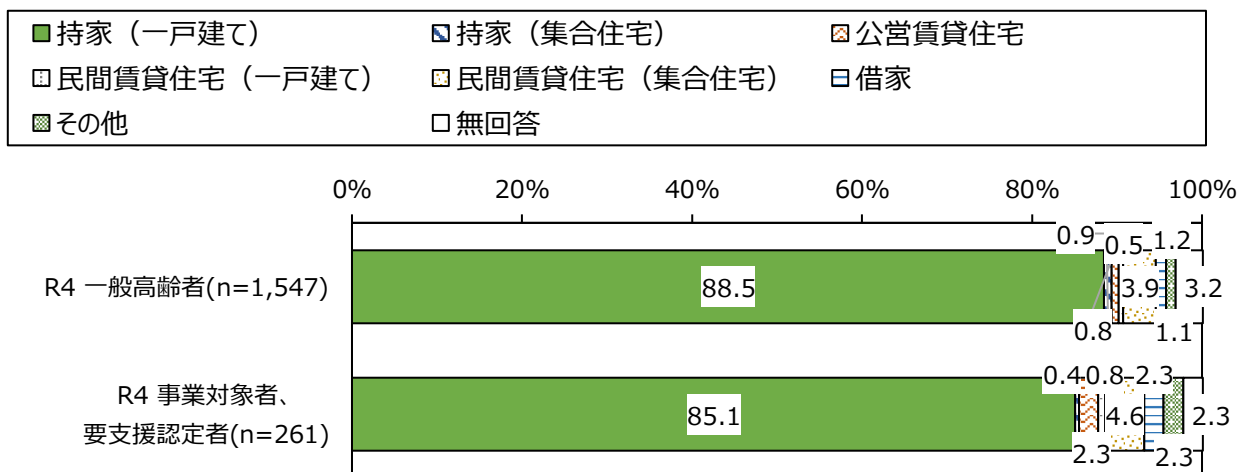
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、“ゆとりがある”が減少しています。



(8) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「持家（一戸建て）」が88.5%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「持家（一戸建て）」が85.1%と最も高くなっています。



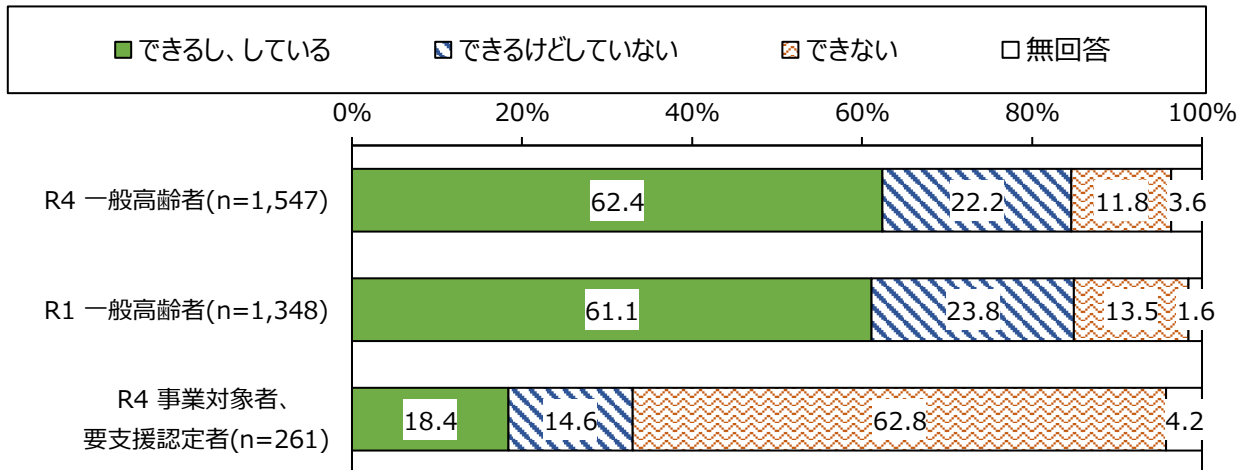
(問2) からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「できるし、している」が62.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.2%、「できない」が11.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できない」が62.8%と最も高く、次いで「できるし、している」が18.4%、「できるけどしていない」が14.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。

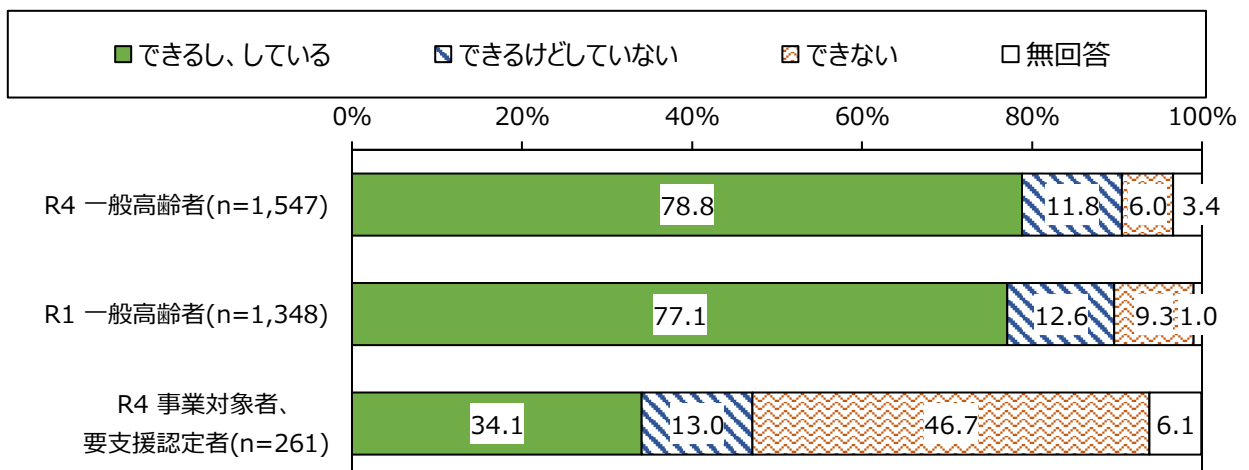


(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「できるし、している」が78.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が6.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できない」が46.7%と最も高く、次いで「できるし、している」が34.1%、「できるけどしていない」が13.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。

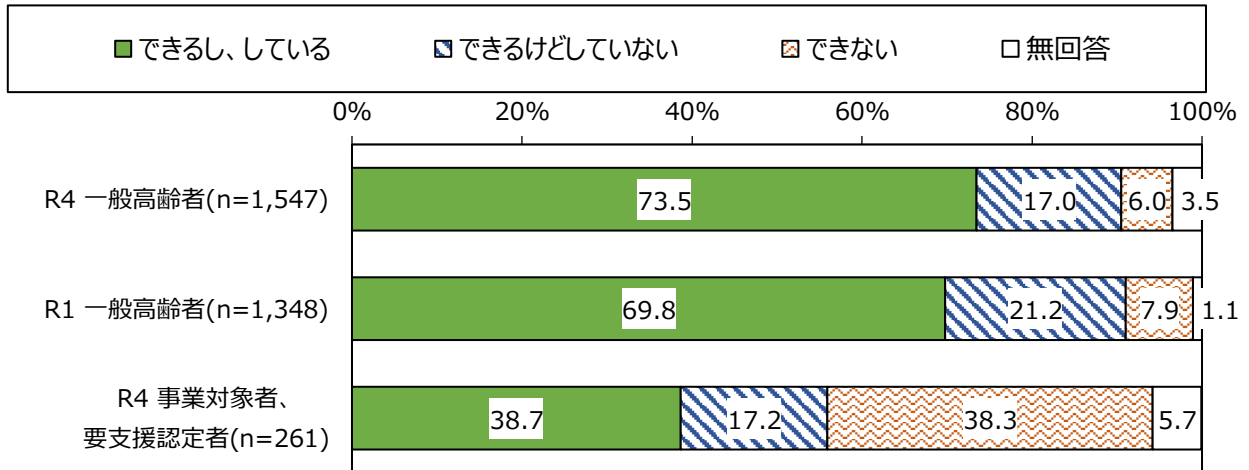


(3) 15分位続けて歩いていますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「できるし、している」が73.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.0%、「できない」が6.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が38.7%と最も高く、次いで「できない」が38.3%、「できるけどしていない」が17.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。

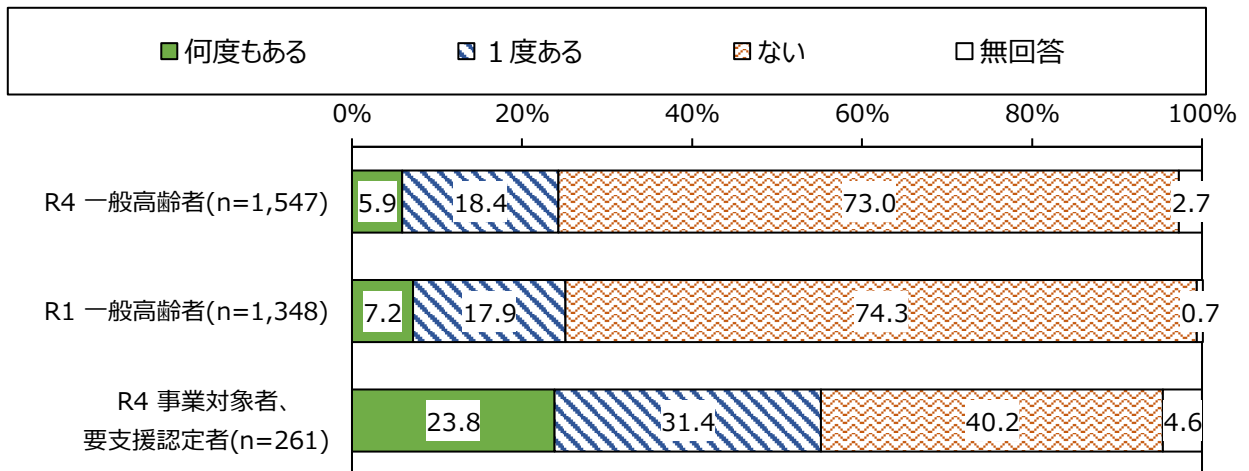


(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「ない」が73.0%と最も高く、次いで「1度ある」が18.4%、「何度もある」が5.9%となっています。

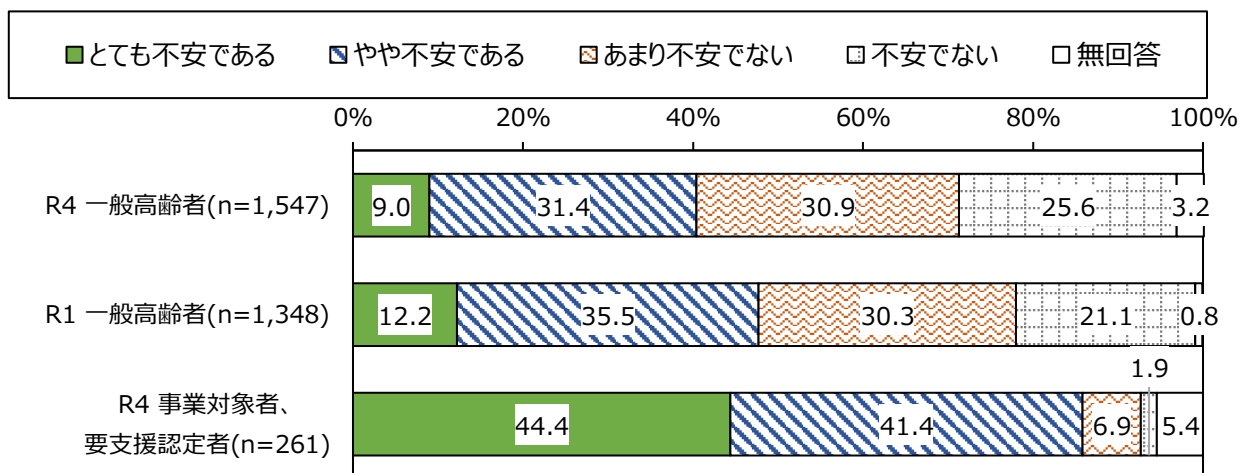
事業対象者、要支援認定者では、「ない」が40.2%と最も高く、次いで「1度ある」が31.4%、「何度もある」が23.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”が40.4%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”が56.5%となっています。事業対象者、要支援認定者では、“不安である”が85.8%、“不安でない”が8.8%となっています。令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、“不安でない”が増加しています。

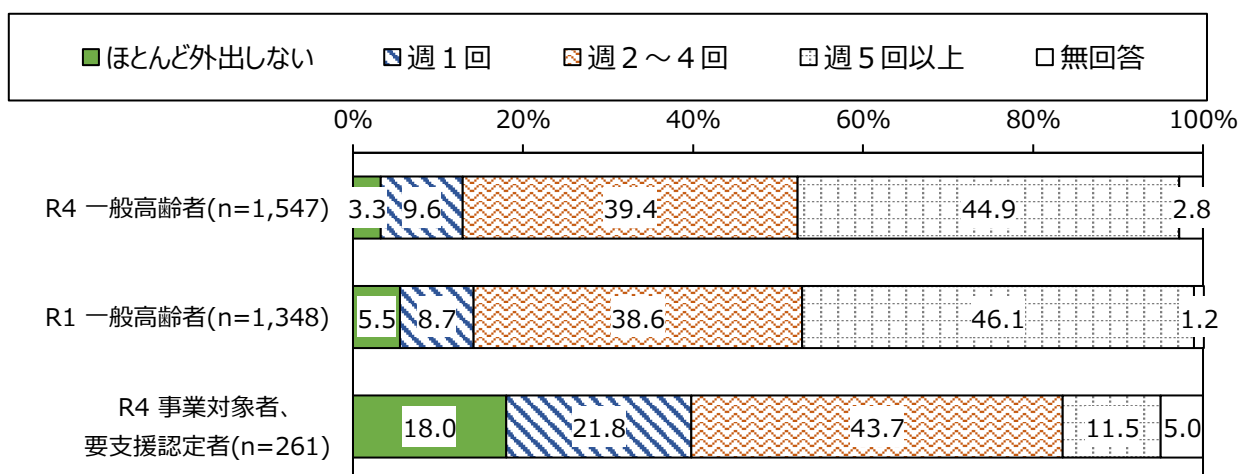


(6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「週5回以上」が44.9%と最も高く、次いで「週2～4回」が39.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「週2～4回」が43.7%と最も高く、次いで「週1回」が21.8%、「ほとんど外出しない」が18.0%、「週5回以上」が11.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者、「ほとんど外出しない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週5回以上」が高くなっています。また、女性で「週2～4回」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「週5回以上」が高くなっています。また、他に比べ、95歳～99歳で「ほとんど外出しない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「週5回以上」が高くなっています。

単位：%

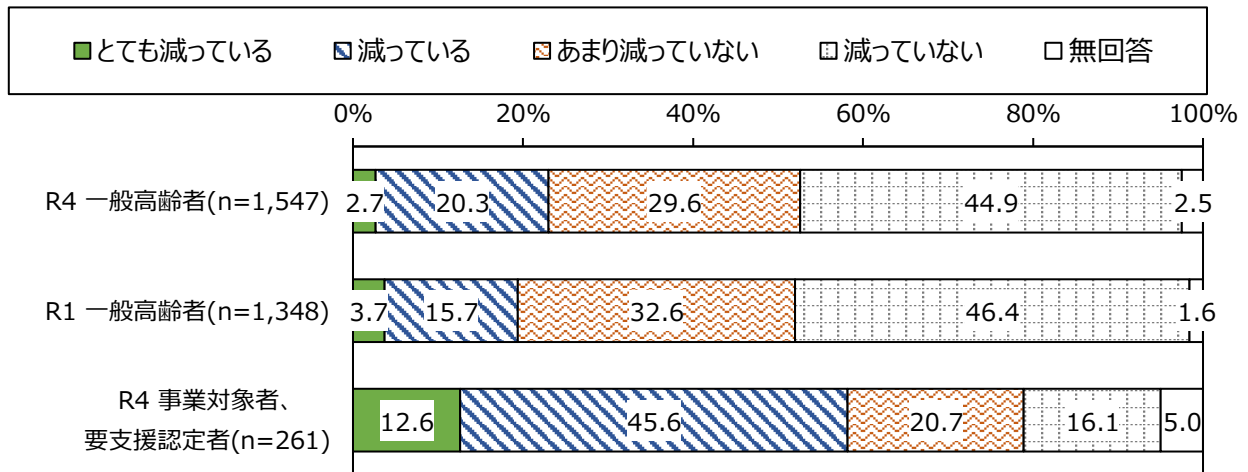
区分		回答者数 (件)	ほとんど 外出しない	週 1回	週 2～ 4回	週 5回 以上	無 回 答
全体		1,808	5.4	11.4	40.0	40.0	3.2
性別	男性	809	6.3	8.9	36.1	45.7	3.0
	女性	929	4.6	13.3	43.7	35.2	3.1
年齢別	65歳～69歳	391	2.6	4.9	37.9	52.9	1.8
	70歳～74歳	478	1.9	7.9	40.0	46.4	3.8
	75歳～79歳	340	4.1	10.0	37.9	45.3	2.6
	80歳～84歳	281	6.4	17.8	45.6	27.4	2.8
	85歳～89歳	181	15.5	20.4	38.7	21.0	4.4
	90歳～94歳	85	17.6	22.4	48.2	4.7	7.1
	95歳～99歳	12	25.0	41.7	25.0	8.3	0.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	6.3	10.8	39.7	39.5	3.6
	袋井中部地域	388	5.9	10.1	38.4	42.8	2.8
	袋井南部地域	451	6.0	11.3	39.2	39.7	3.8
	浅羽地域	362	3.0	13.5	43.1	37.8	2.5

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”が23.0%、「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”が74.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“減っている”が58.2%、“減っていない”が36.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、“減っている”が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“減っていない”が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ“減っていない”が高くなっています。

居住地区別で見ると、他に比べ、浅羽地域で“減っている”が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	
全体	1,808	4.1	23.9	28.3	40.7	2.9	
性別	男性	809	3.0	21.1	26.5	46.8	2.6
	女性	929	5.3	25.9	30.0	35.7	3.0
年齢別	65歳～69歳	391	2.0	16.6	26.1	53.7	1.5
	70歳～74歳	478	1.9	19.9	29.9	45.0	3.3
	75歳～79歳	340	3.2	22.4	31.2	41.2	2.1
	80歳～84歳	281	5.7	27.0	33.1	31.7	2.5
	85歳～89歳	181	8.8	40.3	21.0	25.4	4.4
	90歳～94歳	85	15.3	37.6	23.5	15.3	8.2
	95歳～99歳	12	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-

単位：％

区分		回答者数(件)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
居住地区別	袋井北部地域	554	4.7	22.0	26.9	42.8	3.6
	袋井中部地域	388	3.9	23.7	29.1	41.2	2.1
	袋井南部地域	451	4.4	24.6	27.5	40.4	3.1
	浅羽地域	362	3.3	26.2	31.5	36.5	2.5

(8) どのような用件で外出していますか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「買い物」が 86.2%と最も高く、次いで「医療機関への通院」が 65.5%、「散歩」が 45.6%、「仕事」が 40.7%、「外食」が 26.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「医療機関への通院」が 72.8%と最も高く、次いで「買い物」が 60.2%、「デイケア・デイサービスの利用」が 35.2%、「散歩」が 32.2%、「通いの場への参加」が 10.7%となっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	買い物	仕事	医療機関への通院	外食	旅行	散歩	デイケア・デイサービスの利用	通いの場への参加	学習活動	健康づくり・スポーツ活動	地域活動	その他	外出はほとんどしない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	86.2	40.7	65.5	26.4	14.7	45.6	0.5	9.9	10.8	21.5	18.9	7.5	1.6	2.4
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	60.2	7.7	72.8	8.8	1.5	32.2	35.2	10.7	4.2	3.1	6.1	6.5	9.2	4.2

【令和元年度調査】

単位：％

区分	回答者数(件)	買い物	仕事	医療機関への通院	デイケア・デイサービスの利用	市が実施する介護予防教室等	外食	旅行	散歩	通いの場への参加	学習活動	健康づくり・スポーツ活動	地域活動	友人や子どもの家などへの訪問	その他	外出はほとんどしない	無回答
R1 一般高齢者	1,348	81.7	42.1	61.8	-	2.4	31.1	23.3	42.6	13.6	12.5	20.9	17.7	21.9	7.2	0.8	1.1

※令和元年度調査では、選択肢項目が異なる。

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事」が高くなっています。また、女性で「買い物」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「旅行」が高くなっています。また、他に比べ、95歳～99歳で「外出はほとんどしない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽地域で「仕事」が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	買い物	仕事	医療機関への通院	外食	旅行	散歩	デイケア・デイサービスの利用	通いの場への参加	学習活動	健康づくり・スポーツ活動	地域活動	その他	外出はほとんどしない	無回答	
全体	1,808	82.4	36.0	66.6	23.9	12.8	43.6	5.5	10.0	9.8	18.9	17.0	7.4	2.7	2.7	
性別	男性	809	77.6	44.5	61.9	23.1	14.3	44.7	2.7	5.3	5.6	18.5	22.1	7.3	2.5	2.3
	女性	929	87.3	27.9	70.7	24.9	11.1	42.2	7.9	14.6	13.9	19.3	12.7	7.5	2.8	2.8
年齢別	65歳～69歳	391	89.8	54.2	59.3	36.1	19.7	40.9	1.0	3.1	10.5	23.0	23.8	7.4	0.8	1.5
	70歳～74歳	478	82.4	41.6	64.0	27.6	13.8	48.7	1.5	9.0	9.2	21.3	22.6	9.0	0.4	3.3
	75歳～79歳	340	86.5	33.5	69.1	22.1	12.6	48.5	3.8	12.9	10.9	18.8	15.0	7.6	2.4	2.1
	80歳～84歳	281	84.3	21.0	75.4	13.2	8.2	44.8	10.0	15.3	11.4	19.6	9.3	5.0	2.8	2.5
	85歳～89歳	181	69.6	16.6	69.1	14.9	5.0	34.3	14.9	12.7	7.7	11.6	10.5	7.2	7.7	2.8
	90歳～94歳	85	60.0	15.3	67.1	9.4	4.7	25.9	22.4	15.3	8.2	4.7	2.4	5.9	9.4	7.1
	95歳～99歳	12	50.0	8.3	75.0	0.0	0.0	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	41.7	0.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

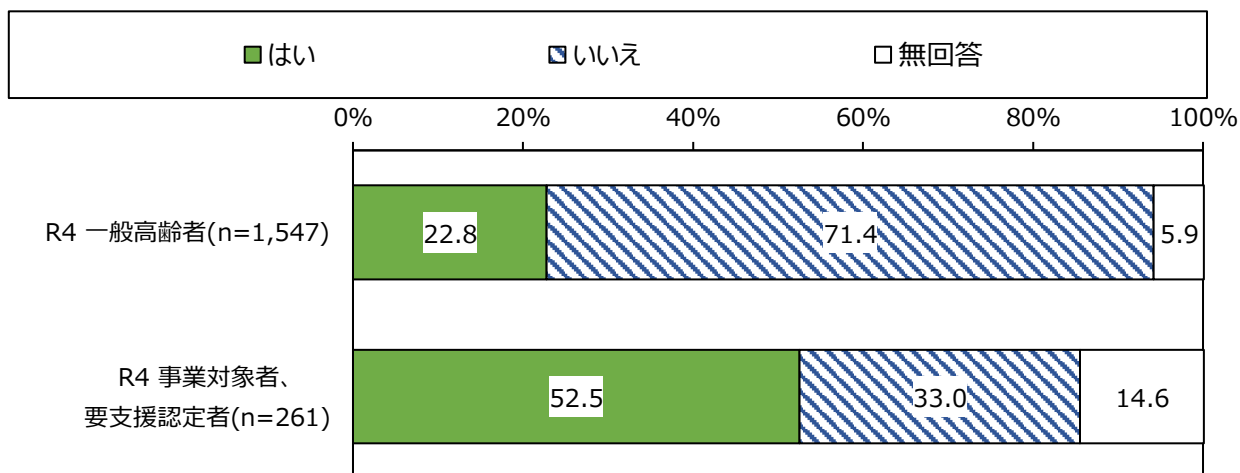
単位：％

区分		回答者数(件)	買い物	仕事	医療機関への通院	外食	旅行	散歩	デイケア・デイサービスの利用	通いの場への参加	学習活動	健康づくり・スポーツ活動	地域活動	その他	外出はほとんどしない	無回答
居住地区別	袋井北部地域	554	81.6	37.5	65.2	23.5	13.5	43.3	4.0	8.8	6.9	18.6	17.3	6.5	3.2	3.6
	袋井中部地域	388	84.3	33.5	68.0	26.5	13.1	46.1	7.7	10.6	11.9	18.3	17.8	7.0	1.5	1.8
	袋井南部地域	451	81.8	31.3	67.6	21.1	13.5	43.9	5.1	10.9	11.3	21.3	17.7	8.0	3.8	2.9
	浅羽地域	362	82.3	40.1	65.5	24.9	9.7	41.4	5.8	11.0	11.0	18.0	15.7	8.3	1.7	2.2

(9) 外出を控えていますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が22.8%、「いいえ」が71.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が52.5%、「いいえ」が33.0%となっています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳以上で「はい」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽地域で「いいえ」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体		1,808	27.0	65.8	7.1
性別	男性	809	20.6	73.7	5.7
	女性	929	32.0	59.6	8.4
年齢別	65歳～69歳	391	19.2	78.5	2.3
	70歳～74歳	478	24.3	70.5	5.2
	75歳～79歳	340	22.9	70.9	6.2
	80歳～84歳	281	31.7	56.9	11.4
	85歳～89歳	181	38.7	48.1	13.3
	90歳～94歳	85	50.6	32.9	16.5
	95歳～99歳	12	58.3	16.7	25.0
	100歳以上	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	28.5	64.6	6.9
	袋井中部地域	388	27.3	66.0	6.7
	袋井南部地域	451	27.1	65.0	8.0
	浅羽地域	362	24.6	68.2	7.2

(9) で「1. はい (外出を控えている)」と回答された方にお伺いします。

(9) - ① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「感染対策」が71.3%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が25.0%、「交通手段がない」が11.9%、「トイレの心配 (失禁など)」が9.9%、「外での楽しみがない」が9.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「足腰などの痛み」が65.0%と最も高く、次いで「感染対策」が35.8%、「交通手段がない」が27.7%、「トイレの心配 (失禁など)」が18.2%、「病気」が15.3%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害 (聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	交通手段がない	感染対策	その他	無回答
一般高齢者	352	8.2	0.9	25.0	9.9	4.5	5.1	9.1	11.9	71.3	8.8	1.4
事業対象者、 要支援認定者	137	15.3	1.5	65.0	18.2	12.4	10.9	10.2	27.7	35.8	8.8	0.7

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「目の障害」が高くなっています。また、女性で「感染対策」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「足腰などの痛み」が高くなっています。また、他に比べ、70歳～74歳で「感染対策」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「交通手段がない」が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病 気	障 害 (脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 (失 禁 な ど)	耳 の 障 害 (聞 こ え の 問 題 な ど)	目 の 障 害	外 で の 楽 し み が な い	交 通 手 段 が な い	感 染 対 策	そ の 他	無 回 答	
全体	489	10.2	1.0	36.2	12.3	6.7	6.7	9.4	16.4	61.3	8.8	1.2	
性別	男性	167	12.6	2.4	32.3	15.0	7.8	10.2	8.4	56.3	10.2	0.6	
	女性	297	8.8	0.3	37.4	11.8	6.1	4.7	10.8	64.3	8.4	1.3	
年齢別	65歳～69歳	75	8.0	1.3	16.0	5.3	4.0	2.7	5.3	2.7	77.3	13.3	1.3
	70歳～74歳	116	12.1	0.9	17.2	12.9	1.7	6.0	6.9	3.4	79.3	7.8	0.0
	75歳～79歳	78	7.7	2.6	34.6	7.7	1.3	5.1	14.1	17.9	71.8	9.0	0.0
	80歳～84歳	89	12.4	0.0	51.7	16.9	10.1	7.9	11.2	25.8	47.2	9.0	1.1
	85歳～89歳	70	14.3	0.0	52.9	21.4	8.6	14.3	12.9	31.4	34.3	7.1	1.4
	90歳～94歳	43	2.3	2.3	62.8	9.3	20.9	4.7	7.0	30.2	37.2	7.0	7.0
	95歳～99歳	7	14.3	0.0	57.1	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	158	10.1	1.3	36.7	12.7	8.9	6.3	12.0	19.0	61.4	9.5	1.3
	袋井中部地域	106	10.4	0.0	35.8	12.3	3.8	9.4	4.7	8.5	62.3	6.6	0.9
	袋井南部地域	122	9.8	1.6	35.2	13.1	5.7	5.7	9.8	22.1	61.5	7.4	1.6
	浅羽地域	89	11.2	1.1	36.0	11.2	7.9	6.7	7.9	14.6	60.7	11.2	1.1

(10) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」が71.7%と最も高く、次いで「徒歩」が47.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が22.7%、「自転車」が22.6%、「電車」が7.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「自動車（人に乗せてもらう）」が58.6%と最も高く、次いで「徒歩」が34.5%、「自動車（自分で運転）」が17.6%、「歩行器・シルバーカー」が16.5%、「タクシー」が11.5%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	自主運行バス	車いす	電動車いす (シニアカー)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
R4 一般高齢者	1,547	47.4	22.6	2.6	71.7	22.7	7.5	5.0	1.0	0.0	0.1	0.8	5.2	0.7	5.6
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	34.5	8.4	0.4	17.6	58.6	1.5	3.1	3.1	2.3	2.3	16.5	11.5	3.8	6.1

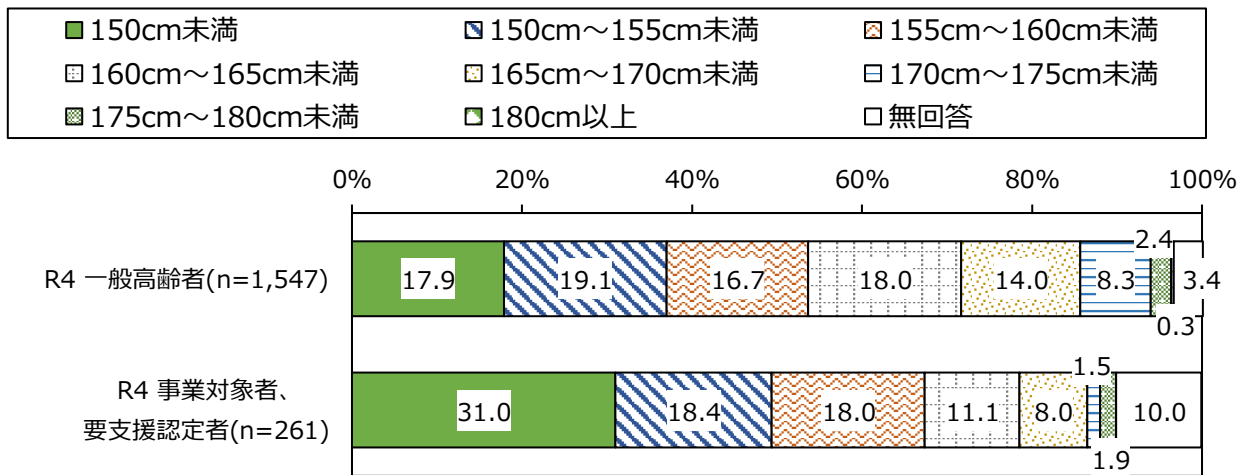
(問3) 食べることについて

(1) あなたの身長・体重を教えてください。(それぞれ数値を記入)

【身長】

一般高齢者では、「150cm～155cm未満」が19.1%と最も高く、次いで「160cm～165cm未満」が18.0%、「150cm未満」が17.9%、「155cm～160cm未満」が16.7%、「165cm～170cm未満」が14.0%となっています。

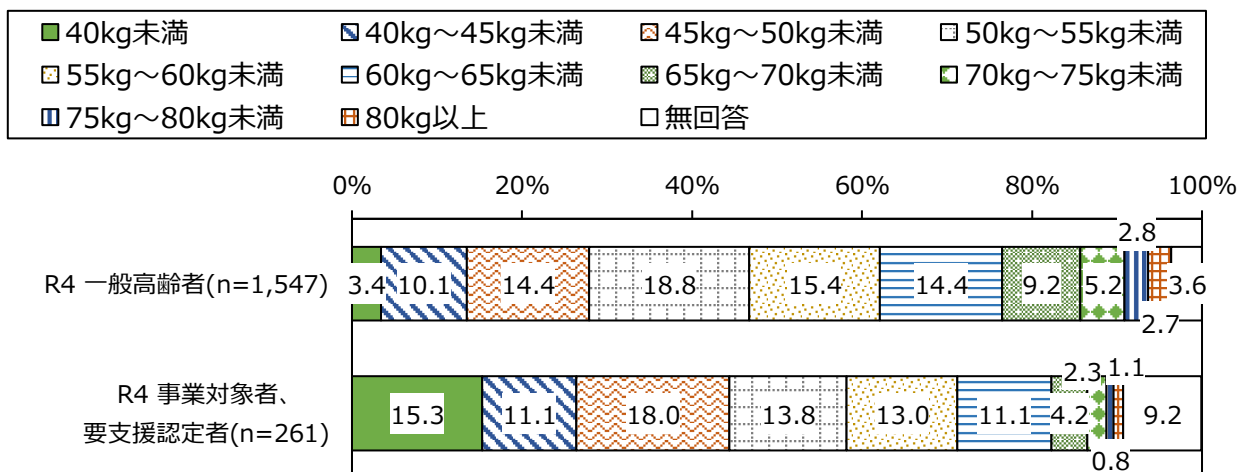
事業対象者、要支援認定者では、「150cm未満」が31.0%と最も高く、次いで「150cm～155cm未満」が18.4%、「155cm～160cm未満」が18.0%、「160cm～165cm未満」が11.1%、「165cm～170cm未満」が8.0%となっています。



【体重】

一般高齢者では、「50kg～55kg未満」が18.8%と最も高く、次いで「55kg～60kg未満」が15.4%、「45kg～50kg未満」と「60kg～65kg未満」がともに14.4%、「40kg～45kg未満」が10.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「45kg～50kg未満」が18.0%と最も高く、次いで「40kg未満」が15.3%、「50kg～55kg未満」が13.8%、「55kg～60kg未満」が13.0%、「60kg～65kg未満」が11.1%となっています。

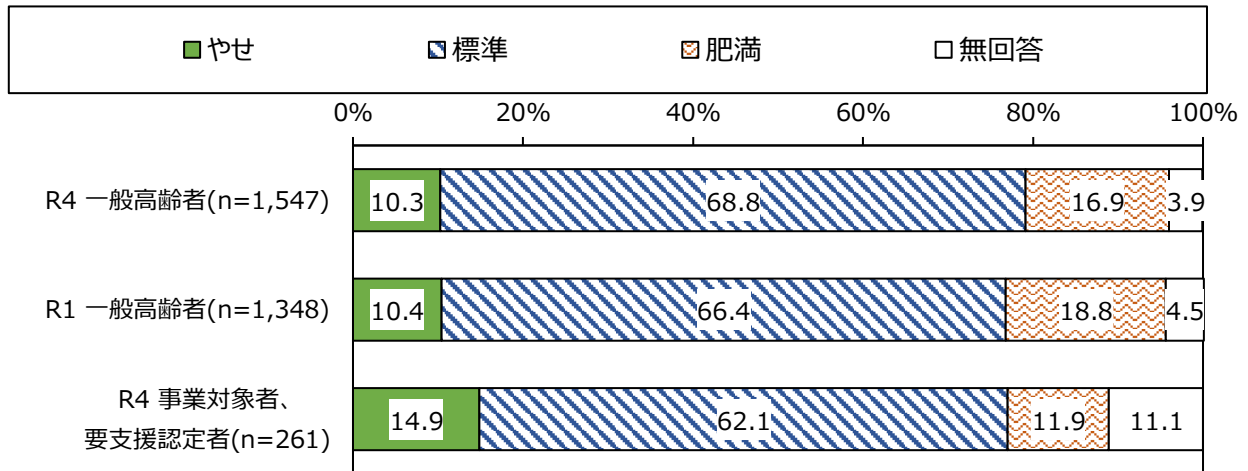


【BMI】

一般高齢者では、「標準」が68.8%と最も高く、次いで「肥満」が16.9%、「やせ」が10.3%となっています。

事業対象者では、「標準」が62.1%と最も高く、次いで「やせ」が14.9%、「肥満」が11.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「標準」が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「肥満」が高くなっています。また、女性で「やせ」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「やせ」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「肥満」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	やせ	標準	肥満	無回答	
全体	1,808	11.0	67.9	16.2	5.0	
性別	男性	809	7.0	71.4	17.7	3.8
	女性	929	14.2	64.7	15.2	5.9
年齢別	65歳～69歳	391	7.4	66.5	24.3	1.8
	70歳～74歳	478	9.2	68.8	17.8	4.2
	75歳～79歳	340	12.1	70.0	14.1	3.8
	80歳～84歳	281	9.3	75.1	11.0	4.6
	85歳～89歳	181	17.7	59.1	11.6	11.6
	90歳～94歳	85	28.2	52.9	5.9	12.9
	95歳～99歳	12	16.7	58.3	0.0	25.0
100歳以上	-	-	-	-	-	

単位：％

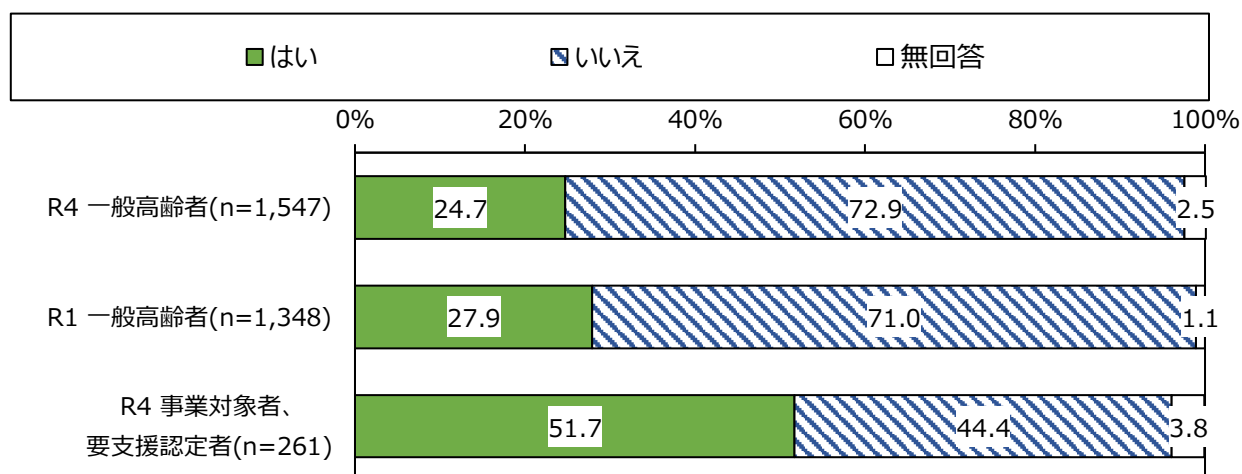
区分		回答者数 (件)	やせ	標準	肥満	無回答
居住地区別	袋井北部地域	554	11.2	67.3	15.5	6.0
	袋井中部地域	388	11.6	67.8	17.3	3.4
	袋井南部地域	451	10.9	69.0	14.9	5.3
	浅羽地域	362	11.0	67.7	16.0	5.2

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が24.7%、「いいえ」が72.9%なっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が51.7%、「いいえ」が44.4%となっています。

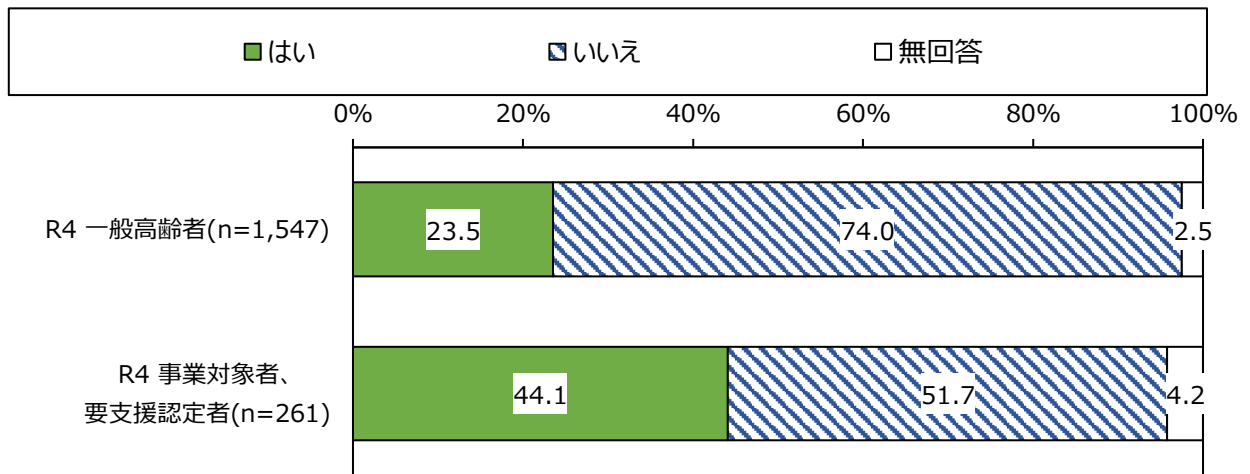
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が減少しています。



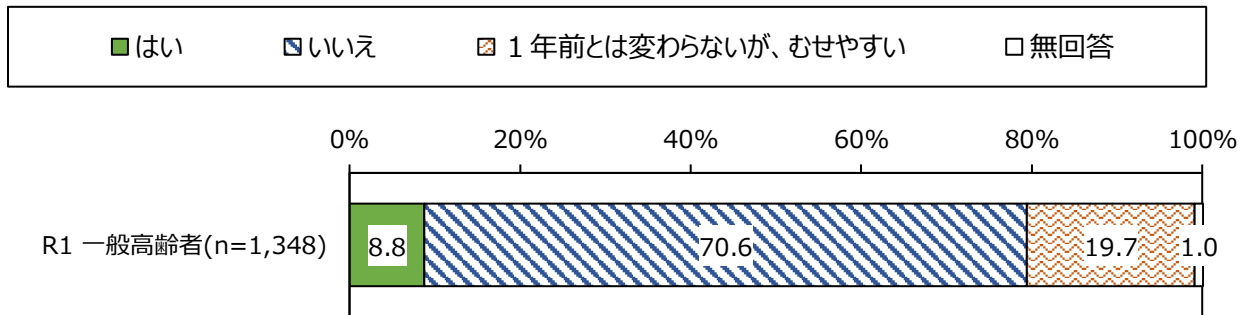
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が23.5%、「いいえ」が74.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が44.1%、「いいえ」が51.7%となっています。



【令和元年度調査】



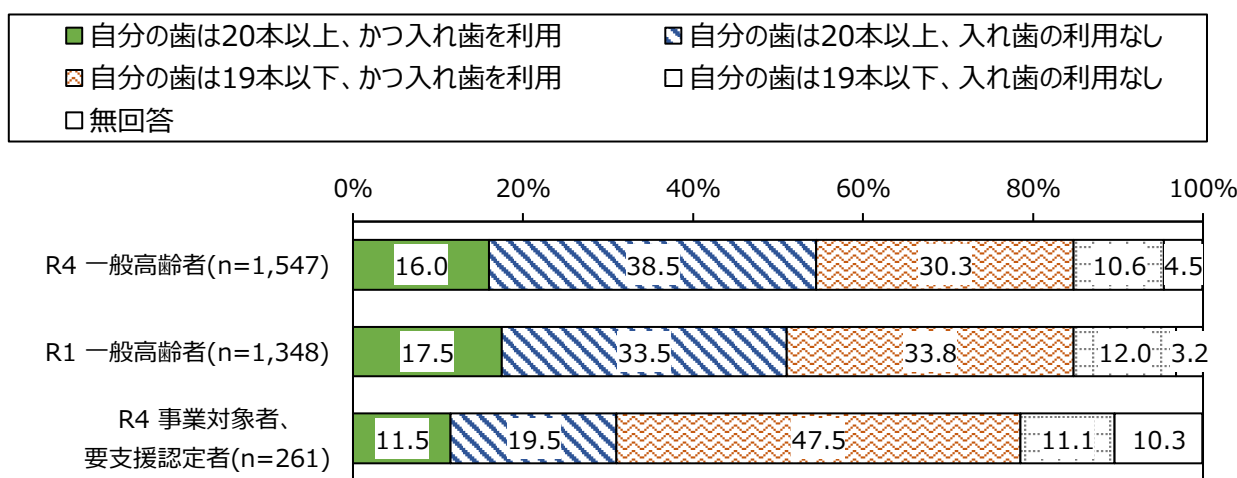
※令和元年度調査では、選択肢項目が異なる。

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○はひとつ)
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

一般高齢者では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が38.5%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が30.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.0%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が10.6%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が47.5%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が19.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が11.5%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が増加しています。

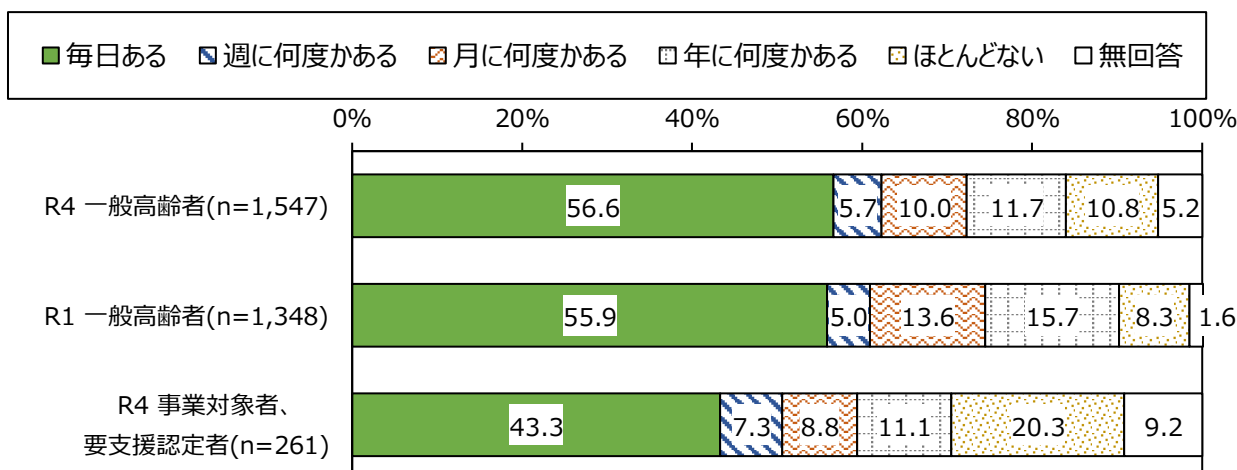


(5) どなたかと食事をもにすることはありますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「毎日ある」が56.6%と最も高く、次いで「年に何度かある」が11.7%、「ほとんどない」が10.8%、「月に何度かある」が10.0%、「週に何度かある」が5.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「毎日ある」が43.3%と最も高く、次いで「ほとんどない」が20.3%、「年に何度かある」が11.1%、「月に何度かある」が8.8%、「週に何度かある」が7.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「ほとんどない」が増加しています。



(6) 毎日とっているタンパク質はなんですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「大豆製品」が65.0%と最も高く、次いで「乳製品」が60.2%、「卵」が59.6%、「肉」が55.5%、「魚」が55.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「魚」が60.2%と最も高く、次いで「大豆製品」が57.9%、「卵」が56.3%、「肉」が53.3%、「乳製品」が52.1%となっています。

区分	回答者数 (件)	肉	魚	卵	大豆製品	乳製品	無回答
一般高齢者	1,547	55.5	55.1	59.6	65.0	60.2	5.0
事業対象者、 要支援認定者	261	53.3	60.2	56.3	57.9	52.1	8.8

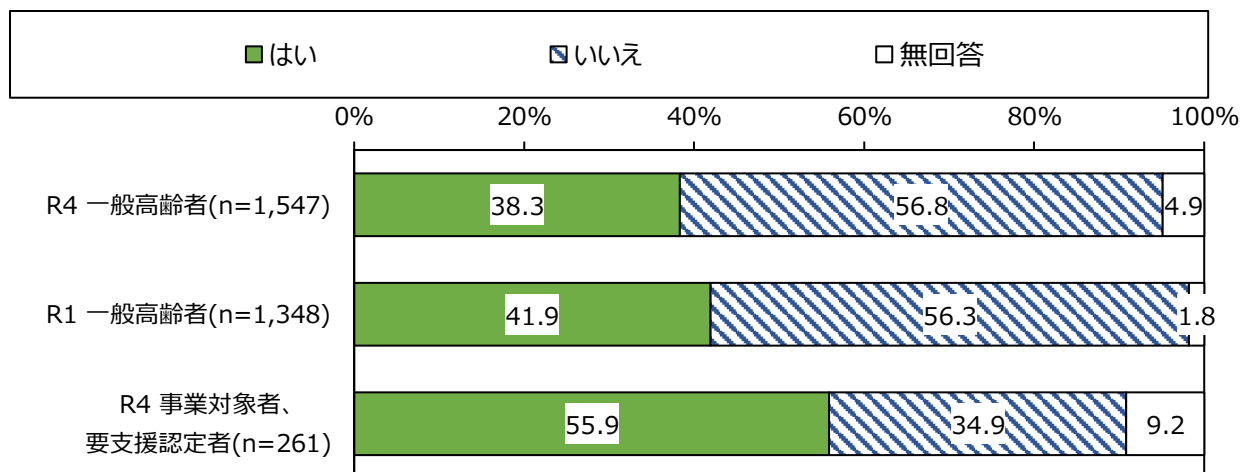
(問4) 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が38.3%、「いいえ」が56.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が55.9%、「いいえ」が34.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【外出頻度との関係】

外出頻度との関係を見ると、物忘れが多いと感じている人（「はい」）は、感じていない人（「いいえ」）に比べ、外出の頻度が少ない傾向が見られます。

単位：%

区分	回答者数(件)	週に1回以上は外出していますか。				
		ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	1,808	5.4	11.4	40.0	40.0	3.2
物忘れ多い	はい	7.8	13.7	41.0	35.5	2.0
	いいえ	3.8	9.3	40.6	43.8	2.6

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【趣味の有無との関係】

趣味の有無との関係を見ると、物忘れが多いと感じている人は、感じていない人に比べて「思いつかない」が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	趣味はありますか		
		趣味あり	思いつかない	無回答
全体	1,808	60.6	29.7	9.7
物忘れ多い	はい	58.2	35.0	6.8
	いいえ	66.0	27.7	6.3

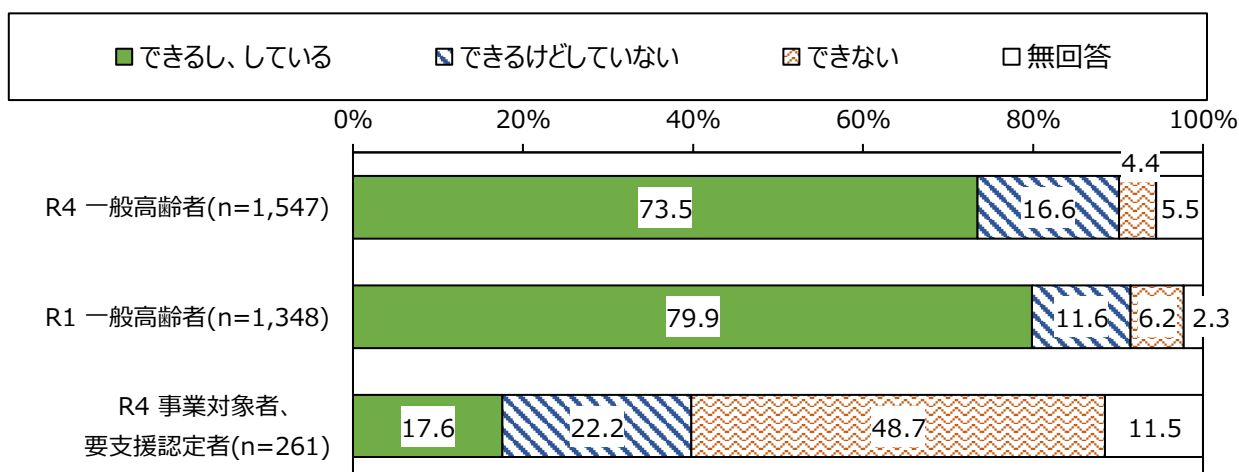
(2) 日常生活について、次の①～⑦のそれぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。(各項目に、○はひとつずつ)

①バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

一般高齢者では、「できるし、している」が73.5%、「できるけどしていない」が16.6%、「できない」が4.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できない」が48.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.2%、「できるし、している」が17.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるけどしていない」が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるし、している」が高くなっています。また、女性で「できない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「できるし、している」が高くなっています。また、他に比べ、90歳～94歳で「できない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「できない」が高くなっています。

単位：％

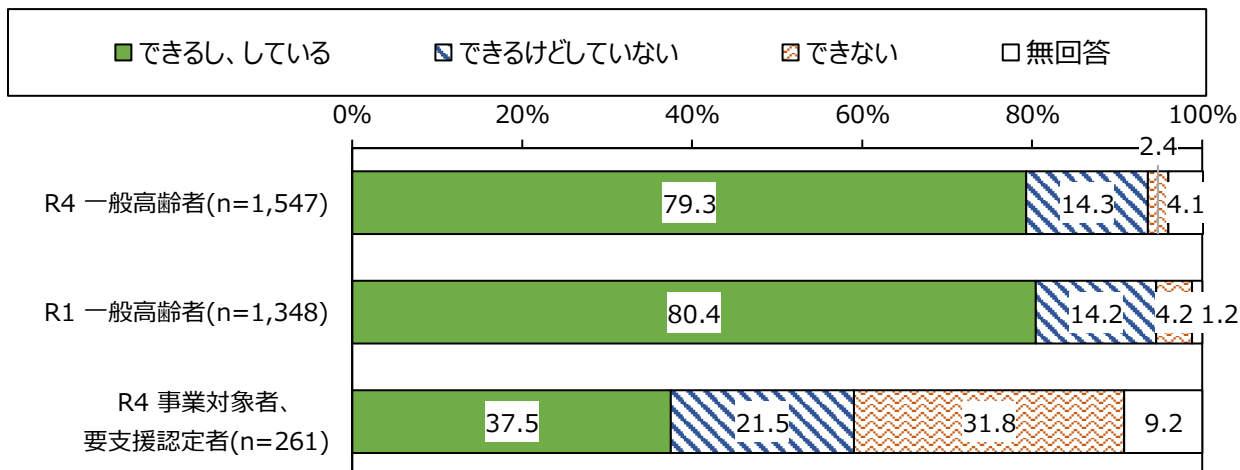
区分		回答者数 (件)	できるし、 している	どちらか とどちらでもない	できない	無回答
全体		1,808	65.4	17.4	10.8	6.4
性別	男性	809	69.2	16.4	7.5	6.8
	女性	929	63.0	17.8	13.8	5.5
年齢別	65歳～69歳	391	81.8	11.8	2.3	4.1
	70歳～74歳	478	74.7	18.4	2.9	4.0
	75歳～79歳	340	72.4	15.0	7.1	5.6
	80歳～84歳	281	53.0	20.6	16.7	9.6
	85歳～89歳	181	37.0	26.0	30.4	6.6
	90歳～94歳	85	18.8	20.0	43.5	17.6
	95歳～99歳	12	16.7	16.7	41.7	25.0
	100歳以上	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	65.5	17.1	10.6	6.7
	袋井中部地域	388	67.5	16.5	12.1	3.9
	袋井南部地域	451	61.6	20.8	10.0	7.5
	浅羽地域	362	68.0	14.9	10.8	6.4

②自分で食品・日用品の買物をしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」が79.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が2.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が37.5%と最も高く、次いで「できない」が31.8%、「できるけどしていない」が21.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」が高くなっています。また、女性で「できるし、している」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「できるし、している」が高くなっています。また、他に比べ、95歳～99歳で「できない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「できるし、している」が低くなっています。

単位：％

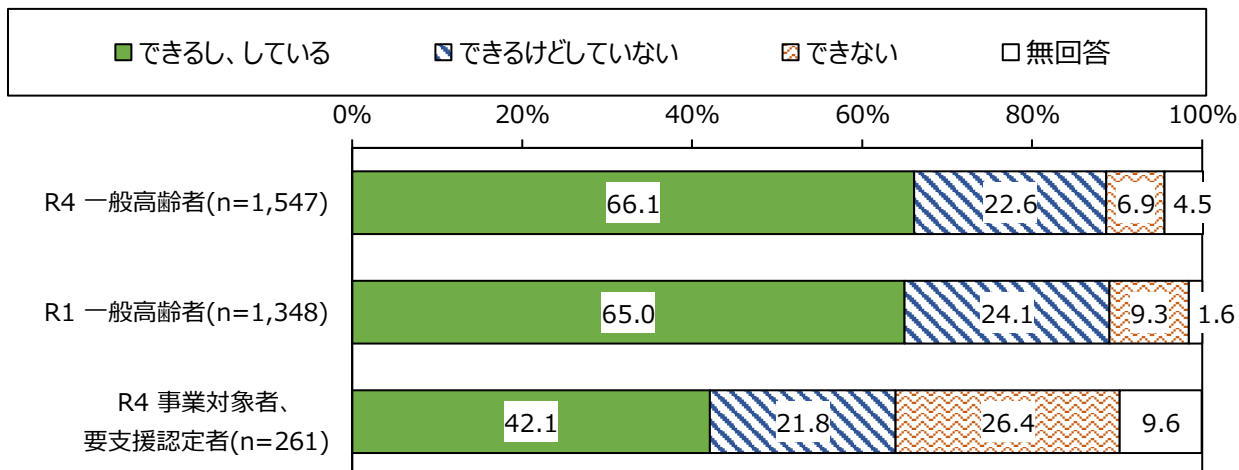
区分		回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,808	73.2	15.3	6.6	4.8
性別	男性	809	65.6	22.9	5.7	5.8
	女性	929	80.6	8.4	7.3	3.7
年齢別	65歳～69歳	391	86.7	7.9	1.5	3.8
	70歳～74歳	478	80.1	14.9	1.7	3.3
	75歳～79歳	340	77.4	12.6	4.7	5.3
	80歳～84歳	281	67.6	18.5	8.9	5.0
	85歳～89歳	181	53.6	27.1	16.0	3.3
	90歳～94歳	85	29.4	23.5	31.8	15.3
	95歳～99歳	12	16.7	33.3	41.7	8.3
	100歳以上	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	72.2	15.5	6.5	5.8
	袋井中部地域	388	77.3	12.1	8.2	2.3
	袋井南部地域	451	71.4	16.4	6.4	5.8
	浅羽地域	362	73.2	17.4	5.2	4.1

③自分で食事の用意をしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」が66.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.6%、「できない」が6.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が42.1%と最も高く、次いで「できない」が26.4%、「できるけどしていない」が21.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」が高くなっています。また、女性で「できるし、している」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「できるし、している」が高くなっています。また、他に比べ、95歳～99歳で「できない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「できない」が高くなっています。

単位：％

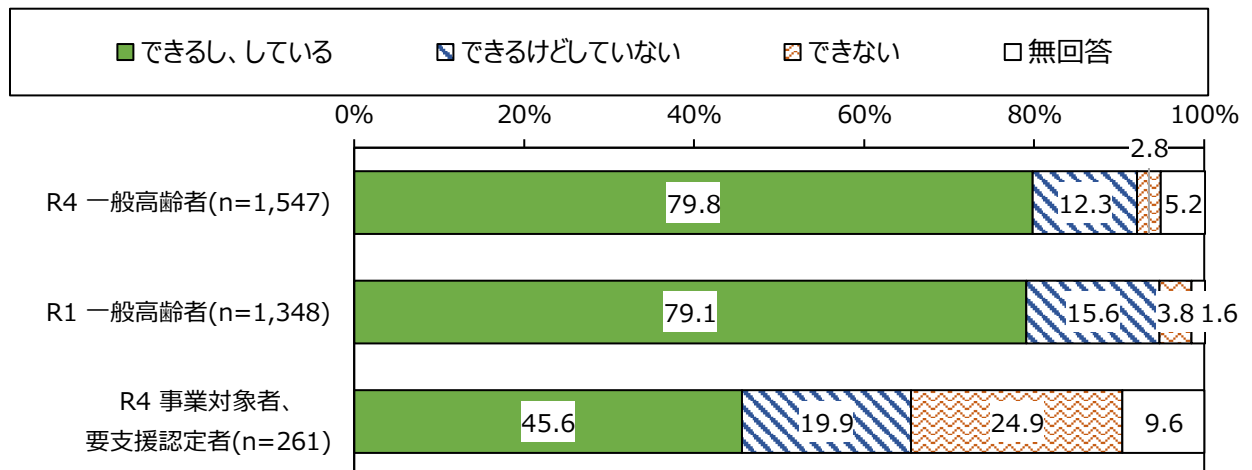
区分		回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,808	62.6	22.5	9.7	5.3
性別	男性	809	38.4	40.2	15.0	6.4
	女性	929	83.9	6.9	5.3	4.0
年齢別	65歳～69歳	391	72.6	21.0	2.3	4.1
	70歳～74歳	478	67.4	22.6	6.3	3.8
	75歳～79歳	340	62.4	22.6	10.9	4.1
	80歳～84歳	281	59.8	22.1	12.5	5.7
	85歳～89歳	181	47.5	28.2	18.2	6.1
	90歳～94歳	85	36.5	21.2	24.7	17.6
	95歳～99歳	12	33.3	25.0	33.3	8.3
100歳以上	-	-	-	-	-	
居住地区別	袋井北部地域	554	63.0	21.7	9.2	6.1
	袋井中部地域	388	63.9	21.1	11.9	3.1
	袋井南部地域	451	61.9	23.5	8.4	6.2
	浅羽地域	362	61.3	25.1	9.4	4.1

④自分で請求書の支払いをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」が79.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.3%、「できない」が2.8%、となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が45.6%と最も高く、次いで「できない」が24.9%、「できるけどしていない」が19.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」が高くなっています。また、女性で「できるし、している」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「できるし、している」が高くなっています。また、他に比べ、95歳～99歳で「できない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「できるし、している」が高くなっています。

単位：％

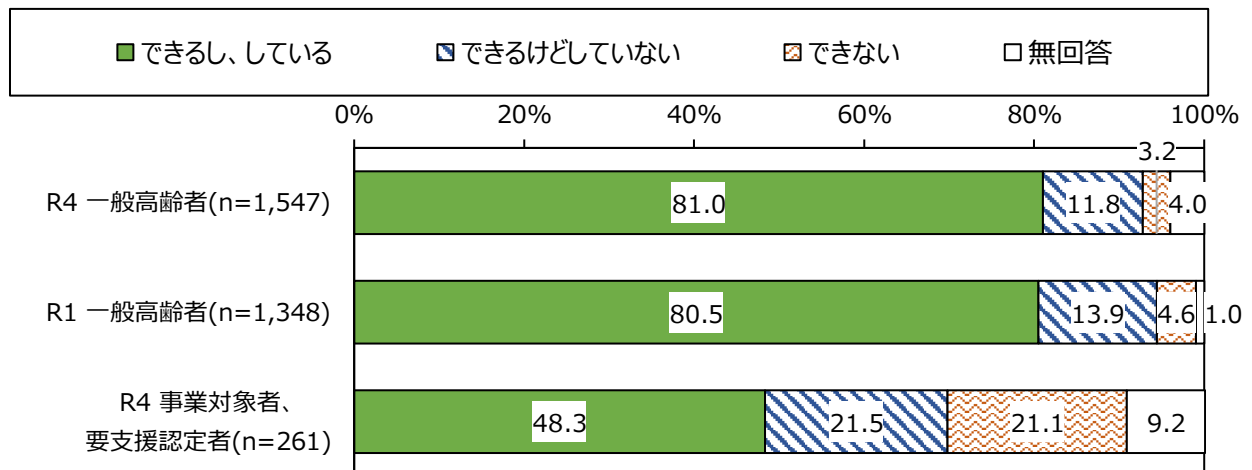
区分		回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,808	74.8	13.4	6.0	5.8
性別	男性	809	66.7	20.5	6.4	6.3
	女性	929	82.3	6.8	5.7	5.2
年齢別	65歳～69歳	391	86.4	8.7	1.0	3.8
	70歳～74歳	478	82.2	11.9	1.9	4.0
	75歳～79歳	340	75.3	14.1	5.6	5.0
	80歳～84歳	281	65.1	17.4	7.8	9.6
	85歳～89歳	181	63.0	18.2	14.9	3.9
	90歳～94歳	85	42.4	16.5	23.5	17.6
	95歳～99歳	12	50.0	8.3	33.3	8.3
	100歳以上	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	73.1	15.2	5.4	6.3
	袋井中部地域	388	78.4	9.5	8.5	3.6
	袋井南部地域	451	74.5	13.3	5.3	6.9
	浅羽地域	362	74.6	15.5	5.0	5.0

⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」が81.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が3.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が48.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.5%、「できない」が21.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」が高くなっています。また、女性で「できるし、している」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「できるし、している」が高くなっています。また、他に比べ、90歳～94歳で「できない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「できない」が高くなっています。

単位：％

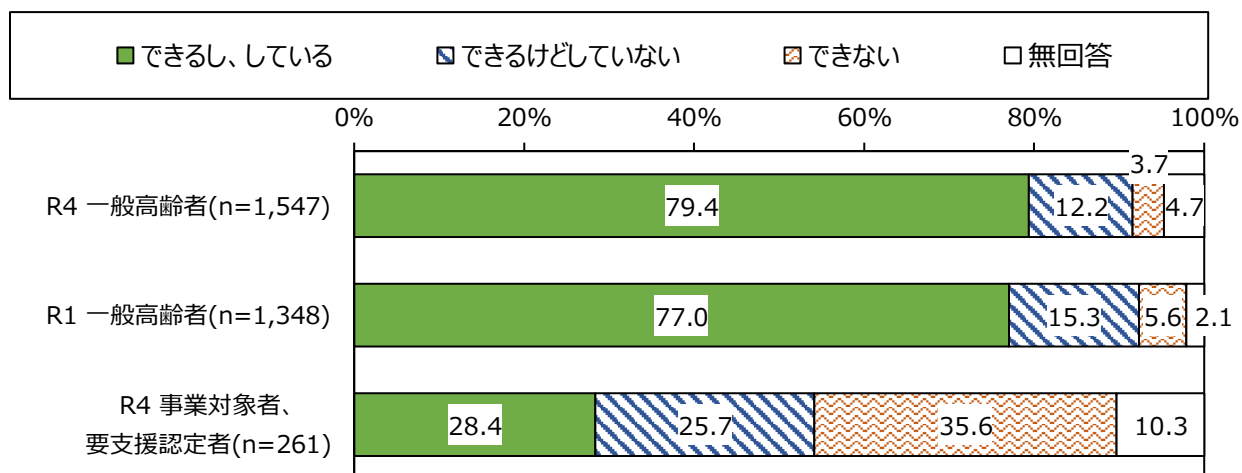
区分		回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,808	76.3	13.2	5.8	4.8
性別	男性	809	68.6	18.5	6.8	6.1
	女性	929	83.5	8.2	4.8	3.4
年齢別	65歳～69歳	391	86.4	7.9	1.5	4.1
	70歳～74歳	478	83.3	9.8	3.3	3.6
	75歳～79歳	340	79.4	12.4	3.8	4.4
	80歳～84歳	281	69.0	16.4	9.3	5.3
	85歳～89歳	181	61.3	23.8	12.7	2.2
	90歳～94歳	85	43.5	21.2	18.8	16.5
	95歳～99歳	12	33.3	33.3	16.7	16.7
	100歳以上	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	75.5	13.4	5.2	6.0
	袋井中部地域	388	76.0	12.6	8.2	3.1
	袋井南部地域	451	78.3	12.0	4.7	5.1
	浅羽地域	362	75.7	14.9	5.5	3.9

⑥自分で市役所等での手続きをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」が79.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が3.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できない」が35.6%と最も高く、次いで「できるし、している」が28.4%、「できるけどしていない」が25.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「できない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「できない」が高くなっています。また、他に比べ、65歳～69歳で「できるし、している」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井北部地域で「できるし、している」が低くなっています。

単位：％

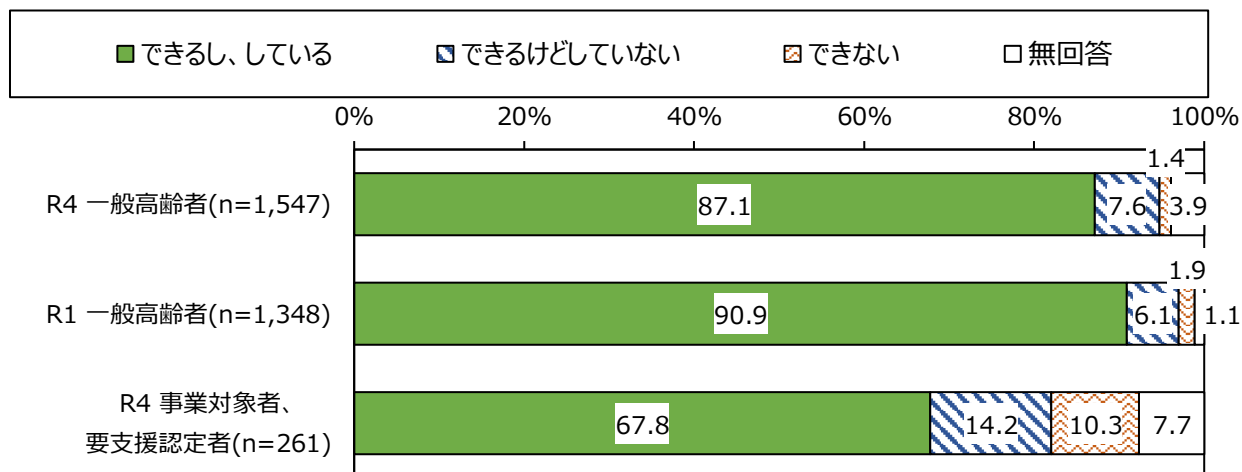
区分		回答者数 (件)	できるし、 している	どちらか はどちらでもない	できない	無回答
全体		1,808	72.0	14.1	8.4	5.5
性別	男性	809	73.5	13.7	6.3	6.4
	女性	929	71.4	14.2	9.9	4.5
年齢別	65歳～69歳	391	88.5	6.4	1.0	4.1
	70歳～74歳	478	84.9	9.4	1.7	4.0
	75歳～79歳	340	77.1	12.4	5.3	5.3
	80歳～84歳	281	57.3	24.2	12.5	6.0
	85歳～89歳	181	42.5	26.5	27.1	3.9
	90歳～94歳	85	23.5	24.7	32.9	18.8
	95歳～99歳	12	25.0	8.3	33.3	33.3
	100歳以上	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	68.2	16.6	8.7	6.5
	袋井中部地域	388	75.8	10.6	10.3	3.4
	袋井南部地域	451	72.9	13.3	6.9	6.9
	浅羽地域	362	73.2	15.7	6.6	4.4

⑦新聞や本、雑誌を読んでいますか

一般高齢者では、「できるし、している」が87.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が7.6%、「できない」が1.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が67.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が10.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が減少しています。



※令和元年度調査では、設問は「新聞・雑誌を読むことをしていますか」となっている。

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「できるし、している」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、75歳～79歳で「できるし、している」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「できるし、している」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど もう少し	できない	無回答
全体		1,808	84.3	8.5	2.7	4.4
性別	男性	809	84.1	8.0	2.5	5.4
	女性	929	85.4	8.2	3.0	3.4
年齢別	65歳～69歳	391	84.1	10.7	0.8	4.3
	70歳～74歳	478	87.2	7.9	1.3	3.6
	75歳～79歳	340	89.4	4.4	2.1	4.1
	80歳～84歳	281	81.9	10.0	3.6	4.6
	85歳～89歳	181	79.0	9.4	8.8	2.8
	90歳～94歳	85	74.1	8.2	5.9	11.8
	95歳～99歳	12	66.7	8.3	16.7	8.3
	100歳以上	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	83.4	9.0	2.5	5.1
	袋井中部地域	388	84.5	7.5	4.6	3.4
	袋井南部地域	451	85.8	7.1	2.0	5.1
	浅羽地域	362	85.1	9.7	1.9	3.3

(3) ごみ出しで困難を感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「困難を感じていることはない」が79.4%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「困難を感じていることはない」が34.5%と最も高く、次いで「ごみ集積所までの運搬が困難」が24.9%、「分別することが難しい」が13.0%、「ごみ出しを頼める人がいない」が5.7%、「収集日や収集時間帯に出せない」が5.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「困難を感じていることはない」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	分別することが難しい	ごみ集積所までの運搬が困難	収集日や収集時間帯に出せない	ごみ出しを頼める人がいない	その他	困難を感じていることはない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	5.2	4.8	1.3	1.0	5.4	79.4	7.4
R1 一般高齢者	1,348	5.0	5.4	2.2	1.9	5.8	77.2	6.1
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	13.0	24.9	5.0	5.7	23.0	34.5	12.3

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「困難を感じていることはない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「ごみ集積所までの運搬が困難」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「分別することが難しい」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	分別することが難しい	ごみ集積所までの運搬が困難	収集日や収集時間帯に出せない	ごみ出しを頼める人がいない	その他	困難を感じていることはない	無回答
全体		1,808	6.4	7.7	1.8	1.7	8.0	72.9	8.1
性別	男性	809	7.2	4.1	1.6	1.2	6.3	77.0	7.5
	女性	929	5.8	10.7	2.2	2.0	9.7	69.4	8.4
年齢別	65歳～69歳	391	5.4	1.5	1.5	1.0	3.8	84.4	5.1
	70歳～74歳	478	4.6	3.6	0.6	0.8	2.3	85.1	6.3
	75歳～79歳	340	5.6	6.8	0.9	0.6	5.9	72.6	11.8
	80歳～84歳	281	7.8	13.2	2.8	3.2	12.1	60.1	9.6
	85歳～89歳	181	8.8	17.7	3.9	5.0	20.4	55.8	5.5
	90歳～94歳	85	11.8	24.7	5.9	2.4	23.5	37.6	14.1
	95歳～99歳	12	25.0	16.7	8.3	0.0	33.3	25.0	16.7
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地区別	袋井北部地域	554	7.6	8.7	1.3	1.6	7.4	71.3	9.2
	袋井中部地域	388	9.3	8.0	2.3	1.0	8.2	72.2	6.4
	袋井南部地域	451	4.2	7.1	2.0	1.6	8.6	74.5	7.3
	浅羽地域	362	5.0	7.5	2.2	2.5	7.5	74.3	7.7

(4) 必要な物の購入はどのようにしていますか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「自分で買い物に行く」が86.7%と最も高く、次いで「宅配・通販を利用している」が25.7%、「家族・友人等に連れて行ってもらう」が22.9%、「移動販売を利用している」が2.5%、「買い物ができず困っている」が0.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「家族・友人等に連れて行ってもらう」が59.4%と最も高く、次いで「自分で買い物に行く」が33.3%、「宅配・通販を利用している」が21.8%、「移動販売を利用している」が2.7%、「買い物ができず困っている」が1.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「宅配・通販を利用している」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分で買い物に行く	家族・友人等に連れて行ってもらう	宅配・通販を利用している	移動販売を利用している	買い物ができず困っている	無回答
R4 一般高齢者	1,547	86.7	22.9	25.7	2.5	0.2	3.6
R1 一般高齢者	1,348	86.9	20.9	21.0	1.2	0.2	2.2
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	33.3	59.4	21.8	2.7	1.5	10.3

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自分で買い物に行く」が高くなっています。また、女性で「家族・友人等に連れて行ってもらう」、「宅配・通販を利用している」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「自分で買い物に行く」が高くなっています。また、他に比べ、90歳～94歳で「家族・友人等に連れて行ってもらう」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「宅配・通販を利用している」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	自分で 買い物に 行く	家族・友人等に連れて 行ってもらう	宅配・ 通販を 利用して いる	移動販売 を利用し ている	買い物が できず困 っている	無回答
全体		1,808	79.0	28.2	25.1	2.5	0.4	4.6
性別	男性	809	83.2	18.7	19.8	1.6	0.2	6.3
	女性	929	76.0	36.3	29.8	3.4	0.5	3.0
年齢別	65歳～69歳	391	91.8	14.3	29.9	0.5	0.3	3.6
	70歳～74歳	478	91.2	18.8	25.5	1.7	0.2	3.1
	75歳～79歳	340	82.9	22.9	20.9	1.2	0.0	5.6
	80歳～84歳	281	69.4	42.0	27.4	5.7	0.4	5.0
	85歳～89歳	181	55.8	47.0	24.9	5.5	1.1	4.4
	90歳～94歳	85	27.1	75.3	12.9	3.5	1.2	10.6
	95歳～99歳	12	16.7	75.0	16.7	8.3	8.3	8.3
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	78.3	30.3	27.3	2.3	0.7	4.9
	袋井中部地域	388	81.7	25.5	19.8	2.1	0.0	2.8
	袋井南部地域	451	77.2	28.8	29.9	3.8	0.2	5.3
	浅羽地域	362	79.3	27.3	21.8	1.7	0.6	4.7

(5) 食料品や日用品の買い物で、不便や不安を感じていることはありますか。
(○はいくつでも)

一般高齢者では、「特に不便や不安はない」が71.2%と最も高く、次いで「近くにお店がない（なくなった）」が15.2%、「自分で車の運転ができない」が10.5%、「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」が10.1%、「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」が8.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」が39.8%と最も高く、次いで「自分で車の運転ができない」が37.5%、「特に不便や不安はない」が30.7%、「近くにお店がない（なくなった）」が30.3%、「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」が20.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「特に不便や不安はない」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	近くにお店がない（なくなった）	自分で車の運転ができない	歩いて買い物に行くのが大変（または不安）	バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）	買い物を手伝ってくれる人がいない	介護等によって買い物にでかけにくくなった	特に不便や不安はない	その他	無回答
R4 一般高齢者	1,547	15.2	10.5	8.5	10.1	1.4	0.3	71.2	4.7	6.8
R1 一般高齢者	1,348	19.9	10.9	9.6	14.4	2.1	0.7	63.4	5.3	3.6
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	30.3	37.5	39.8	20.3	3.1	6.5	30.7	12.3	9.6

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特に不便や不安はない」が高くなっています。また、女性で「近くにお店がない（なくなった）」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「近くにお店がない（なくなった）」が高くなっています。

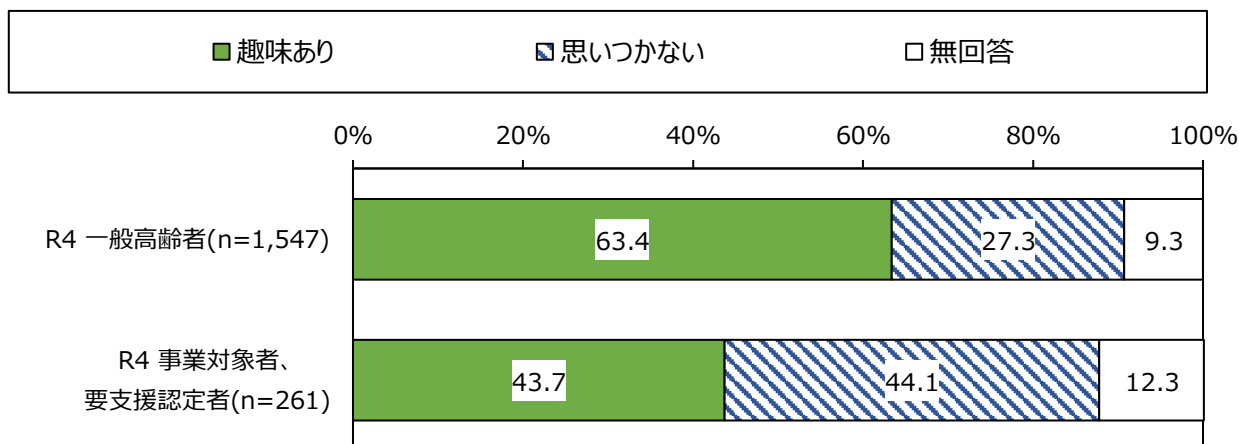
単位：％

区分		回答者数(件)	近くにお店がない (なくなった)	自分で車の運転ができない	歩いて買い物に行くのが 大変(または不安)	バスなどの交通の便が悪い (または交通手段がない)	買い物を手伝ってくれる人 がない	介護等によって買い物に でかけにくくなった	特に不便や不安はない	その他	無回答
全体		1,808	17.4	14.4	13.1	11.6	1.6	1.2	65.4	5.8	7.2
性別	男性	809	14.3	9.4	8.4	9.4	0.9	0.6	72.1	4.6	7.0
	女性	929	19.6	18.3	16.9	13.7	2.3	1.7	59.5	7.2	7.3
年齢別	65歳～69歳	391	10.5	4.1	3.6	6.9	1.0	0.0	79.8	3.3	5.9
	70歳～74歳	478	13.8	6.9	6.3	7.9	1.5	0.8	74.5	3.3	6.1
	75歳～79歳	340	18.8	11.2	11.2	10.9	0.3	0.9	66.2	5.0	9.1
	80歳～84歳	281	21.7	28.8	20.3	16.4	1.1	1.8	52.0	7.8	8.9
	85歳～89歳	181	26.5	32.0	29.8	21.5	6.6	4.4	44.2	13.8	3.9
	90歳～94歳	85	27.1	34.1	43.5	20.0	2.4	2.4	34.1	11.8	10.6
	95歳～99歳	12	33.3	25.0	33.3	25.0	0.0	0.0	50.0	8.3	0.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	15.9	13.5	12.8	12.3	1.3	1.4	65.5	5.8	8.1
	袋井中部地域	388	12.4	14.9	11.9	7.2	1.5	1.3	68.0	5.7	6.2
	袋井南部地域	451	21.5	16.9	16.2	14.4	1.8	1.1	64.3	6.0	6.2
	浅羽地域	362	19.6	13.0	11.9	13.0	2.2	0.8	63.5	6.1	7.2

(6) 趣味はありますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「趣味あり」が63.4%、「思いつかない」が27.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「趣味あり」が43.7%、「思いつかない」が44.1%となっています。



(7) 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時ですか(○はいくつでも)

一般高齢者では、「おいしいものを食べているとき」が60.1%と最も高く、次いで「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が57.6%、「友人や知人と過ごすとき」が52.3%、「家族との団らんのとき」が49.5%、「散歩や買い物をしているとき」が43.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が58.6%と最も高く、次いで「おいしいものを食べているとき」が50.6%、「友人や知人と過ごすとき」が36.4%、「家族との団らんのとき」が35.2%、「散歩や買い物をしているとき」が28.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき	教養を身につけることをしているとき	健康づくりやスポーツをしているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき	地域活動に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	39.9	17.9	31.0	49.5	52.3	7.8	11.8	31.6	43.8	57.6	16.3	28.4	24.5	60.1	17.9	5.0	4.3	3.2
R1 一般高齢者	1,348	44.1	20.5	33.0	54.5	58.6	8.9	11.9	43.2	42.4	47.5	11.5	32.3	23.8	52.4	17.5	3.6	1.8	3.1
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	17.2	10.7	13.0	35.2	36.4	10.3	3.1	10.7	28.4	58.6	3.1	18.0	18.4	50.6	14.2	8.8	10.3	4.6

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「パソコン、インターネットをしているとき」が高くなっています。また、女性で「友人や知人と過ごすとき」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、85歳～89歳で「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数(件)	仕事をしているとき	教養を身につけることをしているとき	健康づくりやスポーツをしているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき	地域活動に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にない	無回答
全体		1,808	36.6	16.9	28.4	47.4	50.0	8.1	10.6	28.6	41.5	57.7	14.4	26.9	23.6	58.7	17.4	5.5	5.2	3.4
性別	男性	809	41.7	14.5	30.4	45.0	39.4	6.2	13.5	30.5	32.4	55.6	20.4	21.9	24.0	49.7	12.4	3.5	6.1	4.4
	女性	929	32.3	19.3	26.7	49.4	59.6	10.0	8.2	27.3	50.4	59.2	9.4	32.3	23.0	66.7	22.1	7.3	4.5	2.4
年齢別	65歳～69歳	391	37.9	17.6	29.2	49.9	54.5	0.5	8.7	36.6	42.2	51.2	23.0	28.4	31.5	61.6	17.9	4.3	4.6	3.1
	70歳～74歳	478	40.6	18.4	32.6	50.6	52.1	2.9	14.9	32.2	43.1	55.9	15.3	29.3	24.3	62.3	17.2	6.3	3.3	2.7
	75歳～79歳	340	36.8	16.8	29.7	45.6	50.9	9.4	12.1	32.4	45.3	56.8	14.7	27.1	16.5	52.9	15.6	4.1	4.7	4.1
	80歳～84歳	281	32.4	14.9	28.1	46.3	48.0	16.0	8.9	20.6	42.3	61.9	7.5	24.2	24.9	57.7	17.8	6.0	6.0	5.0
	85歳～89歳	181	34.3	15.5	19.3	43.6	40.3	17.7	6.1	15.5	37.6	66.9	8.3	26.5	18.2	54.7	19.9	7.7	8.8	1.7
	90歳～94歳	85	24.7	15.3	18.8	36.5	42.4	23.5	2.4	9.4	25.9	64.7	1.2	18.8	15.3	56.5	16.5	8.2	9.4	3.5
	95歳～99歳	12	8.3	8.3	8.3	50.0	25.0	8.3	8.3	0.0	8.3	66.7	8.3	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	8.3	0.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(8) 今後、やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「趣味の活動」が34.0%と最も高く、次いで「特にない」が33.8%、「健康づくりやスポーツ」が32.1%、「働くこと」が18.3%、「学習や教養を高めるための活動」が16.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「特にない」が49.8%と最も高く、次いで「健康づくりやスポーツ」が19.9%、「趣味の活動」が17.6%、「働くこと」が11.9%、「シニアクラブ・老人クラブ活動」が8.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「特にない」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくりやスポーツ	趣味の活動	シニアクラブ・老人クラブ活動	社会奉仕活動	自治会の活動	その他	特にない	無回答
R4 一般高齢者	1,808	18.3	16.2	32.1	34.0	6.1	7.6	3.1	2.8	33.8	6.1
R1 一般高齢者	1,348	24.6	17.5	34.9	39.8	7.3	7.9	3.6	1.6	24.2	6.7
事業対象者、 要支援認定者	261	11.9	8.0	19.9	17.6	8.4	1.9	1.5	3.8	49.8	10.0

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「働くこと」が高くなっています。また、女性で「特にな
い」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「特にない」が高くなっています。また、他に比べ、
65歳～69歳で「趣味の活動」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくりやスポーツ	趣味の活動	シニアクラブ・老人クラブ活動	社会奉仕活動	自治会の活動	その他	特にな い	無回 答
全体		1,808	18.3	16.2	32.1	34.0	6.1	7.6	3.1	2.8	33.8	6.1
性別	男性	809	23.0	16.4	32.8	34.9	4.9	8.9	4.0	3.0	31.5	4.8
	女性	929	14.2	16.3	31.8	33.8	7.0	6.7	2.4	2.7	35.5	6.9
年齢別	65歳～69歳	391	27.9	19.9	38.1	41.4	1.3	10.0	2.3	2.8	24.3	3.6
	70歳～74歳	478	17.6	19.7	36.4	38.5	2.9	10.7	3.8	1.9	28.5	3.6
	75歳～79歳	340	14.1	15.6	32.4	35.0	7.6	5.0	3.5	2.1	35.0	8.2
	80歳～84歳	281	16.0	11.4	30.2	27.8	11.0	5.7	4.3	2.1	38.4	7.1
	85歳～89歳	181	15.5	11.0	20.4	23.2	9.4	4.4	2.2	6.1	47.0	9.4
	90歳～94歳	85	8.2	11.8	16.5	16.5	17.6	2.4	0.0	2.4	56.5	8.2
	95歳～99歳	12	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	8.3
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(問5) 地域での活動について

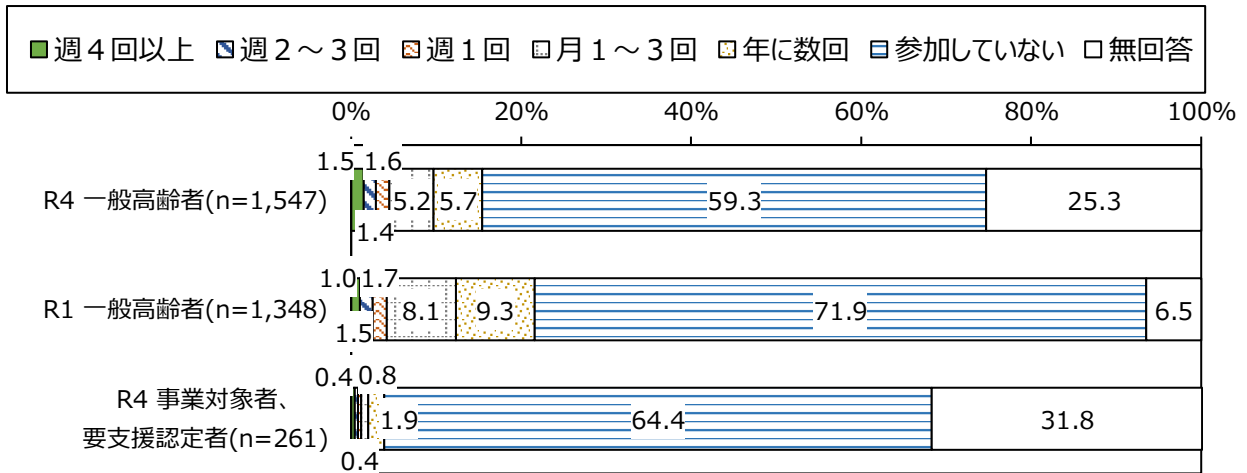
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度(ひんど)で参加していますか。
※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

①ボランティアのグループ

一般高齢者では、「参加していない」が59.3%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が64.4%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「年に数回」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井北部地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	1,808	1.3	1.3	1.4	4.5	5.1	60.1	26.3	
性別	男性	809	2.2	1.1	1.5	5.1	6.8	60.6	22.7
	女性	929	0.5	1.5	1.4	4.1	3.8	59.7	29.0
年齢別	65歳～69歳	391	2.3	1.5	1.0	5.6	4.6	67.5	17.4
	70歳～74歳	478	1.5	2.5	2.3	5.4	9.8	60.0	18.4
	75歳～79歳	340	1.2	0.3	2.1	5.6	5.9	58.5	26.5
	80歳～84歳	281	1.1	0.7	0.7	3.2	1.8	56.9	35.6
	85歳～89歳	181	0.0	0.6	0.6	1.7	1.7	54.7	40.9
	90歳～94歳	85	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	56.5	42.4
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	

単位：％

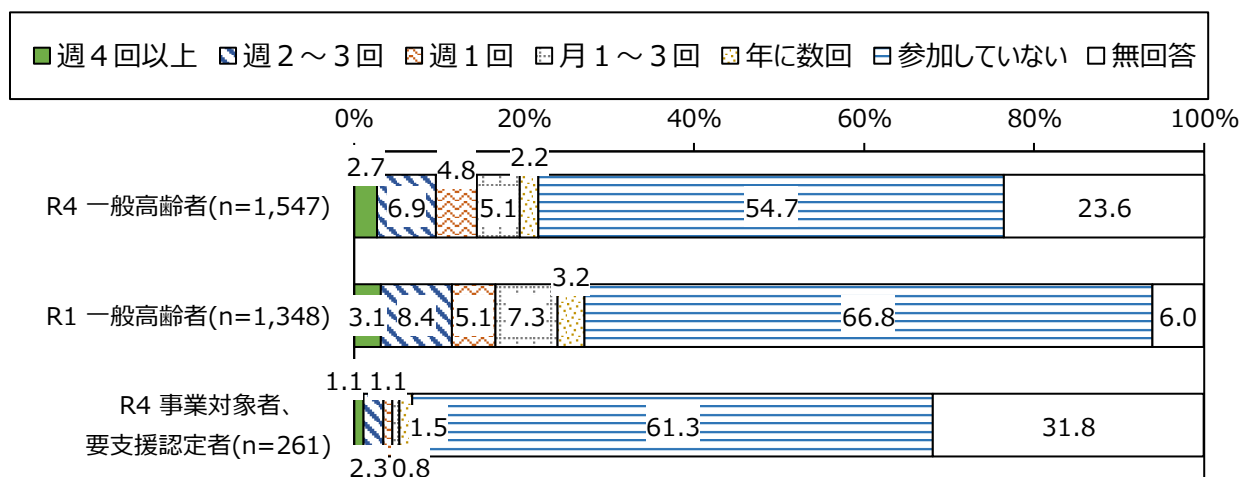
区分	回答者数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
居住地区別	袋井北部地域	554	0.5	1.1	0.5	4.5	6.0	61.0	26.4
	袋井中部地域	388	2.3	1.8	1.0	5.4	6.4	60.6	22.4
	袋井南部地域	451	1.3	0.9	2.9	5.1	3.8	59.9	26.2
	浅羽地域	362	1.7	1.7	1.1	3.0	5.0	59.1	28.5

②スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者では、「参加していない」が54.7%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が61.3%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、80歳～84歳で「週2～3回」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「週2～3回」が高くなっています。

単位：％

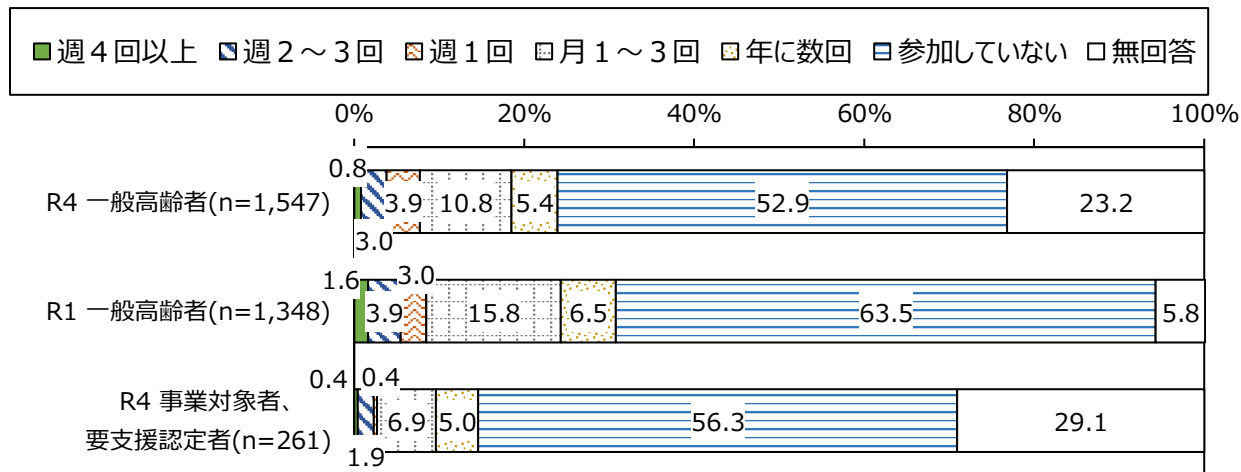
区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,808	2.5	6.3	4.3	4.5	2.1	55.6	24.8
性別	男性	809	2.2	6.2	3.5	4.4	3.6	59.5	20.6
	女性	929	2.9	6.2	4.8	4.7	1.0	52.4	27.9
年齢別	65歳～69歳	391	1.8	6.1	5.1	6.1	1.8	61.4	17.6
	70歳～74歳	478	3.1	6.1	5.0	4.4	2.1	59.8	19.5
	75歳～79歳	340	5.0	5.9	4.4	4.4	3.5	54.1	22.6
	80歳～84歳	281	1.4	8.2	3.6	6.0	2.1	48.8	29.9
	85歳～89歳	181	1.1	6.6	2.2	0.6	1.1	49.2	39.2
	90歳～94歳	85	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	52.9	42.4
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	2.3	6.1	4.2	4.7	2.2	56.1	24.4
	袋井中部地域	388	2.1	5.9	3.9	5.4	2.3	57.7	22.7
	袋井南部地域	451	3.5	6.7	5.1	3.1	2.9	53.9	24.8
	浅羽地域	362	1.9	6.1	3.9	5.0	1.1	56.4	25.7

③趣味関係のグループ

一般高齢者では、「参加していない」が52.9%と最も高く、次いで「月1～3回」が10.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が56.3%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。また、女性で「月1～3回」が高くなっています。

年齢別で見ると、他に比べ、95歳～99歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別で見ると、他に比べ、袋井南部地域で「月1～3回」が高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,808	0.7	2.9	3.4	10.2	5.3	53.4	24.1
性別	男性	809	0.7	2.6	3.6	8.5	6.7	56.1	21.8
	女性	929	0.8	3.2	3.3	12.1	4.1	51.0	25.5
年齢別	65歳～69歳	391	0.5	2.8	2.6	12.3	4.9	61.1	15.9
	70歳～74歳	478	0.4	3.1	3.6	10.3	4.4	58.4	19.9
	75歳～79歳	340	0.3	2.4	4.4	12.6	10.9	47.9	21.5
	80歳～84歳	281	1.8	3.6	4.3	10.0	2.5	47.3	30.6
	85歳～89歳	181	1.1	3.3	3.9	5.5	3.3	45.9	37.0
	90歳～94歳	85	1.2	1.2	0.0	4.7	0.0	52.9	40.0
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	66.7	25.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位：％

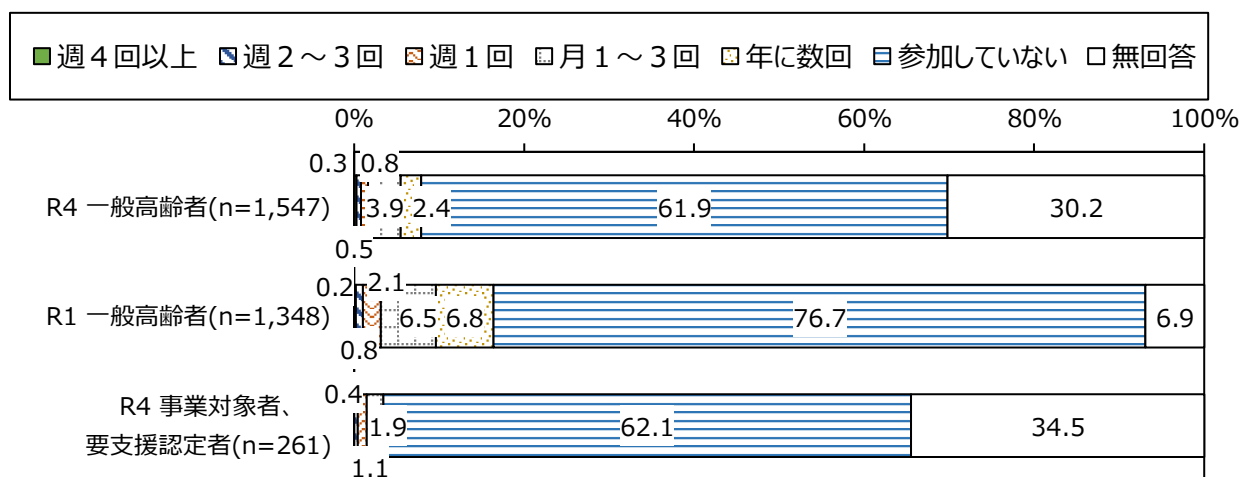
区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
居住地区別	袋井北部地域	554	0.7	1.8	3.1	9.9	7.0	52.3	25.1
	袋井中部地域	388	0.5	3.4	2.6	10.8	4.1	57.5	21.1
	袋井南部地域	451	1.1	3.8	4.2	11.3	4.7	51.2	23.7
	浅羽地域	362	0.6	3.0	3.9	9.4	4.1	54.7	24.3

④学習・教養サークル

一般高齢者では、「参加していない」が61.9%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が62.1%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：％

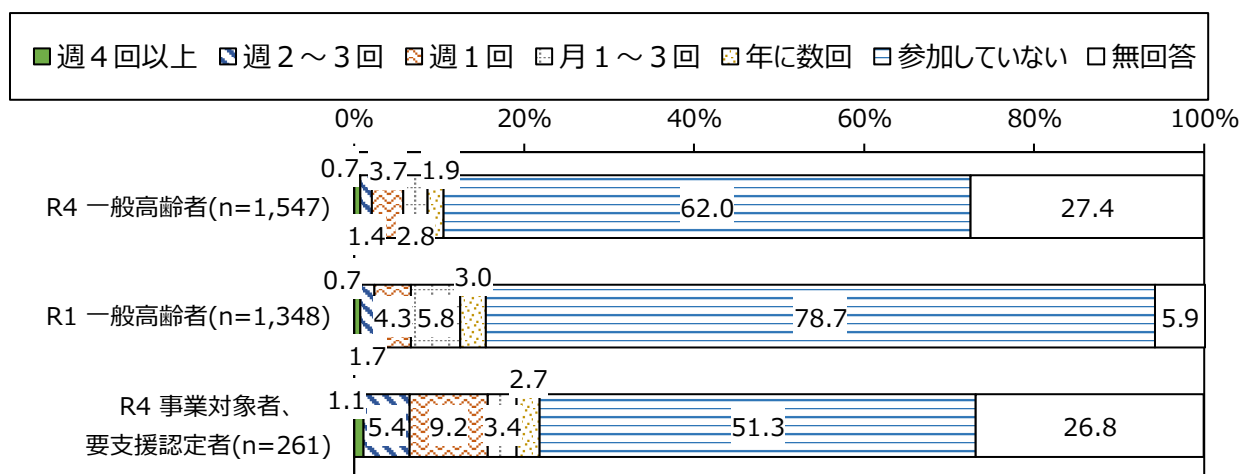
区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,808	0.3	0.5	0.9	3.6	2.0	61.9	30.8
性別	男性	809	0.0	0.2	0.7	2.6	2.6	67.0	26.8
	女性	929	0.5	0.8	1.0	4.6	1.7	57.8	33.6
年齢別	65歳～69歳	391	0.5	1.0	0.8	2.8	1.8	72.9	20.2
	70歳～74歳	478	0.2	0.4	1.0	3.3	2.7	66.1	26.2
	75歳～79歳	340	0.0	0.3	0.6	5.0	2.6	60.6	30.9
	80歳～84歳	281	0.0	0.7	0.7	3.6	1.4	54.4	39.1
	85歳～89歳	181	0.6	0.0	1.7	3.9	1.7	48.6	43.6
	90歳～94歳	85	1.2	0.0	1.2	3.5	0.0	51.8	42.4
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	66.7	25.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	0.4	0.4	0.9	4.0	2.3	61.6	30.5
	袋井中部地域	388	0.5	0.3	1.5	2.6	3.1	64.7	27.3
	袋井南部地域	451	0.0	0.4	0.7	4.9	2.0	61.2	30.8
	浅羽地域	362	0.3	1.1	0.6	3.0	0.6	61.6	32.9

⑤介護予防のための通いの場（サロン・居場所・しぞ〜かでん伝体操など）

一般高齢者では、「参加していない」が62.0%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が51.3%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。また、女性で「週1回」が高くなっています。

年齢別で見ると、他に比べ、65歳～69歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別で見ると、他に比べ、袋井中部地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	1,808	0.8	1.9	4.5	2.9	2.0	60.5	27.3	
性別	男性	809	0.5	0.6	2.3	1.4	2.1	67.1	26.0
	女性	929	1.0	3.2	6.7	4.4	2.2	54.7	27.9
年齢別	65歳～69歳	391	0.3	0.3	0.5	1.0	1.3	75.2	21.5
	70歳～74歳	478	0.6	1.5	5.0	3.3	2.3	64.4	22.8
	75歳～79歳	340	0.6	1.2	5.0	3.8	2.4	60.0	27.1
	80歳～84歳	281	1.1	4.3	8.5	3.6	2.8	49.1	30.6
	85歳～89歳	181	1.7	3.3	5.0	3.9	1.1	45.3	39.8
	90歳～94歳	85	1.2	5.9	5.9	2.4	2.4	47.1	35.3
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	66.7	25.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	

単位：％

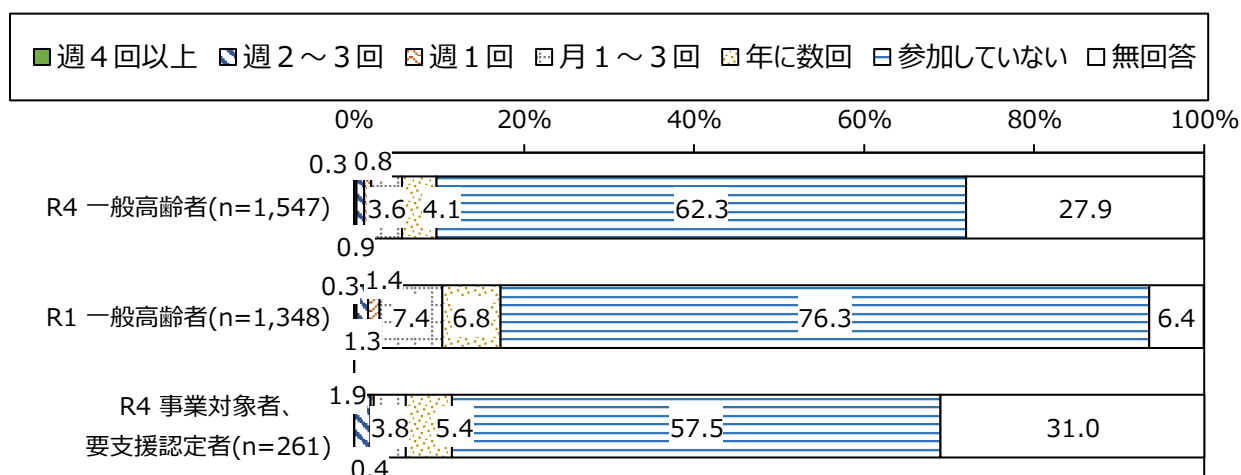
区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
居住地区別	袋井北部地域	554	0.4	1.1	4.7	2.3	1.1	61.9	28.5
	袋井中部地域	388	0.5	1.5	3.1	4.4	3.1	63.7	23.7
	袋井南部地域	451	1.6	1.3	5.5	3.8	2.4	58.3	27.1
	浅羽地域	362	0.6	4.4	5.0	1.7	1.9	58.8	27.6

⑥シニアクラブ・老人クラブ

一般高齢者では、「参加していない」が62.3%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が57.5%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、85歳～89歳で「月1～3回」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「月1～3回」が高くなっています。

単位：％

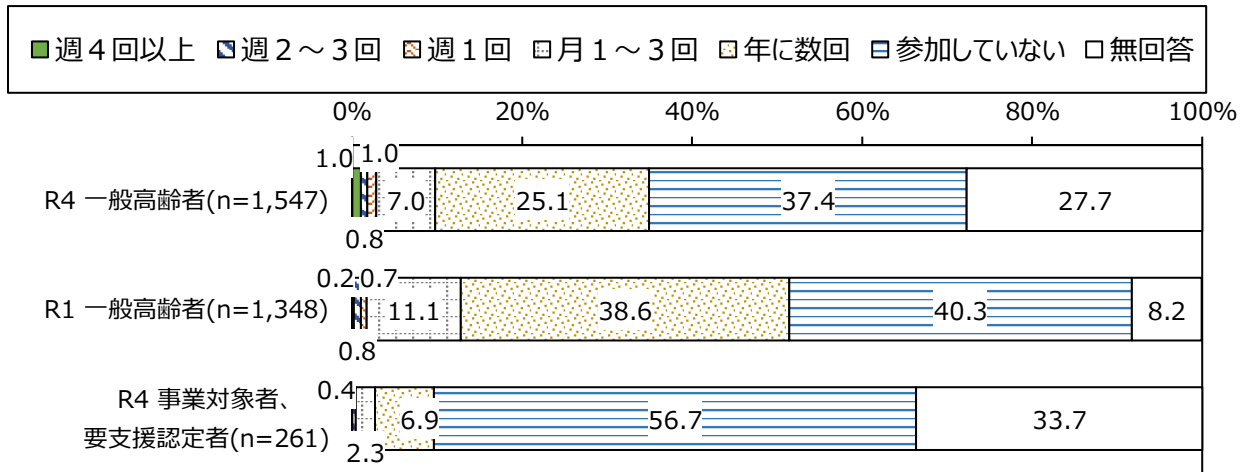
区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,808	0.3	1.1	0.7	3.7	4.3	61.6	28.4
性別	男性	809	0.2	0.7	0.9	3.5	4.3	65.8	24.6
	女性	929	0.2	1.3	0.5	4.1	4.2	58.2	31.4
年齢別	65歳～69歳	391	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	77.5	21.7
	70歳～74歳	478	0.0	0.2	0.4	2.5	2.7	68.8	25.3
	75歳～79歳	340	0.6	1.2	0.9	4.1	4.7	59.7	28.8
	80歳～84歳	281	0.4	2.8	2.1	6.0	8.5	48.0	32.0
	85歳～89歳	181	0.6	1.7	0.6	8.3	8.8	42.5	37.6
	90歳～94歳	85	0.0	2.4	1.2	7.1	7.1	45.9	36.5
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	0.4	1.4	0.9	4.2	4.5	61.9	26.7
	袋井中部地域	388	0.3	0.5	0.5	4.6	3.9	64.4	25.8
	袋井南部地域	451	0.0	0.7	0.9	4.2	3.3	60.3	30.6
	浅羽地域	362	0.3	0.8	0.3	1.7	6.1	60.8	30.1

⑦自治会

一般高齢者では、「参加していない」が37.4%と最も高く、次いで「年に数回」が25.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が56.7%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「年に数回」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「年に数回」が高くなっています。また、女性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別で見ると、他に比べ、70歳～74歳で「年に数回」が高くなっています。

居住地区別で見ると、他に比べ、袋井南部地域で「年に数回」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	1,808	0.8	0.8	0.8	6.4	22.5	40.2	28.6	
性別	男性	809	1.4	1.2	1.6	10.0	30.0	34.2	21.5
	女性	929	0.4	0.4	0.1	3.2	15.9	45.6	34.2
年齢別	65歳～69歳	391	1.3	1.8	2.3	12.0	28.9	36.8	16.9
	70歳～74歳	478	1.0	1.0	0.2	7.1	31.4	37.4	21.8
	75歳～79歳	340	0.0	0.3	0.0	4.4	24.4	41.2	29.7
	80歳～84歳	281	1.1	0.4	1.1	4.6	12.1	43.1	37.7
	85歳～89歳	181	0.0	0.0	1.1	1.7	7.2	45.3	44.8
	90歳～94歳	85	1.2	0.0	0.0	1.2	3.5	49.4	44.7
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	66.7	25.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	

単位：％

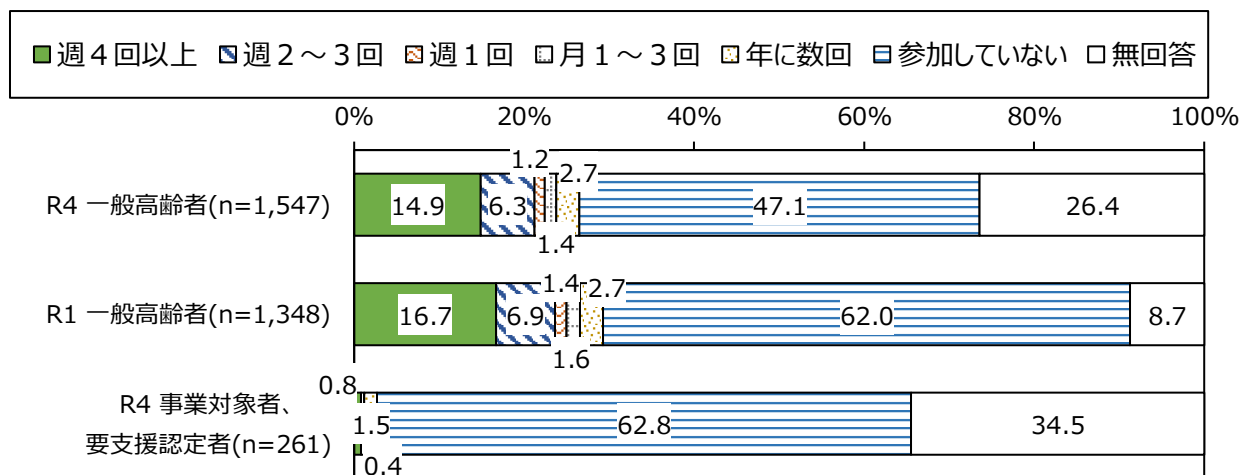
区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
居住地区別	袋井北部地域	554	0.9	0.9	0.7	7.9	22.6	39.4	27.6
	袋井中部地域	388	0.8	1.3	1.3	6.7	22.7	40.2	27.1
	袋井南部地域	451	1.6	0.2	0.9	6.7	23.7	38.8	28.2
	浅羽地域	362	0.0	0.6	0.6	3.6	21.5	43.4	30.4

⑧収入のある仕事

一般高齢者では、「参加していない」が47.1%と最も高く、次いで「週4回以上」が14.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が62.8%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「週4回以上」が減少しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週4回以上」が高くなっています。また、女性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「週4回以上」が高くなっています。

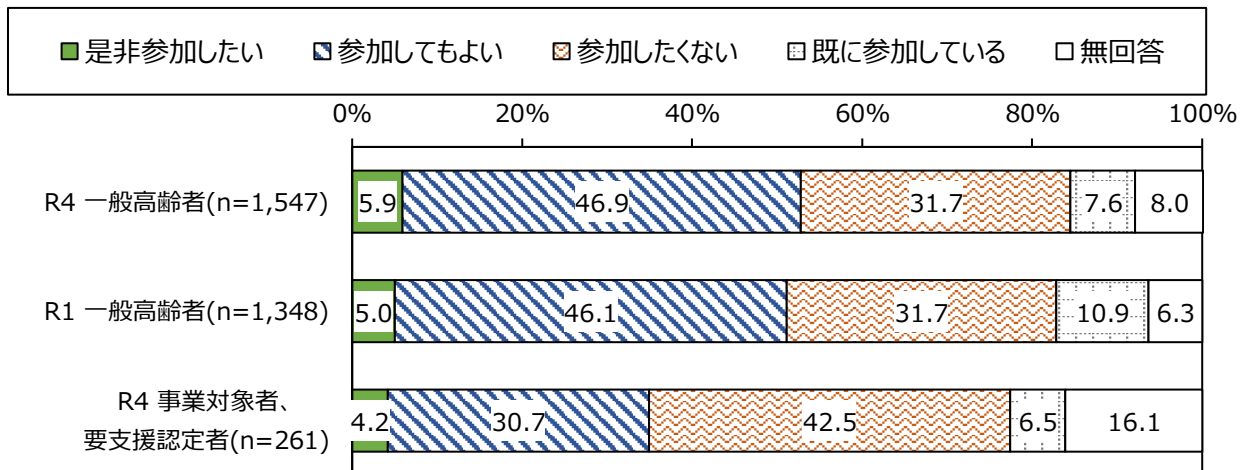
居住地区別でみると、他に比べ、袋井北部地域で「週4回以上」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,808	12.8	5.4	1.1	1.3	2.5	49.4	27.6
性別	男性	809	16.3	6.1	1.1	1.5	3.7	48.2	23.1
	女性	929	9.5	4.8	1.1	1.2	1.4	51.1	30.9
年齢別	65歳～69歳	391	29.4	10.0	1.8	1.0	0.3	42.5	15.1
	70歳～74歳	478	14.0	9.0	1.5	1.0	4.4	48.7	21.3
	75歳～79歳	340	10.3	2.6	1.2	3.2	3.2	52.9	26.5
	80歳～84歳	281	2.1	0.7	0.0	0.7	2.8	54.8	38.8
	85歳～89歳	181	1.1	1.1	0.6	0.6	1.7	50.8	44.2
	90歳～94歳	85	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.9	47.1
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	14.3	6.5	1.3	0.7	2.3	47.8	27.1
	袋井中部地域	388	14.2	5.4	1.0	2.1	3.4	49.7	24.2
	袋井南部地域	451	11.1	4.7	0.9	1.1	3.3	51.2	27.7
	浅羽地域	362	11.3	4.7	1.1	1.4	0.8	50.0	30.7

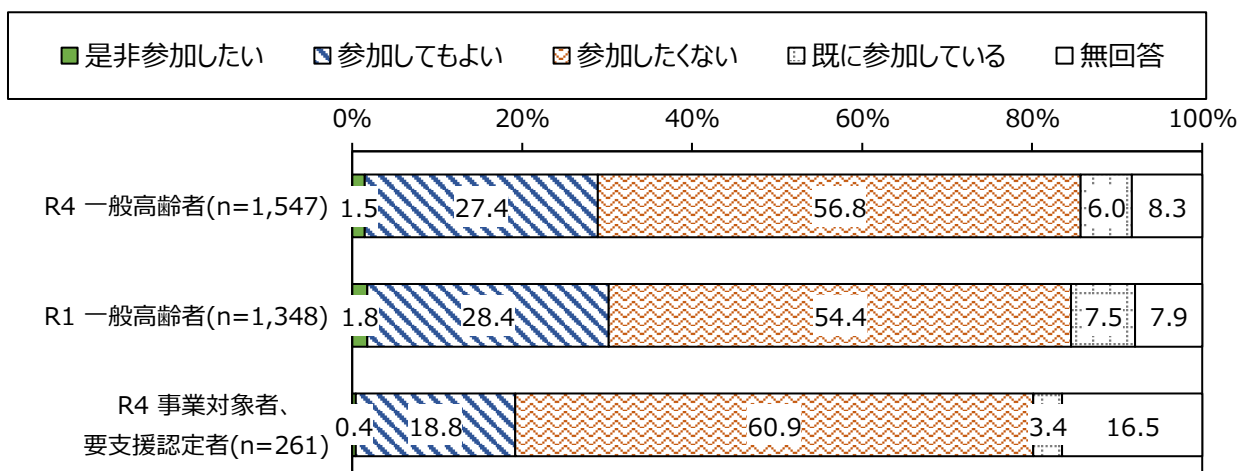
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「参加してもよい」が46.9%と最も高く、次いで「参加したくない」が31.7%、「既に参加している」が7.6%、「是非参加したい」が5.9%となっています。
 事業対象者、要支援認定者では、「参加したくない」が42.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」が30.7%、「既に参加している」が6.5%、「是非参加したい」が4.2%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「既に参加している」が減少しています。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「参加したくない」が56.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」が27.4%、「既に参加している」が6.0%、「是非参加したい」が1.5%となっています。
 事業対象者、要支援認定者では、「参加したくない」が60.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」が18.8%、「既に参加している」が3.4%、「是非参加したい」が0.4%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加したくない」が増加しています。



(2)、(3) のどちらか、「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」「4. 既に参加している」と回答された方にお伺いします。

(4) どんな活動に参加してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

一般高齢者では、「運動（ウォーキング・ヨガなど）」が 35.2%と最も高く、次いで「趣味活動」が 33.0%、「地域（自治会）内の支えあい活動」が 20.5%、「ボランティア」が 16.5%、「学習（英会話、パソコンなど）」が 8.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「趣味活動」が 30.4%と最も高く、次いで「運動（ウォーキング・ヨガなど）」が 22.3%、「地域（自治会）内の支えあい活動」が 17.0%、「生活援助（通院介助、買い物など）」が 6.3%、「ボランティア」が 4.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「趣味活動」が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ボランティア	運動 (ウォーキング、 ヨガなど)	学習 (英会話、 パソコンなど)	生活援助 (通院介助、 買い物など)	趣味活動	地域 (自治会) 内の支えあい活動	その他	無回答
R4 一般高齢者	977	16.5	35.2	8.7	5.0	33.0	20.5	1.7	26.9
R1 一般高齢者	858	12.8	37.1	11.5	5.7	43.2	23.7	2.7	14.5
R4 事業対象者、 要支援認定者	112	4.5	22.3	2.7	6.3	30.4	17.0	3.6	36.6

(問6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」が57.3%と最も高く、次いで「友人」が40.4%、「別居の子ども」が34.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.3%、「同居の子ども」が24.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「別居の子ども」が34.9%と最も高く、次いで「配偶者」が32.2%、「同居の子ども」が30.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.8%、「友人」が21.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「近隣の人」が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	57.3	24.1	34.4	29.3	6.9	40.4	2.6	4.1	3.4
R1 一般高齢者	1,348	58.3	22.5	28.6	29.2	15.9	40.1	2.3	3.3	3.5
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	32.2	30.3	34.9	26.8	5.4	21.8	5.7	5.7	6.1

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」が55.0%と最も高く、次いで「友人」が40.5%、「別居の子ども」が30.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.4%、「同居の子ども」が21.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「配偶者」が26.8%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と「友人」がともに20.7%、「そのような人はいない」が19.9%、「別居の子ども」が18.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「近隣の人」が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	55.0	21.0	30.8	31.4	7.2	40.5	2.1	6.2	4.5
R1 一般高齢者	1,348	55.9	20.2	26.3	33.2	22.8	41.2	1.6	5.5	4.3
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	26.8	17.2	18.8	20.7	4.2	20.7	2.7	19.9	10.0

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」が63.3%と最も高く、次いで「同居の子ども」が32.8%、「別居の子ども」が27.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が11.5%、「そのような人はいない」が6.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「同居の子ども」が40.6%と最も高く、次いで「配偶者」が34.5%、「別居の子ども」が31.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が9.2%、「そのような人はいない」が6.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「そのような人はいない」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	63.3	32.8	27.4	11.5	1.0	2.5	1.7	6.2	3.2
R1 一般高齢者	1,348	64.1	34.1	22.6	12.1	1.1	2.1	1.6	3.8	3.3
R4 事業対象者、要支援認定者	261	34.5	40.6	31.4	9.2	0.4	2.3	6.9	6.1	6.5

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」が63.7%と最も高く、次いで「同居の子ども」が26.2%、「別居の子ども」が23.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.9%、「そのような人はいない」が13.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「そのような人はいない」が32.2%と最も高く、次いで「配偶者」が30.7%、「同居の子ども」が16.9%、「別居の子ども」が13.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が11.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「そのような人はいない」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	63.7	26.2	23.8	20.9	1.9	4.2	2.1	13.8	4.1
R1 一般高齢者	1,348	66.2	28.5	20.1	23.8	2.6	3.6	1.6	7.3	5.3
R4 事業対象者、要支援認定者	261	30.7	16.9	13.4	11.9	0.4	1.1	6.1	32.2	11.5

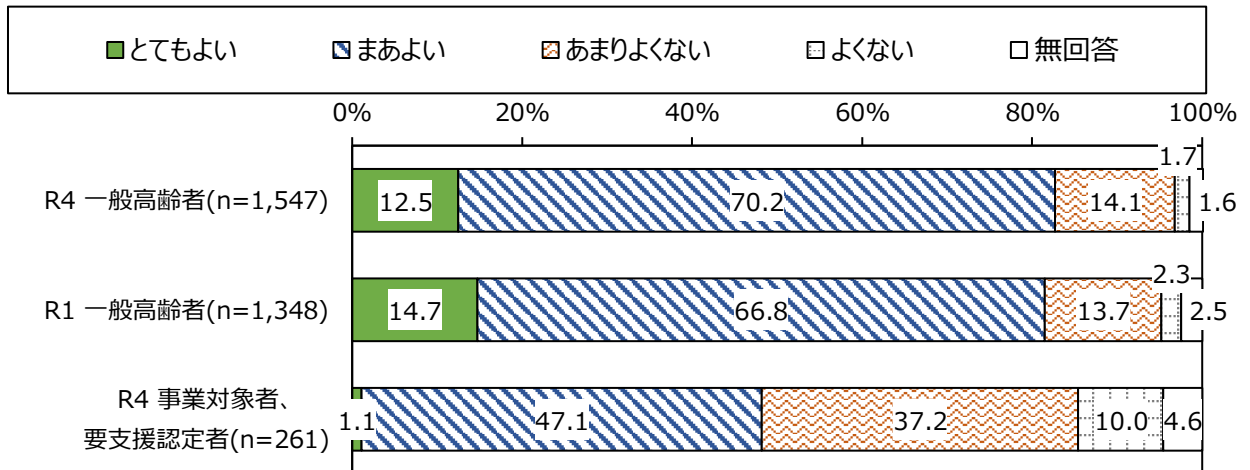
(問7) 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”が82.7%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”が15.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“よい”が48.2%、“よくない”が47.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



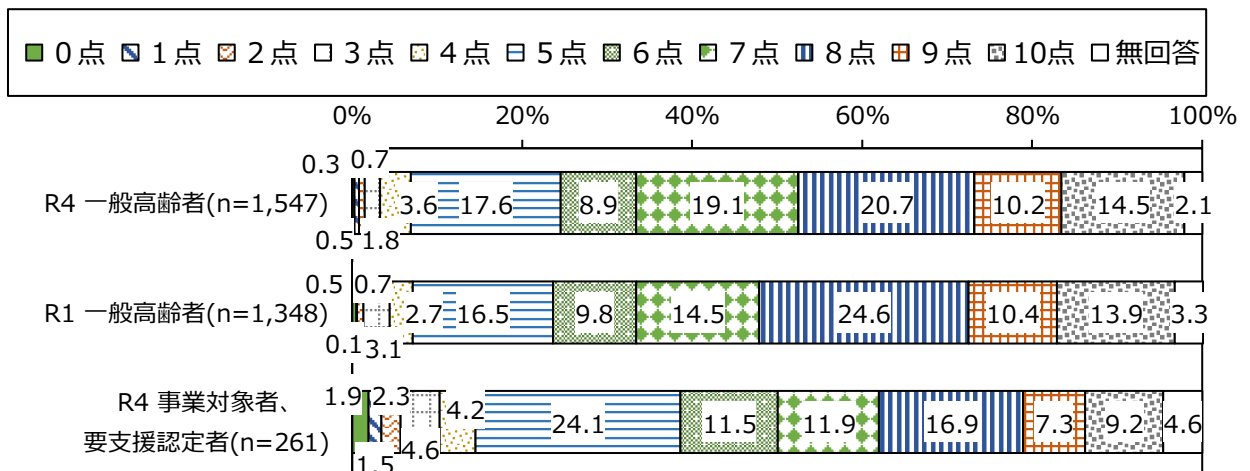
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○はひとつ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてあてはまる点数に○をつけてください)

一般高齢者では、「8点」が20.7%と最も高く、次いで「7点」が19.1%、「5点」が17.6%、「10点」が14.5%、「9点」が10.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「5点」が24.1%と最も高く、次いで「8点」が16.9%、「7点」が11.9%、「6点」が11.5%、「10点」が9.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「7点」が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「5点」が高くなっています。また、女性で「10点」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、75歳～79歳で「8点」が高くなっています。

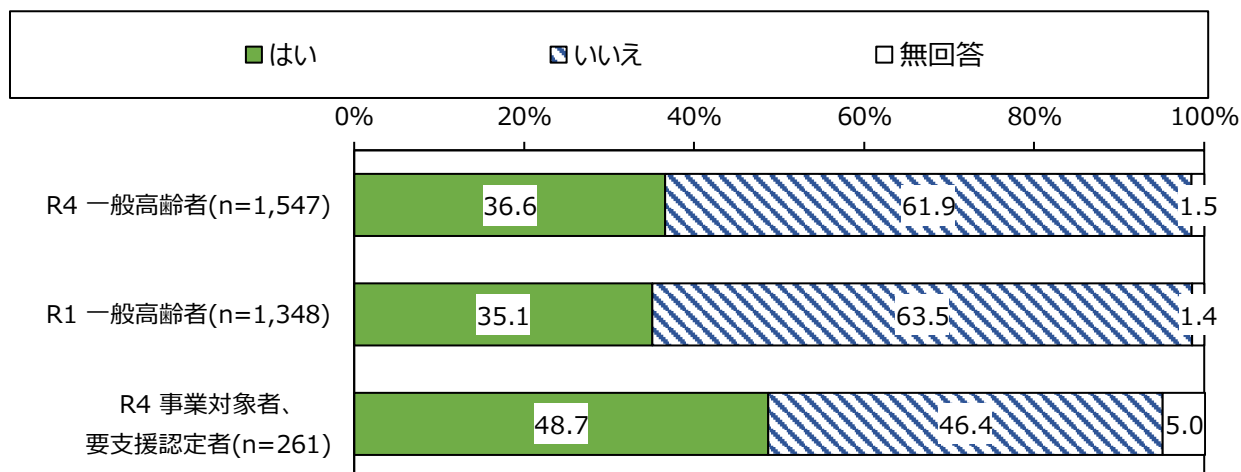
健康状態別でみると、健康状態がよい人ほど高い点数になる傾向がみられます。

単位：％

区分		回答者数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1,808	0.6	0.6	0.9	2.2	3.7	18.5	9.3	18.0	20.1	9.8	13.8	2.4
性別	男性	809	0.6	0.6	1.1	2.6	3.8	21.4	9.3	18.9	19.0	8.5	11.2	2.8
	女性	929	0.5	0.5	0.9	1.9	3.4	15.4	9.6	17.3	21.0	11.0	16.4	2.0
年齢別	65歳～69歳	391	0.5	0.3	1.0	2.8	3.3	15.3	9.5	22.3	21.7	11.5	10.7	1.0
	70歳～74歳	478	0.2	0.6	1.3	1.3	4.6	17.4	9.6	20.9	19.5	9.8	13.0	1.9
	75歳～79歳	340	0.3	0.3	0.9	1.8	4.4	19.7	8.5	17.1	23.2	7.9	12.9	2.9
	80歳～84歳	281	0.7	0.7	1.1	3.2	3.9	21.0	9.3	13.9	17.4	8.5	18.1	2.1
	85歳～89歳	181	2.2	0.6	0.6	2.8	1.7	19.3	9.9	13.8	17.7	11.0	17.7	2.8
	90歳～94歳	85	0.0	2.4	0.0	2.4	1.2	20.0	9.4	12.9	20.0	10.6	14.1	7.1
	95歳～99歳	12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
健康状態別	とてもよい	196	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	4.6	11.7	20.9	18.9	33.2	0.0
	まあよい	1,209	0.2	0.2	0.6	1.3	2.3	17.9	9.3	21.8	21.6	10.2	13.4	1.2
	あまりよくない	315	0.6	1.6	2.2	6.3	10.8	25.7	12.7	10.8	16.5	4.4	6.0	2.2
	よくない	52	7.7	7.7	5.8	7.7	7.7	25.0	7.7	9.6	11.5	3.8	5.8	0.0

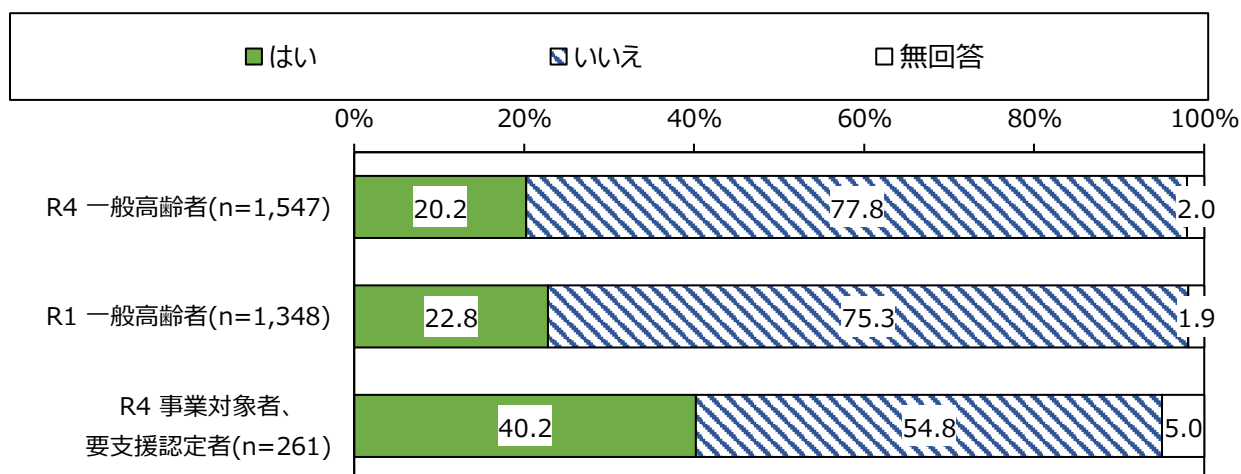
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が36.6%、「いいえ」が61.9%となっています。
 事業対象者、要支援認定者では、「はい」が48.7%、「いいえ」が46.4%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が増加しています。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が20.2%、「いいえ」が77.8%となっています。
 事業対象者、要支援認定者では、「はい」が40.2%、「いいえ」が54.8%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が減少しています。

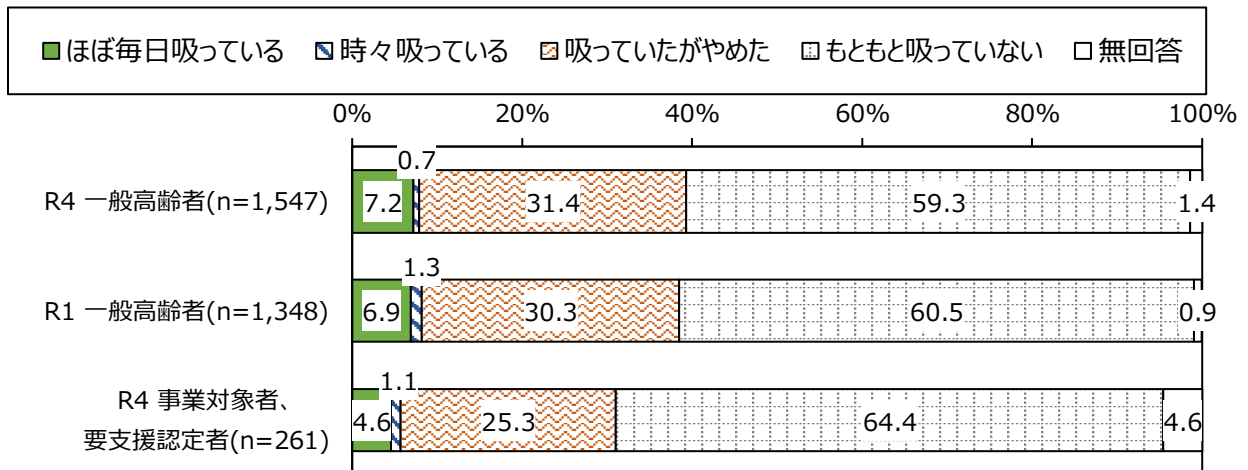


(5) タバコは吸っていますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「もともと吸っていない」が59.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が31.4%、「ほぼ毎日吸っている」が7.2%、「時々吸っている」が0.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「もともと吸っていない」が64.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が25.3%、「ほぼ毎日吸っている」が4.6%、「時々吸っている」が1.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



(6) ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)

一般高齢者では、「休養や睡眠を十分にとる」が64.1%と最も高く、次いで「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」が60.0%、「健康診断などを定期的に受ける」が38.2%、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が37.6%、「歯や口の中を清潔に保つ」が35.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「休養や睡眠を十分にとる」が59.0%と最も高く、次いで「身の回りのことはなるべく自分で行う」が57.9%、「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」が50.6%、「歯や口の中を清潔に保つ」が31.8%、「健康診断などを定期的に受ける」が27.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「気持ちをなるべく明るく持つ」、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける (栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	64.1	60.0	35.8	38.2	4.5	34.3	6.0	6.3	24.8	37.6	19.5	1.1	4.2	0.9
R1 一般高齢者	1,348	51.3	52.1	15.7	23.6	2.5	22.3	2.8	3.7	14.8	17.4	11.0	1.0	1.5	20.6
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	59.0	50.6	31.8	27.2	4.2	21.8	2.3	3.1	25.3	57.9	5.4	2.3	8.4	3.4

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「散歩やスポーツをする」が高くなっています。また、女性で「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」、「気持ちをなるべく明るく持つ」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「身の回りのことはなるべく自分で行う」が高くなっています。

健康状態別でみると、他に比べ、「とてもよい」で「休養や睡眠を十分にとる」が高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける (栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
全体		1,808	63.3	58.6	35.2	36.6	4.4	32.5	5.5	5.8	24.9	40.5	17.4	1.3	4.8	1.3
性別	男性	809	65.8	51.2	32.5	38.3	6.3	37.0	5.3	4.3	17.9	35.0	20.0	0.7	6.1	1.7
	女性	929	61.6	65.3	37.7	35.2	2.6	29.0	5.3	7.2	30.2	44.2	15.3	1.8	3.6	0.9
年齢別	65歳～69歳	391	65.7	63.2	36.6	42.2	6.9	35.3	4.3	6.9	26.6	25.6	28.6	0.3	3.3	0.5
	70歳～74歳	478	63.6	56.5	34.5	37.7	4.6	38.9	6.5	5.4	25.7	35.4	18.0	0.8	5.2	0.8
	75歳～79歳	340	59.7	56.8	37.1	35.3	3.2	31.8	5.0	5.9	23.2	40.9	15.9	2.1	4.7	2.4
	80歳～84歳	281	64.4	61.2	35.9	35.6	3.6	31.0	7.5	4.6	21.0	53.0	11.0	1.1	4.3	0.7
	85歳～89歳	181	64.1	57.5	33.7	27.6	3.3	24.3	3.9	7.2	28.2	56.4	9.9	3.3	6.6	1.1
	90歳～94歳	85	61.2	56.5	28.2	29.4	1.2	16.5	2.4	3.5	23.5	58.8	9.4	2.4	4.7	3.5
	95歳～99歳	12	50.0	41.7	25.0	33.3	8.3	8.3	8.3	16.7	25.0	75.0	0.0	0.0	8.3	0.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
健康状態別	とてもよい	196	67.3	60.7	37.2	39.8	4.6	43.4	6.1	10.7	18.4	31.6	23.0	0.5	5.1	0.5
	まあよい	1,209	65.4	60.5	35.6	38.4	4.5	35.1	6.2	6.1	26.4	39.5	19.7	1.2	3.5	0.1
	あまりよくない	315	57.8	53.3	34.6	32.7	4.4	21.3	3.8	2.9	24.8	48.9	8.9	1.6	9.2	0.3
	よくない	52	61.5	55.8	34.6	23.1	3.8	17.3	0.0	1.9	19.2	51.9	1.9	0.0	9.6	3.8

(7) 健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

一般高齢者では、「認知症の予防について」が51.0%と最も高く、次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が41.7%、「望ましい食生活について」が36.1%、「寝たきりや介護の予防について」が21.3%、「運動の方法について」が17.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「認知症の予防について」が49.0%と最も高く、次いで「望ましい食生活について」が35.2%、「寝たきりや介護の予防について」が33.7%、「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が31.8%、「運動の方法について」が18.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答
R4 一般高齢者	1,547	41.7	36.1	17.9	12.3	21.3	9.6	51.1	7.9	5.4	9.4
R1 一般高齢者	1,348	45.8	34.8	17.4	13.1	21.4	8.4	51.0	9.6	3.9	10.7
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	31.8	35.2	18.0	11.9	33.7	14.6	49.0	11.5	4.2	13.8

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が高くなっています。また、女性で「認知症の予防について」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「寝たきりや介護の予防について」が高くなっています。

健康状態別でみると、他に比べ、「まあよい」で「認知症の予防について」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数(件)	がんや生活習慣病(高血圧など)にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答
全体		1,808	40.3	36.0	17.9	12.2	23.1	10.3	50.8	8.4	5.3	10.0
性別	男性	809	45.0	34.1	17.2	16.2	19.0	10.6	46.1	6.4	5.7	10.1
	女性	929	36.7	37.0	17.9	8.8	26.5	10.2	55.3	10.3	5.0	10.1
年齢別	65歳～69歳	391	44.2	41.2	26.9	11.0	17.4	12.8	46.0	10.7	3.8	7.2
	70歳～74歳	478	44.6	33.9	17.6	11.1	18.0	10.0	49.8	9.0	6.1	9.4
	75歳～79歳	340	38.8	37.1	13.8	12.6	21.5	7.1	54.1	5.9	5.3	12.4
	80歳～84歳	281	39.9	34.9	15.7	15.3	28.1	10.3	55.5	9.6	5.3	9.3
	85歳～89歳	181	35.4	36.5	12.2	11.6	36.5	11.6	54.1	6.6	5.0	11.0
	90歳～94歳	85	24.7	24.7	15.3	11.8	41.2	12.9	49.4	4.7	5.9	14.1
	95歳～99歳	12	0.0	16.7	33.3	0.0	25.0	0.0	41.7	16.7	8.3	16.7
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
健康状態別	とてもよい	196	44.4	41.3	17.3	14.8	9.2	9.7	40.8	5.1	7.7	8.2
	まあよい	1,209	42.6	37.5	19.1	11.9	23.1	10.7	53.2	8.5	4.6	8.6
	あまりよくない	315	34.6	31.4	16.8	11.7	30.8	10.5	51.7	9.8	5.1	11.1
	よくない	52	23.1	23.1	9.6	13.5	28.8	9.6	46.2	13.5	11.5	11.5

(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

一般高齢者では、「高血圧」が40.3%と最も高く、次いで「目の病気」が17.8%、「ない」が16.8%、「高脂血症(脂質異常)」が14.8%、「糖尿病」が13.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「高血圧」が45.6%と最も高く、次いで「目の病気」が23.8%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が21.5%、「糖尿病」が18.8%、「心臓病」が15.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「高脂血症(脂質異常)」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
R4 一般高齢者	1,547	16.8	40.3	3.0	9.6	13.3	14.8	5.9	3.4	6.7	11.6
R1 一般高齢者	1,348	16.2	41.2	3.9	8.8	13.4	11.7	5.4	4.2	8.7	12.6
R4 事業対象者、要支援認定者	261	6.5	45.6	7.7	15.7	18.8	7.3	7.3	4.2	11.5	21.5

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
R4 一般高齢者	1.8	3.4	1.4	0.5	0.6	0.2	17.8	4.1	8.1	5.7
R1 一般高齢者	2.4	3.8	1.9	1.3	0.8	0.2	20.3	5.2	6.3	5.5
R4 事業対象者、要支援認定者	14.9	4.6	2.3	1.1	5.4	1.5	23.8	12.3	10.7	6.1

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「高血圧」、「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」が高くなっています。また、女性で「高脂血症（脂質異常）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、80歳～84歳で「高血圧」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)
全体		1,808	15.3	41.0	3.7	10.5	14.1	13.7	6.1	3.5	7.4	13.0
性別	男性	809	16.9	41.9	4.7	13.7	18.0	9.8	6.9	3.3	15.1	4.2
	女性	929	13.9	40.6	2.9	7.8	10.4	17.2	5.1	3.8	0.6	20.6
年齢別	65歳～69歳	391	22.3	37.1	1.8	4.9	12.3	18.9	4.3	1.8	2.8	7.2
	70歳～74歳	478	15.5	39.5	4.6	10.5	15.7	18.4	6.3	4.8	6.5	11.7
	75歳～79歳	340	12.9	40.3	3.2	10.9	16.2	13.8	4.7	3.5	9.7	15.6
	80歳～84歳	281	12.5	50.5	5.7	11.4	11.4	7.5	8.2	3.6	8.9	17.1
	85歳～89歳	181	11.0	42.0	3.9	17.1	14.4	3.3	7.2	3.9	10.5	16.0
	90歳～94歳	85	9.4	43.5	3.5	17.6	11.8	5.9	5.9	2.4	11.8	18.8
	95歳～99歳	12	8.3	25.0	0.0	25.0	16.7	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分		外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマ ー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		3.7	3.5	1.5	0.6	1.3	0.4	18.6	5.3	8.5	5.8
性別	男性	1.6	4.6	1.5	0.1	1.0	0.5	17.7	5.1	9.3	4.7
	女性	5.7	2.5	1.6	1.0	1.6	0.3	19.8	5.5	8.1	6.5
年齢別	65歳～69歳	1.8	2.8	3.1	0.5	0.0	0.0	12.3	3.1	10.0	4.9
	70歳～74歳	1.5	3.1	1.3	0.6	0.6	0.4	18.8	3.3	7.7	4.0
	75歳～79歳	3.2	4.1	0.6	0.9	1.8	1.2	19.7	4.7	7.1	6.2
	80歳～84歳	7.8	4.6	0.7	0.7	1.4	0.4	22.1	7.5	7.8	6.4
	85歳～89歳	7.7	2.8	2.8	0.0	4.4	0.0	24.3	9.9	11.6	7.2
	90歳～94歳	5.9	5.9	0.0	0.0	3.5	0.0	24.7	8.2	9.4	7.1
	95歳～99歳	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	33.3	0.0	16.7
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

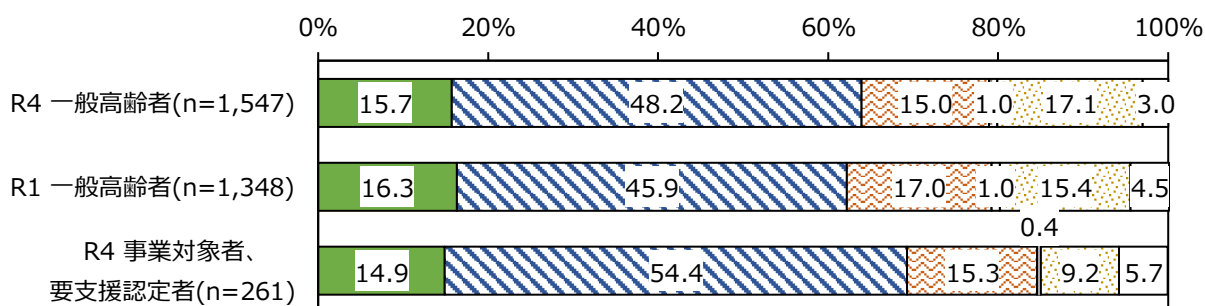
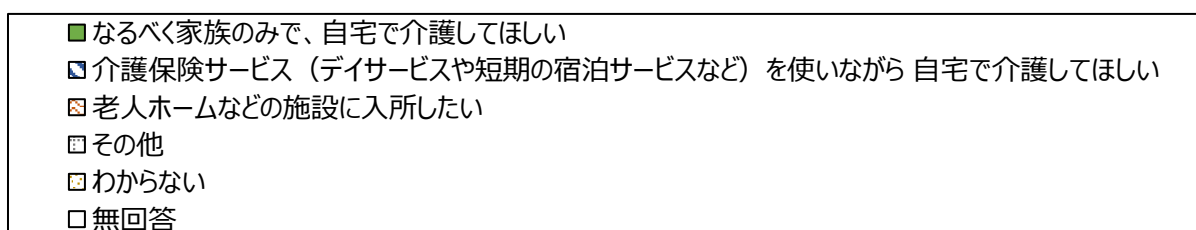
(問8) 介護保険サービスなどについて

(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。
(○はひとつ)

一般高齢者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」が48.2%と最も高く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が15.7%、「老人ホームなどの施設に入所したい」が15.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」が54.4%と最も高く、次いで「老人ホームなどの施設に入所したい」が15.3%、「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が14.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が高くなっています。また、女性で「老人ホームなどの施設に入所したい」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が高くなっています。

単位：%

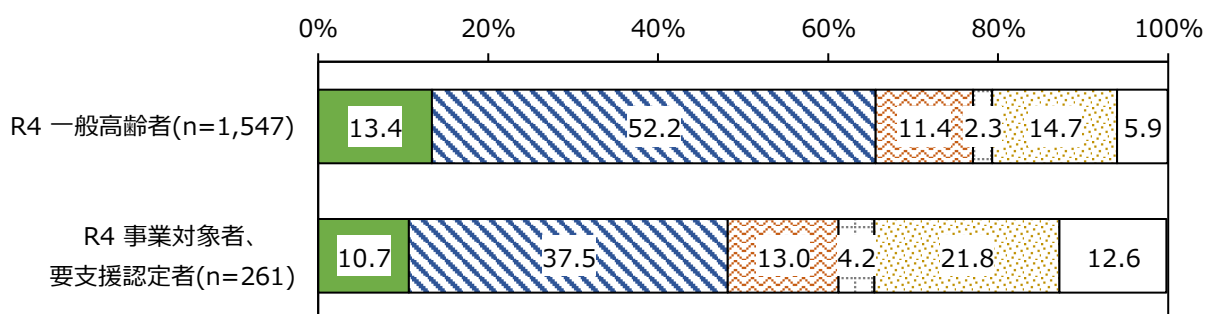
区分		回答者数 (件)	なるべく家族のみで、 自宅で介護してほしい	介護保険サービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)を 使いながら自宅で介護してほしい	老人ホームなどの施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全体		1,808	15.6	49.1	15.0	0.9	15.9	3.4
性別	男性	809	19.7	48.1	12.0	1.0	16.1	3.2
	女性	929	11.7	50.5	17.8	0.9	15.7	3.4
年齢別	65歳～69歳	391	10.0	47.6	19.4	0.5	21.2	1.3
	70歳～74歳	478	13.4	53.6	11.5	0.8	17.8	2.9
	75歳～79歳	340	12.4	50.6	17.6	1.8	13.5	4.1
	80歳～84歳	281	19.2	50.5	14.2	0.4	11.4	4.3
	85歳～89歳	181	26.5	46.4	9.9	1.7	11.0	4.4
	90歳～94歳	85	30.6	36.5	16.5	0.0	11.8	4.7
	95歳～99歳	12	25.0	16.7	33.3	0.0	16.7	8.3
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-

(2) あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。
(○はひとつ)

一般高齢者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が52.2%と最も高く、次いで「わからない」が14.7%、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が13.4%、「老人ホームなどの施設に入所させたい」が11.4%となっています。

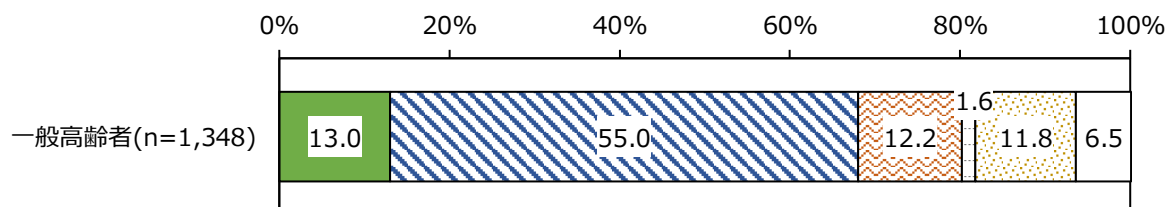
事業対象者、要支援認定者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が37.5%と最も高く、次いで「わからない」が21.8%、「老人ホームなどの施設に入所させたい」が13.0%、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が10.7%となっています。

- なるべく家族のみで、自宅で介護したい
- ▨ 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい
- ▨ 老人ホームなどの施設に入所させたい
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



【令和元年度調査】

- なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
- ▨ 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい
- ▨ 老人ホームなどの施設に入所したい
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



※令和元年度調査では、選択肢の表現が異なる。

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が高くなっています。また、女性で「わからない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、85歳～89歳で「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	なるべく家族のみで、 自宅で介護したい	介護保険サービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)を使いながら自宅で介護したい	老人ホームなどの施設に入所させたい	その他	わからない	無回答
全体		1,808	13.1	50.1	11.6	2.6	15.8	6.9
性別	男性	809	16.1	49.3	11.5	3.0	13.8	6.3
	女性	929	10.5	50.4	11.7	2.3	17.7	7.4
年齢別	65歳～69歳	391	10.2	54.7	14.8	3.1	15.3	1.8
	70歳～74歳	478	11.5	56.5	9.8	2.1	14.0	6.1
	75歳～79歳	340	10.0	52.4	10.9	2.9	14.1	9.7
	80歳～84歳	281	16.7	47.0	12.8	1.8	14.2	7.5
	85歳～89歳	181	20.4	39.2	9.9	3.3	17.1	9.9
	90歳～94歳	85	18.8	17.6	12.9	3.5	36.5	10.6
	95歳～99歳	12	0.0	41.7	0.0	0.0	16.7	41.7
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-

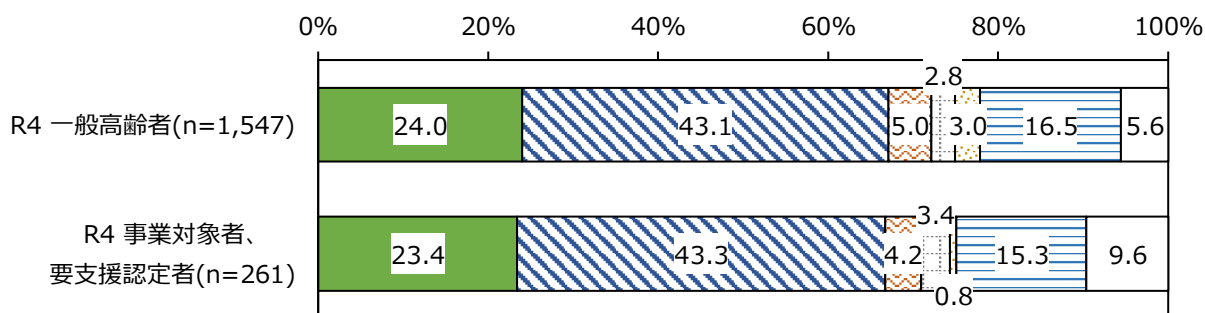
(3) 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう
 思いますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい」が43.1%と最も高く、次いで「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」が24.0%、「わからない」が16.5%、「保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない」が5.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい」が43.3%と最も高く、次いで「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」が23.4%、「わからない」が15.3%、「保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない」が4.2%、「保険料の負担を減らし、介護保険サービス量が減ってもやむを得ない」が3.4%となっています。

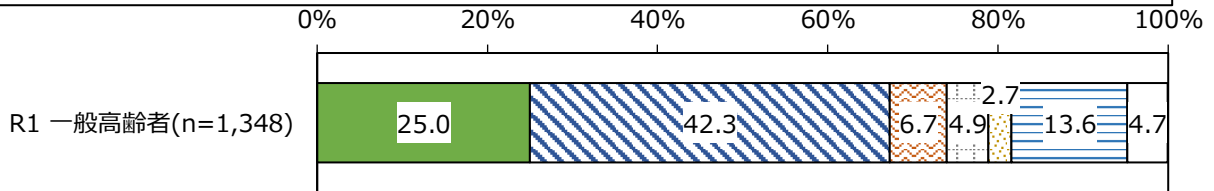
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない」が減少しています。

- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
- ▨ 介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい
- ▩ 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない
- 保険料の負担を減らし、介護保険サービス量が減ってもやむを得ない
- ▨ その他
- ▨ わからない
- 無回答



【令和元年度調査】

- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
- ▨ 介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい
- ▨ 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない
- 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実を望まない
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



※令和元年度調査では、選択肢の表現が異なる。

(4) あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか。(○は3つまで)

一般高齢者では、「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が38.3%と最も高く、次いで「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が37.6%、「小規模多機能型居宅介護（デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス）」が25.8%、「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」が23.6%、「わからない」が21.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が43.3%と最も高く、次いで「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が38.7%、「医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス」が20.3%、「小規模多機能型居宅介護（デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス）」が19.5%、「わからない」が18.4%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	小規模多機能型居宅介護（デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス）	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	38.3	37.6	20.1	25.8	23.6	4.0	10.2	1.4	21.4	3.9
R4 事業対象者、要支援認定者	261	43.3	38.7	20.3	19.5	18.0	4.2	9.6	1.1	18.4	10.0

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が高くなっています。また、女性で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～69歳で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、事業対象者で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	小規模多機能型居宅介護（デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス）	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
全体		1,808	39.0	37.8	20.1	24.9	22.8	4.0	10.1	1.3	21.0	4.8
性別	男性	809	42.9	35.4	22.6	22.4	22.5	3.0	10.6	1.0	21.5	4.0
	女性	929	35.7	40.0	18.3	27.2	23.4	5.2	9.6	1.7	20.9	5.0
年齢別	65歳～69歳	391	35.5	44.5	17.9	30.9	27.6	6.1	12.3	1.5	19.4	1.3
	70歳～74歳	478	39.3	39.1	22.4	29.1	22.2	4.0	10.5	1.3	20.3	3.1
	75歳～79歳	340	39.4	35.3	21.5	24.4	21.8	3.8	12.4	1.2	19.4	5.6
	80歳～84歳	281	41.3	35.9	20.3	17.1	21.7	2.1	6.8	2.5	22.4	7.5
	85歳～89歳	181	42.0	29.8	19.9	17.1	20.4	2.8	8.3	0.6	28.2	8.3
	90歳～94歳	85	41.2	35.3	16.5	17.6	20.0	3.5	8.2	0.0	20.0	5.9
	95歳～99歳	12	33.3	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	0.0	0.0	8.3	16.7
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位：%

区分		回答者数(件)	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	デイサービスやショートステイ(短期の宿泊サービス)などの施設に通うサービス	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	小規模多機能型居宅介護(デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス)	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム(認知症の方が共同生活する施設)	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
居住地区別	袋井北部地域	554	39.9	36.5	20.9	26.0	25.5	3.6	12.6	0.9	19.1	3.6
	袋井中部地域	388	37.1	41.0	20.6	26.0	20.4	4.1	8.5	1.5	20.4	4.9
	袋井南部地域	451	39.0	37.9	18.6	23.9	22.2	3.8	11.1	1.8	22.4	4.7
	浅羽地域	362	40.6	36.2	21.5	24.0	21.8	5.0	7.7	1.1	22.7	5.2
要介護度別	一般高齢者	1,547	38.3	37.6	20.1	25.8	23.6	4.0	10.2	1.4	21.4	3.9
	事業対象者	32	34.4	43.8	21.9	25.0	15.6	0.0	6.3	0.0	9.4	21.9
	要支援認定者	229	44.5	38.0	20.1	18.8	18.3	4.8	10.0	1.3	19.7	8.3

(5) あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○は3つまで)

一般高齢者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が88.5%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が6.1%、「家族が介護をするため必要ない」が3.6%、「利用料を支払うのが難しい」が2.0%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が1.6%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.4%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が11.5%、「家族が介護をするため必要ない」が8.8%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が7.7%、「利用料を支払うのが難しい」が5.0%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
R4 一般高齢者	1,547	88.5	6.1	3.6	0.0	2.0	0.4	0.6	1.6	3.7	6.4
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	41.4	11.5	8.8	0.0	5.0	2.7	7.7	4.2	11.1	32.6

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が高くなっています。

居住地区別でみると、袋井南部地域で「本人にサービス利用の希望がない」が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要支援認定者で「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数(件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		1,808	81.7	6.9	4.4	0.0	2.4	0.7	1.6	1.9	4.8	10.2
性別	男性	809	84.1	7.7	5.6	0.0	3.5	0.9	0.9	1.9	4.8	8.2
	女性	929	79.9	6.1	3.3	0.0	1.3	0.3	2.3	1.9	5.0	11.8
年齢別	65歳～69歳	391	91.8	3.6	1.3	0.0	2.0	0.0	0.5	1.0	2.8	3.6
	70歳～74歳	478	87.4	4.6	2.3	0.0	1.3	0.2	0.2	1.0	4.0	7.5
	75歳～79歳	340	81.5	6.2	5.0	0.0	1.5	0.3	1.2	0.9	5.3	11.5
	80歳～84歳	281	77.2	8.2	5.7	0.0	2.8	1.4	2.8	3.6	5.3	13.9
	85歳～89歳	181	66.3	14.9	7.2	0.0	4.4	1.7	5.5	4.4	6.1	17.7
	90歳～94歳	85	55.3	17.6	17.6	0.0	8.2	4.7	3.5	2.4	14.1	17.6
	95歳～99歳	12	66.7	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	25.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分		回答者数(件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
居住地区別	袋井北部地域	554	80.3	6.9	4.9	0.0	2.2	0.5	1.1	2.0	4.5	10.3
	袋井中部地域	388	83.8	7.2	3.9	0.0	3.1	1.0	1.3	2.3	5.7	9.3
	袋井南部地域	451	82.0	8.4	4.4	0.0	2.4	0.9	2.4	1.3	3.8	10.2
	浅羽地域	362	82.0	5.5	4.4	0.0	2.2	0.6	1.7	2.5	5.8	9.9
要介護度別	一般高齢者	1,547	88.5	6.1	3.6	0.0	2.0	0.4	0.6	1.6	3.7	6.4
	事業対象者	32	43.8	15.6	12.5	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	6.3	34.4
	要支援認定者	229	41.0	10.9	8.3	0.0	5.2	3.1	8.3	4.8	11.8	32.3

(6) 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。(○は3つまで)

一般高齢者では、「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が40.9%と最も高く、次いで「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」が35.3%、「公的または民間による配食サービス」が32.4%、「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」が31.4%、「自宅への訪問理美容サービス」が14.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が39.1%と最も高く、次いで「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」が28.7%、「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」が23.8%、「公的または民間による配食サービス」が23.0%、「自宅への訪問理美容サービス」が19.2%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	介護支援ボランティアポイント制度	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゅう・マッサージの施術費を助成するサービス	タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス	補聴器の購入費を助成するサービス	認知症の方が所持するGPS機器を貸与するサービス	その他	特にない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	6.4	14.3	31.4	32.4	35.3	7.8	40.9	10.1	10.0	1.9	13.3	7.4
R4 事業対象者、要支援認定者	261	8.0	19.2	23.8	23.0	28.7	13.0	39.1	13.4	7.3	0.4	10.7	11.5

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特にない」が高くなっています。また、女性で「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、80歳～84歳で「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数(件)	介護支援ボランティアポイント制度	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゆう・マッサージの施術費を助成するサービス	タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス	補聴器の購入費を助成するサービス	認知症の方が所持するGPS機器を貸与するサービス	その他	特にない	無回答
全体		1,808	6.6	15.0	30.3	31.0	34.3	8.6	40.6	10.6	9.6	1.7	12.9	8.0
性別	男性	809	7.4	12.6	31.3	29.3	35.1	8.5	33.6	11.4	10.0	0.9	15.7	8.5
	女性	929	5.7	17.3	29.4	32.9	34.4	8.8	46.6	9.9	9.6	2.4	10.5	7.1
年齢別	65歳～69歳	391	5.9	12.3	39.4	40.7	39.4	10.2	37.6	9.0	15.9	1.8	13.6	2.3
	70歳～74歳	478	5.6	14.0	33.7	33.7	34.3	6.9	42.1	8.8	10.5	2.3	12.1	7.1
	75歳～79歳	340	6.5	14.7	28.2	33.8	36.8	6.8	38.5	7.9	7.6	0.3	12.6	9.7
	80歳～84歳	281	8.9	16.0	21.4	22.1	33.1	8.2	47.0	13.9	6.8	2.1	12.1	10.3
	85歳～89歳	181	7.2	17.7	19.3	21.0	27.1	10.5	45.3	16.6	5.5	1.1	15.5	12.2
	90歳～94歳	85	4.7	24.7	21.2	15.3	24.7	16.5	31.8	17.6	4.7	1.2	14.1	9.4
	95歳～99歳	12	16.7	41.7	16.7	16.7	25.0	0.0	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	33.3
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	6.1	15.7	33.6	31.9	36.5	7.8	38.1	10.5	8.5	1.3	11.6	8.8
	袋井中部地域	388	7.0	16.0	30.7	30.7	34.8	8.8	40.5	10.3	10.8	3.1	13.4	7.2
	袋井南部地域	451	7.1	13.1	25.1	31.3	34.4	10.6	46.1	11.5	9.8	1.3	12.2	6.2
	浅羽地域	362	6.1	16.3	30.4	31.2	32.3	7.5	38.1	9.4	9.7	1.4	15.2	8.8

(7) あなたはどのような医療サービスの充実を望みますか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「往診」が41.6%と最も高く、次いで「訪問診療」が39.5%、「レスパイト入院」が39.4%、「訪問看護」が36.4%、「訪問リハビリテーション」が21.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「往診」が37.5%と最も高く、次いで「訪問診療」が36.8%、「レスパイト入院」が32.6%、「訪問看護」が29.5%、「訪問リハビリテーション」が27.2%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問歯科診療	訪問リハビリテーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
R4 一般高齢者	1,547	39.5	41.6	36.4	12.0	21.1	4.9	39.4	4.4	16.3
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	36.8	37.5	29.5	11.9	27.2	5.7	32.6	4.6	19.5

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「訪問看護」が高くなっています。また、女性で「レスパイト入院」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～69歳で「レスパイト入院」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「レスパイト入院」が高くなっています。

要介護度別にみると、他に比べ、一般高齢者で「レスパイト入院」が高くなっています。

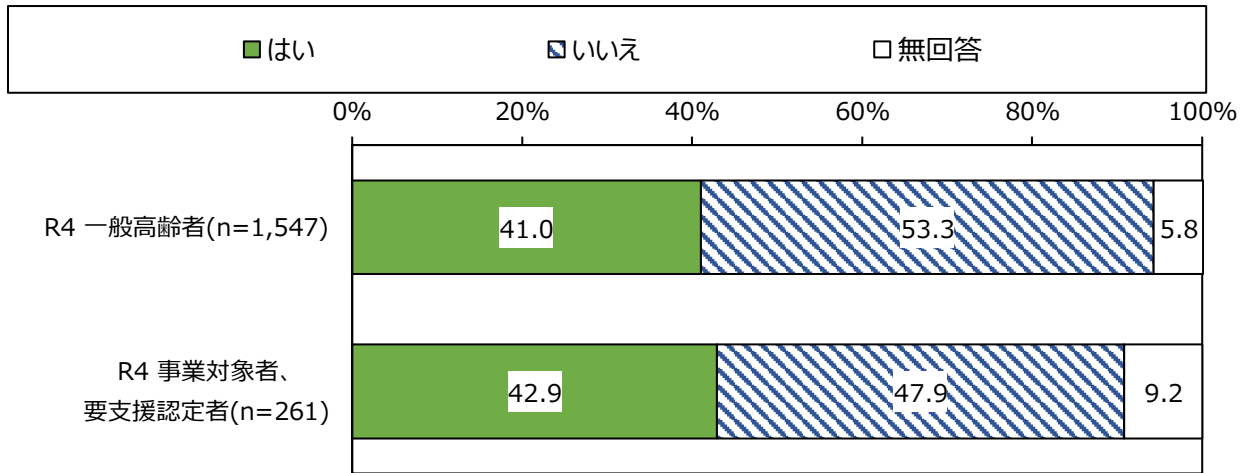
単位：％

区分		回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問歯科診療	訪問リハビリテーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
全体		1,808	39.1	41.0	35.4	12.0	22.0	5.0	38.4	4.4	16.8
性別	男性	809	42.2	42.6	39.1	10.8	19.8	6.6	29.9	4.2	16.7
	女性	929	36.8	40.2	32.5	13.3	23.9	3.9	46.0	4.5	16.6
年齢別	65歳～69歳	391	45.5	46.8	41.2	16.1	25.3	6.4	44.5	4.3	10.0
	70歳～74歳	478	41.4	41.2	37.4	12.6	23.2	3.6	39.1	3.1	15.3
	75歳～79歳	340	36.5	39.1	33.2	9.7	22.4	4.4	39.7	4.7	20.3
	80歳～84歳	281	35.2	40.2	31.0	10.0	18.5	5.7	39.1	5.7	17.4
	85歳～89歳	181	33.1	34.8	29.3	9.9	14.4	6.1	28.2	4.4	24.9
	90歳～94歳	85	38.8	45.9	35.3	12.9	25.9	7.1	29.4	4.7	16.5
	95歳～99歳	12	16.7	41.7	33.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	41.7
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	袋井北部地域	554	42.1	41.9	37.4	11.9	23.1	4.9	39.2	4.7	17.0
	袋井中部地域	388	33.5	41.8	33.0	11.6	22.2	6.4	36.6	5.9	17.5
	袋井南部地域	451	39.2	42.4	34.6	12.0	21.3	4.7	41.0	3.3	16.0
	浅羽地域	362	42.0	39.5	37.6	13.5	20.2	4.7	36.5	3.6	15.5
要介護度別	一般高齢者	1,547	39.5	41.6	36.4	12.0	21.1	4.9	39.4	4.4	16.3
	事業対象者	32	21.9	37.5	15.6	18.8	18.8	0.0	28.1	6.3	25.0
	要支援認定者	229	38.9	37.6	31.4	10.9	28.4	6.6	33.2	4.4	18.8

(8) あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことはありますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が41.0%、「いいえ」が53.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が42.9%、「いいえ」が47.9%となっています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「はい」が高くなっています。

単位：%

区分		回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体		1,808	41.3	52.5	6.3
性別	男性	809	32.1	61.1	6.8
	女性	929	49.4	45.0	5.6
年齢別	65歳～69歳	391	40.2	57.8	2.0
	70歳～74歳	478	43.3	52.7	4.0
	75歳～79歳	340	37.9	54.4	7.6
	80歳～84歳	281	43.8	46.3	10.0
	85歳～89歳	181	40.3	46.4	13.3
	90歳～94歳	85	44.7	49.4	5.9
	95歳～99歳	12	41.7	41.7	16.7
	100歳以上	-	-	-	-

(9) あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことはありますか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「話し合ったことはない」が56.8%と最も高く、次いで「ご家族」が33.7%、「友人」が8.1%、「医療介護関係者」が2.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「話し合ったことはない」が49.8%と最も高く、次いで「ご家族」が35.6%、「友人」が8.4%、「医療介護関係者」が5.7%となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ご家族	友人	医療介護関係者	その他	話し合ったことはない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	33.7	8.1	2.0	1.4	56.8	5.4
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	35.6	8.4	5.7	3.1	49.8	8.4

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「話し合ったことはない」が高くなっています。また、女性で「ご家族」、「友人」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「ご家族」が高くなっています。

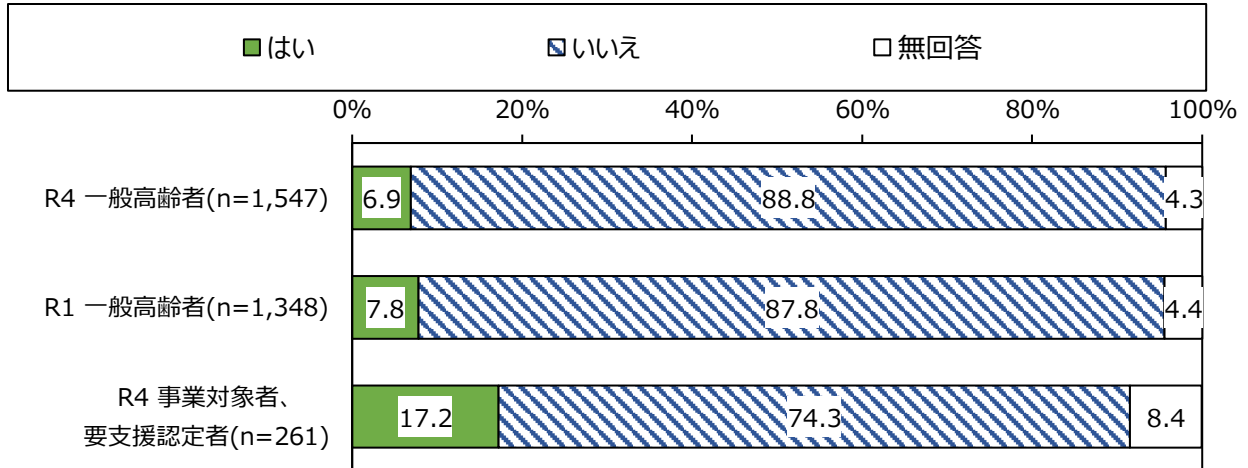
単位：％

区分	回答者数 (件)	ご家族	友人	医療介護関係者	その他	話し合ったことはない	無回答
全体	1,808	34.0	8.1	2.5	1.7	55.8	5.8
性別	男性	809	29.4	3.8	3.3	61.6	6.1
	女性	929	38.6	11.5	1.7	50.2	5.5
年齢別	65歳～69歳	391	30.7	7.4	1.8	62.4	2.6
	70歳～74歳	478	33.5	9.4	0.8	55.2	4.4
	75歳～79歳	340	33.2	5.3	2.9	57.4	7.9
	80歳～84歳	281	39.1	8.9	4.6	50.5	7.1
	85歳～89歳	181	33.7	11.0	4.4	48.6	10.5
	90歳～94歳	85	40.0	3.5	2.4	52.9	5.9
	95歳～99歳	12	25.0	0.0	0.0	58.3	16.7
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-

(問9) 認知症にかかる相談窓口について

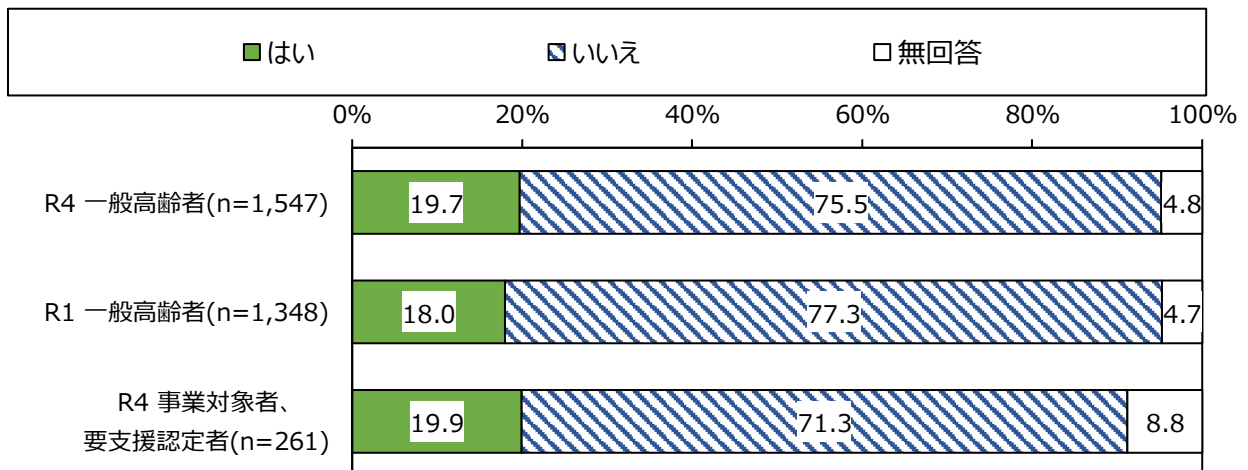
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が6.9%、「いいえ」が88.8%となっています。
 事業対象者、要支援認定者では、「はい」が17.2%、「いいえ」が74.3%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「はい」が19.7%、「いいえ」が75.5%となっています。
 事業対象者、要支援認定者では、「はい」が19.9%、「いいえ」が71.3%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

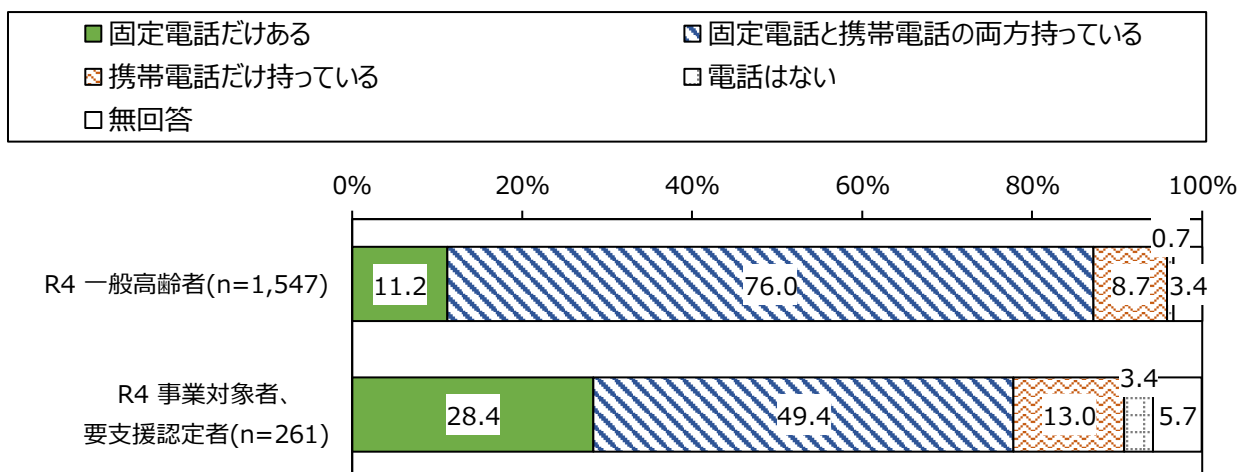


(問 10) その他について

(1) あなたは、固定電話や携帯電話を持っていますか。(○はひとつ)

一般高齢者では、「固定電話と携帯電話の両方持っている」が76.0%と最も高く、次いで「固定電話だけある」が11.2%、「携帯電話だけ持っている」が8.7%、「電話はない」が0.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「固定電話と携帯電話の両方持っている」が49.4%と最も高く、次いで「固定電話だけある」が28.4%、「携帯電話だけ持っている」が13.0%、「電話はない」が3.4%となっています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「固定電話と携帯電話の両方持っている」が高くなっています。また、女性で「固定電話だけある」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、70歳～74歳で「固定電話と携帯電話の両方持っている」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	固定電話だけある	固定電話と携帯電話の両方持っている	携帯電話だけ持っている	電話はない	無回答	
全体	1,808	13.7	72.1	9.3	1.1	3.7	
性別	男性	809	10.0	75.0	9.0	1.5	4.4
	女性	929	16.1	69.9	10.1	0.9	3.0

単位：％

区分		回答者数(件)	固定電話だけある	固定電話と携帯電話の両方持っている	携帯電話だけ持っている	電話はない	無回答
年齢別	65歳～69歳	391	2.3	82.9	12.5	0.5	1.8
	70歳～74歳	478	3.8	83.7	9.2	0.6	2.7
	75歳～79歳	340	10.0	75.3	8.8	0.6	5.3
	80歳～84歳	281	24.2	62.3	6.8	2.1	4.6
	85歳～89歳	181	35.9	47.0	8.3	2.2	6.6
	90歳～94歳	85	45.9	37.6	11.8	2.4	2.4
	95歳～99歳	12	50.0	33.3	0.0	8.3	8.3
	100歳以上	-	-	-	-	-	-

(2) スマートフォンやパソコンを使って、どのようなインターネットを利用していますか。(〇はいくつでも)

一般高齢者では、「ニュースや天気予報」が50.0%と最も高く、次いで「メールやSNS」が48.8%、「何もしていない」が30.8%、「動画サイトの閲覧」が22.4%、「ネットショッピング」が17.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「何もしていない」が62.5%と最も高く、次いで「ニュースや天気予報」が12.6%、「メールやSNS」が11.5%、「動画サイトの閲覧」が5.4%となっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	行政機関の申請	メールやSNS	ニュースや天気予報	ネットショッピング	動画サイトの閲覧	その他	何もしていない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	11.9	48.8	50.0	17.2	22.4	4.2	30.8	6.7
R4 事業対象者、要支援認定者	261	2.3	11.5	12.6	3.1	5.4	5.4	62.5	15.7

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「行政機関の申請」、「ニュースや天気予報」、「ネットショッピング」、「動画サイトの閲覧」が高くなっています。また、女性で「利用していない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「利用していない」が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	行政機関の申請	メールやSNS	ニュースや天気予報	ネットショッピング	動画サイトの閲覧	その他	利用していない	無回答	
全体	1,808	10.5	43.4	44.6	15.2	20.0	4.4	35.4	8.0	
性別	男性	809	14.2	43.3	50.2	20.1	25.1	4.9	32.1	7.2
	女性	929	7.2	43.8	39.7	10.9	16.0	4.0	38.0	8.5
年齢別	65歳～69歳	391	22.8	74.4	75.4	33.0	45.0	2.6	12.0	1.8
	70歳～74歳	478	11.1	53.8	53.6	18.6	22.0	4.4	27.6	3.8
	75歳～79歳	340	7.6	38.5	38.2	9.7	12.1	5.3	36.5	8.8
	80歳～84歳	281	4.3	23.1	25.3	4.3	7.8	5.7	53.0	12.8
	85歳～89歳	181	2.8	11.0	16.6	2.8	4.4	6.1	56.9	18.8
	90歳～94歳	85	0.0	1.2	7.1	0.0	1.2	1.2	76.5	16.5
	95歳～99歳	12	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 市のお知らせやイベントなどの情報はどこから入手していますか。
(○はいくつでも)

一般高齢者では、「広報ふくろい」が81.4%と最も高く、次いで「回覧板」が76.9%、「テレビや新聞」が38.4%、「家族・近所・友人など」が29.3%、「メローねっと（袋井市Eメール）」が26.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「広報ふくろい」が69.3%と最も高く、次いで「回覧板」が64.4%、「テレビや新聞」が33.0%、「家族・近所・友人など」が34.1%、「メローねっと（袋井市Eメール）」が8.0%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	広報ふくろい	回覧板	メローねっと (袋井市Eメール)	袋井市ホームページ	公共施設の 掲示板	テレビや新聞	家族・近所・友人など	その他	無回答
R4 一般高齢者	1,547	81.4	76.9	26.8	13.3	4.7	38.4	29.3	0.9	3.9
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	69.3	64.4	8.0	4.2	2.7	33.0	34.1	2.3	6.5

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「袋井市ホームページ」が高くなっています。また、女性で「家族・近所・友人など」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～69歳で「メローねっと（袋井市Eメール）」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	広報ふくろい	回覧板	メローねっと (袋井市Eメール)	袋井市ホームページ	公共施設の 掲示板	テレビや新聞	家族・近所・友人など	その他	無回答	
全体	1,808	79.7	75.1	24.1	11.9	4.4	37.6	30.0	1.1	4.3	
性別	男性	809	78.5	75.5	26.0	14.0	4.2	39.6	23.2	1.1	5.3
	女性	929	80.6	74.4	22.7	10.0	4.6	36.7	35.4	1.1	3.4
年齢別	65歳～69歳	391	84.1	75.4	41.4	21.7	4.3	30.2	21.7	1.0	1.5
	70歳～74歳	478	83.5	76.4	29.7	13.2	4.6	40.2	25.9	0.2	3.8
	75歳～79歳	340	81.2	79.1	20.3	9.1	4.7	39.4	32.4	0.0	5.9
	80歳～84歳	281	74.0	74.7	13.2	5.7	5.0	41.6	37.0	2.1	5.7
	85歳～89歳	181	71.3	69.1	8.3	7.2	4.4	37.6	36.5	2.2	8.3
	90歳～94歳	85	68.2	61.2	0.0	3.5	0.0	44.7	43.5	4.7	2.4
	95歳～99歳	12	83.3	58.3	8.3	0.0	0.0	33.3	25.0	0.0	0.0
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(4) 災害時の情報はどこから入手していますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「テレビ・ラジオ」が45.1%と最も高く、次いで「同報無線」が40.7%、「メローねっと（袋井市Eメール）」が29.8%、「家族・近所・友人など」が22.0%、「インターネット」が9.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「テレビ・ラジオ」が43.7%と最も高く、次いで「同報無線」が34.5%、「家族・近所・友人など」が33.0%、「メローねっと（袋井市Eメール）」が11.1%、「袋井市ホームページ」が5.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「同報無線」、「テレビ・ラジオ」が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	メローねっと (袋井市Eメール)	同報無線	袋井市ホームページ	インターネット	テレビ・ラジオ	家族・近所・友人など	その他	何もしていない	無回答
R4 一般高齢者	1,547	29.8	40.7	7.3	9.5	45.1	22.0	0.5	3.1	3.7
R1 一般高齢者	1,348	31.8	53.9	4.8	12.1	74.3	38.0	1.0	1.8	4.1
R4 事業対象者、 要支援認定者	261	11.1	34.5	5.0	1.5	43.7	33.0	1.5	5.0	6.9

〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「インターネット」が高くなっています。また、女性で「家族・近所・友人など」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、75歳～79歳で「同報無線」が高くなっています。

単位：％

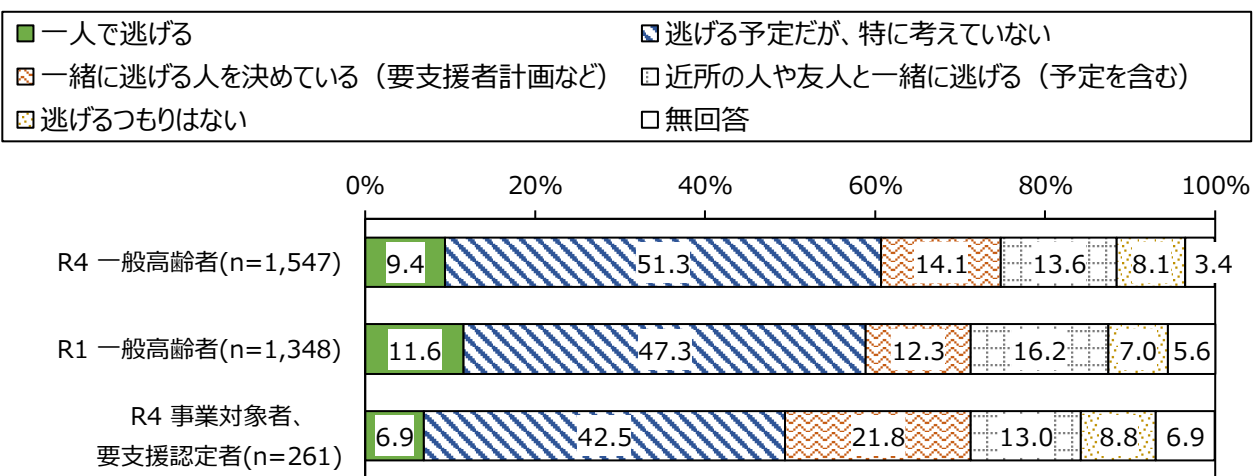
区分		回答者数 (件)	メローねっと (袋井市Eメール)	同報無線	袋井市ホームページ	インターネット	テレビ・ラジオ	家族・近所・友人など	その他	何もしていない	無回答
全体		1,808	27.1	39.8	7.0	8.4	44.9	23.6	0.7	3.4	4.1
性別	男性	809	28.7	40.8	6.6	11.0	46.1	18.4	0.7	3.3	4.8
	女性	929	26.0	39.1	7.1	6.0	44.7	28.0	0.6	3.1	3.4
年齢別	65歳～69歳	391	41.9	39.9	11.8	18.7	43.5	17.6	0.3	2.3	1.3
	70歳～74歳	478	34.7	41.8	7.1	9.2	45.4	18.4	0.2	2.7	3.6
	75歳～79歳	340	25.0	45.0	5.9	5.0	43.5	22.4	0.6	2.4	5.9
	80歳～84歳	281	14.2	37.0	5.0	3.2	47.7	31.0	1.8	3.2	5.0
	85歳～89歳	181	10.5	33.7	3.3	1.7	45.3	32.6	1.1	6.1	8.3
	90歳～94歳	85	4.7	31.8	2.4	0.0	48.2	37.6	1.2	8.2	2.4
	95歳～99歳	12	8.3	33.3	8.3	0.0	50.0	41.7	0.0	8.3	8.3
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 災害時にどのように避難しますか。(〇はひとつ)

一般高齢者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」が51.3%と最も高く、次いで「一緒に逃げる人を決めている（要支援者計画など）」が14.1%、「近所の人や友人と一緒に逃げる（予定を含む）」が13.6%、「一人で逃げる」が9.4%、「逃げるつもりはない」が8.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」が42.5%と最も高く、次いで「一緒に逃げる人を決めている（要支援者計画など）」が21.8%、「近所の人や友人と一緒に逃げる（予定を含む）」が13.0%、「逃げるつもりはない」が8.8%、「一人で逃げる」が6.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」が増加しています。



〈一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算〉

【性別、年齢別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「逃げる予定だが、特に考えていない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「逃げるつもりはない」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数(件)	一人で逃げる	逃げる予定だが、特に考えていない	一緒に逃げる人を決めている (要支援者計画など)	近所の人や友人と一緒に逃げる (予定を含む)	逃げるつもりはない	無回答
全体		1,808	9.0	50.1	15.2	13.6	8.2	3.9
性別	男性	809	9.1	48.1	15.9	13.8	9.3	3.7
	女性	929	8.9	51.7	14.4	13.6	7.5	3.9
年齢別	65歳～69歳	391	12.0	55.0	14.8	11.0	5.9	1.3
	70歳～74歳	478	10.3	48.3	14.4	15.7	8.2	3.1
	75歳～79歳	340	6.2	51.2	13.2	13.2	11.2	5.0
	80歳～84歳	281	7.5	47.0	18.9	13.9	7.5	5.3
	85歳～89歳	181	7.7	47.5	17.1	14.4	8.3	5.0
	90歳～94歳	85	7.1	44.7	15.3	16.5	10.6	5.9
	95歳～99歳	12	0.0	33.3	16.7	8.3	16.7	25.0
	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-

2 生活機能評価等に関する分析

(1) 機能別リスク該当者割合の分析

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、運動器機能、閉じこもり、転倒、認知機能、うつ各リスク該当者を判定しました。

【判定設問】

判定項目	問番号	設問	該当する選択肢	リスク該当者判定条件
運動器機能	問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない	5項目のうち3項目以上に該当する人
	問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない	
	問2(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない	
	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	
	問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である	
閉じこもり	問2(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	該当する人
転倒	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	該当する人
認知機能	問4(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい	該当する人
うつ	問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい	2項目のうち1項目以上に該当する人
	問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい	

① 運動器機能

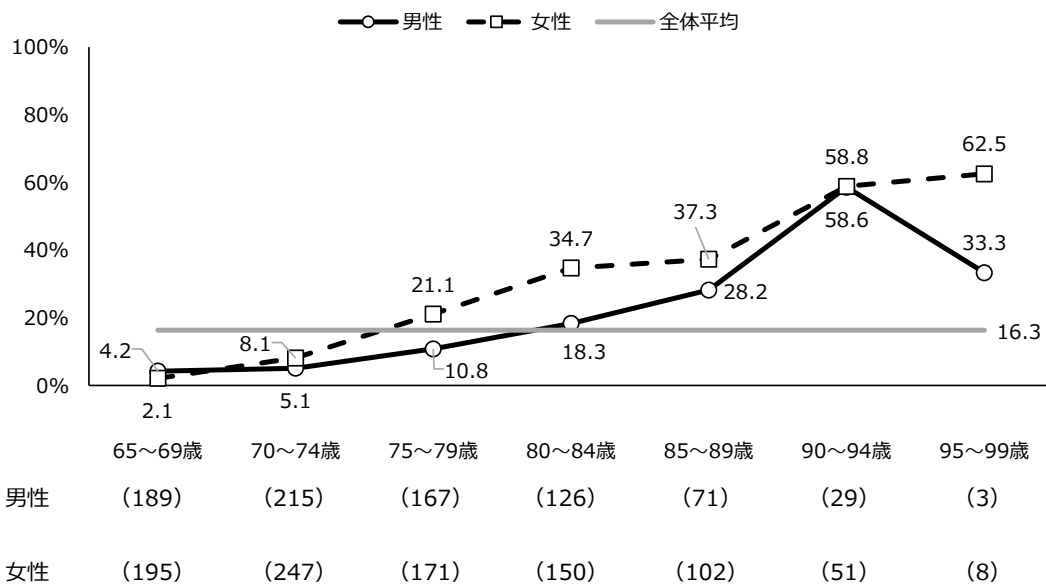
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で16.3%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、特に女性では高齢になるにつれて該当者割合が高くなっており、特に90～94歳で58.8%と70～74歳に比べて50.7ポイント増加しています。また、男性では90～94歳で58.6%と、70～74歳に比べて53.5ポイント増加しています。

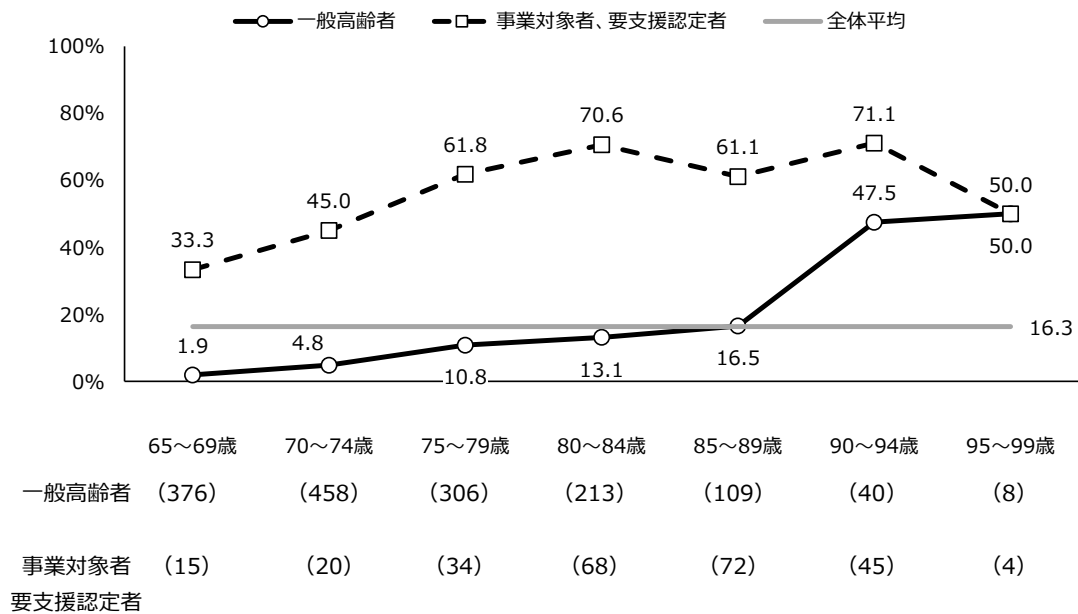
男性では80歳以降、女性では75歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。



() 内は有効回答数

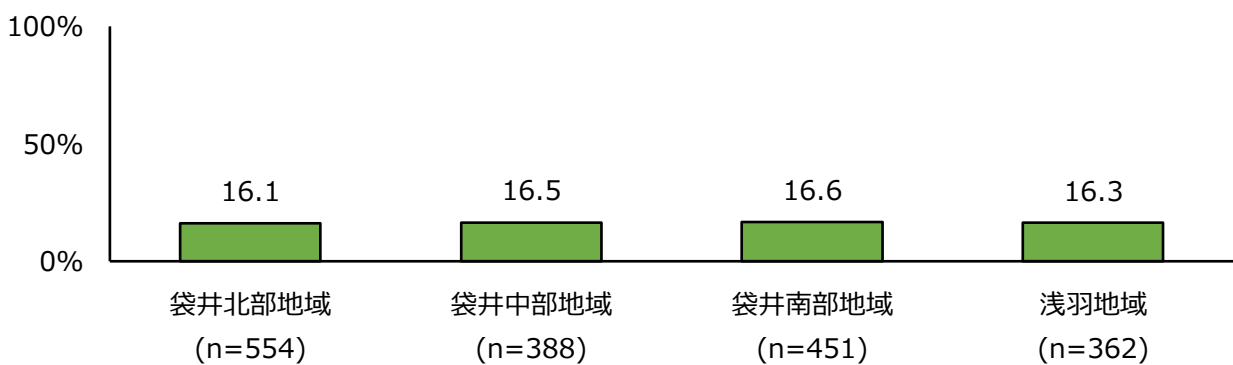
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、65～94歳では、一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者は割合がとても高くなっており、80～84歳では一般高齢者は13.1%なのに対し、事業対象者、要支援認定者では70.6%と57.5ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井中部地域、袋井南部地域で全体平均の16.3%より高くなっています。



※事業対象者、要支援認定者を含む

② 閉じこもり

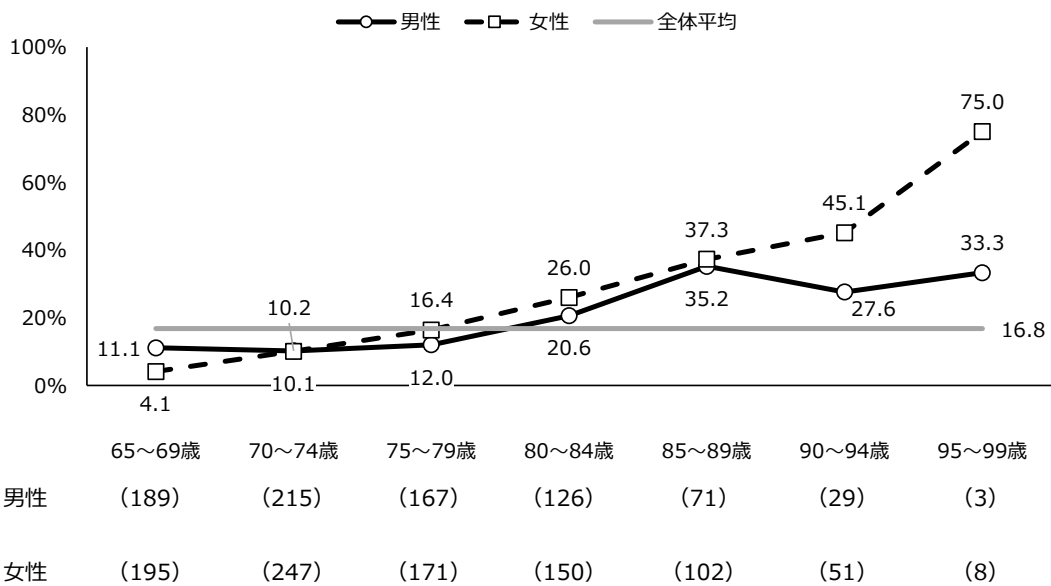
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で16.8%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、特に女性では高齢になるにつれて該当者割合が高くなっており、95～99歳では75.0%となっています。また、男性では85～89歳が37.3%と他の年齢に比べて高くなっています。

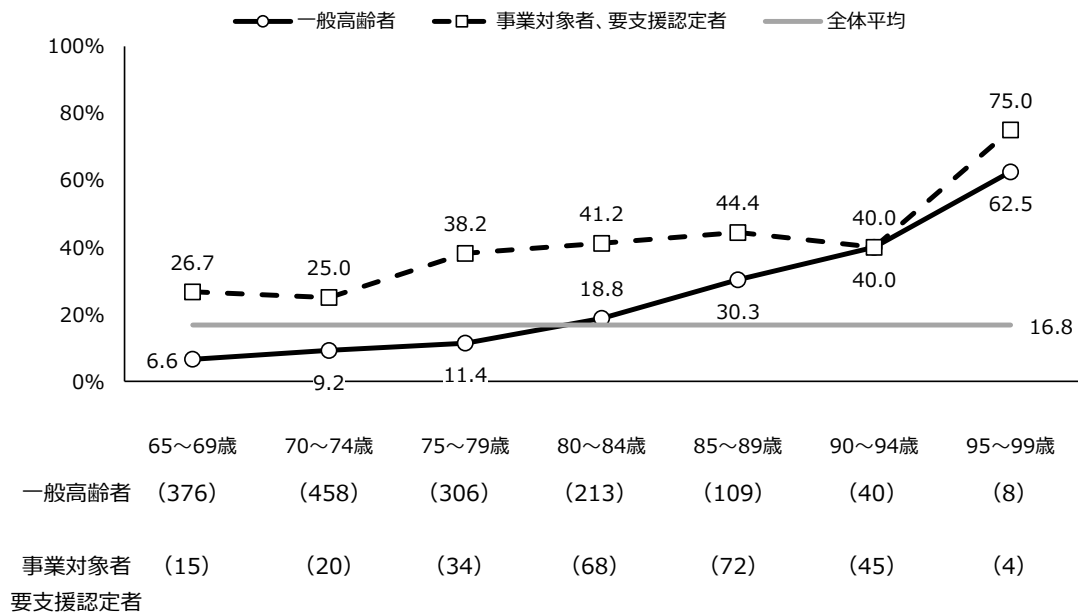
男性、女性ともに80歳以上で外出の頻度が徐々に減少し、閉じこもりリスクが顕在化しています。



() 内は有効回答数

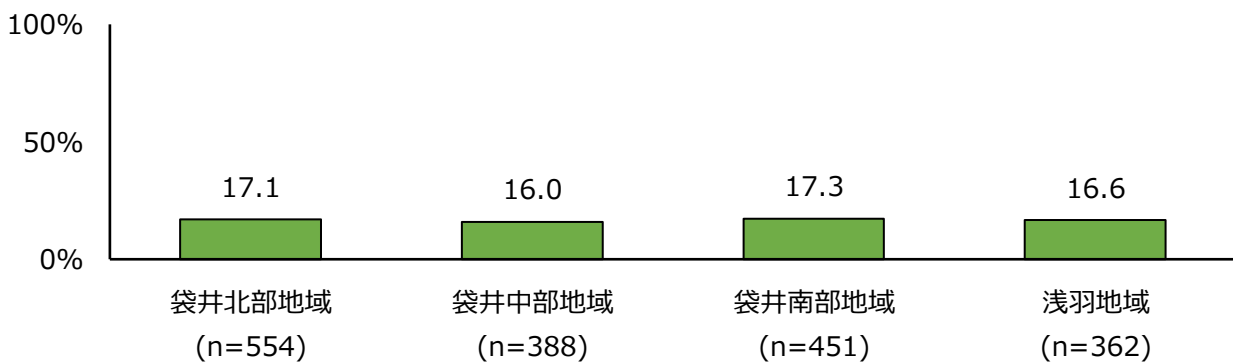
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、90～94歳を除き、一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっており、事業対象者、要支援認定者では80歳以上で4割を超えています。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井北部地域、袋井南部地域で全体平均の16.8%より高くなっています。



※事業対象者、要支援認定者を含む

③ 転倒

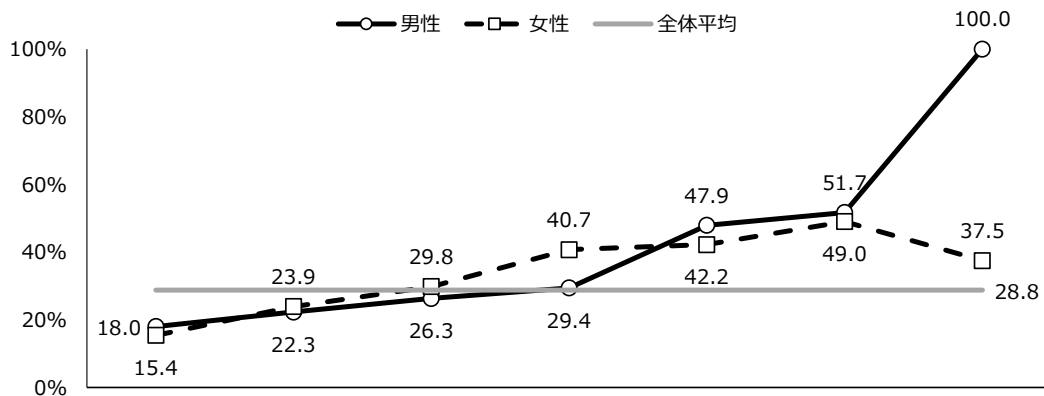
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で28.8%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、特に男性では高齢になるにつれて該当者割合が高くなっており、95～99歳では100.0%となっています。また、女性では90～94歳が49.0%と他の年齢に比べて高くなっています。

男性では80歳以降、女性では75歳以降で転倒リスクが顕在化しており、運動機能の低下に伴い転倒のリスクも高くなっていることが考えられます。

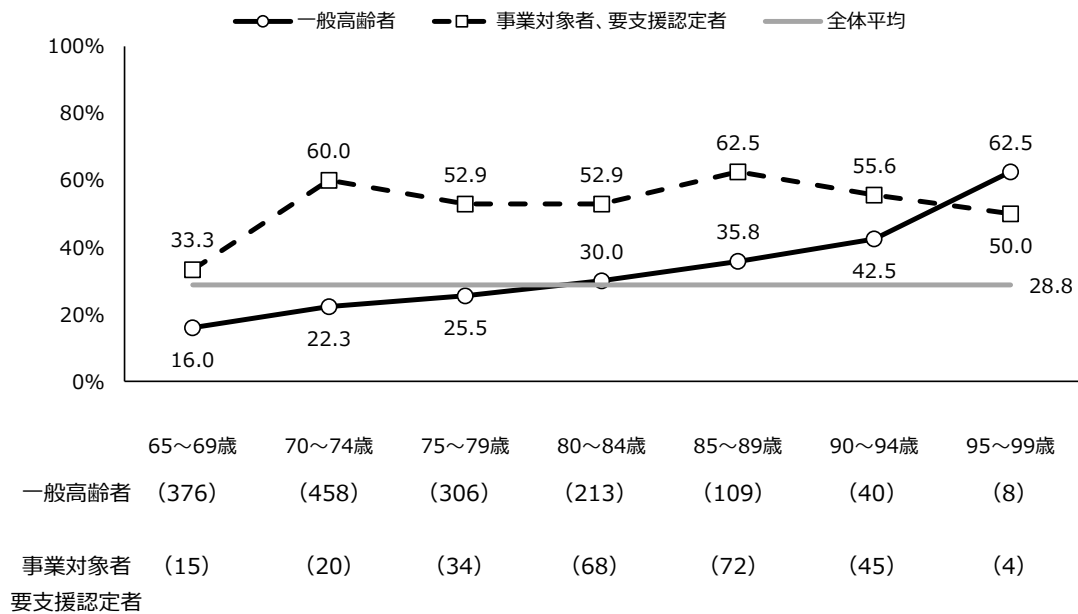


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳
男性	(189)	(215)	(167)	(126)	(71)	(29)	(3)
女性	(195)	(247)	(171)	(150)	(102)	(51)	(8)

() 内は有効回答数

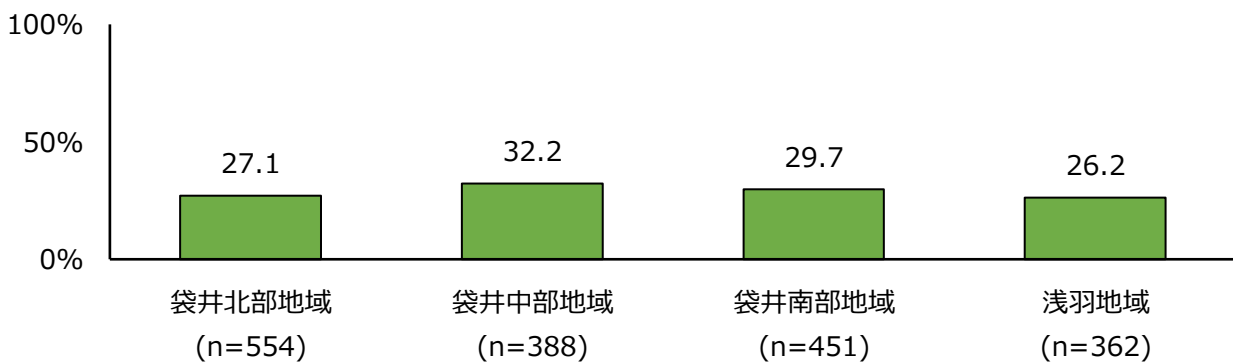
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者では、高齢になるにつれて該当者割合が高くなっており、外出の機会などが減少し、転倒リスクが増加していることがうかがえます。また、事業対象者、要支援認定者では、85～89歳で62.5%と他の年齢に比べて高くなっています。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井中部地域、袋井南部地域で全体平均の28.8%より高くなっており、特に袋井中部地域では32.2%と他に比べ高くなっています。



※事業対象者、要支援認定者を含む

④ 認知機能

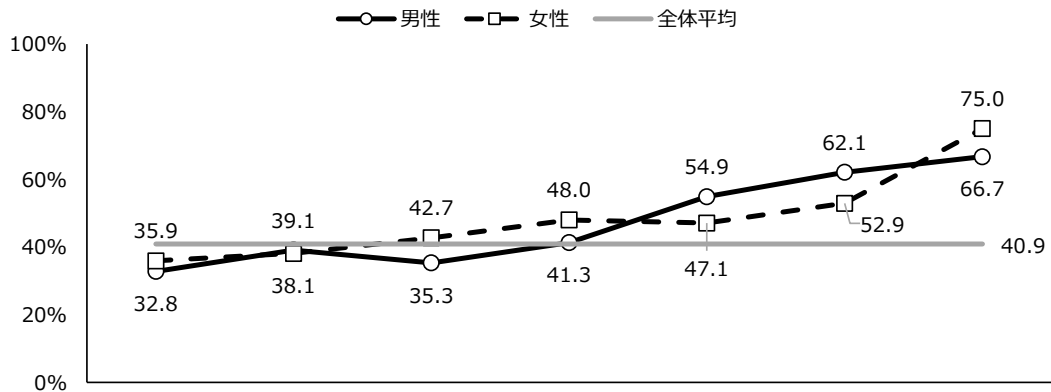
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で40.9%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では80歳以降、女性では75歳以降で全体平均より割合が高くなっており、認知機能の低下リスクが顕在化しています。

。

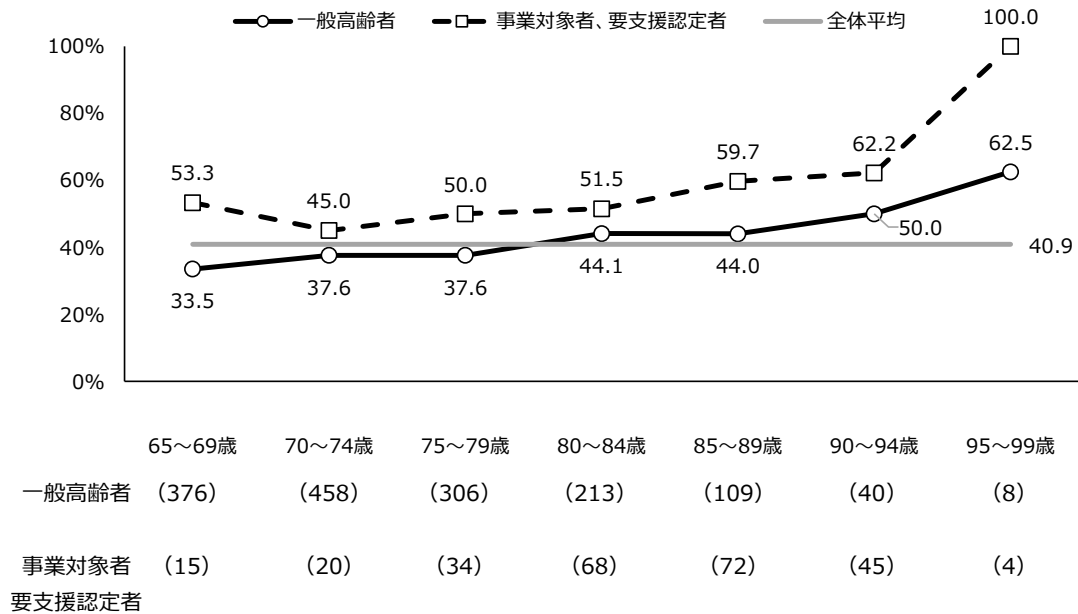


	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳
男性	(189)	(215)	(167)	(126)	(71)	(29)	(3)
女性	(195)	(247)	(171)	(150)	(102)	(51)	(8)

() 内は有効回答数

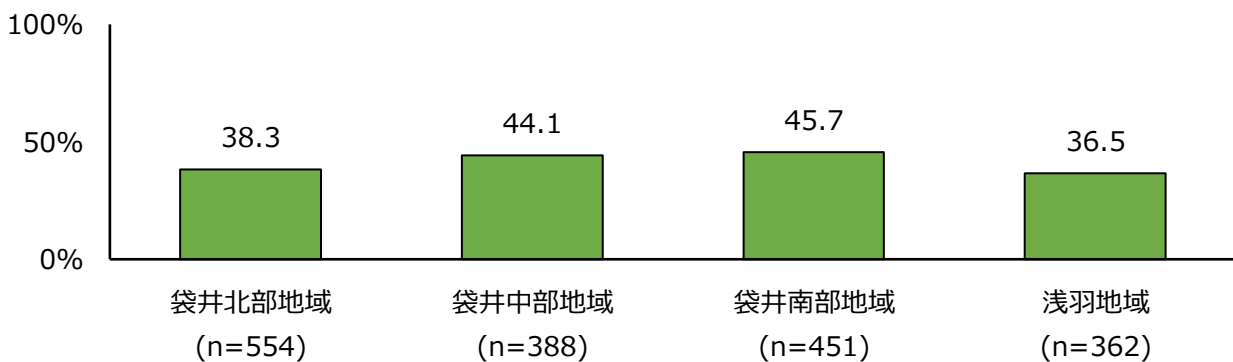
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、いずれの年齢も一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっています。特に65～69歳では、一般高齢者は33.5%なのに対し、事業対象者、要支援認定者は53.3%と19.8ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井中部地域、袋井南部地域で全体平均の40.9%より高くなっており、特に袋井南部地域では45.7%と他に比べ高くなっています。

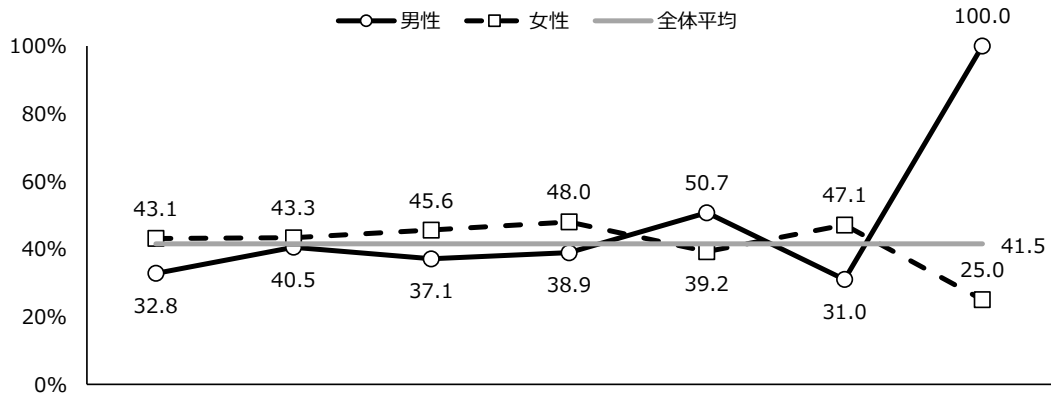


⑤ うつ

【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で41.5%が該当者となっています。性別・年齢階級別にみると、84歳以下では男性に比べて女性の該当者割合が高くなっています。

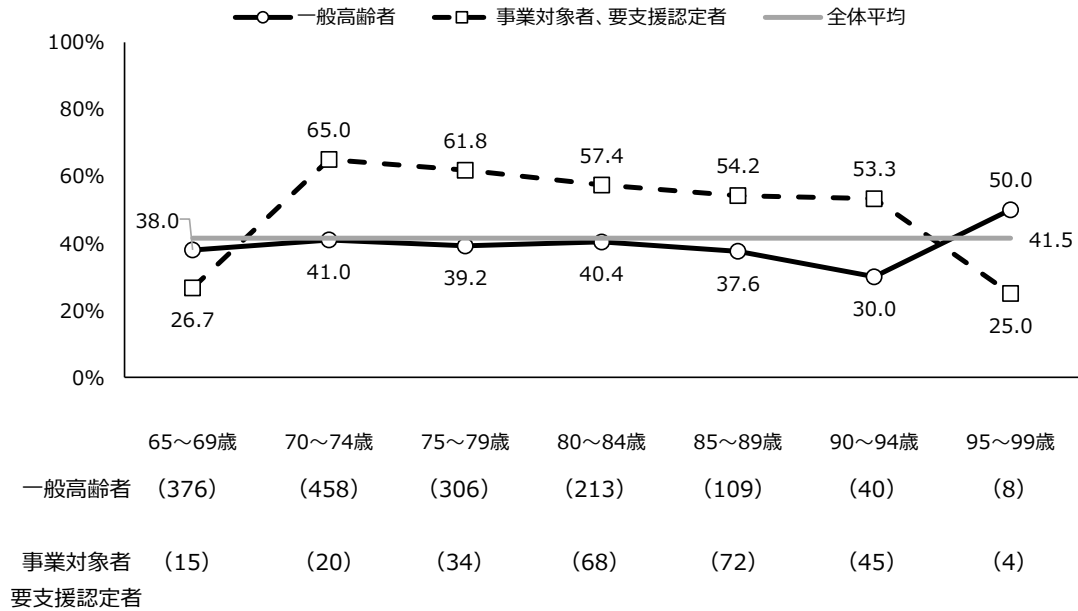


	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳
男性	(189)	(215)	(167)	(126)	(71)	(29)	(3)
女性	(195)	(247)	(171)	(150)	(102)	(51)	(8)

() 内は有効回答数

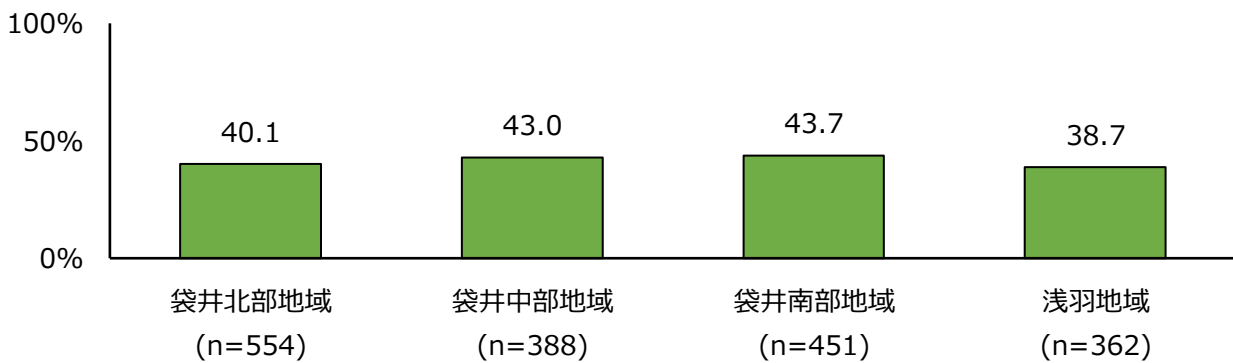
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、70～94歳では一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者で割合が高くなっています。



●居住地区別

居住地区別にみると袋井中部地域、袋井南部地域で全体平均の41.5%より高くなっています。



(2) 日常生活

① 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者を示しています。

【判定設問】

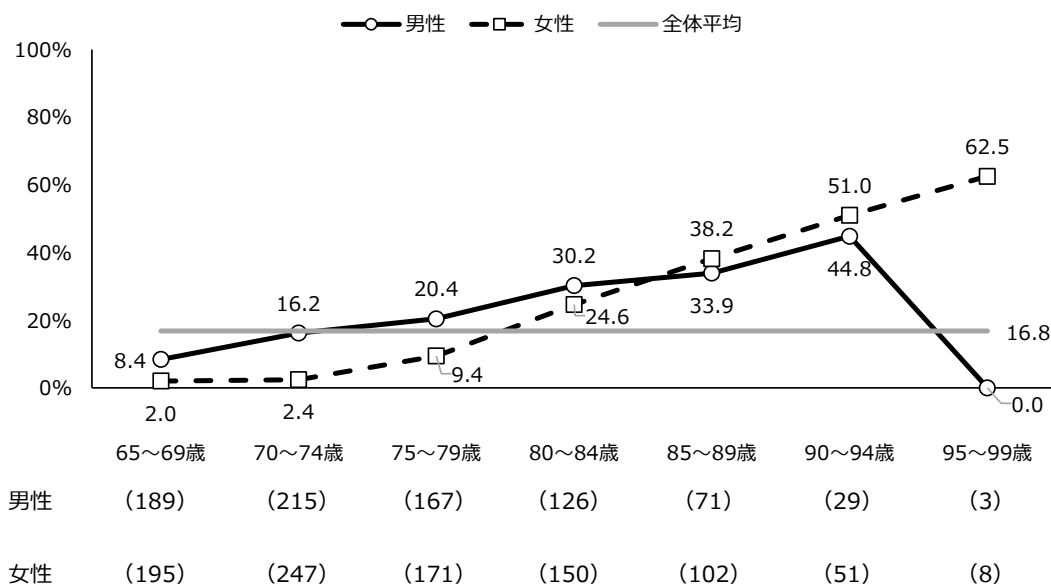
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (2) ①	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ②	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ③	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ④	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ⑤	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

●性別・年齢別

全体平均では16.8%が手段的自立度の低下者（「やや低い」）+「低い」となっています。

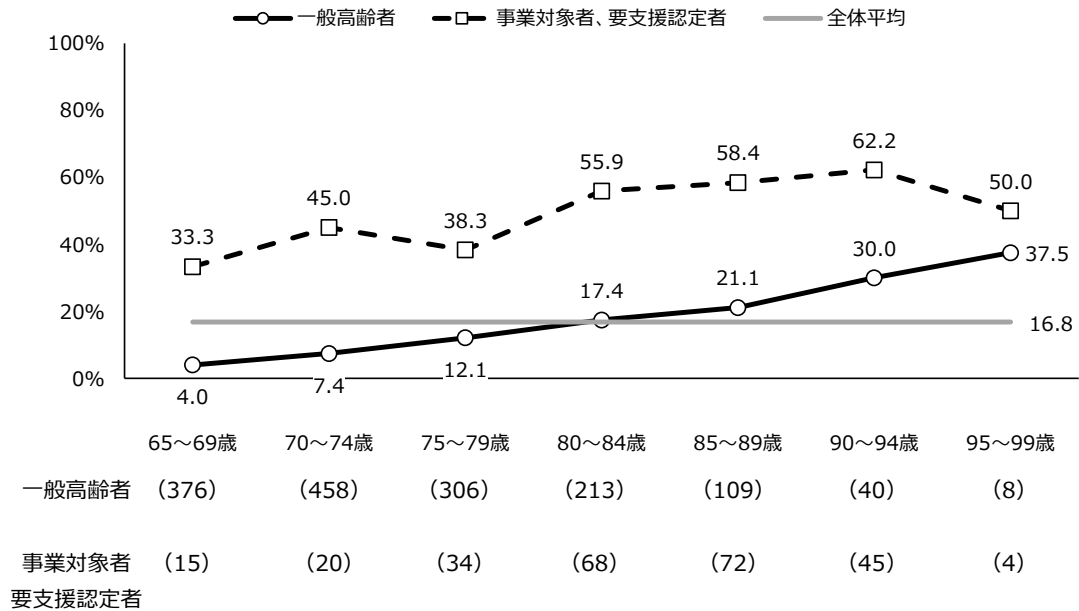
性別・年齢階級別で見ると、男性では75歳以降、女性では80歳以降で低下者が増加しています。特に、女性では高齢になるにつれて該当者割合が高くなっており、80～84歳で低下者が24.6%と75～79歳に比べて15.2ポイント増加しています。



() 内は有効回答数

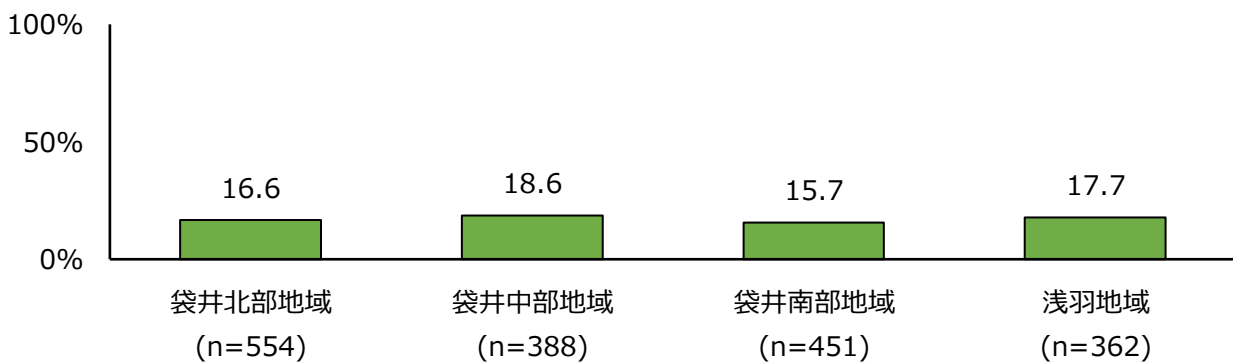
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、高齢になるにつれて低下者の割合が高くなっています。また、いずれの年齢も一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者で低下者の割合が高くなっています。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井中部地域、浅羽地域で全体平均の16.8%より高くなっています。

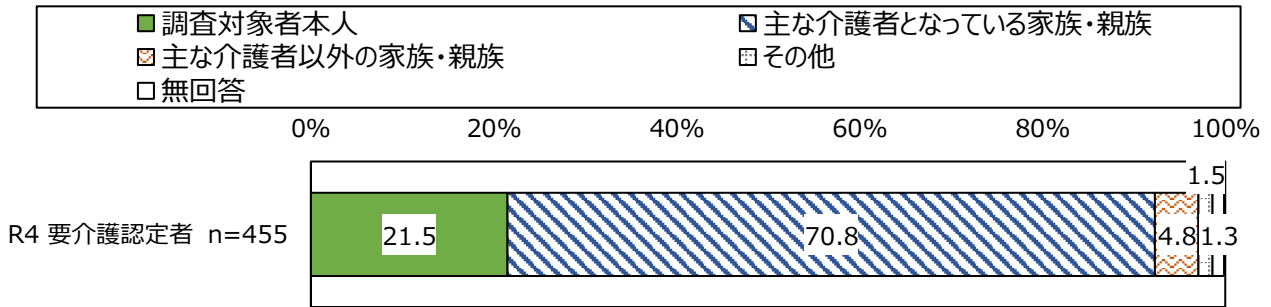


3 在宅介護実態調査

(1) 調査対象者ご本人について

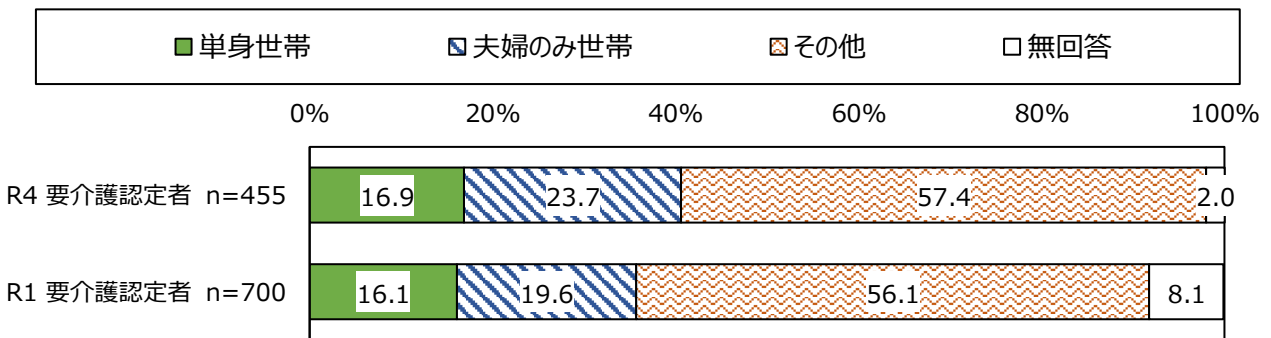
問1 調査票を記入されたのはどなたですか (〇は1つ)

「主な介護者となっている家族・親族」が70.8%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が21.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.8%となっています。



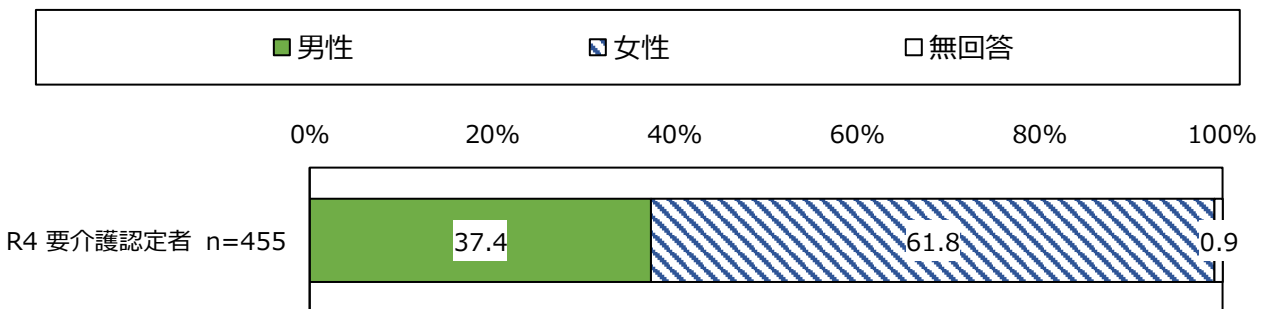
問2 世帯類型について、ご回答ください (〇は1つ)

「単身世帯」が16.9%、「夫婦のみ世帯」が23.7%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」が増加しています。



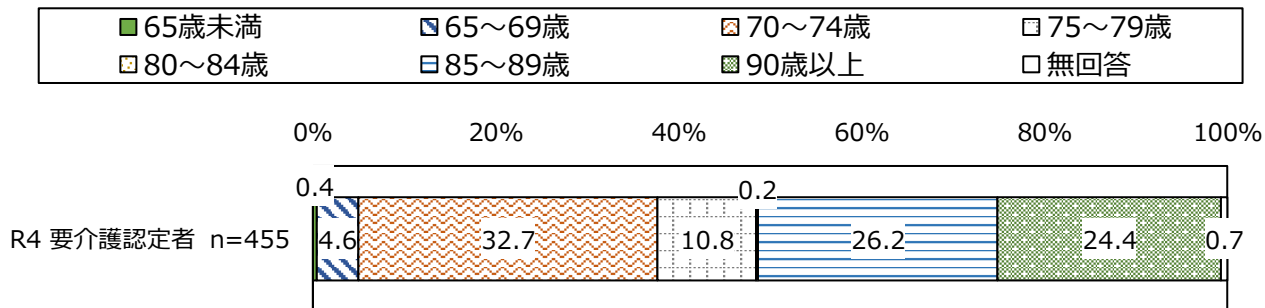
問3 ご本人の性別について、ご回答ください (〇は1つ)

「男性」が37.4%、「女性」が61.8%となっています。



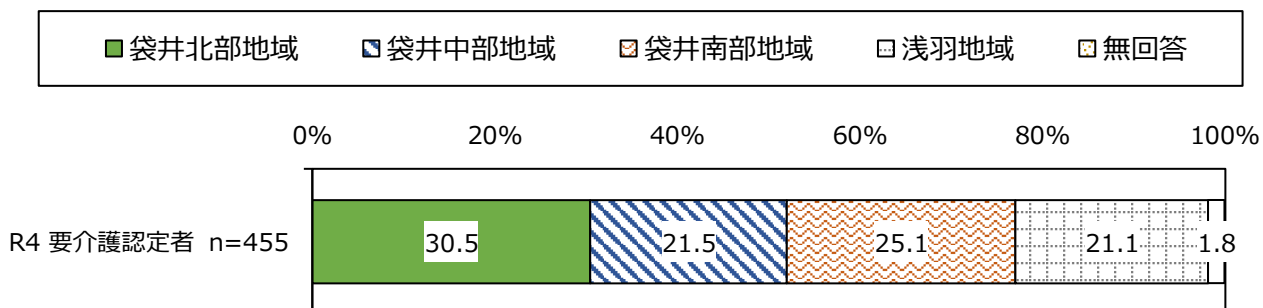
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（○は1つ）
（令和4年12月1日現在の年齢をお答えください）

「70～74歳」が32.7%と最も高く、次いで「85～89歳」が26.2%、「90歳以上」が24.4%、「75～79歳」が10.8%、「65～69歳」が4.6%となっています。



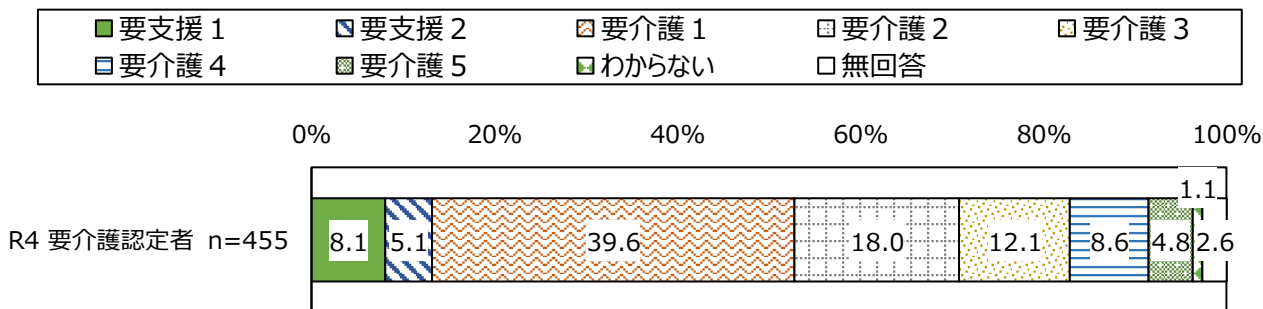
問5 ご本人のお住まいはどの地域ですか。（○は1つ）

「袋井北部地域」が30.5%と最も高く、次いで「袋井南部地域」が25.1%、「袋井中部地域」が21.5%、「浅羽地域」が21.1%となっています。



問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください（○は1つ）
要介護度は、介護保険被保険者証に記載してあります。

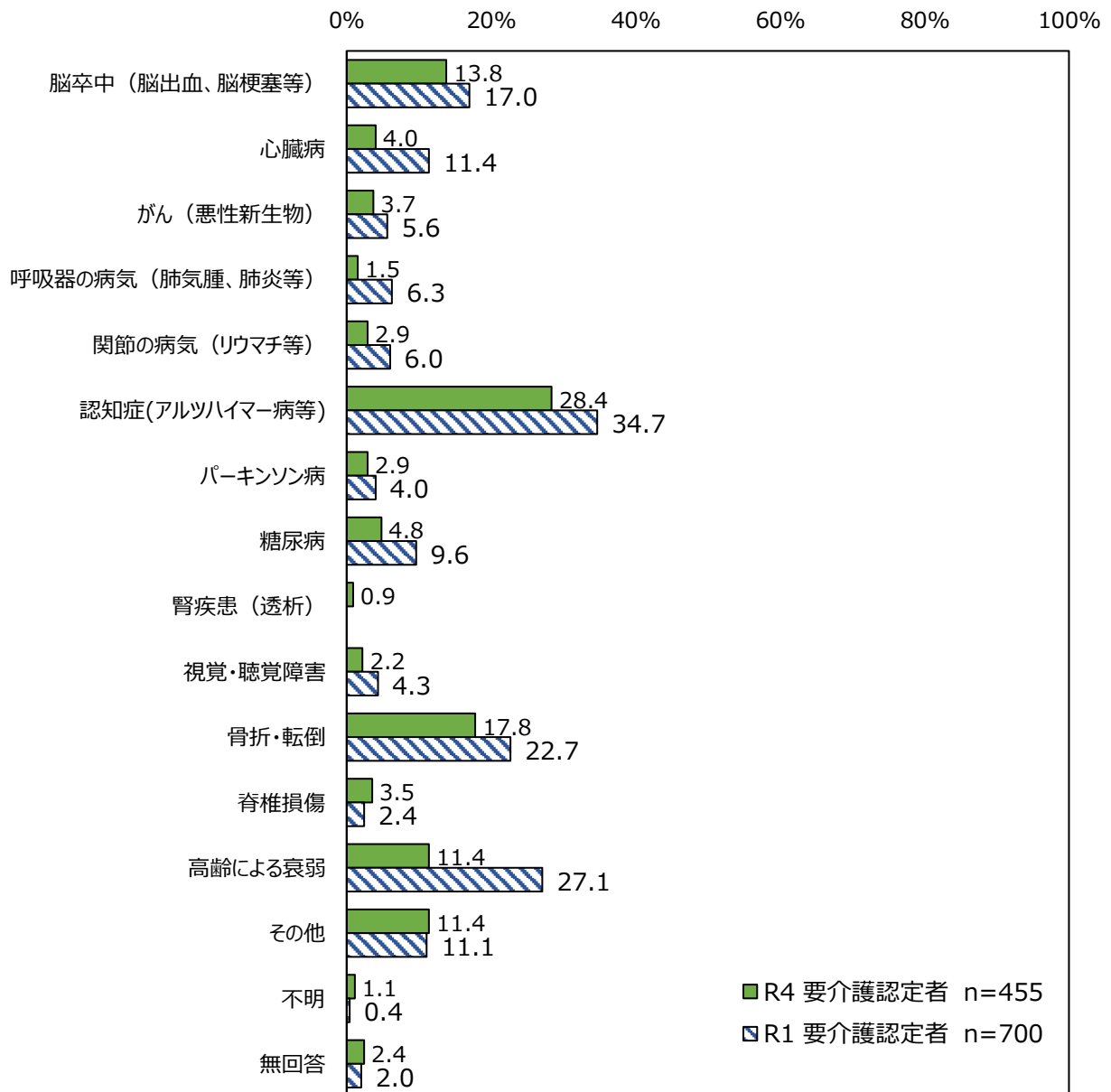
「要介護1」が39.6%と最も高く、次いで「要介護2」が18.0%、「要介護3」が12.1%、「要介護4」が8.6%、「要支援1」が8.1%となっています。



問7 介護、介助が必要になった主な原因について、ご回答ください（○は1つ）

「認知症(アルツハイマー病等)」が28.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が17.8%、「脳卒中(脳出血、脳梗塞等)」が13.8%、「高齢による衰弱」が11.4%、「糖尿病」が4.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「脊椎損傷」を除く項目が減少しています。



※令和元年度調査では、「腎疾患(透析)」の選択肢は無いため、回答無し。

【性別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「がん(悪性新生物)」が高くなっています。また、女性で「関節の病気(リウマチ等)」、「骨折・転倒」、「高齢による衰弱」が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護1で「認知症(アルツハイマー病等)」が高くなっています。

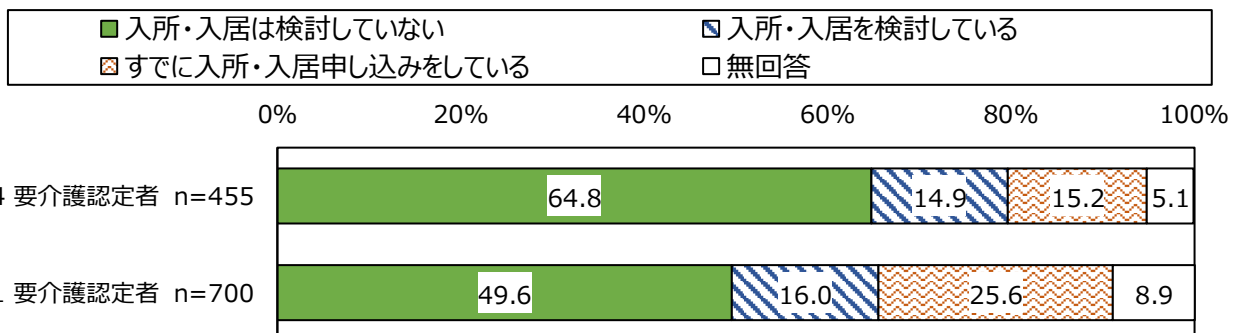
単位：%

区分		回答者数(件)	脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫、肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		455	13.8	4.0	3.7	1.5	2.9	28.4	2.9	4.8	0.9	2.2	17.8	3.5	11.4	11.4	1.1	2.4
性別	男性	170	20.6	3.5	5.3	2.9	0.6	28.2	4.1	4.7	2.4	1.2	11.2	4.1	8.2	12.4	1.2	2.4
	女性	281	10.0	4.3	2.8	0.7	4.3	28.8	2.1	5.0	0.0	2.8	21.7	3.2	13.5	11.0	1.1	1.4
要介護度別	要支援1	37	13.5	2.7	8.1	0.0	5.4	27.0	0.0	8.1	0.0	0.0	13.5	0.0	10.8	5.4	2.7	2.7
	要支援2	23	13.0	4.3	8.7	0.0	0.0	30.4	8.7	8.7	4.3	0.0	13.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0
	要介護1	180	9.4	5.6	2.2	3.3	3.3	34.4	1.7	3.3	0.6	2.8	16.7	6.1	13.3	11.7	0.6	2.2
	要介護2	82	18.3	2.4	6.1	0.0	1.2	30.5	3.7	4.9	2.4	4.9	22.0	2.4	7.3	8.5	0.0	0.0
	要介護3	55	16.4	1.8	1.8	0.0	1.8	23.6	0.0	1.8	0.0	0.0	25.5	1.8	14.5	14.5	0.0	0.0
	要介護4	39	20.5	5.1	0.0	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	10.3	15.4	5.1	0.0
	要介護5	22	22.7	4.5	9.1	0.0	0.0	13.6	9.1	4.5	0.0	0.0	4.5	9.1	13.6	18.2	0.0	4.5
	わからない	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0

問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(○は1つ)

「入所・入居は検討していない」が64.8%と最も高く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」が15.2%、「入所・入居を検討している」が14.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」が増加し、「すでに入所・入居申し込みをしている」が減少しています。

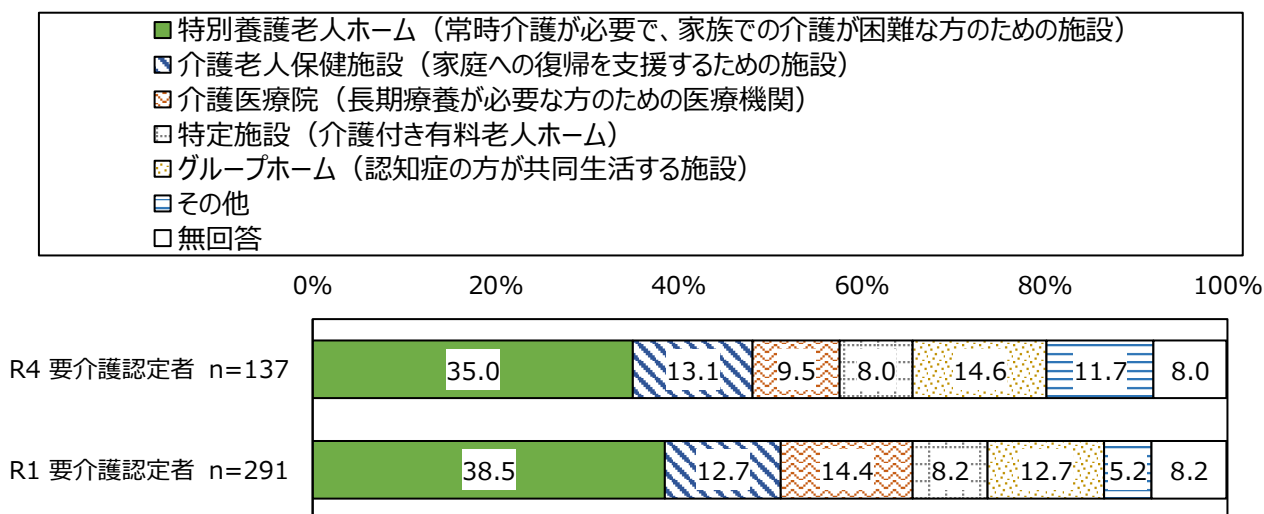


問8で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方にお伺いします。

問9 現時点で検討しているまたは、申し込みをしている施設等はどこですか
(○は1つ)

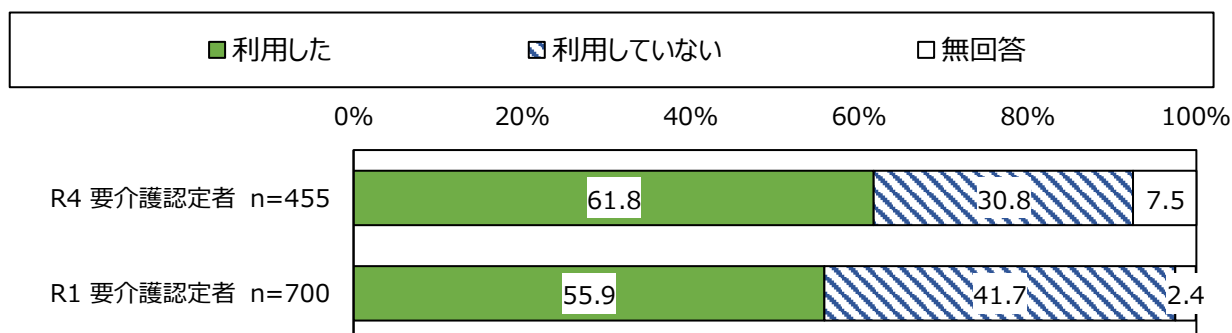
「特別養護老人ホーム(常時介護が必要で、家族での介護が困難な方のための施設)」が35.0%と最も高く、次いで「グループホーム(認知症の方が共同生活する施設)」が14.6%、「介護老人保健施設(家庭への復帰を支援するための施設)」が13.1%、「介護医療院(長期療養が必要な方のための医療機関)」が9.5%、「特定施設(介護付き有料老人ホーム)」が8.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「介護医療院(長期療養が必要な方のための医療機関)」が減少しています。



問10 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修 福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか (○は1つ)

「利用した」が61.8%、「利用していない」が30.8%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「利用した」が増加しています。



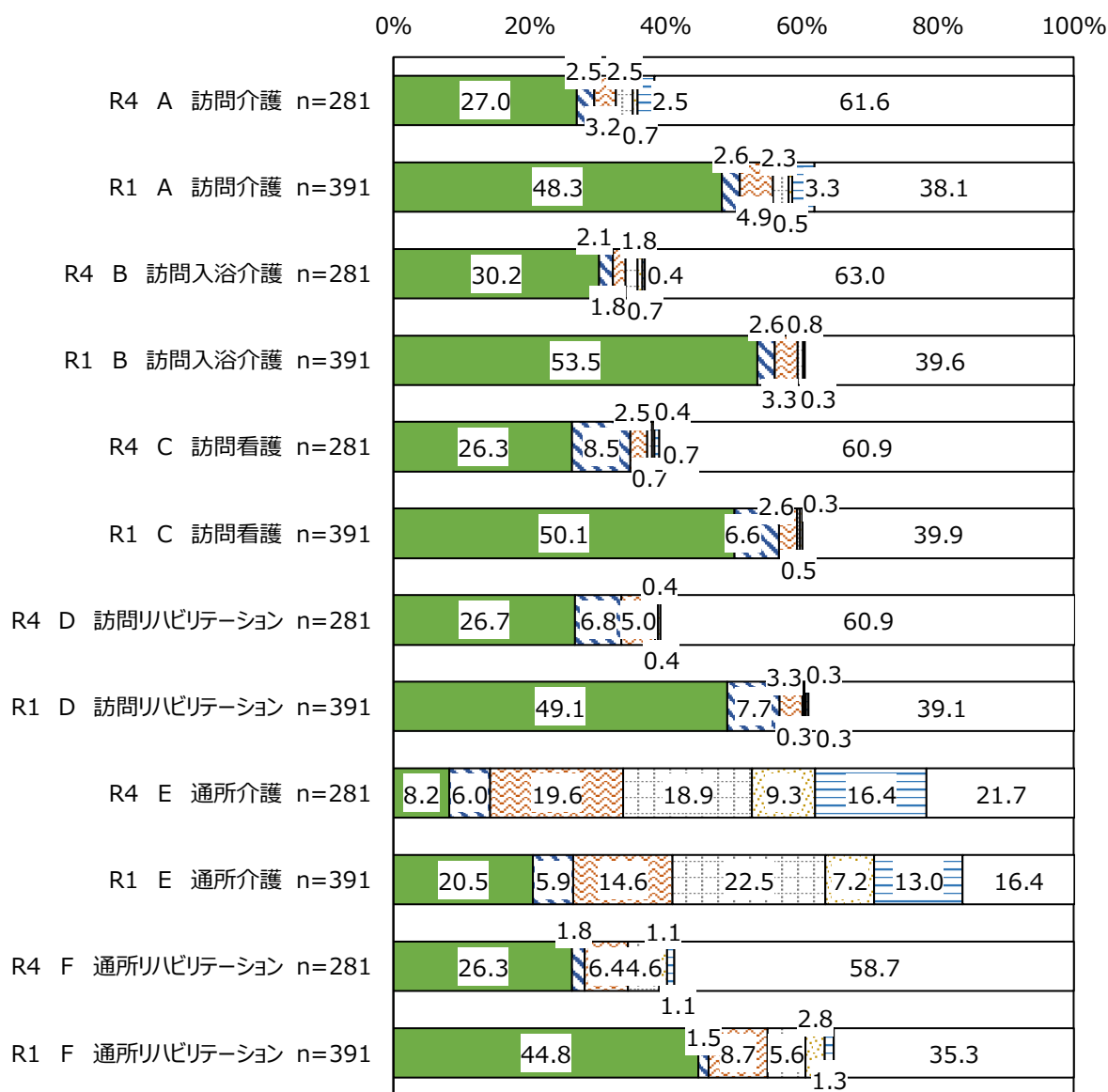
問 10 で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

問 11 以下の介護保険サービスについて、令和 4 年 11 月の 1 か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください（それぞれ○は1つ）

① 1 週あたりの利用回数

他に比べ、『E 通所介護（デイサービス）』で「利用していない」が低くなっています。令和元年度調査と比較すると、全ての項目で「利用していない」が減少しています。

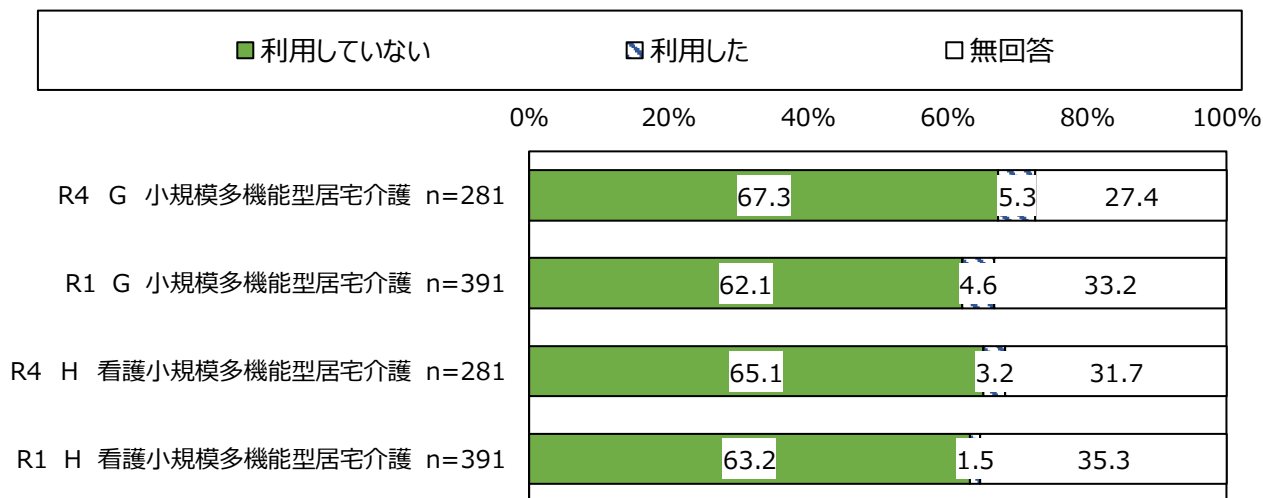
■ 利用していない ■ 週 1 回程度 ■ 週 2 回程度 ■ 週 3 回程度 ■ 週 4 回程度 ■ 週 5 回以上 □ 無回答



②利用の有無

『G 小規模多機能型居宅介護』で「利用した」が5.3%、『H 看護小規模多機能型居宅介護』で「利用した」が3.2%となっています。

『G 小規模多機能型居宅介護』について令和元年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。

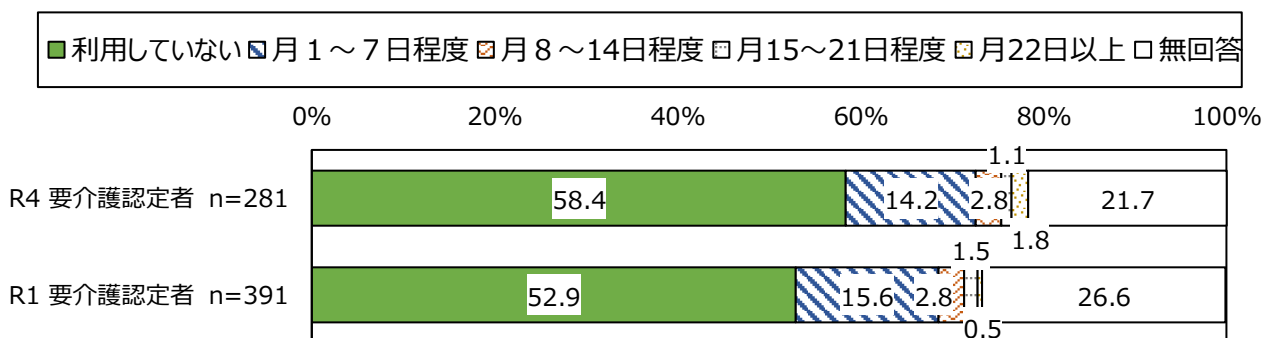


③1か月あたりの利用日数

I ショートステイ

「利用していない」が58.4%と最も高く、次いで「月1～7日程度」が14.2%となっています。

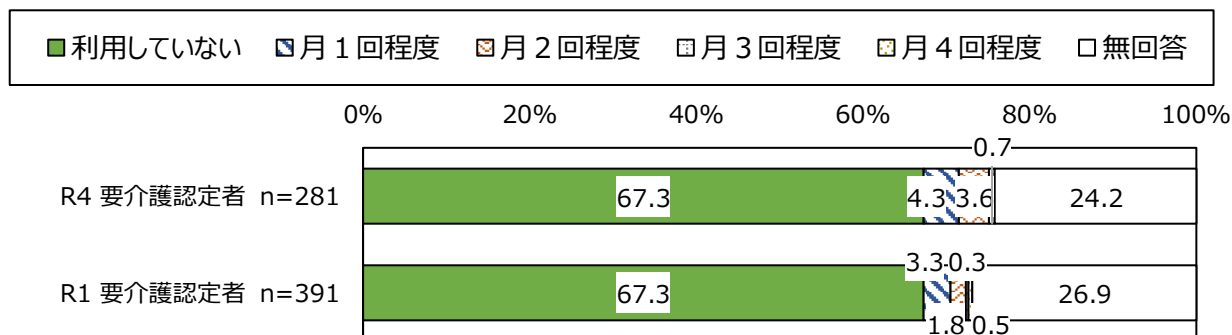
令和元年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



J 居宅療養管理指導

「利用していない」が67.3%と最も高くなっています。

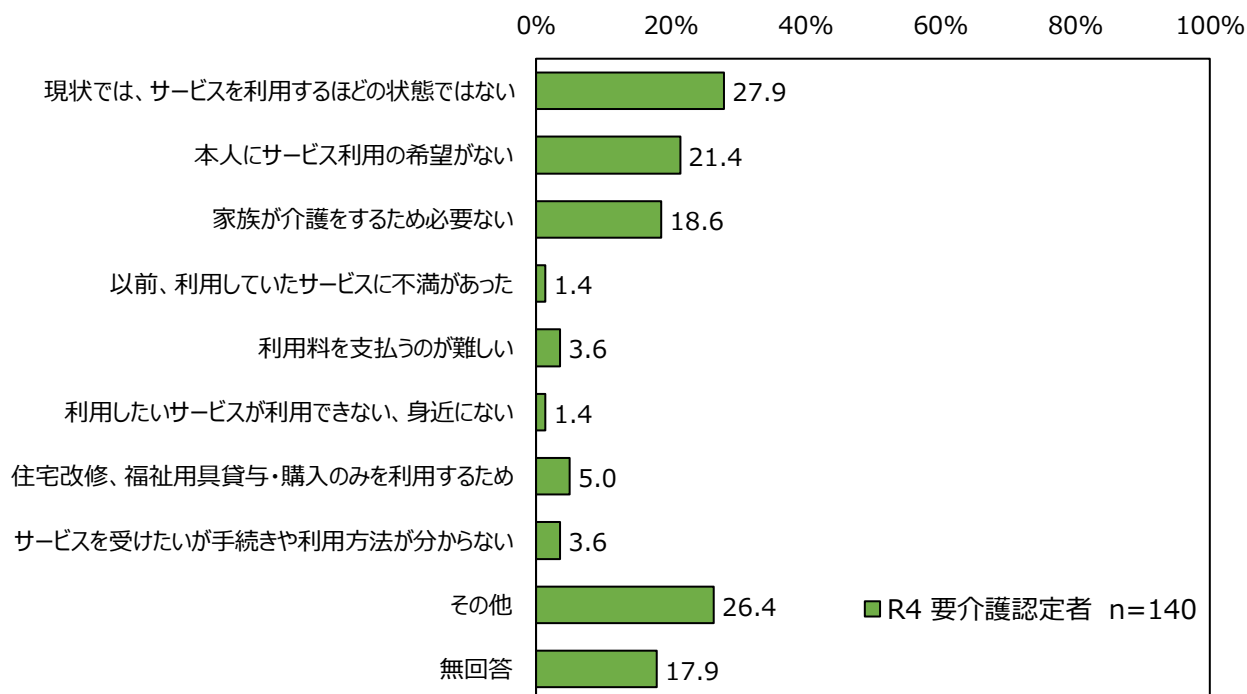
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



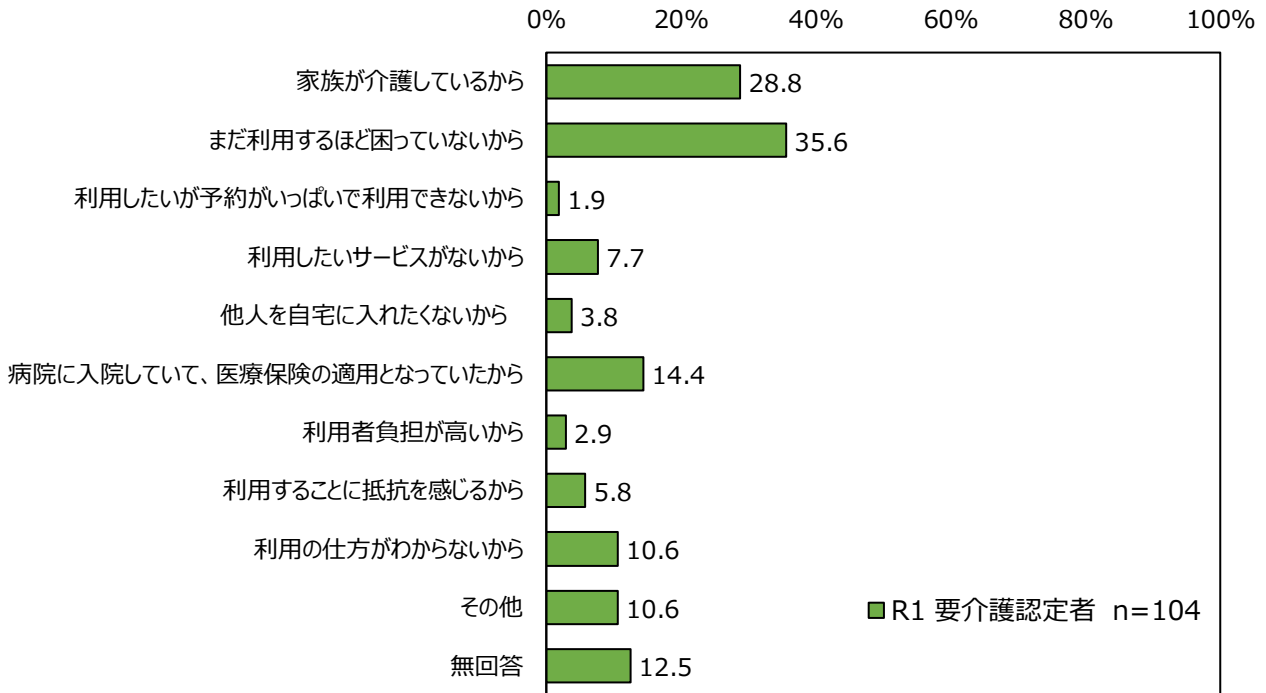
問10で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします

問12 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が27.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.4%、「家族が介護をするため必要ない」が18.6%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が5.0%、「利用料を支払うのが難しい」と「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」がともに3.6%となっています。



【令和元年度調査】



※令和元年度調査では、選択肢項目が異なる。

【要介護度別】

要介護度別でみると、他に比べ、要介護2で「本人にサービス利用の希望がない」が高くなっています。

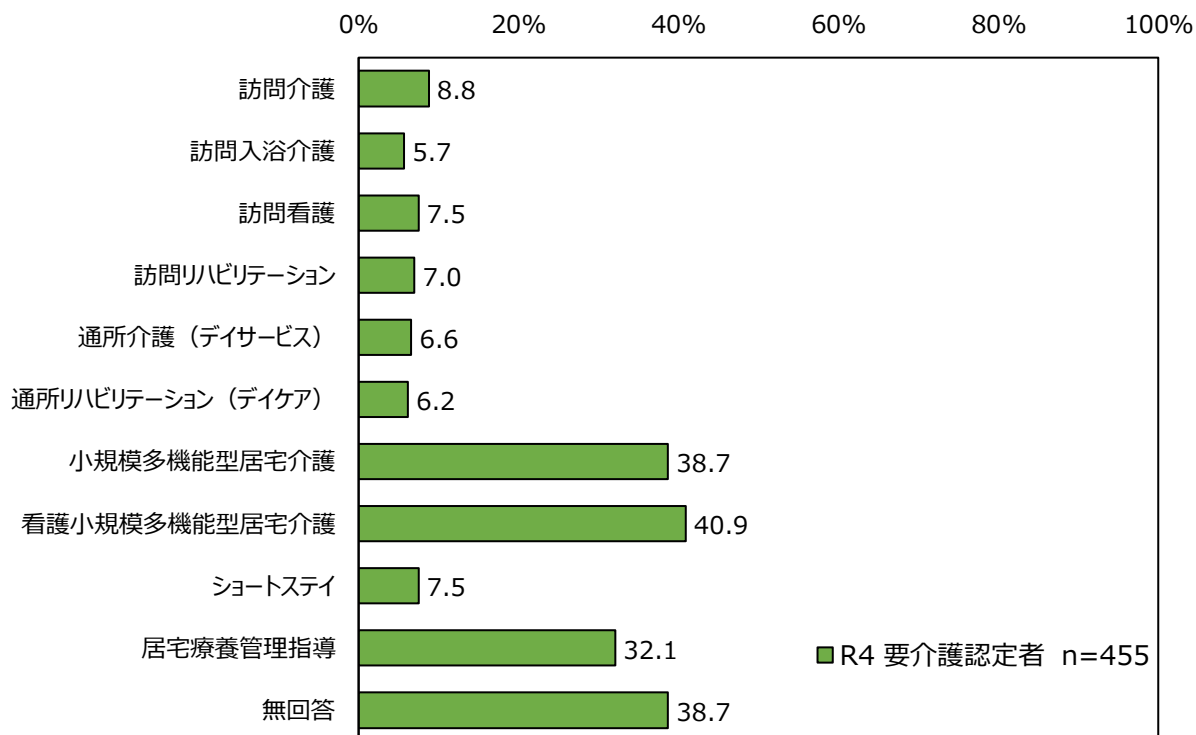
単位：%

区分	回答者数 (件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答	
全体	140	27.9	21.4	18.6	1.4	3.6	1.4	5.0	3.6	26.4	17.9	
要介護度別	要支援1	21	42.9	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	33.3	
	要支援2	8	25.0	25.0	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	12.5	
	要介護1	54	40.7	25.9	20.4	1.9	5.6	1.9	5.6	5.6	13.0	18.5
	要介護2	19	5.3	42.1	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	31.6	15.8	
	要介護3	12	8.3	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	50.0	0.0
	要介護4	10	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	要介護5	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5	
	わからない	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	

ここから再び、全員の方にお伺いします。

問13 サービスの内容が分からない介護サービスはどれですか。(〇はいくつでも)

「看護小規模多機能型居宅介護」が40.9%と最も高く、次いで「小規模多機能型居宅介護」が38.7%、「居宅療養管理指導」が32.1%、「訪問介護」が8.8%、「訪問看護」と「ショートステイ」がともに7.5%となっています。

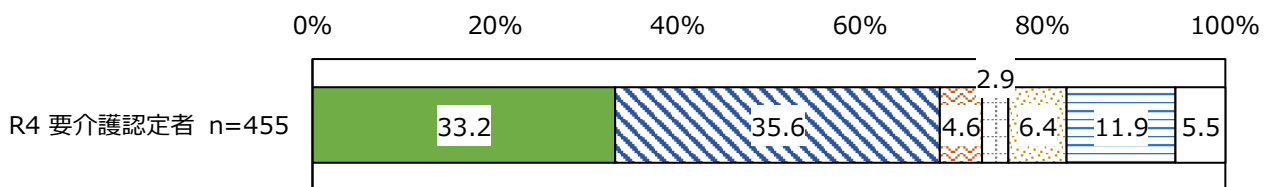


問 14 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう
 思いますか（○は1つ）

「介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい」が35.6%と最も高く、次いで「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」が33.2%、「保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない」が4.6%、「保険料の負担を減らし、介護保険サービス量が減ってもやむを得ない」が2.9%となっています。

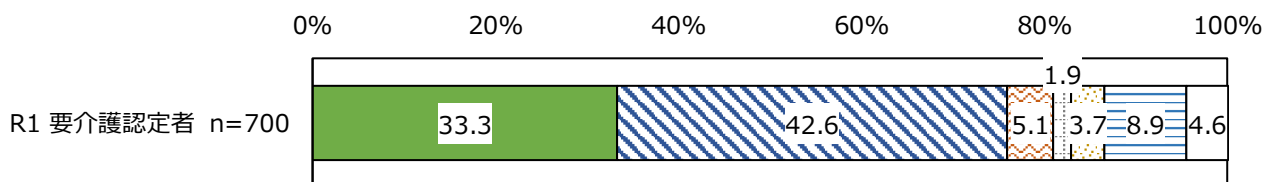
令和元年度調査と比較すると、「介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい」が減少しています。

- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
- ▨ 介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい
- ▩ 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない
- 保険料の負担を減らし、介護保険サービス量が減ってもやむを得ない
- ▨ その他
- ▨ わからない
- 無回答



【令和元年度調査】

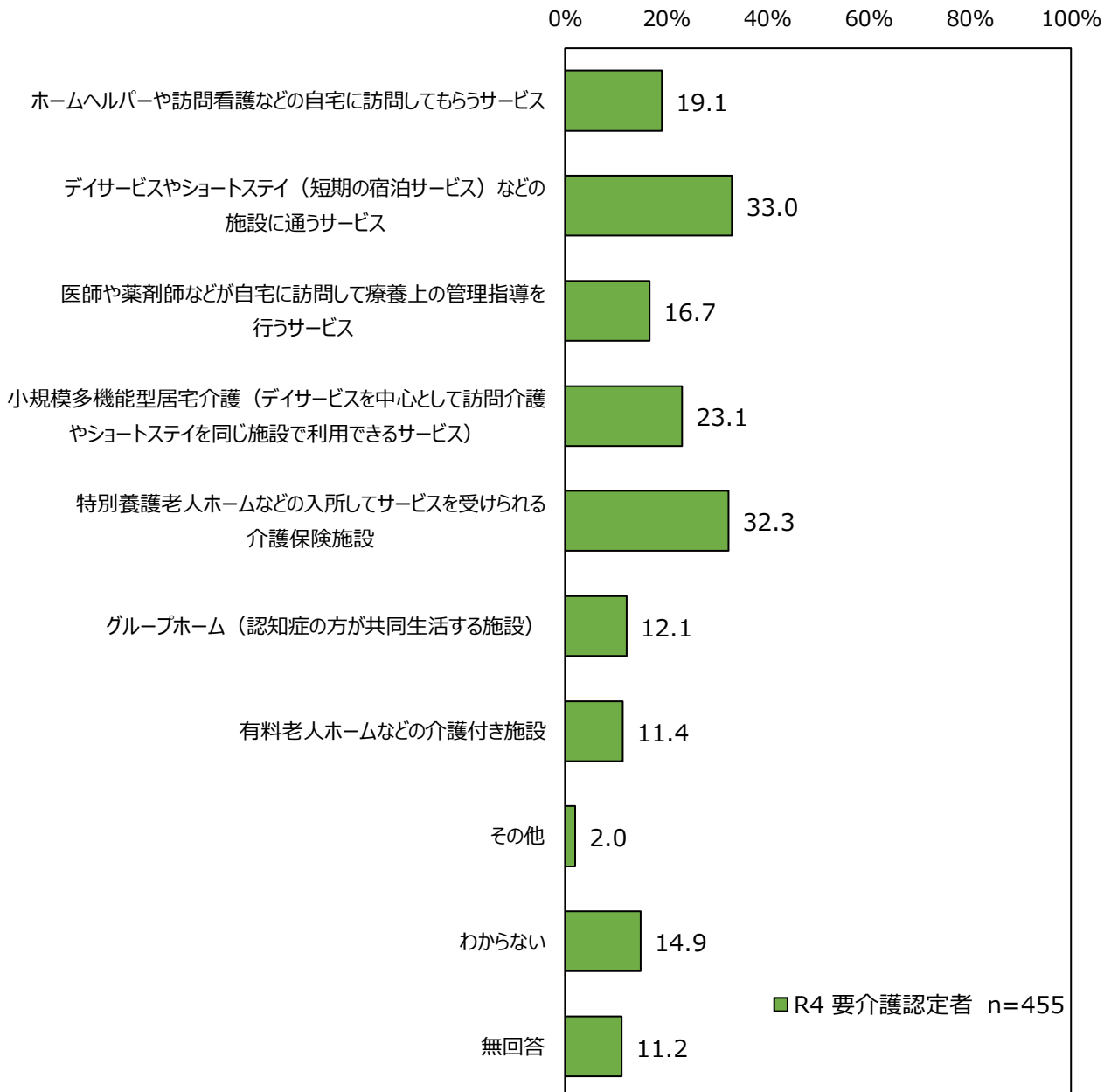
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
- ▨ 介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい
- ▩ 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない
- ▩ 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実を望まない
- ▨ その他
- ▨ わからない
- 無回答



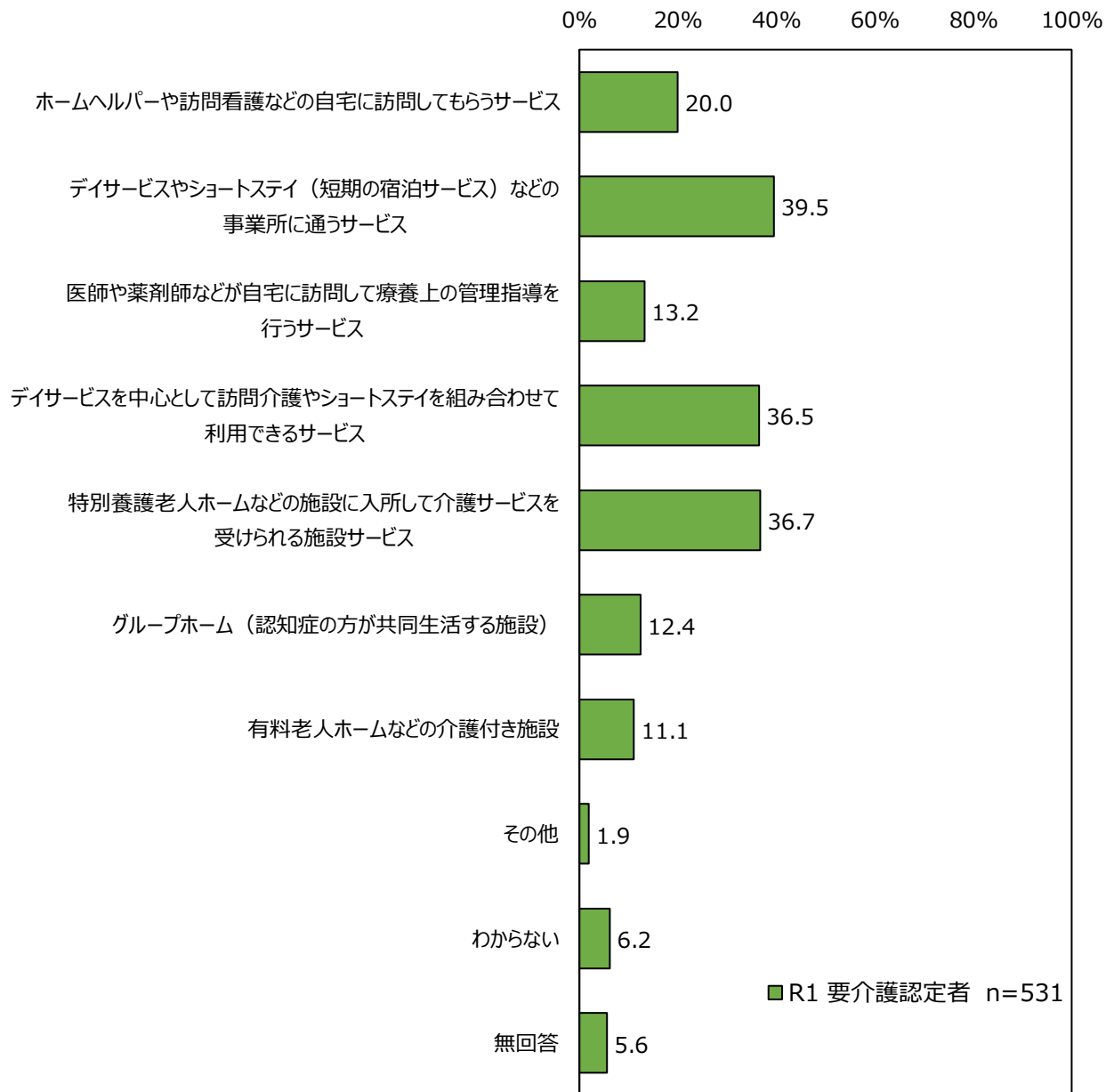
※令和元年度調査では、選択肢項目が異なる。

問15 あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか。(〇は3つまで)

「デイサービスやショートステイ(短期の宿泊サービス)などの施設に通うサービス」が33.0%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」が32.3%、「小規模多機能型居宅介護(デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス)」が23.1%、「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が19.1%、「医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス」が16.7%となっています。



【令和元年度調査】



※令和元年度調査では、選択肢項目が異なる。

【居住地区別、要介護度別】

居住地区別で見ると、他に比べ、袋井北部地域で「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」が高くなっています。

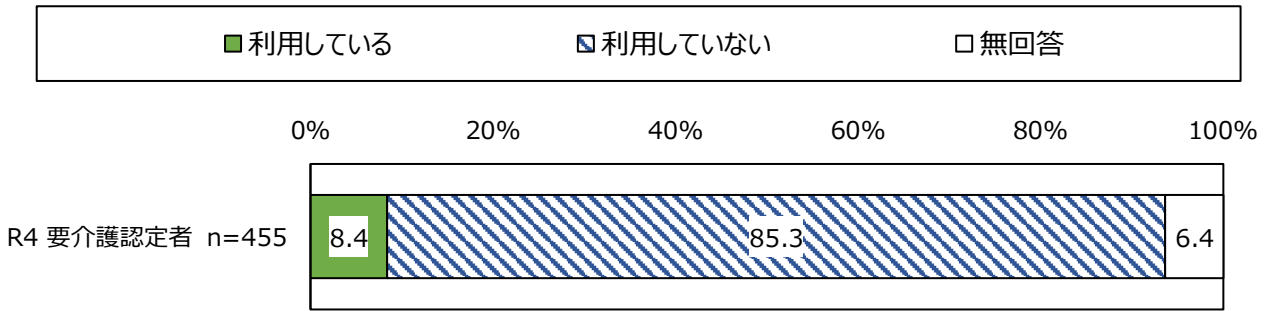
要介護度別で見ると、他に比べ、要介護3で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数(件)	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	小規模多機能型居宅介護（デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス）	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
全体		455	19.1	33.0	16.7	23.1	32.3	12.1	11.4	2.0	14.9	11.2
居住地区別	袋井北部地域	139	18.0	34.5	17.3	24.5	37.4	10.8	12.9	3.6	12.9	8.6
	袋井中部地域	98	26.5	36.7	21.4	23.5	35.7	14.3	12.2	3.1	8.2	11.2
	袋井南部地域	114	17.5	28.1	10.5	20.2	23.7	12.3	11.4	0.9	14.0	18.4
	浅羽地域	96	15.6	35.4	17.7	24.0	31.3	10.4	8.3	0.0	27.1	4.2
要介護度別	要支援1	37	18.9	37.8	8.1	10.8	18.9	13.5	13.5	0.0	10.8	18.9
	要支援2	23	21.7	39.1	4.3	21.7	13.0	13.0	4.3	4.3	30.4	4.3
	要介護1	180	16.1	32.8	16.7	22.2	38.3	15.6	10.0	1.7	15.0	12.2
	要介護2	82	15.0	26.0	13.0	24.0	33.0	7.0	12.0	0.0	10.0	5.0
	要介護3	55	25.5	43.6	21.8	30.9	30.9	5.5	9.1	3.6	14.5	3.6
	要介護4	39	15.4	28.2	23.1	17.9	28.2	10.3	12.8	5.1	15.4	12.8
	要介護5	22	40.9	13.6	36.4	22.7	27.3	4.5	22.7	4.5	0.0	18.2
	わからない	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0

問16 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

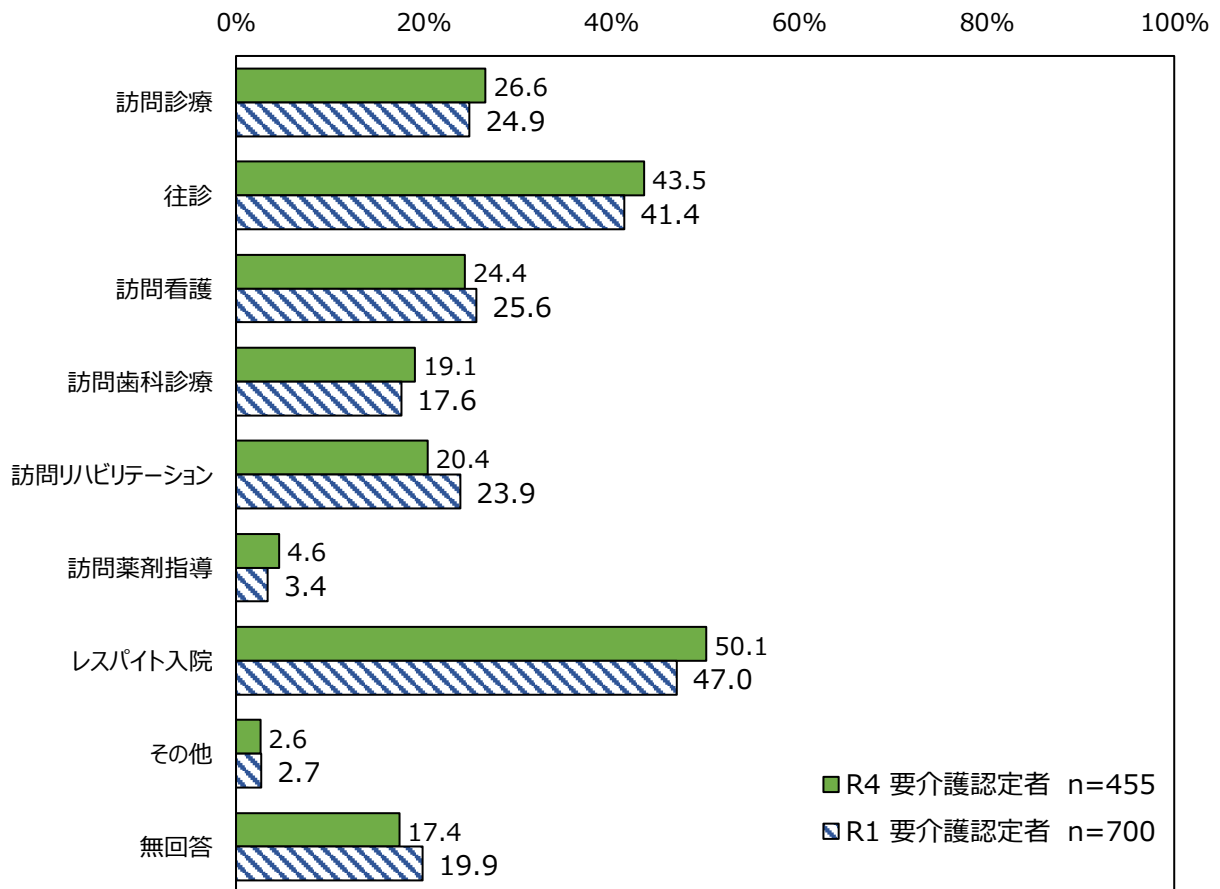
「利用している」が8.4%、「利用していない」が85.3%となっています。



問17 あなたは、どのような医療サービスの充実を望みますか。(○はいくつでも)

「レスパイト入院」が50.1%と最も高く、次いで「往診」が43.5%、「訪問診療」が26.6%、「訪問看護」が24.4%、「訪問リハビリテーション」が20.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「訪問診療」、「往診」、「訪問歯科診療」、「訪問薬剤指導」、「レスパイト入院」が増加しています。



【居住地区別、要介護度別、訪問診療利用有無別】

居住地区別で見ると、他に比べ、袋井中部地域で「レスパイト入院」が高くなっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護5「往診」が高くなっています。

訪問診療の利用有無別にみると、訪問診療を「利用している」ではいずれの項目も「利用していない」より高くなっています。

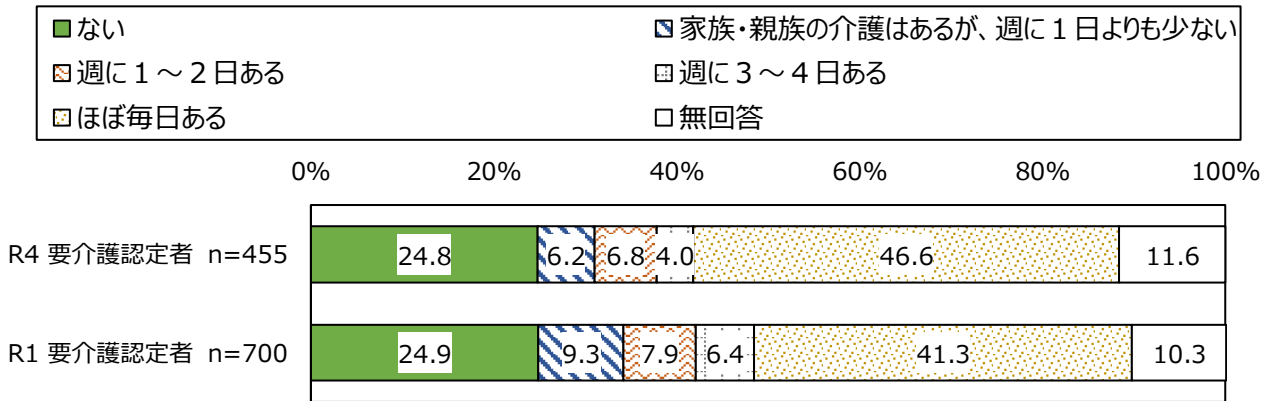
単位：%

区分		回答者数(件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問歯科診療	訪問リハビリテーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
全体		455	26.6	43.5	24.4	19.1	20.4	4.6	50.1	2.6	17.4
居住地区別	袋井北部地域	139	31.7	43.2	21.6	18.0	18.0	5.8	52.5	2.9	18.0
	袋井中部地域	98	29.6	42.9	35.7	17.3	26.5	4.1	53.1	1.0	16.3
	袋井南部地域	114	19.3	41.2	20.2	21.9	18.4	3.5	49.1	3.5	18.4
	浅羽地域	96	26.0	45.8	20.8	19.8	19.8	5.2	47.9	3.1	15.6
要介護度別	要支援1	37	18.9	35.1	32.4	10.8	27.0	10.8	37.8	0.0	32.4
	要支援2	23	17.4	56.5	13.0	4.3	13.0	8.7	34.8	4.3	26.1
	要介護1	180	25.0	45.6	22.2	18.9	16.1	5.6	50.6	2.2	17.2
	要介護2	82	23.2	32.9	20.7	15.9	31.7	2.4	58.5	2.4	15.9
	要介護3	55	30.9	50.9	25.5	25.5	16.4	1.8	52.7	5.5	9.1
	要介護4	39	30.8	46.2	30.8	28.2	23.1	2.6	59.0	5.1	10.3
	要介護5	22	45.5	63.6	45.5	31.8	22.7	4.5	50.0	0.0	13.6
	わからない	5	80.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0
訪問診療利用有無別	利用している	38	44.7	55.3	50.0	31.6	34.2	7.9	55.3	2.6	0.0
	利用していない	388	26.3	45.1	23.2	18.6	20.6	4.1	52.6	2.8	14.4

問 18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）

「ほぼ毎日ある」が46.6%と最も高く、次いで「ない」が24.8%、「週に1～2日ある」が6.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が6.2%、「週に3～4日ある」が4.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ほぼ毎日ある」が増加しています。



【要介護度別】

要介護度別でみると、他に比べ、要介護4で「ほぼ毎日ある」が高くなっています。

単位：%

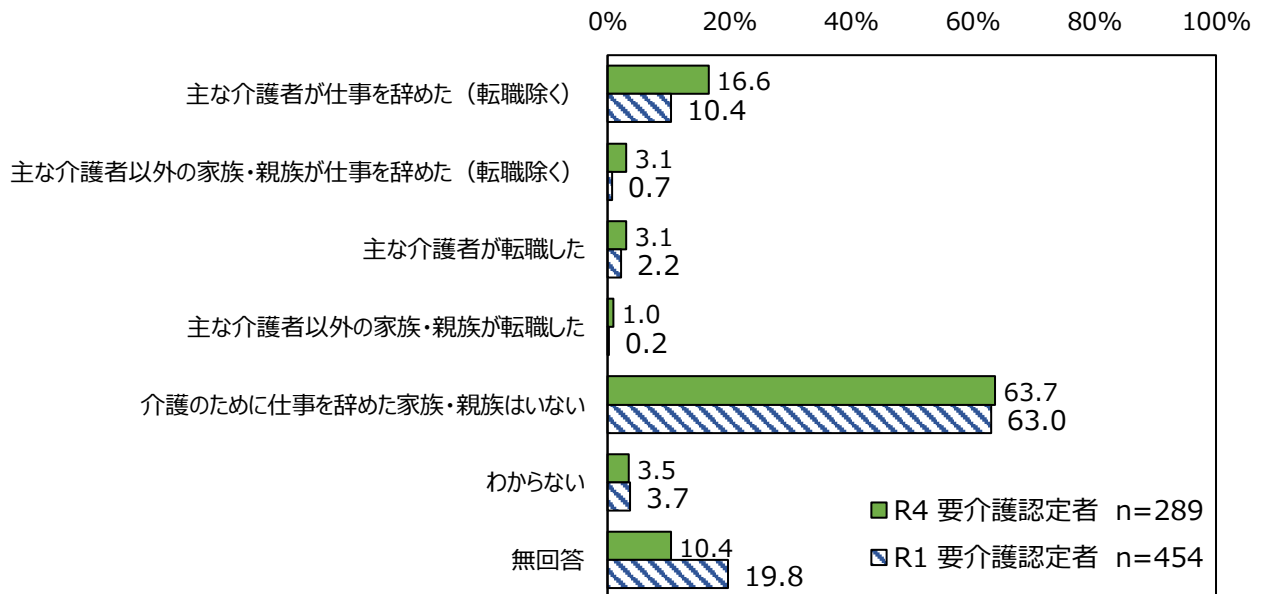
区分	回答者数(件)	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答	
全体	455	24.8	6.2	6.8	4.0	46.6	11.6	
要介護度別	要支援1	37	45.9	5.4	0.0	2.7	24.3	21.6
	要支援2	23	30.4	17.4	4.3	0.0	43.5	4.3
	要介護1	180	22.2	7.8	6.1	4.4	45.0	14.4
	要介護2	82	19.5	3.7	8.5	6.1	56.1	6.1
	要介護3	55	21.8	5.5	9.1	3.6	58.2	1.8
	要介護4	39	20.5	2.6	10.3	2.6	59.0	5.1
	要介護5	22	31.8	0.0	9.1	0.0	45.5	13.6
	わからない	5	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0

(2) 主な介護者の方について

問 19 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

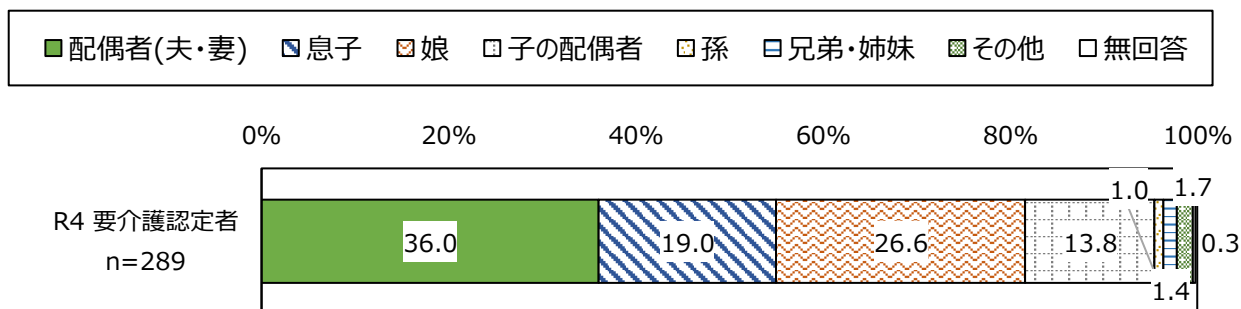
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.7%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が16.6%、「わからない」が3.5%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が3.1%、「主な介護者が転職した」が3.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が増加しています。



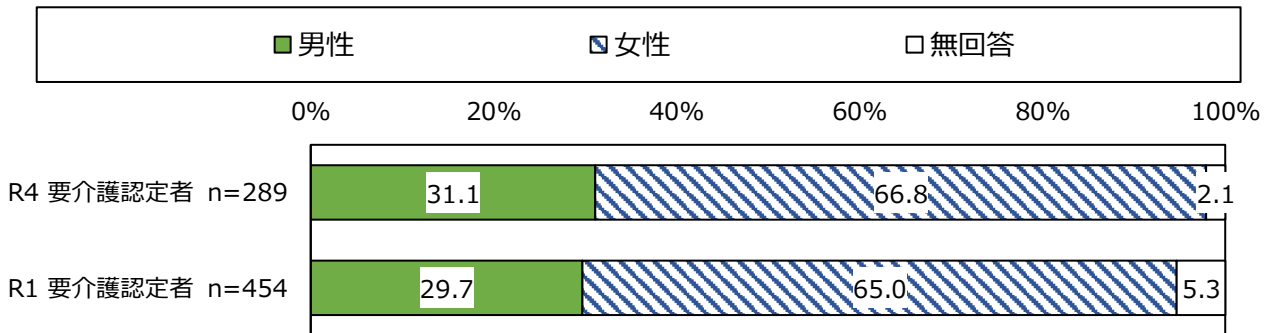
問 20 主な介護者の方は、どなたですか（○は1つ）

「配偶者(夫・妻)」が36.0%と最も高く、次いで「娘」が26.6%、「息子」が19.0%、「子の配偶者」が13.8%、「兄弟・姉妹」が1.4%となっています。



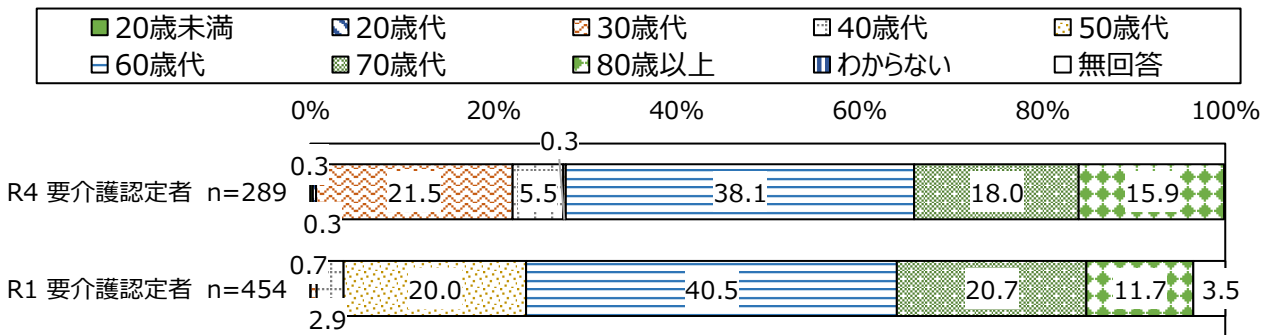
問 21 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

「男性」が31.1%、「女性」が66.8%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



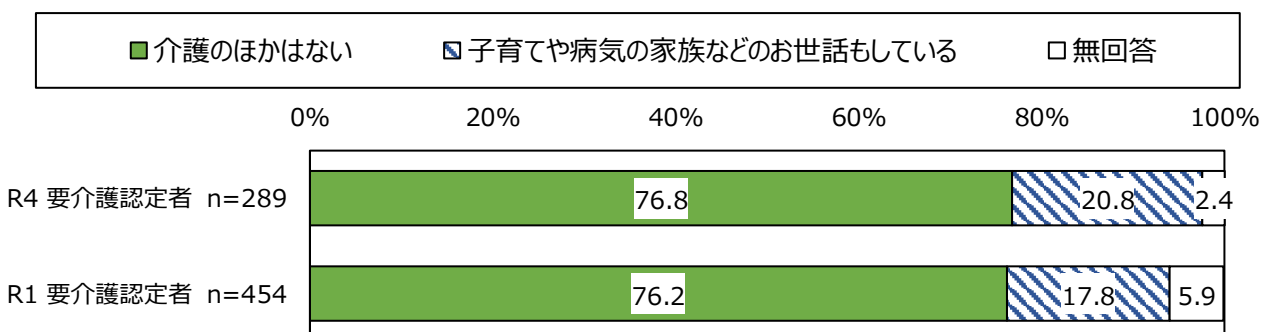
問 22 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

「60歳代」が38.1%と最も高く、次いで「30歳代」が21.5%、「70歳代」が18.0%、「80歳以上」が15.9%、「40歳代」が5.5%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「30歳代」が増加しています。



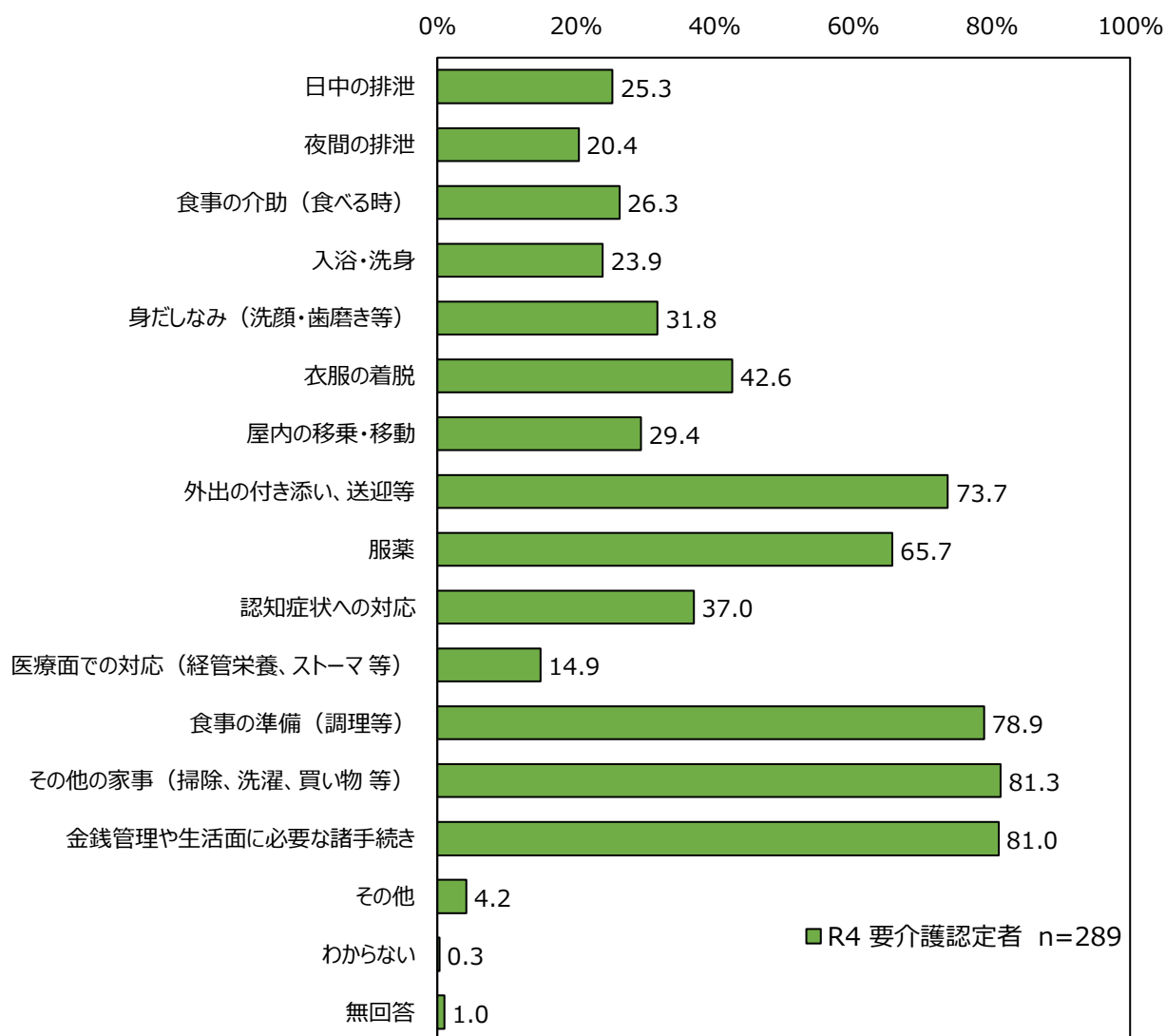
問 23 主な介護者の方は、介護のほかに子育てや病気の家族などのお世話（ダブルケア）をしていますか（○はひとつ）

「介護のほかはない」が76.8%、「子育てや病気の家族などのお世話もしている」が20.8%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「子育てや病気の家族などのお世話もしている」が増加しています。



問 24 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(〇はいくつでも)

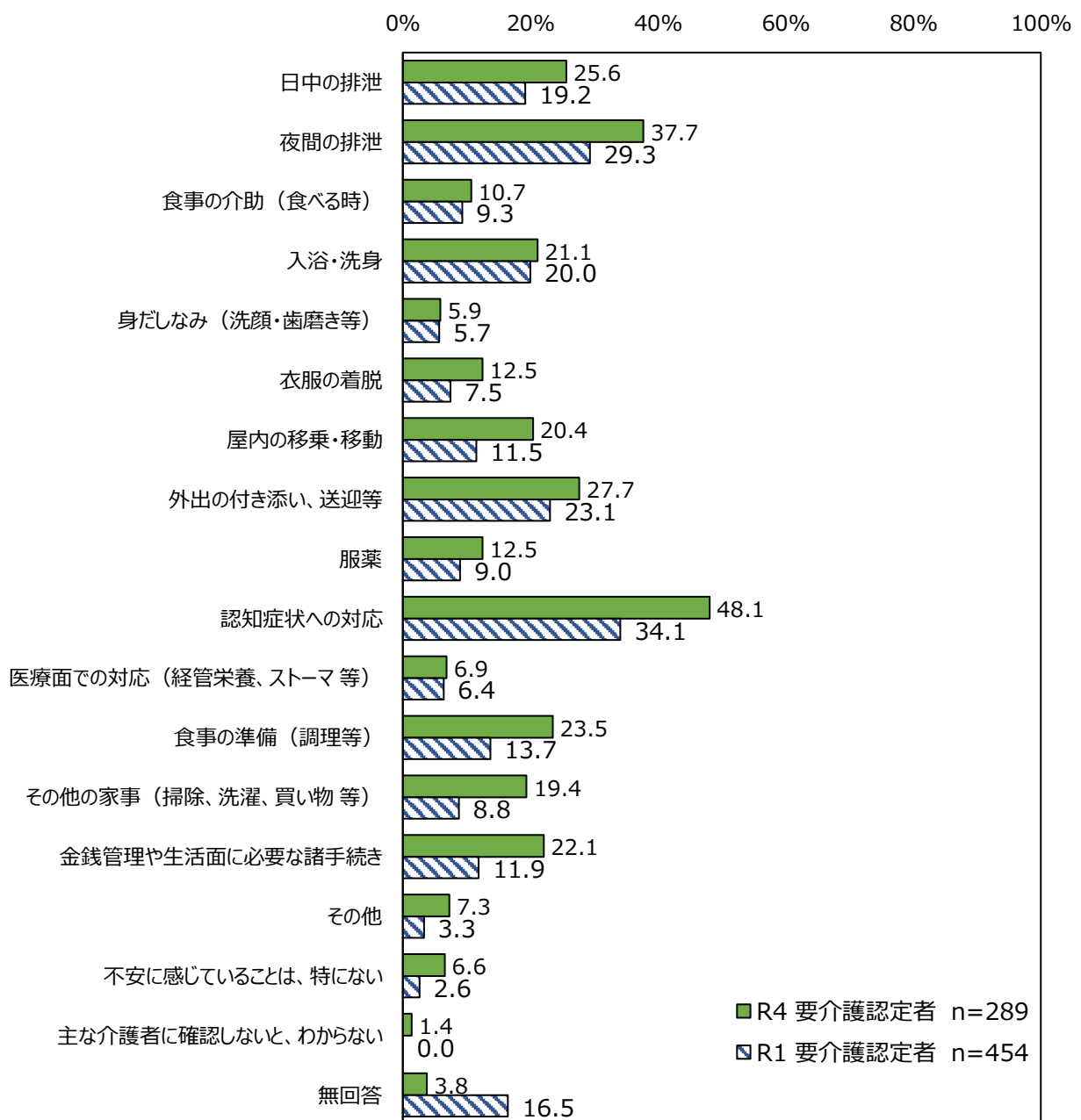
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 81.3%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 81.0%、「食事の準備（調理等）」が 78.9%、「外出の付き添い、送迎等」が 73.7%、「服薬」が 65.7%となっています。



問 25 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）
（〇は3つまで）

「認知症状への対応」が48.1%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が37.7%、「外出の付き添い、送迎等」が27.7%、「日中の排泄」が25.6%、「食事の準備（調理等）」が23.5%となっています。

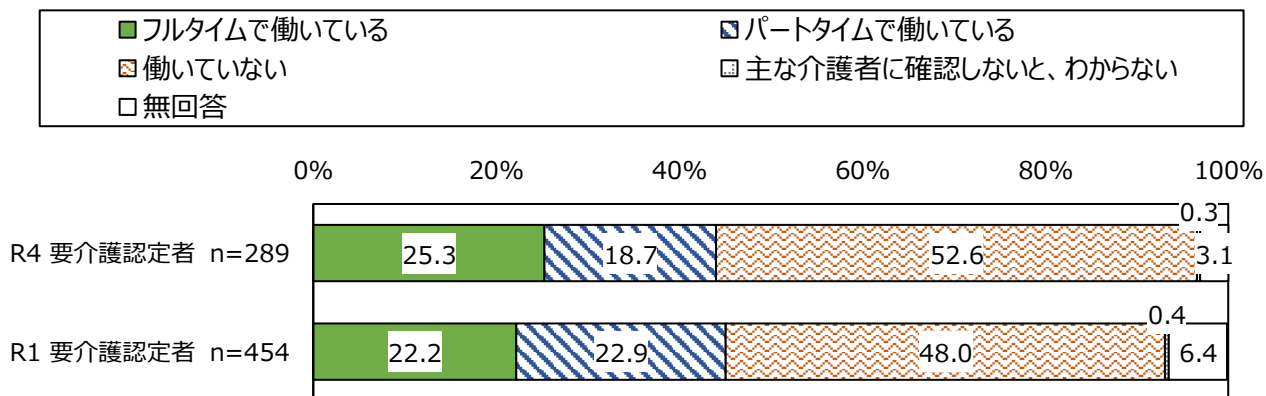
令和元年度調査と比較すると、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が増加しています。



問 26 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

「働いていない」が52.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が25.3%、「パートタイムで働いている」が18.7%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」、「働いていない」が増加しています。

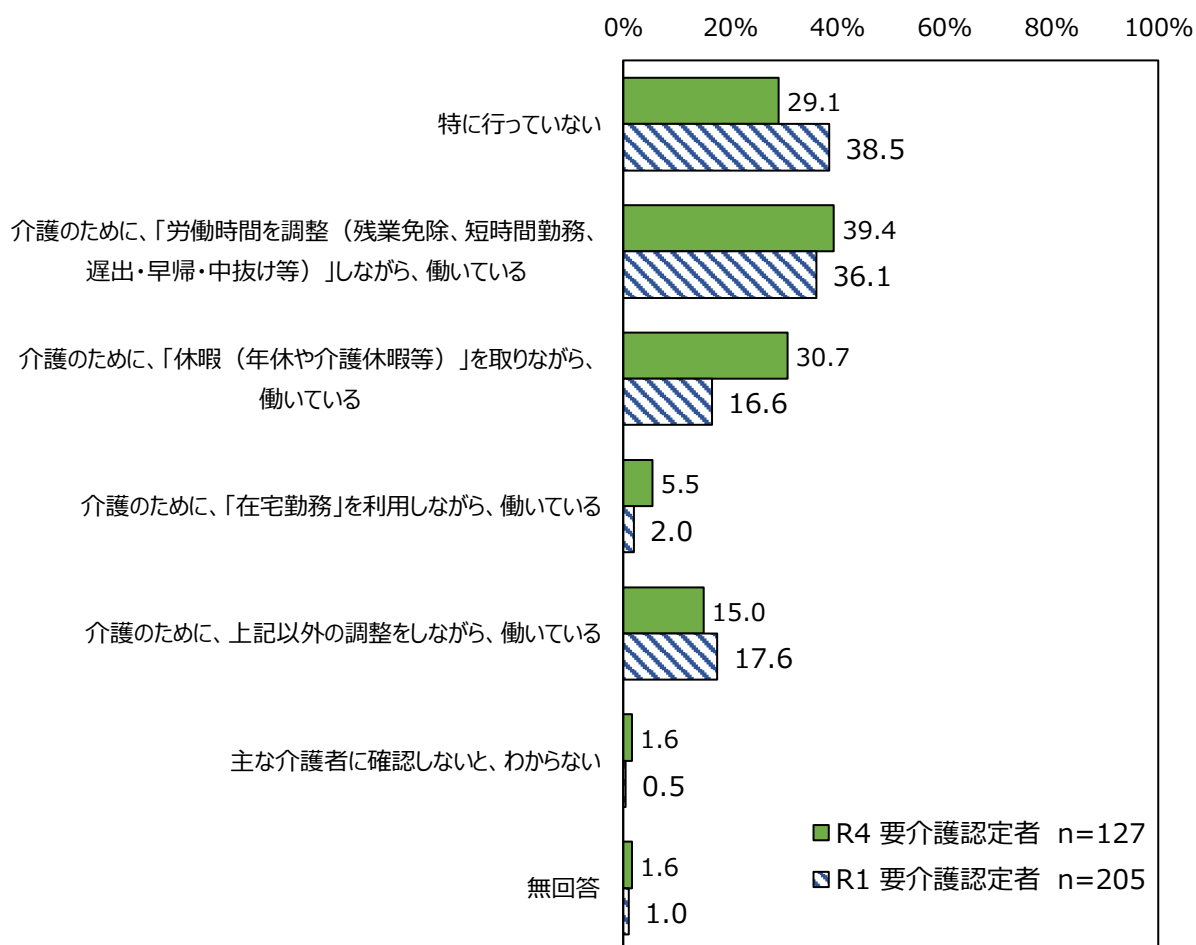


問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問27 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか（○はいくつでも）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が39.4%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が30.7%、「特に行っていない」が29.1%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が15.0%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が5.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「特に行っていない」が減少しています。

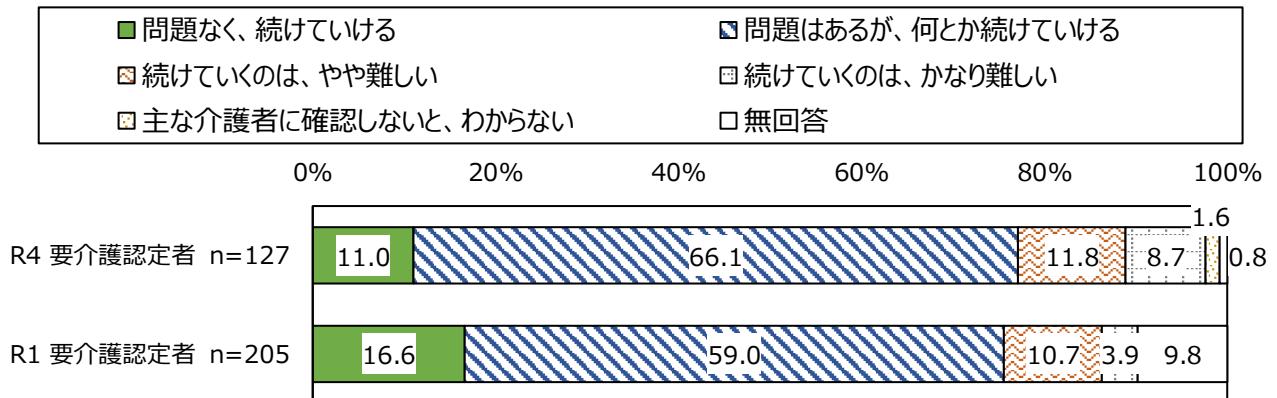


問 26 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問 28 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

「問題はあるが、何とか続けていける」が66.1%と最も高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が11.8%、「問題なく、続けていける」が11.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が8.7%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が1.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「続けていくのは、かなり難しい」が増加しています。



Ⅲ 今後に向けての課題

1 家族構成とライフスタイルの課題

○ 高齢者のみ世帯の増加と将来的な介護について

家族構成について、「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を合わせた高齢者のみの世帯は、一般高齢者で46.6%、事業対象者、要支援認定者で44.1%となっており、特に一般高齢者については令和元年度調査と比較して高齢者のみの世帯が増加しています。

これらの世帯は将来的に老々介護となる可能性が高いと考えられますが、自身に介護が必要になった場合に介護を受けたい場所では「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」と「介護保険サービスを使いながら自宅で介護してほしい」を合わせた“自宅で介護してほしい”が一般高齢者では6割を超えています。一方、自身の家族に介護が必要になった場合どのように介護したいかについては、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」と「介護保険サービスを使いながら自宅で介護したい」を合わせた“自宅で介護したい”が、一般高齢者では6割を超えています。このことから、自身や家族にかかわらず、在宅での介護の意向が強いことがうかがえます。

高齢者のみ世帯が増加傾向にある中で、在宅での介護の意向が強いことから、介護保険サービスや高齢者福祉サービスの充実、気軽に相談できる場の提供等を通じ、老々介護となった場合でもできるだけ介護者の負担が軽減できるようにすることが必要です。

○ 外出支援について

昨年と比べた外出回数については、「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”が一般高齢者では23.0%、事業対象者、要支援認定者では58.2%となっています。また、外出を控えているかについては、一般高齢者では22.8%、事業対象者、要支援認定者では52.5%が「はい」と回答しています。

外出を控えている理由として、一般高齢者では「感染対策」が71.3%と最も高く、事業対象者、要支援認定者では「足腰などの痛み」が65.0%と最も高くなっています。

高齢者のフレイル対策として、運動器の機能回復など介護予防教室の周知啓発、参加促進が必要であるものの、特に一般高齢者では、新型コロナウイルス感染症の影響を懸念して外出を控えているとの回答が多くなっており、教室や講座といった人が集まる場所における感染予防対策を考慮していく必要があります。

また、外出の要件については、一般高齢者では「買い物」や「医療機関への通院」が、事業対象者、要支援認定者では「医療機関への通院」や「デイケア・デイサービスの利用」が多く回答されており、外出する際の移動手段については一般高齢者では「自動車（自分で運転）」、事業対象者、要支援認定者では「自動車（人に乗せてもらう）」が多く回答されています。その中で、介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて充実を望むこととして、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者いずれも「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が最も多く回答されています。

市では、自主運行バス・地域協働運行バスやデマンドタクシーといった移動支援の取り組みを進めているものの、自身の地域にはバスが通っていないといった公共交通の不足や一層の充実を望む声も多くなっています。高齢者が気軽に外出できるような「足」の充実を進めるほか、利用に際しての手続きや金銭的な負担の軽減を図る必要があると考えられます。

○介護予防、健康づくりについて

介護・介助が必要となった主な原因としては、一般高齢者では、「高齢による衰弱」が15.8%と最も高く、事業対象者、要支援認定者では、「骨折・転倒」が27.6%と最も高くなっています。また、生活習慣病をみると「脳卒中（脳内出血・脳梗塞等）」が一般高齢者で3.0%、事業対象者、要支援認定者で7.7%、「心臓病」が一般高齢者で9.6%、事業対象者、要支援認定者で15.7%、「がん（悪性新生物）」が一般高齢者で3.4%、事業対象者、要支援認定者で4.6%、「糖尿病」が一般高齢者で13.3%、事業対象者、要支援認定者で18.8%となっています。

現在治療中、または後遺症のある病気については、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者のいずれも「高血圧」が最も高くなっており、この他に一般高齢者では「糖尿病」、「高脂血症」、事業対象者、要支援認定者では「心臓病」、「糖尿病」が高くなっています。

生活習慣病予防が介護予防にも影響が大きいと考えられ、また、生活習慣病の原因となる「高血圧」の高齢者も多くなっていることから、保険事業、健康づくりの担当課とも連携を図り、生活習慣病予防から介護予防へとアプローチする仕組みづくりを進め、保健事業と介護予防を一体的に推進していくことが必要です。

○介護者への支援について

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、「認知症状への対応」が48.1%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が37.7%、「外出の付き添い、送迎等」が27.7%、「日中の排泄」が25.6%、「食事の準備（調理等）」が23.5%となっています。

認知症高齢者の介護は介護者にとっても大きな負担となりうることが考えられるため、認知症に関する各種相談窓口の周知啓発、認知症サポーターの養成・確保など、介護者の負担軽減を一層推進していく必要があります。また、排泄への対応や外出における送迎支援、食事の準備といった介護保険以外の生活支援サービスの充実も必要です。

2 高齢者の生きがいづくりの課題

「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」について、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向のある人”は、一般高齢者では52.8%、事業対象者、要支援認定者では34.9%となっています。一方、「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか」について、“参加意向のある人”は、一般高齢者では28.9%、事業対象者、要支援認定者では19.2%と、いずれも大きな差がみられます。

高齢者の社会参加促進、閉じこもり防止、介護予防等のために、運動や趣味活動といった様々な地域活動の紹介や参加促進を図ることが重要ですが、こうした地域活動の担い手としても元気な高齢者の活躍が求められていることから、地域活動の企画・運営支援を通じた生きがいづくりの方法を検討していく必要があります。

3 介護保険サービスの課題

介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについて、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者、要介護認定者いずれも「介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい」が最も高くなっています。このことから、介護保険料が高齢者にとって経済的な負担となっており、できる限り介護保険料の上昇は抑えて欲しいという意向がうかがえます。

どのような介護保険サービスの充実を望むかについては、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者では「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」や「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が高くなっており、要介護認定者では「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」や「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」が高くなっています。

主に通所系サービスの充実が求められていることがうかがえますが、一方で介護保険料の負担を抑えてほしいという意向も強いことから、これまでの介護保険サービスの利用実績を精査し、今後の利用を適切に見込んでいくことが必要です。

また、介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて充実を望むこととして、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者いずれも「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」や「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」、「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」が多く回答されており、介護保険サービスではフォローしきれない日常生活における見守りや移動支援に関するサービスの充実が求められていることがうかがえます。

こうしたサービスは行政だけでは取り組みを進めることはできず、事業所・ボランティアといった支援者や企業等との連携が欠かせません。高齢者福祉分野だけではなく、地域福祉や都市計画、ICT に関係する分野など、様々な分野の関係者との連携・協力を図り、高齢者が安心して暮らし続けていけるよう、サービスの量・質の充実に向けて取り組んでいくことが重要であると考えられます。

4 情報提供の課題

一般高齢者、事業対象者、要支援認定者いずれも「固定電話と携帯電話の両方持っている」が最も高くなっており、携帯電話が多くの高齢者にも普及していることがうかがえます。また、市のお知らせやイベントなどの情報については一般高齢者、事業対象者、要支援認定者いずれも「広報ふくろい」が最も高くなっているものの、一般高齢者では事業対象者、要支援認定者に比べて「メローねっと（袋井市Eメール）」や「袋井市ホームページ」の割合も高くなっており、インターネット通信等を通じて情報収集されていることがうかがえます。

広報紙や回覧板、テレビ・新聞といったこれまでの情報媒体の利用が多くなっている中で、主に一般高齢者ではメールやホームページといったインターネットも利用されていることから、今後はより効果的な情報発信・提供手段を検討していくことが必要です。

5 生活機能評価からみる課題

○ 後期高齢者における生活機能低下の課題

生活機能評価について、運動器、閉じこもり、転倒、口腔、認知機能については、75歳～80歳以上となるとリスク該当者の全体平均を概ね上回る傾向にあります。

70歳代前半でフレイル状態となる高齢者も増えてくることから、介護予防については、70歳代で積極的に介入することが重要です。

健康について知りたいこととして、「認知症の予防について」が一般高齢者で51.1%、事業対象者、要支援認定者で49.0%と高くなっています。認知症予防の取り組みについては、市が発行している各種手引きやガイドブックを有効活用しながら周知啓発、広報を進めていくほか、各種介護予防教室との提供、また、70歳の節目など高齢者に直接介護予防教室への案内をするなど、早期介入ができる仕組みが必要です。

○ 日常生活での機能低下の課題

手段的自立度（IADL）において、男性では75歳以降、女性では80歳以降でIADL低下者の割合が全体平均より割合が高くなっており、女性に比べ男性の方が早期にIADL低下が進んでいることがうかがえます。

しかし、女性に比べ男性は介護予防のための通いの場に「参加していない」割合が高くなっており、男性が参加しやすい介護予防教室や地域でのサロン活動など、男性に特化した取り組みが必要です。

IV 自由意見

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見数については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 福祉全般について	7
2. 介護保険制度について	36
3. 生活環境について	3
4. 公共交通機関、外出支援について	17
5. 経済的状況について	17
6. 広報、相談窓口について	24
7. 健康づくり、予防について	16
8. 自立自助（生きがい、楽しみ）について	15
9. 地域活動について	9
10. 医療について	17
11. 施設サービス、介護保険サービスについて	38
12. 介護サービス（介護保険によるものを除く）について	27
13. 介護者が抱える問題（老々介護等）	4
14. 今後の不安について	37
15. アンケートについて	13
16. 行政について	21
17. その他	120

1 福祉全般（抜粋）

- ・ 介護保険、保健福祉サービスはサービスの押し売り。そんな余分な金があったら子供へのサービスを考えて下さい。年寄りに金を掛けても期待する生産性はゼロだ。市民（若い人たち）のためなる市政を望みます。
- ・ 介護保険サービスは良い事と思うが私達の様な年金生活者になると保険料が上がったり年金を下げられたら生活が大変になる。自分達が介護を受ける様になった時に果たしてみてもらえるのかもわからない。それくらいなら各自で保険に入る方が良い気がする。生活保護を受けている人ももっと厳しく審査して本当に働けなくて困っている人にやり、料金も国民年金位にまで下げて少しでも自分達で出来る様にしないと本人達も働らく意欲がなくなってしまうと私は思う。
- ・ 袋井市地域福祉推進計画の情宣と教育と充実。
- ・ 介護保険の在り方や、保健福祉サービスにかかわる方の苦勞に敬意を致します。日本の社会情勢は時代とともに変化し、また国際的な状況からの軋轢など、さまざまなことに影響を受けることは必定でしょう。世代も生まれた背景から、思想信条が異なるのも当然至極であります。社会に出てからも、幾多のアンケートに関わらせてきました。しかし、そうしたアンケートとは裏腹に、素朴な社会風土も失われ、個々の時代になり、特に、近年はAIや先端技術など影響を受けて、本来必要な道徳や、普通は持てる観念だけでは理解しあえない歪が存在しております。この難しい、課題に対して、介護や、福祉サービスを充実させることは苦勞の二文字かもしれません。一概に一律にしても、利用する人、利用しないひとに分かれるでしょう。体力の衰えは古来からの課題であり、その時、日々を大切に生きることが肝要に思われます。アンケートを統計的に見出して、方向性を見ることも一理ありますが、人々は、コロナ禍や物価高に目をまるくしているでしょう。よい社会がくることを希望しております。
- ・ 近隣も全体的に家族人数が少なくなって居り、老人世帯。又、若い人達はほとんどが共働きの家庭が増え、近所づきあいもむつかしくなっています。保育園等もいろいろ今の社会情勢のニュースを見ていると（介護サービス+子供）の接点を増す政策が有ったらギスギスした生活より気分的にゆったりした生活が送れるのでは？年令の幅の有る中の子供達の成長はもっと明るく見える様な気がする。老人達も子供達や若い人に力がもらえる様な気がするのですが、又笑顔も増す様に思います。
- ・ 袋井市は特にこれといった特長もない町なので、介護サービスや福祉サービスに特化している町にしていったら、袋井は住みやすいと移住してきたりと過疎化にならないようにしていったらいいと思います。今問題になっている保育園の件でも働くお母さんたちが「安心できる？」とか「お迎えが一分でも遅れると追加料金をとられる」とか色々な心配事を市で解決して子育てがしやすい所だと他の市町村から称賛されるような町づくりをしていただきたいと思ます。

2 介護保険制度（抜粋）

- ・ 介護保険サービスや保健福祉サービスの実態が十分理解できていなくて後半の部分申し訳ないと思います。病気、医療については学びに行くのですが、介護保険についてももう少し勉強しますね。
- ・ 身近に介護保険サービス等受けている者がいない為、サービスも内容を知りません。等級についても平等な査定で判断してもらえるのか疑問も少なからずあります。必要な者が必要な介護を受けられる制度が一番望ましいと誰もが願うことだと思います。その為にも、元気で動けるときに介護支援ボランティアで積み立てたポイントを自分自身が必要となった時使わせてもらえるような制度ができれば人材もある程度確保できるのではと考えます。ただこの先、高令化が進みそれでも介護の担い手は不足気味になる事は間違いのないところです。
- ・ 要介護認定等の公平性<資格保持者のダブルでのチェック機能>。福祉用具の貸与制度の充実を希望します。介護ボランティア制度のPRと利用のしやすさ。
- ・ 小さい意見等反映されるのか？介護保険を使っていない人は保険料の割引をしてほしい。片目失明したのに対し障害者適用されないのか？

- ・ 介護保険が必要となる前にある程度の知識は知っておくべきでしょうが、その内容について知りたいと思っています。
- ・ 保険料の支払いに対して利用状況によって人によって不満があると思う。ぜんぜんサービスを利用しない人は損をしていると感じる人は少なくないと思う。保険だと限定せず軽度の人も少しは利用できるサービスが必要だと思う。
- ・ 保険料を値上げしないで下さい。
- ・ 介護保険料の値上げはあまり上げられてもこまる。
- ・ 年々介護の基準が厳しくなっている様ですね。高齢者が多くなっているから仕方ないのかもしれませんが2人で暮している様な人には暖かい支援をしていただきたく思います。
- ・ 年金で生活をしているので保険料などをあまり上げないでほしい。生活ができなくなる。
- ・ 介護保険料が上がりがちです。何か良い方法を見つけ出して改善される事を期待致します。
- ・ 介護保険料の負担が高すぎる感じています。今一度、介護保険料の見直しを実施し、軽減出来る様知恵をしばって頂きたい。説に希望致します。
- ・ 無料で介護してもらいたいです。国・県・市がしっかりとしてもらいたいです。
- ・ 介護保険サービスを受けられる人の体がどれ位の状態で介護が受けられるのかくわしく広報なりにのせてほしい。元気な時に介護保険を払い続け、いざ介護が受けられないとなると納得がいきませんので元気で活躍している人達の介護保険料は減らしてほしい。余裕のある方は必要ないと思いますが、年金が減り物価高のおり、1万円の価値が半分に減りました。明日は食べていけないか不安を持っている人が多いと思います。老人が多いと不満に思う人々も多々あると思いますが、戦後を支えてきたとのプライドを持っている人々もたくさんいらっしゃると思います。時代の流れで仕方ないと片付けてほしくないと思います。
- ・ 介護保険料を少ない年金から引かれており介護重度に応じてでしか、支給されないのももう少し幅広く支給してもらいたいと思います。(介護度が低い人でも不自由な生活で困っている人もいます)
- ・ 保険料が高すぎる。医療費が高すぎる(2割になったため)
- ・ 介護保険料を毎月おさめていますが入院した時に少しでも見てくれますか?介護保険料をおさめてそのまま死んで行く人達がいいます。何のための介護保険ですか。私達にはわかりません。
- ・ 生活に支障ない介護保険料でお願いしたいです。
- ・ 年金から引かれる介護保険料高い。何のための年金でしょうか。医療必要とする療養施設にての訪問介護認定者の方しっかり患者様の状態把握されしっかりした介護認定等級決定等希望します。
- ・ 介護が必要になるのは自分自身の食生活や生活習慣の怠りなので、介護保険料を皆で分担するのはどう見てもおかしいと思います。
- ・ 充実したサービスが受けられて、介護保険料が低価格であればいい。
- ・ 介護保険は納めているが、けっこう高額だと思う。自分がサービスを受ける時期(こない方がいいが)すんなり受け入れてくれるか?お金だけ取ってはい、さようならでは、辛いと思う。今迄に支払った金額はどうなるかと思う。少しでも返金してくれるならお互い様。福祉に寄附せよと言うことかもね。
- ・ 介護負担増、高齢者も現役と「限界」。高齢者医療費と保険料引き上げも全世代負担と小手先の改革。年収320万円以上でなく400万円以下まで1割、2割、3割、4割、5割窓口負担割合を新設。90才以上は後期高齢者保険と介護保険料のどちらか免除。法律に守られた尊厳死があっても。
- ・ 介護保険料が高すぎる。
- ・ 介護保険は全く利用していないのに、保険料が高すぎる。利用度に応じて差をつけるとか出来ないのか?

- ・ 色々な手続きが年寄りにはわかりづらいし、何の手続きをしたら自分にとって良いのかわからない事が多い。
- ・ 介護保険サービスを受けていない元気な老人さんも多いはず 2~3 年に 1 度は見直して少しでも還元してもよいとおもいます。それだけでなく介護保険料高すぎる。国民年金者は満額受け取りでも食べて行けないとおもいます。
- ・ 介護保険について何も知らない。これから必要になって来る場合もあると思うので、勉強したい。
- ・ 今の所主人と元気に暮して居り、サービスを受けていませんが、いつかはお世話になるかも知れません。今一番気になる事は、介護保険料が上がる事です。医療費も倍になって、医者に行くことをためらう事にもなりかねません。

3 生活環境（抜粋）

- ・ 今回トイレと玄関前に手すりを設置していただき生活するうえでとても安心して過ごせるようになりました。ありがとうございました。
- ・ おせわになります。ウォーキング、買物で歩く、子供達の通学も畑の枝がのびて道へ出ている。道も広くない所では草がのびて背が高くなり、それを避けて、人も車もやや中央を通る。歩きにくい。あぶない。防犯的にも。市役所の近くなどは車いすでも可能ですが、そうではない道が多いですねえ。

4 公共交通機関、外出支援（抜粋）

- ・ 現在は車で出かけているが免許の更新をやめた。後の出掛ける方法、タクシー利用など費用が年金内でやって行けるか等々心配だ。
- ・ 介護サービスはいずれ多かれ少なかれお世話になるものですが、介護状態になるのをいかに遅らせ自立した生活が出来るかを考えた方が良いのではないのでしょうか。そのためには老人がいつでも出かけ立ち寄れる場所がほしい。白雲荘や風見の丘など施設があっても交通の便が悪すぎる。コミュニティーセンターや集会所を利用しつつでも気軽に立ち寄れる場所を提供して交流の場を作ってほしい。老人になれば交通手段がなくなるのでどうしても家にこもりがち。それを解消する為に場所作りさえすればお金もかからないと思います。
- ・ これから車の運転が出来なくなり買い物や通院に行けなくなるので東地区タクシーを週五日お願い出来ればありがたいと思います。
- ・ バスが通っていないので車の運転ができない時、免許証返納した時の交通手段が心配。タクシーへの割引券はあると助かると思います。
- ・ 宇刈地区は車が無いと生活出来ない。小型のバスで良いから朝夕二度位で良いからほしい。マム、イオンあたりまで。
- ・ 自動車免許返却後の足。行動が不自由になるのでどこかに行く時の足（Taxi、巡回バス）がすぐ手に入るようなサービスが必要。また行政のサポート。安くサービスを使える事。
- ・ 今は車の運転ができるので、困り事はありませんが、この先、車の運転ができなくなり、家族以外でたよる人がいない時、買い物・通院等自立した暮らしがむづかしくなります。タクシー以外の移動手段確保が課題です。
- ・ 高齢者の車事故防止→免許証返納する。フーちゃんバス、小型車の運行回数をふやしてほしい。
- ・ 高齢者が諸活動に参加するのにいちばんネックになるのは移動手段である。年齢が高くなるにつれて諸活動に参加する意欲があっても他人の手を借りなければならないので、つい足が遠のいてしまう。その点デイサービスは送迎つきなのでやる意欲さえあれば気がねなく参加できてよい。
- ・ 交通の支援。
- ・ 免許証を返納しようと思っていますが、その後の外出が出来なくなるので、認知症になるのが早い気がします。交通手段をきめ細かくしてほしいです。

- ・ デマンドタクシーを続けて欲しい（自宅まで来てほしい）。どこに行くにも足がないのでとても不便です。
- ・ まだ運転できるから良いができなくなったら買い物や通院が困る。やっぱり地域タクシーや移動販売があればと期待します。

5 経済的状況（抜粋）

- ・ 年金は下がり税金は上がり介護保険料は上がりこれからかぎられた年金で生活する為にはこれ以上老人の負担はさけてほしいと思います。又、マイナンバーカードに保険証を付けるのもどうかと思います。（大切なマイナンバーをなくすと困る）老人はあれもこれも若い人の様に機械になれていないため立ち止ります。
- ・ 施設に入れるのもいいですが、お金のある人はいいですが、お金の無い人はどうすればいいですか？もう少し考えてほしいです。
- ・ 年金だけで使用料を支払っていけるか心配です。
- ・ 介護保険料が高いため生活が苦しい。国民年金の為、サービスは受けたくても受けられない。
- ・ 私は国民年金なので金額が少ないのですが老人ホームに入れますか。介護料など払うことができません。
- ・ 今のところ介護サービスを受ける事もなく近隣にも介護を受ける状態の人はいないので今回のアンケートも想像での回答になってしまいました。高令者が安心して生きて行けるよう市民としての協力を惜みず健康で頑張っていこうと思っています。が、ただ、病人をかかえた息子の給料と年金生活の親が生活してゆくには大変厳しい経済状態である事は事実です。
- ・ 何事にもお金のかからない様にして下さい。
- ・ 年金生活で介護保険を1人で年6万円以上は支払っているのです。中々大変です。なるべく人の世話にならない様に生活したいと思いますが何をやるにしてもお金がかかるので元気で頑張りたいと思います。
- ・ コロナがなかったら介護については諸施設、病院でも面会も許されず、精神的にも肉体的にもすごく介護される方も皆がまっています。認知については自覚があって自分自身が早くみとめられるといいと感じています。8年半の介護（施設を含み）コロナ以前でしたので、本当にお世話になり、私自身いい勉強をしました。ただ都会の子供達に引きとられ、施設に入ることは、経済的に驚くほど自分達はとてもできないと思っています。

6 広報、相談窓口（抜粋）

- ・ 家族の仕事等で家に一人になってしまった時の連絡する方法を考えてほしい。（日中仕事で電話に出られない）
- ・ おかげさまで今は主人（81才）と2人おだやかに暮しています。この先何か困った事ができた場合相談窓口はどこにあるのでしょうか。公的機関（福祉サービスの係）になるのでしょうか？この先病気 etc 何かがあった時経済的負担がどのくらいになるのかわからなくて心配です。
- ・ 最近近所も1人暮らし、空屋も増えてきました。なんとなく不安です。親身になってくれる民生委員、町内の役員さん等と相談出来る人が少ないです。たとえば心配して話しかけても小さな親切大きなお世話と言う感じで受け入れてくれません。どこまでお手伝いして良いかまよいます。尚いつも南部包括支援の方々には感謝しております。ありがとうございます。
- ・ サービスなど細かい事を目のつく所、場所などに明記、常に、外でも目に入る様に気らくに利用、話しを聞けるともっといいと思います。
- ・ ” 広報袋井 “の内容が聞きづらい。（殆んど聞きとれない）
- ・ 現在はまだ自分の事も家族のことも出来ませんがいずれ心身共に老いていきます。もう少し介護保険について情報を欲しいと思います。各施設の特長など。

- ・ 利用した事がないのでよくわかりませんが高令の二人（主人と私）ですからいずれ近いうちにお願ひするようになると思います。その場合どこに相談すればよいかよくわかりません。かかりつけの医院に聞けばわかるでしょうが（多分市役所に出向くことになると思います）今は車の運転も可能だから出向く事出来ますがいざ。となった時はタクシーを使ってとなると思いますが。その場合の援助（金額の）はあるでしょうか？沢山の利用者で入所（もしする場合）不可能とかあるでしょうか？別件ですが、そのお世話する人達はもしかして安い賃金で働いてはいませんか？大変なお仕事だと思います。お給料を上げてやってほしいと思います。
- ・ 自分の介護ではなく妻の介護をお願いするにはどうしたら良いのか？20年入院し何もできない自分にどうしたら良いのか？
- ・ 自宅で病人を介護している場合、保険サービスは何も受けられなかった。制限食について、アドバイス、民間宅配業者など小さな事でもどうしたらいいか相談する窓口が欲しい。
- ・ 介護保険の案内、教室等開催の際、催し会場までの送迎があると参加しようとする人が増えるのでは。
- ・ 身近な人がいないので唯か心安くお願ひ出来る人がほしいです。常に相談とか安心して云える方。
- ・ 市無線何を言っているかきき取りにくい。大変こまる。災害時のとき。
- ・ 具体的な介護保険サービス本みたいな1冊にまとめて各家庭に配ってほしい。
- ・ 介護保険サービス、保健福祉サービスは等の説明書を60才以上に配布してほしい。
- ・ 知らない事が多いです。1回に全てを知らせるのではなく今回のテーマは健診、次は介護というように小さな事をくわしく知らせてくれる手段があるといいです。健康センターへ来れば何でもすぐわかると言われますが簡単にそこまで行けません。高令者にお知らせシリーズでレターとかが来るとありがたいです。
- ・ 今後各サービスを利用するような事になった時、各利用ポイントにより自分が望むものがうまくいかない時や家族や親族の話し合いがうまくいかない時、妥協するしかないような話も聞きます。介護施設等の行政による改善や補助等の現状等も元気な今知ることができれば嬉しいです。
- ・ タクシー、紙おむつの助成はは有りますか。困っている事。1人で留守番をする場面が有りますが、電話もメールも使えません。連絡手段等何か良い方法はありますか。
- ・ 今の所必要は感じませんが、将来なった時にはどの様にしたら良いのか相談窓口等を知りたい。
- ・ 介護が必要になった時、何にどれくらいの費用が掛かり、手続等何をすればいいかわからない。手軽に見れる資料や説明会があったら利用したいと思います。
- ・ 介護の度合い、福祉サービスなど動けるうち頭が回るうちに調べておこなうてはなりません、知り合いの話から多少知る位です。早い内に（元気な内に）困らないよう調べておこなうては。分かりやすい説明になっているといいですね。

7 健康づくり、予防（抜粋）

- ・ 介護が今のところは必要ではないので動く事やウォーキングを心がけ、健康寿命を伸ばしていけたらと思っています。
- ・ 一日でも長く元気であるために毎朝ラジオ体操と8,000歩を目標にして散歩しています。自治会の静岡でん伝体操にも参加しています。
- ・ 現在補助のあるコミセンでの体操の存続をお願いしたいしもっと参加する者がふえる努力をしたいです。
- ・ 高令者の生活健康面に対していろいろなサービスをしていただきありがとうございます。コロナ禍で出席も控えています。落ち着いてくれば少しずつ参加させていただきたいと思っています。体を使った運動、頭の体操、健康的な食事（体力（高令と共に体力も衰えるので）簡単にできる料理、市製品の活用法等も考えていきたいと思っていますし、情報も得たいと思っています。

- ・ 電動自転車に乗ってどこでも行けてしまうので介護認定はチェックリストのみで受けることができました。包括センターの方との話し合いでデイサービスを御紹介して下さいましたが、本人がどうも団体行動は苦手らしく普段何きいてもハッキリ返答しないのに、デイサービス・施設だけはハッキリ「イヤだ!」と言います(笑) 散歩も毎日行かせる様にして自分で歩けるように頑張らせています。もし歩けなくなったら、寝たきりになったら、私自身限界を迎えます。それまでは、この家で生活させてやりたいと思っています。何か困った事がありましたら相談させていただきますのでよろしく願いいたします。
- ・ 今のところ食事の支度等出来る限りでさせて頂いていますが、娘はおばあさんにやらせないとぼけちゃうからといっぱい、仕事、洗たく機かけたり干したり、お風呂のおそうじとかしていますが、たまに買い物、まあやれば幸せと思っています。
- ・ デートレーニングサービスに行っておりますので、とても助かっています。
- ・ 介護保険サービス等を利用しなくても健康で生活出来るように日頃からいろいろな面で気を付けて過ごしたいと思います。
- ・ 介護保険サービスはとても良いと思う。介護予防に必要な筋内を使い自立の生活を続けたいです。

8 自立自助 生きがい、楽しみ(抜粋)

- ・ 今現在は何もこまっていることはありませんので余り考えていません。今は連鶴で一日の何時間は無中でやっています。今月はクリスマスツリーが出来さり玄関に飾ってニッコリ。来年はうさぎ年なので明日からは挑戦しようと思いきワクワクしています。楽しい毎日を送っています。日々感謝しています。ありがとうございます。来年は八十才になります。体に気をつけてがんばります。
- ・ 私は楽笑教室といきいきサロンに参加お世話になって居ります。共に脳トレ、軽体操、ゲーム、工作、寸劇、音楽鑑賞等、警察からは交通ルール、振り込めサギの話。又、紙の分別法と楽しく教えて頂き有りがとうございます。車での送迎は大変助かります。有りがとうございます。今後共よろしく願い致します。
- ・ 最近の行動と思うことを書いてみます。貧しい時代に生まれ育ち望むことがたくさんありました。働いて生活し時代と共に豊かな世間になったと思います。どこの家庭でも昔望んだことは全部手に入りこれ以上のことはないのではないかと思います。しかし世間では喜びも感謝の雰意気も余り感じないのはなぜでしょうか。私の望む残りの生活は自信を持ってユーモアのある欲はなく、元気に自分のしたいことをしてすごしたいと思います。今後も起床したらラジオ体操を夫と共にやり自分の身体は自分で守る。医者もクスリも頼らない。食事は楽しく手作りして(野菜は家で作ったもの)を食べ、転ばないように気をつけて。さがしものをし乍ら(夫婦お互いに)すごしていきたいと思います。「甘えない」「いばらない」「泣かない」〔食事作りの2/3以上主人の手作りです〕〔自由に書きすぎて反省!〕
- ・ 地域でボランティアさんが毎週集まりを開いてくれてそこに行くことが生活のはりになっています。また市で開催してくれている楽笑教室にも参加し続けたいので、自分のことはなるべく自分でして転んだりして寝込まないようにしたいとがんばっています。皆さんのおかげで楽しく過ごしています。ありがとうございます。県外から25年前に転居してきましたが、とても良い市に住めて幸せです。
- ・ 母の介護をしているときに思ったのですが、介護用品の支給(紙おむつ、尿とりパット)があるといいです。高齢者を対象とした地域保健活動、健康づくりを目的としたさまざまな取り組みを期待します。また生きがいを持てるような趣味活動等も企画していただくと充実した日々をすごせると思います。高齢者を対象とした講座があると参加しやすい(ヨガとか絵画等)
- ・ 40年程前姑が亡った時、年を重ねる事は大変な事だと思いましたが、いざ、自分がその年になって見て、世の中の移り変りをすごく感じています。以前にはなかった介護施設が出来たり充実したサービスが受けられるようになった事、感謝です。が、それにあまえる事なく、出来るだけ自分の事はじぶんでと思い今は楽しんで日々暮しています。私の若かった頃とはずいぶん世の中も異なっていますので、家では口を出さずを心掛けていますが、愚痴をこぼす所ほしいです。

- ・ 何才になっても勉強はしたいです。市内には高令者の教室がある様ですが、それすらも知らない有様です。足腰は弱り行き辛くても術もない人もいます。楽笑会、茶ろん（紫雲の園）等送迎してくれる処はほんとうに有難いです。認知症は恐いです。いくら頑張っても物忘れが日々感じられる様になりました。家で話し相手も無く。努力のみでは限界があります。その点、楽笑会、茶ろんへ参加すると、1日が楽しく生き返った気がします。ハードな事は出来ませんがコミュニケーションは認知症のブレーキの様に思います。フレイルに日々追いかけています。幸期高令者、光輝高令者だと思て毎日をポジティブに過ごす様、心掛けています。
- ・ 私が今お世話になっているデーサービスはからだをうごかすうんどう又頭をつかうもんだいとか、早くちことばとか私にはとてもたのしいです。
- ・ 今のところ知人を集めて包括の茶々に毎週行ってます。楽しい日々を送らせていただいています。笠原ボランティアの皆さんに感謝しています。大笑いが出来て長生きできます。手作りの食材が安くいただけるのが楽しみです。
- ・ 近所の人向う三軒両となりは常に会話をして災害時の話をすると日毎に知恵がわいて来ます。この世の変わりも1つでもついて行けるか、自分自身の心の中にも常にニュースをみたり、会話は続けて行こうと思います。人生は長くて短いものです。明かるい会話を常にしたいです。
- ・ 自分の事は最後まで出来るだけやりたい。

9 地域活動（抜粋）

- ・ 病気予防や健康増進のため行政はシニアクラブの活動にもっと力を入れて欲しい。シニアクラブへの加入促進をして欲しい。
- ・ 具体的にどうしたら良いかは分かりませんが、音楽とり入れたり、やさしい楽器を使って何か皆で一緒に1つの事を表現する。
- ・ 現在は夫妻で健康である為、余り考えていませんが、ある程度年令が高くなった時点で1人だけでなく家族や地域の人達と一緒に話が聞けたり、話合いの場があったら良いと思う。
- ・ 井戸ばたかいぎみみたいな所ができればいいな。みんなでたのしく畑ごととか花だんとかをいじりながらみんなが楽しく集まる所のあるばしょがあるといいな。
- ・ 問5 <地域活動について> 当該年齢層の方で神社仏閣の世話人をしている方が多いと思われまます。又、祭典時の付き合い（中老会等）をされている方も多いと思います。（旅行・行事等）これらの活動は項目のどの部分に入るのか？上記の活動も喜びや生きがい（責任感）を感じる場面ではないかと私は思います。
- ・ 高齢者（地区単位ぐらい）の集いの機会を月1回位いに計画して欲しい。内容については「この事で」と限定は無いが、「楽しめる、健康的、話し合える」等で。参加に家から会場への方法も大変の時もあるので参加がしやすい方法も配慮して欲しい。
- ・ 地域での活動について…現在の年齢、健康状態を考えるとできないことが多い。

10 医療（抜粋）

- ・ 訪問診療と地域病院との連携を密にしてもらいたい。（例、森町病院と森町家庭クリニックの様な連携です）
- ・ 介護福祉サービスはありがたいことで感謝の心で受けていくことは大切なことです。でも私は思います。もうこれ以上の介護をしていただいても、もう可能性なしという状態であれば医療の人たちにも家族にとっても大変なことであるし、生命の尊厳という原点から反するかもしれませんが、医療の打ち切りはやむを得ないことだと思います。私の姉は10ねんの余、ベッドで息だけして亡くなりました。それでも生きていてほしいという方もいらっしゃるかもしれませんが、私は生きているという生きる屍の如くの存在は否定して、もう少し医療の方へ、可能性のある方へ使ってもらいたいと思います。体験を通して思っています。
- ・ 他県ですがインフルエンザの予防接種が高齢者は無料で出来るのが袋井市は出来ないのですか？
- ・ 市内病院の充実を望む。

- ・ 現在1人暮らしで寂しさ孤独感等日常生活に不安を感じる時が多々有るため対応施設の有無及び利用方法等（条件）詳細に知っておきたい。医療の充実。特に訪問医、往診可能医の充実、医は仁術でありたい。
- ・ おばあさん（主人の母）が今年4月に亡くなったがその際、介護保険を利用。看護師さんがひんぱんに来て下さり在宅医療で医師は来てくれ、薬も簡単に近くの薬局で手に入った。中東遠で半日かかって医者に診察してもらう負担を思うと夢のようであった。おかげで、おばあさんの希望通り、自宅でみとることができた。ありがとうございます。袋井市にも在宅医療を行なってくれる施設がほしい。うちは磐田の在宅医療を利用。
- ・ 予防接種（インフルエンザ健康診断）等病院でのまち時間がつらい。
- ・ 夜当番医の場所を探すのにわかりずらいので夜間診療所があったらいいと思います。
- ・ 高齢になって自宅で生活する上で訪問診療や応診は必要であると思いますが、対応してくれる医院が少なく不安です。
- ・ 在宅医療の充実を望みます。浜松市には在宅医療専門の病院がありますが袋井市にはありますか？
- ・ 中東遠総合病院は全く当てにならない存在なので「袋井聖隷病院」をもっと拡充してほしい（診療科目の充実）。中東遠病院の欠換 1.地理的に遠方、バスの便悪し 2.病院側の応待よくない！（特に看護師）
- ・ 保険扱いの医療費において糖尿病の治療といっても、血糖の採血、採尿の分析、血圧、体重測定と薬のインスリン、針、刺針、血糖値測定チップの補充に毎日通院してありますが、医療費が4万円位かかって内8千円支払っております。この治療費は毎回同じ事でも調剤料等変更なくとも請求されており、チェックされない為、医療費が減少しないと思う。もっと大変な医療に携わる医者に払うべきと改善して是正して欲しい。保険の無駄使いだ。
- ・ 市ではコロナ対応、市健康診断等十分に対応出来ていると思います。

1.1 施設サービス、介護保険サービス（抜粋）

- ・ デイサービスではとても楽しくすごさせてもらっています。
- ・ 高齢者の多くなるこれからの時代、特養老人ホームをもっと増やして欲しい（順番待ちの様にならない様）。介護保険を使用しない様に頑張って生きていこうと思います。
- ・ 増々高齢化社会になって行くので行政のサービスが受けられる人ばかりとは思えない現状介護職員などが少ない状態なので施設に入る事も不可能と思われる。自分の最後をどう終るかは考えなければならない年齢かこのアンケートが来た時点で思いました。一人暮らしの方が増々増加していく世の中になると思います。家族が居ない方などに対してのサービスが必要かと思いますが、財源も決められている中で、保険料を収めているだけの人達にも納得行くサービスなど考慮して頂きたいと思います。
- ・ 介護しせつにできるだけ、ミトリをしてもらいたい。（最後に）
- ・ 高齢化が進み、介護が必要になってくる人数がふえる中、所得低下により必要な人がお金がないため受けられずにいる事が多くなってきている世の中、もっと高齢者が気持ちよく余生を過ごせる介護福祉サービスの充実がのぞまれます。
- ・ 要望した時にスムーズにサービスがうけられるようにしてほしい。長時間待たされるのは困る。
- ・ デイサービスセンターが近くにあると良い。以前そういう計画があったが地域に反対する人があってできなかった。とても残念だった。
- ・ ありがとうございます。サービス施設が有ることに安心感を持っております。毎日普通の生活が出来ていることに感謝しております。ありがとうございます。
- ・ 介護施設など老人ホームなどの入居料・利用料などののくらいかかるのか知りたいです。年金が多ければ良いのか若い人達がたしましするのか、心配です。
- ・ 年金だけで老人介護施設に入れて欲しい。

- ・ 身近にデイサービス、施設に入居しているが、皆さんよくやって下さると思います。ただもう一つ、その人達の為に出来る事を思い、やって下さるともっとお互いになれるのでは思います。
- ・ 高齢者に関するサービスは近年ずいぶん充実してきたと思いますが、殆んどが自己（家族）申告制のため、はたして本当に必要な人に必要なサービスが提供されているのか、疑問です。一人暮らしや高令者世帯では受けられるサービス等知らずにいる方々や利用の仕方がわからない方々が多いと思われます。民生委員等と連携をとってそのような人々が適切なサービスが受けられるようにしないと、立派な制度も絵に書いたもちになってしまうと思います。申告を待っているのではなく、恩恵に浴していない人々をいかに掘り起こしていくか、きめ細かいサービスが必要だと思います。よろしくお願いします。
- ・ 今月 12 月より週 2 回デイサービスに通い始めたので何をお願い出来るのかこれからケアマネージャーに相談しながら父によいよう進めていただけたらと思っております。相談できるケアマネージャーがついていただけるとは非常にありがたかったです。
- ・ この頃は親と子住む世界がちがいで、老人 2 人又は一人ぐらしが多い。介護又は施設に入るとお金が続かない。そのためには少ない年金をやりくりしないといけない。老人ホーム、施設をなるべく少ない年金で支払えるような施設を願う。
- ・ 私の両親（故人）の世話、介護を私の妻が長い間行なってくれたので将来私が要介護の状態になった時、負担が少なく且つ気軽にデイサービスの利用が出来る状況であれば幸いです。
- ・ 介護保険で行なっている住宅改修の補助ですが、要介護状態にならなくても手すりや歩行補助具が必要になります。必要なタイミングで自身で購入改修すればいいと思います。介護保険料の負担が大きくなることもあり、住宅改修費の助成は必要ないと思います。
- ・ 現在は週 1 回の支援を受けていますが、週 2 回ほど行けると助かります。
- ・ 現在 90 才の母親と同居しています。週 4 回のデイサービスを利用しています。おかげ様でデイへ行った日はいきいきとして帰って来ます。できる事ならその同じ施設内にお泊りもできる所があると助かります。1~2 ヶ月に 1 度くらい泊ってくださるとこちらも心配なく出掛けられると思います。認知症は無いので、会話は楽しんでできています。まだまだ自分の介護の事は考えていませんが、できるだけ健康に過ごしたいとは思っています。
- ・ 現状のデイサービスにおいては、幼稚園児の行なうチィチィパッパ的な活動が主である為、特に男性にとって通いたくない施設である。インターネットを調べると「デイサービス・ラスベガス」という施設があり、標語は「仕方なく行く場所から」→「どうしても行きたい場所」とあり大変好評を得ているとの記事があった。袋井市でも今迄通りの前例周施策を継続するのではなく、革新的な「日本一行きたくなるデイサービス施設」設立を後押できる予算措置等を講じ、高齢者ばかりでなくやがてその仲間入りをする人々の満足度日本一、又他の自治体関係者が「袋井市」を先進的事例として視察者の絶えないモデル都市として欲しい。
- ・ 母が介護保険要支援 1 の認定を受けたが、本人が日帰りデイサービスに行きたがらない。脳外科の先生や母の友人からも勧められているのだが、日帰りデイサービス「お試しコース」みたいなものがあるのでしょうか？
- ・ 介護施設で人員不足による入所者への世話が不足し困惑している。定期計画書が作成したり、しなかったり。また、その説明なく。本来報告すべき時期から大きく遅れている。※おおふじ五幸ホーム（磐田市であるが）退所し、グループホームへ移転した。（なお、同施設（五幸ホーム）からグループホームへ移るよう強く求めがあり、入所者の「ここはいや」との話を受け移った）
- ・ 年金生活者にとっては、特別養護老人ホームが充実し、そこそこ（2割負担年金生活者）のサービス（料金）の施設が増えることを望みます。
- ・ 現在要支援 1・2 の方の介護サービスすぎると思います。要支援 1・2 の方自立しています（一時間）。介護度 2~3 の方の介護サービス、時間的に足りないのでは…と感じます（身体 30 分、家事 20 分）10 分の違いですが。

1.2 介護サービス（介護保険によるものを除く）（抜粋）

- ・ 介護が必要となった病気では、自宅にて保健福祉サービスをお願いしたいですね。
- ・ 最近老を感ずる様になりいろいろな事がおっくうになって居ます。特に炊事（献立）ですので夫の夕食のおかずはユーコープ、私はあるものですませます。いずれ何らかのサービスをお願いしたい時期が来ると思いますが息子夫婦（子供がいない）と同居ですのでこの様な場合でもサービスのお願いが出来るかどうか気になって居ます。
- ・ 今年配偶者が亡くなり一人で暮らすようになり気力がなくなり体力的にも大変になってきました。介護認定をしてもらうような状態ではないのですが、生活していくうえでサービスなど（食事・買い物・デイサービス）を受けられたら良いと思います。
- ・ 実際まだ私も家族も健康なので差し迫った感がない。近い将来そうなり得ることを考えると市のサービスを希むのが一番だと思う。
- ・ 在宅で見取りが出来るような、在宅診療・在宅介護のシステムを充実してほしい。
- ・ ヘルパーに窓の掃除をしてほしい。
- ・ 高齢になるにつれて難聴になる人が多い。私も補聴器を利用しているが、いつでもうまく聞こえるとは限らない。1～2ヶ月に一度補聴器の調製をしてもらっている。一概にはいえませんが補聴器の寿命は5～6年といわれている。両耳で30万～40万位する高価なものなので簡単には購入できない。補聴器の購入費を助成するサービスがあるとありがたい。
- ・ 高齢化が進むことで一人で理美容所へ行くことができない人が増えています。理美容は身体ばかりでなく心のケアにも役立ちます。介護保険ではサービスができないと思いますが、他の市町のように補助券等を発行して訪問理美容ができる体制をとってほしいと思います。
- ・ 時間単位のヘルパーさんが良いと思う。話もできるし、買い物も行ってくれるから・・・
- ・ 最近テレビで岐阜の医者最後の最後は自宅で死をむかえたいとい人によりそい最後まで本当にその人に向き合った治療をし穏やかに死を迎えた人の実話のテレビを見て感激しました。あの様な事が出来たら幸せだと思いました！！
- ・ 介護保険を受けていない元気な高齢者に年に一度何か特典があればいいと思う。ある80代の人保険料を払うばかりで何の得がないと言っていたから。

1.3 介護者が抱える問題（老々介護等）（抜粋）

- ・ 嫁が友人5人と年一度の泊旅行に出掛けました。私は気持ち良く送り出し留守番出来ている自分に感謝していました。ところが帰ってきた翌朝「お母さん、介護施設へ行く？」といきなり聞いて来てビックリ「イヤだよー」と即答。「何で？」「自分のやりたい事が出来ないから」話はそれで終わった。でも、私が邪魔に思うのかしら？イヤ、旅行友達は私と同じ年頃の姑を持っているから寝かんべんにそんな話もでたのかナと思い直した。それはしばらくの間何度も頭に浮かび考えさせられた。でも健康に充分気をつけて留守番だけはしっかり出来る自分でいなければ。改めて考え、洗濯物は取り込んできれいにたたみアイロン掛けまで頑張っ自分の一日の仕事終了。最新情報ニュース等楽しみにしている。ちょっぴり亡き主人をを思い出し恋しく思う。介護保険・保険福祉は大変有り難い。一番は家庭サービスが望ましく感じます。あくまでも私個人は。
- ・ 特に男性高令者（要支援者含む）がサロン居場所への参加及び通所（デイケア・サービス）もいやがるケースが多い。（家から出ない）それにより、世話を掛ける（食事・話し相手など）ことが多く相手（配偶者など）の時間を奪っている。お互いのストレスが多発しトラブルが発生している。
- ・ 現在健康で利用する予定はないが利用している人の中では本人の気持ちより介護している家族の負担を軽くする方に力を入れて回数が多い人もいる。上手く相方の気持ちを聞き、ふさわしい利用のプランを作ってもらいたい。1人暮らしの方の対応、必ず連絡を取りかかわりをもつてほしい。

1.4 今後の不安（抜粋）

- ・ 主人 80 才以上私後期高齢者の年令になって老々介護といわれる日々です。お互い身体のあちこちが痛いのでどうにか自分の事は自分でというところまでです。車の運転（特に夜は出来ない）がだんだん遠くは行けなくなって市内の病院が磐田市の病院へ通院する程度、この先二人共動けなくなったらどうしましょう。
- ・ 現在は車で出かけているが免許の更新をやめた。後の出掛ける方法、タクシー利用など費用が年金内でやって行けるか等々心配だ。
- ・ 逃げる予定だが高令の母をどうやってどこに避難させればよいか考えると簡単に逃げられないと思ってしまう。
- ・ 自分で車で移動できる場合はよいが出来なくなるのがいちばん困ってしまう。
- ・ 健康福祉、介護保険の事業内容がわからなく意識が薄くあきらめている人がいると思います。私事ですが、高齢夫婦で生活しています。夫は認知症でアルツハイマーと診断されました。（要介護 1）私一人では日々の生活に疲れを感じます。介護施設にお願いし様と思いましたが、高額費用の為あきらめました。事務的な処理しかできないのが現実ですね。
- ・ 本人が今後介護保険サービスを受けるのに問題が有過ぎて困った。
- ・ 現在妻が認知症で週 3 日デーサービスでお世話になっています。低料金で利用出来るのは介護保険のお陰です。自分は今は健康で居ますがこれから先の事を考え、もし自分も妻の様になったらと思うと不安がいっぱいです。妻が健康で居た時は介護保険の事など考えもしなかったが今は保険の有難さを感じています。夫婦で 80 才を越した今はこれからどうなるのだろうと先行の不安を感じる毎日です。
- ・ 現在妻が施設に入っているが今までは何とか支払いが出来たが、これからのことを考えるとお先真暗である。日夜、そのことを考えているのだがどうしようもない。今はいいがこれからのことを考えると頭を痛める現状だ。63、夢も希望も持てないと半ばあきらめているが！人間 63、なるようにしかならないと考えているが如何か！こんなはずじゃなかったがね。まあ、その時が来たら考えようか。
- ・ 今は親の介護で大変です。（96 才）妻と 2 人で介護の毎日です。週 3 日のデイサービス利用。まだ自分の介護サービスの事は考えたことが有りません。いつまで続くのか不安です。
- ・ 高齢者が多くて働き手の若い方が減っていびつな社会になっています。100 才までなんてとんでもないと私自身は思っていますがこればかりは。迷惑をかけてしまうのは本当に申し訳ない。一昔前にはピンピンコロリという言葉が流行しましたがあてにもできません。アンケート（調査）のおかげで私自身が心の中でなんとなく不安に思っている事がはっきりしてきました。と同時に考え始めると怖くなってきました。お世話になる立場になるんですね。はーとふるプラザ袋井の皆様、両目をあけたりふせたりして何とか寿命まで生きて行きます、ありがとうございます。
- ・ 現在のサービスは本当に良いと思います。私自身はなるべく自分で頑張れるまで頑張ろうと思っておりますが、先のことは全く解らないので心配しております。今現在は足腰は大丈夫です。でも一日一日と老いて行く事に毎日不安です。現在の福祉サービスの件につきましては私は心から有がたく思ってお忙しい皆様の為に一日でも自分の健康に注意し乍らすぐ努力をして参りたいと思っております。現在のサービスには頭が下がります。生前の母と義母も色々お世話になりました。
- ・ 今は大丈夫ですが、将来（10 年後）を考えると十分な対応ができるか多少不安もあります。とにかく働ける、動ける体でありたいと願いそのための努力はしていかなくてはと考えています。
- ・ 今は自分で買物に行くが車の運転が出来なくなった時の事を時々心配してしまう。
- ・ 1 人暮らし。兄弟との連絡は一際なし。この年になっても働かないと生活出来ない。体が働かなくなった時にはどうしたら良いのか分らない。働かなくても大丈夫な貯えはない。他の人と交わるのは性に合わない。地域の活動に参加する気はない。身勝手な人間ですが。年金では生活できない。働けなくなったら終いです。こんな私に手を差しのべてくれる人はいるのでしょうか。もしいらっしゃったらよろしく申し上げます。以上です。

- ・今は車の運転ができて買物等不便はあまり感じませんが、免許証がなくなってからの外出に不安を感じます。
- ・今は昔にくらべると福祉も充実してるように思われます。すべて人様に迷惑かける老後は望んでいません。甘えもありません。自分の老後はなるだけ自分で考えて全う出来たらいつも願っています。家族にも普担かけたくないのです。長生きすることに今は負担を感じています。自分の体の自由がきかなくなった時、辛いのは本人ですので静かに全う出来たらと願うばかりです。生きて福祉にお世話になり、負担おかけすることがただ心苦しいと生きています。いたれりつくせりの市政のめくぼりをして頂き本当にありがたく思います。歩行も困難になり自分の体力がおとろえていくことが一番の悩みです。福祉にたよることなく人生を全う出来たらと思うばかりです。多くの高齢者をかかえて市政も大変だろうと考えます。何がお役にたちたいのですが、力もありません。袋井で暮らせて頂いてることに感謝申し上げます。ありがとうございます。困ることがあれば相談させていただきます。
- ・近所付き合いがないので、ひとりになったときっと淋しい思いをすると覚悟しないと。
- ・現在は何とか自分（たち）でやっていけているが、今後のことが予想がつかない。（現実感がない）のでこのアンケートの回答が？というところが多々ある。なるべくディサービスやショートステイは利用したくないと思っているが、（家で気ままに過ごせるのが一番）実際は自分の体が動かなくなったら考えも変わるのだろうか。このアンケートが少しでも役立てれば、と思っています。
- ・介護サービス等受けたことがないのでどのようなサービスが有るのかもくわしくは知らないのですが、80才すぎでの夫婦2人住まいですが、今は医療機関へも出かけられますが、相手が出来なくなった時のことを考えるととても心配です。そのような時のサービスを手厚く考えて頂けたらと希望します。又、80才以上の方が介護保険のサービスを1年に一度も使用しない人に対して何か恩典があれば自己管理も向上するのではと考えます。

15 アンケートについて（抜粋）

- ・コロナ流行時なので質問に回答出来ない部所がありました。
- ・むつかしい質問に答えるのがむつかしい。
- ・アンケートに答を出す事ができない所がたくさんあります。
- ・質問項目が多すぎる。自分はまだ若い方だと思っているがもっと高齢者だと読むだけでも疲れる。もっと簡素化が望ましい。
- ・年に1度はこのような調査表をだしてもらいたい。
- ・アンケートの用件がうまくわからない。
- ・アンケート内容が一人住まいの人なのか？家族と同居している私には回答に？となるものが多すぎる。
- ・この様なアンケートも電子化してほしい。意見要望も気づいた時にネットでつながる様になると利便性が向上する。
- ・解答した者の意見として本人との意識の差異があると思います。本人はしっかりしていると考えていても家族として心配していたりして、そこでまず違いがでてきているのでこのアンケートは答えにくいものでした。少なくとも1人ぐらしの人と、家族（老々介護ではない）とくらしている人用でアンケートを別にしてほしいと思います。ニーズがちがうのではないかとと思うからです。
- ・本人が長期入院中の為、又介護度も進んでいて解答出来ない所が多くあります。
- ・アンケートに真剣に答えさせていただきました。紙面のまとめだけにとどまることなく行政に反映していただければうれしく思います。よろしくお願い致します。
- ・問8の（3）の選択肢に疑問を感じる。何故介護保険料の値上げ又は質の低下の二択になるのか。不思議だ。国民・住民の命が大事ならもっと人を大事にする設問を工夫したらいかがでしょうか。“ハートフルプラザ”の名が皮肉にならないように期待しています。

16 行政について（抜粋）

- ・ 都市計画税は市の借金返済に使っていると伺っていますが、年金生活者で介護保険料を払っている人は都市計画税を免除頂くように御願い致します。合併後税金が増えましたが、何が良くなったのか分かりません。
- ・ 私共、未だに勤めておりますので意見や要望等はありません。袋井に住んでおりますので住んで良かった思える様な行動をとって行きたいものです。
- ・ 子供家族と同一屋敷内に生活することを自治体で推進する方策を考える。
- ・ 市役所の窓口の態度が悪い。でかい。相談する気がなくなる。
- ・ 袋井市に転入してから3年位になりますが、あまり規模の大きな自治体ではないためか、一般的な行政サービスは先進的ではないように思われる。民生委員は高齢者の見守りのようなことをしているのではないかと考えているのですが、活動されているのか不明です。
- ・ 現在何の問題も無く生活しておりますので、何がどう必要なのかが頭にうかばないです。でも一つ思っております事は、職員の方の中で高く出る方がいます。気分のいいものではありません。もっと患者に寄りそった職員であってほしいです。
- ・ 配偶者が介護保険サービスを受けはじめました。最初どのようにすればよいのか分かりませんでしたので、地域包括ケアセンターをお訪ねし、大変親切にご指導頂きましてケアマネ（大変ゆきとどいた方で親切にしてくださっています）を紹介して頂いたり現在介護を受けはじめています。自分達に介護が必要な生活がおこってくるということを考えていませんでしたので、このような行政での健康福祉行政の働き大変ありがたいものだと感じています。
- ・ 介護サービス等受けなくて済む老後をお願いしたいが、もしその状況になったら家族に迷惑のかからない方法を選択するかも知れない（施設に入所等）。そうならないため、日々努力を重ねていきたい。介護にならないため「健康都市ふくろい」のための要望。延久橋から南へ1kくらい（太田かけはし公園から延長2kくらいのところ）太田川沿いに素晴らしい散歩道が作られているが、常時草ぼうぼうである。すぐ上に堤防はあるが、車が気になり散歩もためらう人多い。川沿いにあるこんな素晴らしい散歩道なぜ。（1年中）整備して草刈りくらいして欲しい。草を刈り誰もが（1年中）健康のために歩ける道にして欲しい。実行してくれること期待しています。
- ・ 申請をしてから大変時間がかかる。同じ様な調査や書類の署名・捺印が大変多く無駄である。情報の共有化や人材育成が制度に追いついていない。弱者の視点に立った考え方が必要である。
- ・ 申請をして対応出来る事が望ましい。
- ・ 適切な福祉行政を希望します。ある人も無い人も、生まれてきて良かったと思える終わり方を希望します。
- ・ 全ての人への均一のサービスは、若い世代への負担になるだけだと考えます。自己責任の範囲を明確にすべきであり、その為の準備はしておくのが大切であると思います。税金は未来の為に使って頂きたいです。
- ・ 台風15号で床上浸水になり、床下の断熱材がたるんで落ちてしまったので一階全部の床をはりかえる工事をしなければならなくなり現在工事が少しづつはじまりました。台風の後、災害ボランティアさんの人達に大変お世話になり感謝しております。ありがとうございました。これからも水害が一番心配です。水害のない町作りをお願いします。
- ・ 税金の使い方を根本的に変え、老人が住みやすい国を作るべき。ミサイル買うより福祉サービス充実を使う。国が行うよう、市は言うべき事を言う。国防とは国民の生活を守ること。

17 その他（抜粋）

- ・ なるべく介護を受けない人生を送りたい。両親・近隣の人達を見ていて健康に通れる方法を見つけない。
- ・ 一人になっても自宅で一生送りたい。
- ・ 今日迄サービスを受けなくて暮して来たので全くわからない。81才なので先々いろんなサービスを受けざるを得ないと思うが、今はわからない。

- ・ 母の考え方がわからない為アンケートも合っているのか？です。自分なら家族に負担を掛けないで終りたい。
- ・ 現在介護保険サービスを受けていないのでよくわかりませんが、介護保険を使いながら家で家族と一緒に過ごすことが出来たらいいと思います。
- ・ 回りに高令の母親（一人暮らし）やお世話になった高令の叔母（一人暮らし）等々が数人頑張っています。お手伝いをしていますのでまだまだ自身の心配事は棚の上という感じです。同居していた母の介護時には包括支援センターの方に色々とお手伝いしていただき大変感謝しております。おかげ様で自宅にて最後までみとることができました。
- ・ 今回トイレと玄関前に手すりを設置していただき生活するうえでとても安心して過ごせるようになりました。ありがとうございました。
- ・ この様なアンケートは埋もれている困難者を捜すよい方法ではあると思います。最近引きこもりの青少年を含めその子達を見ている高齢者が大勢いらっしゃるようです。戸別訪問も含め顔を見せて頂いて、声を聞くだけでも巡回サービスがあればいいと思います。
- ・ 実際に利用するときどのように申請するのか又、利用できるのか、考える時間が持てた事がこのアンケートで少しわかりました。
- ・ 今のところ身体的な不自由は感じておりませんので介護のことについては今いち考えは浮かびません。只その場になったらとにかく安心して暮らせればそれが一番だと思います。
- ・ 実際の所まだ何とも考えがつかない。なるべく子供達には迷惑のかからない老後にしたい。
- ・ 現在自分自身が自由に行動できるのであまり深く考えておりませんが、今回のアンケートで、考えなければいけない事もありました。
- ・ 現在はまだ健康なので実際病気になった時どういうサービスが必要なのかよくわかりません。
- ・ 介護についてはまだ特に年令的に考えてはいないがいずれその時がくるとは思っています。夫婦で考える時が近付いていますね。
- ・ 年齢的には高齢者になるでしょうが、現役で仕事をしており、全く不自由な状態ではありません。しかしながら、いつ介護のお世話になることがあるかとも思い回答いたしました。
- ・ スマホが使用出来ません。一人暮らしの老人です。昭和の人間で電気など現金、手、足、目、耳を一人で自分を頼る。テレビ、ニュースを見る用にしています。
- ・ 私は今現在一緒に母と暮らしてはいませんが、母は1人暮らしてす。私はほぼ毎日家に行っています。火木土3日間デイサービスに行き病院、美容院、買物、料理など私がやっているの、このような自分の介護について考えた事もなかったのですが、母ももうすぐ101才に成ります。自分の家で息を引き取りたいとの事ですので袋井-大須賀まで私も一人っ子なので今は頑張って車に乗って往復しています。これからは自分の事も考えて参ります。
- ・ できるだけ自分の事はじぶんで。どうしても出来なくなれば行政、自治会をたよりたいです。
- ・ 介護保険サービスについて余り詳しくは分らない。この様な事を余り考えた事が有りませんでした。年令適にもその時期だと悟りました。アリガトウ。人はその場に立たなければ考えつかない者です。
- ・ 今はまだ利用することがないのでサービスについての理解ができていない。将来のことを考えると知るきっかけがもっとあっても良いのかなと思う。
- ・ 今までは介護保険サービスや保健福祉サービスなどあまり考えたことはなかったが、最近主人が脳こうそく、パーキン病などで入院し退院しました。今後はみな様にいろいろな事を教えてもらいと考えてます。よろしくお願い致します。
- ・ 介護にたずさわる方々が愛をもってお仕事してくださることを望みます。大変なお仕事ですが、とても大切なことだと思います。
- ・ 高齢化で大変な時期が来たと毎日テレビ等で放送しています。自分もその仲間に入ってしまった。なるべく迷惑を掛けない様にとおもいますが明日の事はわかりません。このようなアンケートを見ると外に出ることが大切、でもやっぱり性格なのか置かれた状況なのか、家に居るのが一番いいと思う。高齢者の事を考えていただける今の世の中ほんとうに有難いと感謝しています。

- ・ 介護サービス等のスタッフのみなさん親身になって対処して下さると聞いています。感謝です。
- ・ 銀行などから介護保険や介護プランの話も聞いていますが、今はまだふんぎりがつかない。いろいろもう少し検討して考えたい。
- ・ 現在は健康だからあまり気にしていませんが、人間その時にならないと真剣にもなれないし、その時しっかり考えたいと思います。現在困っている方々の意見を充分理解して、充実したサービスをお願いしたいと思っています。

2 在宅介護実態調査

意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 介護保険制度について	14
2. 生活環境について	5
3. 公共交通機関、外出支援について	2
4. 経済的状況について	8
5. 広報、相談窓口について	3
6. 健康づくり、予防について	2
7. 就労、自立自助について	6
8. 医療について	4
9. 施設サービス、介護保険サービスについて	30
10. 介護サービス（介護保険によるものを除く）について	13
11. 介護者が抱える問題（老々介護等）について	12
12. 今後の不安について	10
13. アンケートについて	10
14. 行政について	3
15. その他	23

1 介護保険制度（抜粋）

- ・ サービスの向上には期待しておりますが、保険料の負担が増えるのはつらいです。介護者も高齢化しておりますので、介護者がちょっと息の抜ける時間がとれたりするようなサービスがあると助かるのではと思います。
- ・ 納税金額により提供サービスの負担額を減額してください。
- ・ 現在有料高齢者向住宅に入っております。現在は要介護2の認定ですが来月1月より要介護1の認定に変更されます。昨年に比べ認知能力等低下しているように思うのですが、少し納得し兼ねる部分です。
- ・ 介護保険サービスは常に充実向上を図って行って欲しいです。
- ・ 申請から認定まで時間がかかる。
- ・ 現時点では、施設等への入所・入居は考えていませんが、本人・介護者共老化しています。どちらかが倒れた時にすぐ対処できるような施設又はヘルパーさんが得られるような制度にしてほしいと思います。問15 介護保険サービス、問17 医療サービスの充実を望みます。
- ・ 介護するだけで大変なのに介護認定をするので、てつづきが大変。
- ・ 現在要介護2ですが、自分で歩行もできますが、すぐに転倒してしまい特養へ入れたいのですが、要介護3以上でないと入れないと言われてしまいました。家で介護する事も困難なので条件の見直しをしてほしいです。
- ・ 男性が楽しく外出できる通所サービスの充実。若年性（65～75）の居場所。保険料を上げないで欲しい。サービス費の自己負担を減らして欲しい。
- ・ 訪問調査がきびしい。今まで利用していたサービスが利用できなくなった。
- ・ 特にありません。介護保険の利用料を下げてください。
- ・ 料金が高すぎるので安くなるように要望します。
- ・ 現状は介護保険サービスや保健サービスに問題はありますがこの先に料金が大巾に上がるとか現状のサービスが無くなってしまうのは困ります。よろしくお願いします。
- ・ 老々介護の為に夜間徘徊や夜間の排泄（2回）が精神と体力共に負担になっている。又年金生活の為に、介護保険料の負担大きく将来の生活に不安を感じている。

2 生活環境（抜粋）

- ・ 袋井から静岡まで毎日通勤していて、夜帰ってくる状態です。昼間1人になってしまう為、心配です。
- ・ 要介護認定で要介護2から1になりました。手すり付きベットと車いすが借りれなくなりケアマネジャーさんのおがけで特別支えんをうけることができ現在借りています。ベットはなければ起きあがることはできません。車いすは屋内移乗・移動、外出などできません。もう少し日常の生活のできぐあいを見てくださいたいと思います。
- ・ 決まり事に沿って進められていくためそれぞれの家庭の事情を考慮してくれないのは何故ですか？もっと現実を見て欲しい。全ての人（場合）に対応して欲しい。
- ・ 1人ぐらしてデイサービスに週2回利用しています。もう1日利用したいのですが、安定した生活が送れないこともあり難しい状況にあります。地域のコミュニティにもなかなか足がむかなく家の中で不安をかかえて生活しています。

3 公共交通機関、外出支援（抜粋）

- ・ 介護タクシーを必要としたときに急の依頼はダメ。先日又は2～3日前までに連絡下さいと言われてガッカリしました。急な対応でも可能な介護タクシーを考えて下さい。
- ・ 現在はよろよろしていても痛いところがないので自分の事はほとんど出来ます。介護保険サービスに週2回通っています。送り迎えの車があるので通えます。

4 経済的状況（抜粋）

- ・ 5年ほど前からデイサービスを利用していますが年々利用日が多くなり、（介護度が高くなって来た為）それに供い費用が高くなり年金ではまかない切れなくなって来ています。厳しい状況です。
- ・ 本人も現在支援2でデイサービス（リハビリを含む）週2日で毎日（食事、洗濯、家事等）行かない乍ら足、腰も悪く歩行困難であり、家内は入院中で（アルツハイマー型認知症）及本人も糖尿病で通院中で治療費、通院費と入院費で高額医療費と家賃もかかり頭をいためています。
- ・ ショートステイの料金、施設入居の料金が利用しやすい料金になって欲しいですね。介護者も年金生活となると支出が不安です。
- ・ モイスキンパッドL等は医者からだしてくれない為、包帯やテープ、滅菌ガーゼL等薬局に行って買うので、モイスキンパッド何万円もかかってしまう。おむつも少しの差で支給をうちきられ、いろいろ支出がかさむので、なるべく家庭で頑張ろうとしているのに市の人は苦労がわかかってもらえない。子供もたいせつだが、老人だって今まで戦後を苦労して来た人に冷たい。日本をここまで人に もっと大切に思っていたきたい。切に思います。
- ・ 介護保険サービス、福祉サービス等、1割負担でやって頂いているのでありがたいです。デイサービスの利用は介護度によって日数が限られてしまうので行けない日は家族で相談して家で面倒見るようにしています。その調整が難しいです。歩行も困難になってきているので、今以上に大変になってしまうとデイだけの利用は無理になってしまい老人ホーム等考えなくては行けないと思いますが、その利用料が心配です。
- ・ 少ない年金で両親共介護が必要なのに加算が増え続けている為、生活が少しずつ低下していく。介護職員のサービス低下、賃金低下も困るが、どうか負担を少なくして頂きたいです。
- ・ ケアマネさんが親身になって対応してくださり、ありがたいです。食事に注意しなくてはならず、宅食（85才以上の本人とその妻の2人分）を取っていますが、息子・孫（仕事してるので食事までの対応はできません）が同居しているため宅食補助が使用できず、家計の負担となっています。介護本人分だけでもいいので補助してくれることを希望しています。

5 広報、相談窓口（抜粋）

- ・ 自宅で面倒を見ている家族にも要介護の程度により何かしらのメリットとなるものを考えて頂きたい（おむつ券とか…）制度をよく知らないのをごいつたものがあれば要支援・要介護の更新時に制度のわかるパンフレット等を配付して頂きたいです。
- ・ 認知症を予防する何か良い方法の講習会（訓練等）（無料）で受けられると良い。
- ・ 本人は文字を書く事ができません。介護人の希望を書きます。すみません。介護は突然はじまったので、何の知識もなく、どうしていいのかわからない状況でした。要介護認定されても、他県から転居してきた人間には何の情報もなく、ケアマネさんをどの事業所に頼んだらいいのかわはじめに困ったことです。「介護初心者相談窓口」みたいなのがあればいいのになあと思いました。担当ケアマネさんのクレームを担当ケアマネの上司に連絡なんてしたくないし出来ないです。契約書の最後にクレームの受け付けに市役所の介護保険係が記載されていますが、なかなか市役所にも電話しにくいです。ぜひ困った時の地域包括支援センター「地域包括ケア推進課」を記載してもらえ事を望みます。是非！是非！お願い致します。別の紙では意味がないです。契約書に記載してないと意味がないです。契約書の最後のページの記載が変わる事を願っています。今、母と私が生きているのは包括さんのおかげです。本当に感謝しています。助けていただきありがとうございます。

6 健康づくり、予防（抜粋）

- ・ 日頃いろいろご配慮下さりありがとうございます。私は散歩等続け、現在の健康維持に努めておりますので今後ともよろしくお願い致します。
- ・ とてもありがたいサービスだと感謝しています。なるべく病気の進行がゆるやかに抑えられるようにリハビリにはげんでいきたいと思ひます。

7 就労、自立自助（抜粋）

- ・ 小規模多機能型を利用したいのですが、空きが無いそうです。一人で留守番 16:30~18:30 の間不安で家の中や周りを動き、自分で何をしたか忘れていきます。帰宅するとまず片付けや後始末で疲れが増します。仕事は生活の為、自分の為続けたいです。なんとか小規模に移って行き帰りの間安心して仕事ができる様になると助かります。
- ・ デイサービス等の質の向上。親の介護のために子どもが仕事を続けられないなどの状況は本末転倒である。少子化、労働力不足を解消するには子ども世代が安心して働ける状況を作ることが先決である。介護を家族に担わせることが前提の今の政策を根元的に転換して欲しい。
- ・ サービスを受けるだけでなく、本人が役に立ちたい、社会と継ぎたいという気持ちがある場合、認知症等であっても簡単な仕事もしくはボランティアが出来る場所があれば症状の改善に役立つのではないかと考えています。同じ病気の仲間がいることで、互いに安心できるのではないかと考えますし、特に認知症の初期には上記の場所が必要だと思います。
- ・ 介護度が低い場合でも介護者が働きながら介護して行くのは大変になっております。より良いサービスを、ご検討して頂きたいとは思っています。
- ・ 働き先（勤務先）の更なる理解。

8 医療（抜粋）

- ・ 医療リハビリを受けていますが、介護リハビリを同時に受けることが出来ないと聞きました。医療又介護のサービスを受けるにあたっていろいろな規則がありよくわからない事が多いです。
- ・ 関東に住んでいた両親がほぼ同時期に介護状態になりヘルパーさんによる訪問介護と2人とも病気があったため訪問医療もお願いしておりました。しかし在宅での暮らしにはもう難しいとの医師の判断により2人そろって入所しました。今は父がコロナの後遺症から喀痰吸引をしないと窒息死してしまうとのことで、生涯入院となり住民票を袋井に移しました。なので本人は袋井にはおりません。コロナ禍で施設も病院も面会がほとんどできず在宅時のヘルパーさんもコロナ前より介助が手うすになっていたような気がします。高齢者が重症化しやすいので仕方ないのですが家族としてはもう少し何とかならないものなのかと思っています。アンケートの主旨に沿わない回答で申し訳ありませんでした。
- ・ みつかわ病院のようなところが少ない。

9 施設サービス、介護保険サービス（抜粋）

- ・ 6月末~8月/末まで入院（精神疾患による歩行困難）入院時を含め9月末頃までは多くの介護を要したが、その後福祉用具貸与により、自立可能状態にまで回復。但し視力低下（緑内障）により調理可能レベルには到達していない。11月頃より歩行（数歩）出来るレベルにまで回復。足元は若干心もとないが5000歩以上を目標にリハビリに努めている。
- ・ 2~3ヶ月に1回程度の訪問があればいいと思います。
- ・ 現在は高令者夫婦での二人住まいで長男長女とも東京で家庭と仕事を持っています。現時点では出来る限り施設等に入らず在宅で頑張りたいと思っています。そのため訪問介護や訪問看護の一層の充実を是非共お願いしたいと思います。
- ・ アンケート項目にもありましたが現在通っているデイサービス施設でショートステイを行っているとなれば本人も家族も安心してお願いできるのでそのような施設があると嬉しいです。（現在通っている施設がそのような施設だと更に良いです）現在ショートステイを利用する予定はまだないですが今後のことを考えるとであると助かります
- ・ 去年3月から同居し（仕事をやめて）介護をしています。特別な用事がある時などは、ショートステイを利用を考えたいと思います。
- ・ 以前デイサービスを受けたが基本1日いなくてはならずリハビリを基本とした半日型は少なく現在市外の半日型通所リハビリを受けている。市内では半日型の所は少ない。半日型の通所リハビリ施設の充実をしてもらいたい。

- ・ 要支援の人も利用可能な施設サービスを検討してほしい。低価格で利用できる施設サービスを充実させてほしい。
- ・ できるだけ自宅で暮らしたいので訪問していただけるサービスを充実して欲しい。デイサービスについてバスの利用でなくても通所したいが、個人の送迎が可能かどうか、そういう施設はあるのか知りたい。特にリハビリをしてくれる所があるか教えて欲しい。
- ・ 小規模多機能型居宅介護は働いている介護者にとってとてもありがたい施設です。特に自分の都合で送迎時間を調整できること、夕食もお願いできること、ショートステイはいつも利用しているところいつでも安心してお願いできること等。ぜひこのような施設が普及するとういなぁと感じています。
- ・ 在宅介護だと個々に違いが出る為きめ細かいサービスをしてほしい。
- ・ 40年以上縫製業を続けておりますので、1年前頃から心不全をおこし徐々に認知症も進んで来ましたので浅羽デイサービスのお世話になっております。とても愛情のあるサービスに感謝しております。勿論介護保険には助けられております。
- ・ おじいさんが2022年7月92才で亡くなりました。それまでは担当ケアマネジャーを介し介護サービスを受けていました。2022年6月・7月はじいちゃんは体力も落ち、食事も少ない状況で担当ケアマネジャーさんにデイサービスの車までの移動も困難なので車椅子を何度もお願いしましたが認めてくれませんでした。(危険だとの説明でした) どうしても自立歩行が困難な状況なので担当ケアマネジャー以外の方と相談したところ即日車椅子を手配いただけました。担当されるケアマネジャーの質といますか、判断レベルといますか、バラツキが相当あるものと思いました。ぜひ介護者からの申し入れがあった時は現地で2名以上のケアマネジャーによる調査をお願いできないでしょうか。判断の平均化でバラツキを少なくできるかと思いません。
- ・ インスリン注射など医療行為を必要とする場合は施設入居が制限され、選択肢が狭くなる為、改善をしてほしい。認知症は身体的には問題が少ないが、家族には大きな悩み。認知症に対する介護補助を充実させてほしい。施設の選択肢が少ない。
- ・ デイサービス等施設でも介護だけでなく、リハビリもできるようになればありがたい。そうすれば、車イスより早く歩けるようになる。
- ・ 特養老人ホームにスムーズに入所できる様になってほしい。出費がかさんで生活自体が生きづまる可能性が大。頼れる親類縁者がいない。働きに行ける状態ではない。要介護5の人の優先をしてほしい。個人的希望。
- ・ 今後ますます生活が困窮していく。娘には精神障害があり、介護してもらうのは苦痛である。要介護2では入所できる施設がない。貧乏人にこそ介護サービスや施設を充実させてほしい。
- ・ 今後、転倒等で寝たきり状態になった場合には、家で看ることができません。その時になって、入る施設がないというのが一番困ります。94歳という高齢な身ですので、なんとかしかなるべき施設にスムーズに入れるようにと願っています。
- ・ 介護保険サービスのおかげでデイサービスに通っています。もしこのサービスがなければ仕事をやめて親の介護をしていたと思います。仕事をしているからこそ生活でき、辞めるとすぐに生活にいきずまってしまう。ありがとうございます。
- ・ 施設がもっと身近で安ければいいなどは思います。

10 介護サービス（介護保険によるものを除く）（抜粋）

- ・ 自宅での介護は（入所しても同じだと思いますが）オムツ、尿取りパッドの購入代金の負担が掛かります。袋井市からの支給はオムツ券ではなく市が用意した種類を配給してくれますが、体型に合ってなくて使えなかった。オムツ券にして欲しいです。年1回、介護保険サービスの資料（どんなサービスがあるか）を自宅に送ってもらえると、介護のサービスが分かり利用の幅が広がると思う。
- ・ 配食サービスに介護保険が使えるようにしてほしいです。サービスを利用すると高額なため介護者が準備するようになり、他の家族分もあり、細かくしたりやわらかい物を用意したりすると大変負担感を感じます。

- ・ 介護の為に昨年退職し、給料が入らない為貯金から生活していて大変です。おむつも1ヵ月置きにいただきありがたいです。正直言って毎月ならありがたいです。デイサービスに行っている間は自分の自由時間です。買い物・病院・家の掃除などで終わってしまいますが。
- ・ 要介護1でも車いすを貸していただけたらと思います。
- ・ 現在市から介護パンツ・大人用ぬれタオル・防臭ビニール袋頂いてますが、パンツがうすい。タオル、ビニール袋不要なので、掛川市みたいにクーポンで必要な物と交換できるようにして欲しいです。
- ・ 今は何でも自分で出来ていますが車にも乗らなくなった場合、食料とか日曜雑貨など買いに行けないのでせめて電話1本で家の近くまで売りに来てほしい。自分が動けなくなった時には保健福祉さん達にお願いすることがあると思うのでその時にはよろしくお願い致します。
- ・ 介護者は1人。介護者の通院や遠出の買い物等々本人以外の用事がある時に留守番をしてくれる人が欲しい。※長時間1人にして出掛けられないので困っています。

1.1 介護者が抱える問題（老々介護等）（抜粋）

- ・ 認知症が進んでいくといろいろな問題が出てきてその時々によって必要なサービスが出てきます。体が弱って歩く事や自分で出来る事が少なくなり介護が重くなってくると、介護をしている私自身が心も体も弱ってきます。在宅の限界を引き上げる為には介護者の介護する知識、金銭、時間あらゆる事がクリアーしていかないとなかなかむずかしいと思います。介護者向けのサービスがあると助かります。講習会や勉強会などプログラムがあると良いのではと思います。（これは認知症などだけの問題ではなく長生になってきて、若い人が少ない。これが今の日本の現状なのかもしれませんが、知識は無いより、有った方が今後の人生に違いが出ると思います。
- ・ 要介護になってから要支援と比べるとケースワーカーの月1の訪問が負担に感じる。その度に仕事（介護者）を中断したり休んだりしなければならないので、月1ではなく3ヶ月に1度位の訪問が助かる毎月病院に通院しているので、その時も介助してもらって休んでもらうので更にケースワーカー訪問時にもたった数分の面会にも立ち会ってもらわなければならないので介護者の負担になる。
- ・ 自宅介護が長時間掛かると介護疲れが溜まるし、家を空ける事もできずにストレスも溜まりやすい。ショートステイ等は簡単な手続き・分かりやすい案内が欲しい。
- ・ 老々介護です。長女も聴覚障害があり本人とのコミがうまくとれず心配です。病院等に行く場合は他市に住む次女が来てくれますが私も聴力が悪くなって来て医者との会話に困ることがあります。
- ・ 高齢の両親、本人と一家に三人の介護がいる嫁が大変である。
- ・ 週6日デイサービスへお世話になり、月1~2回ショートステイへ行っていますが、歩行が徐々に困難になりつつ有ります。介護度4ですので又、年齢も95才になり手も掛かる様になりました。現在は家族2人で毎日世話をしています。歩行が困難になれば、特養にお世話になるとは思いますが、それまでは家族で世話をやりたいと思います。医者へ毎月行きますが、大変ですので、健診してくれる所があれば良いと思います。
- ・ 病院等へ行く場合介護タクシーも早くから予約しないとない。また医療費も二割タクシー代にかかり年金だけの生活も大変。大人のおむつ代も毎日使用、本当に苦慮している。医師に問い合わせても自宅で寝たきりの人は認められているが日常ある程度元気な者は認められないこの点も考慮できるようにならないか。入院中家族に手当はなくなっているが、入院中も病院へ行く事多く、洗濯物、打ち合わせ等あり、この点も少し何とかならないか。週2~3回毎週通っている。
- ・ 質問内容が難しくこちらの意見をきちんと伝えられているか分かりません。用語については先に説明を記載した一覧等あれば有難いです。回答者に必ず誰かつきそって説明しながら進めなければいけないアンケートでは回答が適当になり、現状が把握できないのではないのでしょうか？表現が難しすぎます。介護については介護される側のわがままやこちらの言うことを聞かないので、ストレスで介護者が倒れてしまいます。同居の家族も同様です。家族側へのケアや特養等への入所を早めたりすることは行政側にはないのでしょうか？

- ・ 要介護1の母と知的障害区分5の弟の同居を世話している。介護保険サービスと障害福祉サービスの両サービスを同時に利用している為一緒に住んでいる2人を別々の事業者にご相談する必要があり手間がかかる。弟が65才になって介護福祉サービスに移ると確実に弟へのサービスが低下してしまう。残念なことに介護サービス提供先に知的障害の専門的な対応は難しいと考える。できることであれば互いに支えあう2人を同じ環境で住めるサービスがあると嬉しい。介護者のストレスが大きく母のためのデイサービスを週2回→1回に減らした。同時に福祉サービスの仕事に関わる職員の待遇を良くしてもらいたい。そうでないと人材の質が保てないと思います。今の利用先の対応に不満はありません。

12 今後の不安（抜粋）

- ・ 今迄は免許証があったので民生委員月1回来てくれてもあいさつだけでした。運転できないので買い物なり医者に連れていってもらわんといかんですが、民生委員の方と話したのですが、1時間いくらで月何回迄とそれが決っていないだって。ある人もそういっています。
- ・ サービスを受けた事はありませんでしたが、4年度は介護2でしたが病気も進んでいるのに介護1になってしまったのはどうしてですか。介護するのもしられるのも、老々介護で不安です。妻の私も足が悪く9月から整形外科に通院しています。歩行に困難です。でも食事が出来、入浴が出来れば介護サービスは出来ないと言われました。介護保険もずっとかけて80才になり身体の不自由があちこち出てきて悲しいです。
- ・ 介護離職にはえんは無いと思っていたが、現実家族の負担はおおきいです。娘は退職、配偶者は時短で介護保険サービスを利用していますが、今以上に状態が悪くなった時の事を思うと日々不安です。在宅での介護は無理です。施設入所を希望ですが、金銭面での不安も重要です。
- ・ 息子が横浜から月2回程度来てくれておりますが、緊急の場合の対応に不安を感じております。
- ・ 今はいろいろなサービスを受けていますが、介護者（妻）が年をとると介護がたいへんになるので不安です。
- ・ デイサービスを利用しているが、送迎の時間に家に居ないといけないので、パートの時間を調整するのが大変です。要介護1の両親が2人、高校生と大学生の子供が2人いて、今後も経済的、身体的に不安を感じています。自分の持病もあるので。昨年からは県外から両親がこちらに来て同居しています。以前住んでいた所では紙パンツの支給がありました。なぜ袋井ではないのですか？
- ・ 初めてケアマネさんを決める時に包括センターにも相談に行きましたが、一覧表の中から事業所を選ぶのも困難で、センターの方がいくつか候補をあげて下さいましたが、そこにどういふ方がいるのかさえもわからず悩みました。将来的に考えてデイサービスとショートステイのあるところを望んだのですが、そういうところは少なく別々のところになると。それぞれ契約しなければいけないので、1ヶ所で両方のサービスのあるところを増やしてほしいと思います。コロナ禍で施設の見学もできず、決めてしまったのも少し不安です。
- ・ 何をしてほしいかがわからない（制度がむづかしい）。同居の嫁に負担がかかるのが心苦しい。書類を書くこと、郵便で送ること、窓口で持参することなど、自分ではだんだんむづかしくなっている。何とするにも家族の助けが必要で家族の助けがなければ、サービスを受けることはむづかしい。
- ・ 入浴や排泄は家族で行っていますが、介護を受けている人が寝たっきりになった時が排泄や入浴が出来るか心配です。介護する方も高令なので家族に負担にならないか案じています。今の所はうまく出来ていますが将来が心配です。
- ・ 日、一日と自分がおとろえ、わからなくなっていると感じています。例えば、先日迄自分でした入浴、洗髪も、明日も出来るかと自分に問うても、どうかしらと不安になります。どうぞその辺とこと介護して下さる方にご理解していただけます様、お願い致します。

13 アンケートについて（抜粋）

- ・ フルタイムで働きながら、介護、家事など毎日手いっぱいの中、この様な長いアンケートすらも大変なので、できれば送ってほしくないです。
- ・ 老々介護の者にアンケートとかは無理があり調査して訪問にしたらどうかと感じます。色々な手続き書類は大変だと感じる事があります。家族の負担になります。
- ・ 今回の各種サービスは認知症の方々中心に質問しているが脳出血→半身不随中心の質問を中心にしてほしい。
- ・ アンケートが本人宛に届くのはやめてもらいたい。「認知症」と理解できていない人へアンケート回答は出来ない。
- ・ 認知症状のある要介護1の本人では意見・要望は出ません。

14 行政について（抜粋）

- ・ 人生の最後を自宅でと希望するので、本人、同居家族や親族、主な介護者一体となつてがんばっているのに、公的サービスの充実をお願い致します。よろしく願いいたします。
- ・ 市はもっと介護にちからを入れて老人を見ていて下さい。おねがいします。

15 その他（抜粋）

- ・ 今はまだわからない事が多いのでこれから考えて行きたいと思っています。
- ・ 訪問看護、介護の方が来てくれるため働きに行けるので助かっています。
- ・ きげんのきれっている物はじぜんに TEL してほしい。あとからでは次回の時にこまってしまう。今は夫がやってくれるけど自分ではとても忘れない事が多いからていしゅつ物がおくれやすいのでその先こまる。
- ・ 何で要介護1か分らないと本人は思っている。

V 調査票

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

袋井市 高齢者の生活と意識に関する調査 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

袋井市にお住まいの皆様

日頃から、市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

袋井市では、今後の保健福祉行政に役立てるために、皆様の普段の生活や健康などに関する調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、令和6年度～令和8年度を計画期間とした第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定の目的で統計的に処理するために利用し、個人のお名前が出ることは一切ありませんので、ご安心してご回答をお願い申し上げます。

令和4年12月

袋井市長 大場 規之

【ご記入にあたって】

- 1 この調査は、令和4年12月1日現在の状況でお答えください。
- 2 この調査票は、ご本人が記入してください。
もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等が代筆してください。
- 3 調査票を記入する際は、各項目で該当する番号に○をつけてください。また、複数回答の設問や文字、数値記入の設問がありますので、ご注意ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、3つ折りにして同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和4年12月26日(月曜日)まで** に投函してください。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【問合せ先】

はーとふるプラザ袋井(袋井市総合健康センター)
地域包括ケア推進課 介護ケア相談係
電話：0538-84-7534 / F A X : 0538-84-7582
E-mail : chiikihoukatsu@city.fukuroi.shizuoka.jp
〒437-0061 袋井市久能 2515-1

問1 調査対象者様ご本人のことについてお伺いします

(1) この調査票を記入されたのはどなたですか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. あて名ご本人が記入 | |
| 2. ご家族が記入(あて名のご本人からみた続柄: |) |
| 3. その他(|) |

(2) ご本人の性別・年齢についてお教えてください。(それぞれ〇はひとつ)

①性別	1. 男性	2. 女性
②年齢	(12月1日現在の年齢をお答えください。)	
	1. 65～69歳	2. 70～74歳
	3. 75～79歳	4. 80～84歳
	5. 85～89歳	6. 90～94歳
	7. 95～99歳	8. 100歳以上

(3) ご本人のお住まいはどの地域ですか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 袋井北部地域 | 2. 袋井中部地域 |
| 3. 袋井南部地域 | 4. 浅羽地域 |
| 5. 分からない方はお住まいの自治会名(|) |

(4) 家族構成を教えてください。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他(|) |

(5) 現在の要支援認定の状況(要支援度)についてお教えてください。(〇はひとつ)

※ 要支援度は介護保険被保険者証に記載してあります。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 |
| 3. 事業対象者(チェックリスト該当者) | 4. 認定は受けていない |

(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇はひとつ)

- | |
|------------------------------------------------------------------------|
| 1. 介護・介助は必要ない ⇒ (7)へ |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ (6) - ①へ |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒ (6) - ①、(6) - ②へ
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

【(6)で「1. 介護・介助は必要ない」以外を回答された方にお伺いします。】

(6) - ① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血、脳梗塞等) | 2. 心臓病 | 3. がん (悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 (肺気腫、肺炎等) | 5. 関節の病気 (リウマチ等) | |
| 6. 認知症 (アルツハイマー病等) | 7. パーキンソン病 | |
| 8. 糖尿病 | 9. 腎疾患 (透析) | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 | 13. 高齢による衰弱 |
| 14. その他 () | | 15. 不明 |

【(6)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答された方に伺います。】

(6) - ② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------------|-------|----------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. その他 () | | |

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(8) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 持家 (一戸建て) | 2. 持家 (集合住宅) |
| 3. 公営賃貸住宅 | 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) | 6. 借家 |
| 7. その他 | |

問2 からだを動かすことについてお伺いします

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) どのような用件で外出していますか。(○はいくつでも)

1. 買い物 2. 仕事(農作業などを含む)
3. 医療機関への通院 4. 外食
5. 旅行 6. 散歩
7. デイケア・デイサービスの利用
8. 通いの場(サロン・居場所・しぞ~かでん伝体操など)への参加
9. 学習活動(コミュニティセンターやカルチャースクールなどでの教養・学習活動)
10. 健康づくり・スポーツ活動 11. 地域活動(自治会、ボランティア等)
12. その他()
13. 外出はほとんどしない

(9) 外出を控えていますか。(○はひとつ)

1. はい ⇒ (9) - ①へ 2. いいえ

【(9)で「1. はい(外出を控えている)」と回答された方にお伺いします。】

(9) - ① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害(脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 交通手段がない |
| 9. 感染対策 | 10. その他 () |

(10) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車(自分で運転) | 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 自主運行バス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす(シニアカー) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 () | | |

問3 食べることについてお伺いします

(1) あなたの身長・体重を教えてください。(それぞれ数値を記入)

身長 () cm 体重 () kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(○はひとつ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- | |
|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(5) どなたかと食事をともしる機会がありますか。(○はひとつ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(6) 毎日とっているタンパク質はなんですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1. 肉 | 2. 魚 | 3. 卵 |
| 4. 大豆製品 | 5. 乳製品 | |

問4 毎日の生活についてお伺いします

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 日常生活について、次の①～⑦のそれぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。(各項目に、○はひとつずつ)

1～3の中から選択	できるし、 している	できるけど していない	できない
① バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	1	2	3
② 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1	2	3
③ 自分で食事の用意をしていますか。	1	2	3
④ 自分で請求書の支払いをしていますか。	1	2	3
⑤ 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1	2	3
⑥ 自分で市役所等での手続きをしていますか。	1	2	3
⑦ 新聞や本・雑誌を読んでいますか。	1	2	3

(3) ごみ出しで困難を感じていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 分別することが難しい | 2. ごみ集積所までの運搬が困難 |
| 3. 収集日や収集時間帯に出せない | 4. ごみ出しを頼める人がいない |
| 5. その他 () | |
| 6. 困難を感じていることはない | |

(4) 必要な物の購入はどのようにしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 自分で買い物に行く | 2. 家族・友人等に連れて行ってもらう |
| 3. 宅配・通販を利用している | 4. 移動販売を利用している |
| 5. 買い物ができず困っている | |

(5) 食料品や日用品の買い物で、不便や不安を感じていることはありますか。
(○はいくつでも)

1. 近くにお店がない(なくなった)
2. 自分で車の運転ができない
3. 歩いて買い物に行くのが大変(または不安)
4. バスなどの交通の便が悪い(または交通手段がない)
5. 買い物を手伝ってくれる人がいない
6. 介護等によって買い物にでかけにくくなった
7. 特に不便や不安はない
8. その他 ()

(6) 趣味はありますか。(○はひとつ)

1. 趣味あり ⇒ 具体的な内容 ()
2. 思いつかない

(7) 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事をしているとき(農作業なども含む)
2. 教養を身につけること(学習)をしているとき
3. 健康づくりやスポーツをしているとき
4. 家族との団らんのとき
5. 友人や知人と過ごすとき
6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき
7. 地域活動(自治会、ボランティア等)に参加しているとき
8. 旅行に行っているとき
9. 散歩や買い物をしているとき
10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
11. パソコン、インターネットをしているとき
12. 他人から感謝されたとき
13. 収入があったとき
14. おいしいものを食べているとき
15. 若い世代と交流しているとき
16. その他 ()
17. 特にない

(8) 今後、やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 働くこと | |
| 2. 学習や教養を高めるための活動 | |
| 3. 健康づくりやスポーツ | |
| 4. 趣味の活動 | |
| 5. シニアクラブ・老人クラブ活動 | |
| 6. 社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など） | |
| 7. 自治会の活動 | |
| 8. その他（ | ） |
| 9. 特になし | |

問5 地域での活動についてお伺いします

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれに〇はひとつ)

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 (サロン・居場所・しぞ～かでん伝 体操など)	1	2	3	4	5	6
⑥ シニアクラブ・老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

【(2) または (3) のどちらかで「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」「4. 既に参加している」と回答された方にお伺いします。】

(4) どんな活動に参加してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. ボランティア | 2. 運動(ウォーキング・ヨガなど) |
| 3. 学習(英会話、パソコンなど) | 4. 生活援助(通院介助、買い物など) |
| 5. 趣味活動 | 6. 地域(自治会)内の支えあい活動 |
| 7. その他() | |

問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。
(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 (|) | 8. そのような人はいない |

問7 健康についてお伺いします

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○はひとつ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をつけてください)



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)

1. 休養や睡眠を十分にとる
2. 食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)
3. 歯や口の中を清潔に保つ
4. 健康診断などを定期的に受ける
5. 酒、タバコを控える
6. 散歩やスポーツをする
7. 地域の活動に参加する
8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ
9. 気持ちをなるべく明るく持つ
10. 身の回りのことはなるべく自分で行う
11. 仕事をする
12. その他 ()
13. 特に心がけていない

(7) 健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

1. がんや生活習慣病(高血圧など)にならないための工夫について
2. 望ましい食生活について
3. 運動の方法について
4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
5. 寝たきりや介護の予防について
6. 歯の健康について
7. 認知症の予防について
8. うつ病の予防について
9. その他 ()

(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. 脳卒中 <small>(のうもうちゅう)</small> (脳出血 <small>(のうしゅけつ)</small> 、脳梗塞 <small>(のうこうそく)</small> 等) |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病 <small>(とうりょうびょう)</small> | 6. 高脂血症 <small>(こうしけっしょう)</small> (脂質異常 <small>(しじつじょう)</small>) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 <small>(じんぞう ぜんりつせん)</small> | 10. 筋骨格の病気 <small>(きんこつかく)</small> (骨粗しょう症 <small>(こつそ)</small> 、関節症 <small>(せつしょう)</small> 等) | |
| 11. 外傷 <small>(がいしょう)</small> (転倒・骨折等 <small>(てんとう こっせつなど)</small>) | 12. がん (悪性新生物) | |
| 13. 血液・免疫の病気 <small>(めんえき)</small> | 14. うつ病 | 15. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 16. パーキンソン病 | 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 (| |) |

問8 介護保険サービスなどについてお伺いします

(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。

(〇はひとつ)

- | | |
|-------------------------------------------------|---|
| 1. なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい | |
| 2. 介護保険サービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)を使いながら自宅で介護してほしい | |
| 3. 老人ホームなどの施設に入所したい | |
| 4. その他 (|) |
| 5. わからない | |

(2) あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。

(〇はひとつ)

- | | |
|-----------------------------------------------|---|
| 1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい | |
| 2. 介護保険サービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)を使いながら自宅で介護したい | |
| 3. 老人ホームなどの施設に入所させたい | |
| 4. その他 (|) |
| 5. わからない | |

(3) 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(〇はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
2. 介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい
3. 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない
4. 保険料の負担を減らし、介護保険サービス量が減ってもやむを得ない
5. その他 ()
6. わからない

(4) あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか。(〇は3つまで)

1. ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス
2. デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス
3. 医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス
4. 小規模多機能型居宅介護（デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを同じ施設で利用できるサービス）
5. 特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設
6. グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）
7. 有料老人ホームなどの介護付き施設
8. その他 ()
9. わからない

(5) あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他 ()

(6) 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。(〇は3つまで)

1. 介護支援ボランティアポイント制度
2. 自宅への訪問理美容サービス
3. ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス
4. 公的または民間による配食サービス
5. 緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス
6. はり・きゅう・マッサージの施術費を助成するサービス
7. タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス
8. 補聴器の購入費を助成するサービス
9. 認知症の方が所持するGPS機器を貸与するサービス
10. その他 ()
11. 特になし

(7) あなたは、どのような医療サービスの充実を望みますか。(〇はいくつでも)

1. 訪問診療（医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療する）
2. 往診（急変時などに、患者や家族の要望で、不定期に自宅に訪問して診療する）
3. 訪問看護（医師の指示に基づき、看護師が自宅に訪問し、療養上の世話や必要な診療補助などをおこなう）
4. 訪問歯科診療（歯科医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療する）
5. 訪問リハビリテーション（医師の指示に基づき、理学療法士などの専門職が自宅に訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションをおこなう）
6. 訪問薬剤指導（薬剤師が自宅に訪問し、薬の正しい服薬方法等について指導する）
7. レスパイト入院（介護者の事情により在宅での介助が一時的に困難になった場合に、短期入院できる仕組み）
8. その他 ()

(8) あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことはありますか。(〇はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(9) あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことはありますか。(〇はいくつでも)

1. ご家族
2. 友人
3. 医療介護関係者
4. その他 ()
5. 話し合ったことはない

問9 認知症にかかる相談窓口についてお伺いします

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問10 その他についてお伺いします

(1) あなたは、固定電話や携帯電話を持っていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 固定電話だけある | 2. 固定電話と携帯電話の両方持っている |
| 3. 携帯電話だけ持っている | 4. 電話はない |

(2) スマートフォンやパソコンを使って、どのようなインターネットを利用していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 行政機関の申請 | 2. メールやSNS |
| 3. ニュースや天気予報 | 4. ネットショッピング |
| 5. 動画サイトの閲覧 | 6. その他 () |
| 7. 利用していない | |

(3) 市のお知らせやイベントなどの情報はどこから入手していますか。(〇いくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 広報ふくろい | 2. 回覧板 |
| 3. メローねっと(袋井市Eメール) | 4. 袋井市ホームページ |
| 5. 公共施設の掲示板 | 6. テレビや新聞 |
| 7. 家族・近所・友人など | 8. その他 () |

(4) 災害時の情報はどこから入手していますか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. メローねっと(袋井市Eメール) | 2. 同報無線 |
| 3. 袋井市ホームページ | 4. インターネット |
| 5. テレビ・ラジオ | 6. 家族・近所・友人など |
| 7. その他 () | 8. 何もしていない |

(5) 災害時にどのように避難しますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 一人で逃げる | 2. 逃げる予定だが、特に考えていない |
| 3. 一緒に逃げる人を決めている(要支援者計画など) | |
| 4. 近所の人や友人と一緒に逃げる(予定を含む) | |
| 5. 逃げるつもりはない | |

(4) 介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、

12月26日(月)までにご投函ください。

2 在宅介護実態調査

袋井市 高齢者の生活と意識に関する調査 【在宅介護実態調査】

袋井市にお住まいの皆様

日頃から、市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
袋井市では、今後の介護保険制度のより円滑な運営に役立てるために、皆様の介護保険制度への意識に関する調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、令和6年度～令和8年度を計画期間とした第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定の目的で統計的に処理するために利用し、個人のお名前が出ることは一切ありませんので、ご安心してご回答をお願い申し上げます。

令和4年12月
袋井市長 大場 規之

【ご記入にあたって】

- 1 この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、要介護1～5の方です。
- 2 この調査票は、問1から問18及び問29はご本人が、問19から問28までは介護している方がお答えください。
もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等が本人の立場に立って記入してください。
- 3 調査票を記入する際は、各項目で該当する番号に○をつけてください。
また、複数回答の設問や文字記入の設問がありますので、ご注意ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、3つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和4年12月26日（月）まで** に投函してください。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【問合せ先】

はーとふるプラザ袋井(袋井市総合健康センター)
地域包括ケア推進課 介護ケア相談係
電話：0538-84-7534 / F A X：0538-84-7582
E-mail：chiikihoukatsu@city.fukuroi.shizuoka.jp
〒437-0061 袋井市久能 2515-1

1 調査対象者様ご本人について

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 () |

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 () |
|---------|-----------|------------|

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)
(令和4年12月1日現在の年齢をお答えください。)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 |
| 4. 75～79歳 | 3. 80～84歳 | 6. 85～89歳 |
| 7. 90歳以上 | | |

問5 ご本人のお住まいはどの地域ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 袋井北部地域 | 2. 袋井中部地域 |
| 3. 袋井南部地域 | 4. 浅羽地域 |
| 5. 分からない方はお住まいの自治会名 () | |

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)
※ 要介護度は介護保険被保険者証に記載してあります。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | |
| 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | 5. 要介護3 |
| 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

問7 介護・介助が必要になった主な原因について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血、脳梗塞等) | 2. 心臓病 | 3. がん (悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 (肺気腫、肺炎等) | 5. 関節の病気 (リウマチ等) | |
| 6. 認知症 (アルツハイマー病等) | 7. パーキンソン病 | |
| 8. 糖尿病 | 9. 腎疾患 (透析) | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 | 13. 高齢による衰弱 |
| 14. その他 () | 15. 不明 | |

問8 現時点での、施設等^{*}への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない ⇒ 問10へ |
| 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居の申し込みをしている |

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設（介護付き有料老人ホーム）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

【問8で「2. 入所・入居を検討している」「3. すでに入所・入居の申し込みをしている」と回答した方にお伺いします。】

問9 現時点で検討しているまたは、申し込みをしている施設等はどこですか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------------------------|
| 1. 特別養護老人ホーム (常時介護が必要で、家族での介護が困難な方のための施設) |
| 2. 介護老人保健施設 (家庭への復帰を支援するための施設) |
| 3. 介護医療院 (長期療養が必要な方のための医療機関) |
| 4. 特定施設 (介護付き有料老人ホーム) |
| 5. グループホーム (認知症の方が共同生活する施設) |
| 6. その他 () |

問10 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 利用した ⇒ 問11、問13以降へ | 2. 利用していない ⇒ 問12へ |
|----------------------|-------------------|

【問10で「1. 利用した」と回答された方がお答えください。】

問11 以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ○は1つ）

	1週間あたりの利用回数（それぞれ○は1つ）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
（回答例）	0回	1回	2回	3回	4回	5回
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護（デイサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無（それぞれ○は1つ）	
G. 小規模多機能型居宅介護	利用していない	利用した
H. 看護小規模多機能型居宅介護	利用していない	利用した

	1か月あたりの利用日数（○は1つ）				
	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上
I. ショートステイ	0日	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数（○は1つ）				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
J. 居宅療養管理指導※	0回	1回	2回	3回	4回

※ 居宅療養管理指導とは、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士などが家庭を訪問して、療養上の管理や指導を行うことです。

【問10で「2.」と回答された方がお答えください。】

問12 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない |
| 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない |
| 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい |
| 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない |
| 9. その他 () |

【ここから再び、全員の方にお伺いします。】

問13 サービスの内容が分からない介護サービスはどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴介護 |
| 3. 訪問看護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 通所介護（デイサービス） | 6. 通所リハビリテーション（デイケア） |
| 7. 小規模多機能型居宅介護 | 8. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 9. ショートステイ | 10. 居宅療養管理指導 |

問14 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(〇は1つ)

- | |
|----------------------------------------------------------|
| 1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない |
| 2. 介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい |
| 3. 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない |
| 4. 保険料の負担を減らし、介護保険サービス量が減ってもやむを得ない |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

問 18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. ない | } 問 29 へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | } 問 19 へ
進んでください |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

- 問 18 で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方に、次のページの問 19 からご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

2 主な介護者の方についてお伺いします

問 19 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問 20 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|-------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. その他（ | | ） |

問 21 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 22 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 3. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問 23 主な介護者の方は、介護のほかに子育てや病気の家族などのお世話（ダブルケア）をしていますか。（○は1つ）

- | |
|-------------------------|
| 1. 介護のほかはない |
| 2. 子育てや病気の家族などのお世話もしている |

問 26 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------------|---|-------------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問 27、問 28 へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問 29 へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問 26 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答された方がお答えください。】

問 27 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------------------------|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている |
| 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問 28 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

袋井市
高齢者の生活と意識に関する調査
調査結果報告書

令和5年3月

発行：袋井市総合健康センター地域包括ケア推進課
企画・編集：袋井市総合健康センター地域包括ケア推進課
